DUCATI

DIAVEL

オーナーズマニュアル

日本語

XDIAVEL S

ドゥカティスタの皆様

弊社に対するご信頼の元、新しい XDiavel S をご購入いただいた皆様に**心より感謝いたします**。

Ducati にすばやく慣れ、**そのすべての機能をご利用**いただけるために、**本オーナーズマニュアルを注意深くお読みになる**ことをお勧めします。本マニュアルでは、**安全性**、車両の**お手入れ方法**、専門的なサービスによる**適切なメンテナンス**により車両の価値を高く保つ方法について、多くの役立つヒントと情報を提供しています。

また、**本オーナーズマニュアルはデジタル形式でもご利用いただけ、Ducati ウェブサイトの専用エリア**と、コンピュータと電話の両方から参照できる **MyDucati アプリで、常に更新**されています。

このようにして、常に**最新版のマニュアル**をご利用いただけ、バイクと Ducati ワールドに関する**情報やよくある質問**もご覧いただくことができます。

本オーナーズマニュアルの内容に関する皆様のご意見・ご提案は、OwnerManual@ducati.com までご連絡ください。

本取扱説明書はモーターサイクルを構成する一部であり、使用期間中はモーターサイクルと併せて保管してください。所有者が変更される場合は、本取扱説明書も併せて新しい所有者に譲渡してください。ドゥカティモーターサイクルの品質と安全性は、デザイン、装備、アクセサリーの開発に伴い絶えず進化しています。本取扱説明書には印刷の時点での最新情報が記載されていますが、Ducati モーターホールディング社は 本書内容を予告なしにいつでも変更する権利を有します。そのため、お客様がお持ちのモーターサイクルは本書に記載する参照図と異なる場合があります。

⚠ 重要

Ducati のウェブサイトでは、お客様のモーターサイクルの機能や特長に関する最新情報をお届けしております。ウェブサイトから、専用の「よくある質問 (FAQ)」とチュートリアルをご確認ください。
本マニュアルに掲載されている情報は、印刷時点で最新のものです。Ducati モーターサイクルの品質基準および安全基準は日々更新されています。Ducati ウェブサイトから、モーターサイクルの最新版オーナーズマニュアルに記載されている機能や特徴をご確認ください。

本マニュアルの全部または一部を複製、配布することは禁じられています。すべての権利は Ducati モーターホールディング社に帰属しており、理由を明記したうえで (書面による) 許可の申請をしなければなりません。
車両の修理に関するお問い合わせや、その他のご質問等につきましては、ドゥカティ正規アシスタンスセンターにご連絡ください。

ご不明な点等ございましたら、下記メールアドレスまでお気軽にお問い合わせください。
contact_us@ducati.com
役に立つアドバイス等、弊社アドバイザーが対応いたします。

⚠ 重要

詳細については、ウェブサイト www.ducati.com のサービスとメンテナンスセクションで「お問い合わせ」をクリックして、Ducati サポートまでお問い合わせください。
役に立つアドバイス等、弊社アドバイザーが対応いたします。

楽しいライディングを！

目次

ソフトウェアのアップデート 9
ソフトウェアのアップデート 9

一般情報 10
取扱説明書内で使用される頭字語および略語 10
本マニュアルで使用されている警告シンボル 10
用途 11
ライダーの義務 13
ライダーの教育 14
服装 15
"安全のための""ベストプラクティス""" 16
燃料の補給 18
最大積載時の運転 19
車両への積載に関する注意 19
危険物 - 警告 19
車両識別番号 21
エンジン識別番号 22

主要構成部品 / 装備 23
車両上の配置 23
燃料フィラープラグ 24
シートロック 27
バッテリー充電の維持 33
サイドスタンド 35
Bluetooth コントロールユニット 37
フロントフォークアジャスター 39
リアショックアブソーバーアジャスター 41

運転時に必要なコマンド 43
コマンド類の配置 43
スイッチ類 44
ライトコントロール 47
Hands Free システム 58
キー 70
PIN Code による車両の解除 78
クラッチレバー 81
スロットルグリップ 82
フロントブレーキレバー 83
リアブレーキペダル 84
ギアチェンジペダル 85

ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの調整 86

運転の方法 87

慣らし運転の方法 87
走行前の点検事項 88
エンジンの 始動 / 停止 91
車両の発進 95
ブレーキ操作 96
ABS システム 97
車両の停止 99
パーキング 100
燃料の補給 103
付属アクセサリー 105

インストルメントパネル(ダッシュボード) 107

インストルメントパネル 107
パラメーターの設定 / 表示 112
主な機能 132
エンジン回転数表示 RPM 133
車両スピード 137
ライディングモード (RIDING MODE) 139
DTC 146
ABS 152
ギア 159
燃料レベル 160
時計 161
メニュー機能 162
オドメーター (TOT) 164
エンジンクーラント温度 165
トリップメーター 1 (TRIP 1) 167
トリップメーター 2 (TRIP 2) 168
航続可能距離 (RANGE) 169
平均燃費 170
瞬間燃費 172
平均スピード 174
トリップタイム (TRIP TIME) 176
外気温 178
ラップタイム (LAP TIME) 180
サブ機能 182
インフォテインメント 183
クルーズコントロール 192
ローンチコントロール (DPL) ボタン 195
メンテナンス表示 (SERVICE) 203
OIL SERVICE ゼロの表示 205
OIL SERVICE、ANNUAL SERVICE、DESMO SERVICE カウントダウン表示 206
OIL SERVICE、ANNUAL SERVICE、DESMO SERVICE 表示 207
注意 / 警告 (WARNING) 208

エラー表示 216
サイドスタンドの状態の表示 218
ライトモード表示 (DRL) 219
設定メニュー 220
ライディングモードのパーソナライズ (RIDING MODE) 224
ライディングモードのパーソナライズ：エンジンの調整 227
ライディングモードのパーソナライズ：DTC レベルの設定 230
ライディングモードのパーソナライズ：ABS の調整 233
ライディングモードのパーソナライズ：デフォルト設定の回復 (DEFAULT) 236
ライディングモードのパーソナライズ：デフォルト設定の回復 (ALL DEFAULT) 238
表示モードの設定 239
ライトモード設定 (DRL) 242
LAP 244
PIN CODE 250
PIN CODE の変更 254
ディスプレイ背景の設定 259
日付の設定 261
時計の調整 267
サービス情報 271
単位の設定 272
Bluetooth デバイス設定 278
インフォメーション (INFO) 289

主な整備作業とメンテナンス 290

クーラントレベルの点検および補充 290
クラッチ / ブレーキフルードレベルの点検 292
ブレーキパッドの摩耗点検 294
バッテリーの充電 295
ドライブベルト張力の点検 300
ハイビーム/ロービーム電球の交換 301
ヘッドライトの光軸調整 302
リアビューミラーの調整 304
タイヤ 305
エンジンオイルレベルの点検 307
車両の清掃 309
長期間の保管 311
重要注意事項 312
車両の運搬 313

メンテナンスプログラム 314

メンテナンスプログラム：ディーラーでおこなうメンテナンス 314
メンテナンスプログラム：お客様がおこなうメンテナンス 318

テクニカル仕様 319
重量 319
サイズ 320
補給 321
エンジン 322
タイミングシステム 323
性能データ 324
スパークプラグ 324
燃料供給 324
ブレーキ 324
トランスミッション 325
フレーム 326
ホイール 326
タイヤ 326
サスペンション 326
エキゾーストシステム 327
カラーバリエーション 327
エレクトリカルシステム 328

オープンソースソフトウェア 332
オープンソースソフトウェアに関する情報 332

EU 適合宣言書 333

EU 適合宣言書 333

ソフトウェアのアップデート

ソフトウェアのアップデート

一部の車両構成部品には、ソフトウェアによって管理されるもの、またはソフトウェアの使用が想定されているものがあります。このようなソフトウェアはアップデートの対象であり、アップデートを必要とする場合があります。

- 車両の安全性を保証するために必要なアップデートは Ducati から通知され、Ducati 正規サービスネットワークにてインストールが実施されます。
- 車両の適合性を維持するために必要なアップデートの情報は Ducati ウェブサイトに公開され、車両購入日から 2 年間、または保証期間中 (車両に有効な場合)、Ducati 正規サービスネットワークにてインストールが実施されます。
- ソフトウェアの更なるアップデートや新バージョンについては、本オーナーズマニュアルに記載されている車両の定期点検プログラムに則った点検作業を実施する Ducati 正規サービスネットワークにてインストールが実施されます。

Ducati ウェブサイトのアップデートに関するセクションを定期的にご覧になり、My Ducati アプリをインストールして、利用可能なアップデートに関する情報を確認するようにしてください。

警告

車両の法的な適合性および保証 (有効な場合) を維持するために、お客様は、利用可能なアップデートを、当該アップデートの重要性も考慮して、可能な限り速やかに、いずれの場合も合理的な期間内にインストールするものとします。
合理的な期間内にアップデートがインストールされなかった場合、アップデートがインストールされなかったことに起因する適合性または安全性の欠如について、Ducati は一切の責任を負いません。

一般情報

取扱説明書内で使用される頭字語および略語

ABS	アンチロックブレーキシステム
BBS	ブラックボックスシステム
CAN	コントローラーエリアネットワーク
DPL	ドゥカティパワーローンチ
DRL	デイタイムランニングライト
DSB	インストルメントパネル
DTC	ドゥカティトラクションコントロール
ECU	エンジンコントロールユニット
IMU	慣性計測ユニット
LIN	ローカルインターコネクトネットワーク

本マニュアルで使用されている警告シンボル

お客様または他の人に負わせる可能性のある危険について、以下のような異なる形式で記載されています。

- モーターサイクルの安全性に関するラベル
- 注意シンボル、および警告または重要シンボルのうちの一つで表わされる安全性に関するメッセージ

警告
これらの注意事項が守られない場合、ライダーや他の人に重大なけがや死亡事故を招くおそれがあります。

重要
車両や車両構成部品に損傷を与える可能性があります。

参考
作業上の追加注意事項。

文中の「右」、「左」の表記は、車両の進行方向に向かっての左右を意味します。

用途

警告

本モーターサイクルはオンロードと軽度のオフロードでの使用が可能です。程度の激しいオフロードでの走行は推奨されません。車両のコントロールを失い事故を招く危険が高くなります。

警告

本モーターサイクルでのトレーラーのけん引やサイドカーの取り付けは行わないでください。車両のコントロールを失い、事故を招くおそれがあります。

本モーターサイクルにはライダーが搭乗し、パッセンジャーを一人乗せることができます。

警告

ライダー、パッセンジャー、荷物、オプションパーツを含む車両総重量が 440kg を超えないようにしてください。

警告

パッセンジャーシートは中程度の速度で走行する近距離の移動においてのみご使用ください。パッセンジャーを乗せた状態で長く走行する場合は、パッセンジャーシートの代わりに必ず付属のパッセンジャーバックレストキットのコンフォートシートを使用してください。

重要

ぬかるみや乾燥したほこりっぽい環境など過酷な状況でモーターサイクルを使用すると、トランスミッション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルターが汚れていると、エンジンが損傷するおそれがあります。そのため規定されている定期点検の間隔より早く、定期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合があります。

警告

パッセンジャーシート (図 1) は中程度の速度で走行する近距離の移動においてのみご使用ください。
パッセンジャーを乗せた状態で長く走行する場合は、必ず付属のパッセンジャーバックレストキットのコンフォートシート (図 2) を使用してください。
バックレスト ページ 106 の使用にはご注意ください。

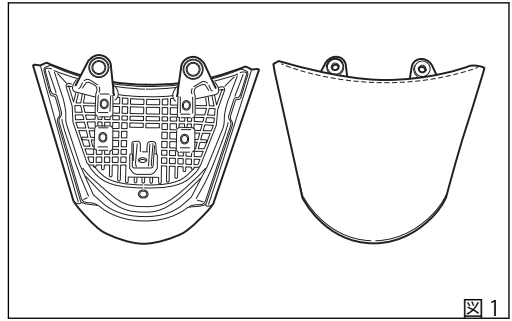


図 1

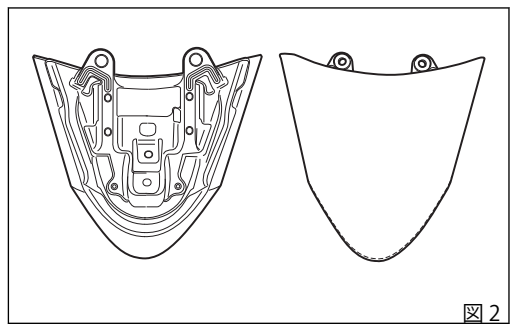


図 2

ライダーの義務

運転者は運転免許証を受けていなければなりません。

警告

無免許運転は違法です。こうした行為は法律で罰せられます。モーターサイクルを運転する前に、運転免許証を携帯していることを必ず確認してください。経験の浅い運転者や運転免許証を有しない人に運転をさせないようにしてください。

アルコールまたは薬物の影響を受けている状態で運転しないでください。

警告

アルコールや薬物の影響が残っている状態で運転するのは違法です。こうした行為は法律で罰せられます。

医師から副作用についての説明を受けずに、運転前に薬を服用しないようにしてください。

警告

薬によっては眠気やその他の症状を引き起こすことがあります。運転者が思うようにモーターサイクルを操縦できず、制御不能に陥り事故を招くおそれがあります。

一部の国では保険への加入が義務付けられています。

警告

現地の法律をご確認ください。保険に加入し、保険証明書はモーターサイクルの他の書類と一緒に大切に保管してください。

運転者および同乗者の安全を守るため、一部の国では基準適合ヘルメットの着用が法律で義務付けられています。

警告

現地の法律をご確認ください。ヘルメットを着用せずに運転すると罰則が科せられることがあります。

警告

事故が起こったときヘルメットを着用していないと、重大な傷害を受ける危険性が高くなり、最悪の場合死に至ることがあります。

警告

ヘルメットが安全規格に適合していること、十分な視野が取れていること、頭に合ったサイズであること、ご使用になる国の基準適合マークが貼付されてることを確認してください。道路交通法は各国で異なります。モーターサイクルを運転する前に現地の法律を確認し、必ずそれに従ってください。

ライダーの教育

多くの事故は経験不足のために起こります。運転、操作、ブレーキは他の車両とは違う方法で行わなければなりません。

警告

ライダーの経験不足や車両の不適切な使用は、コントロールを失い、死亡事故や重大な損傷の原因になるおそれがあります。

服装

モーターサイクルを運転する際に着用する装備は安全を確保する上で大変重要な役割を果たします。モーターサイクルは自動車のように乗員を衝撃から守ることはできません。

適切な装備とは、ヘルメット、目を保護するもの、グローブ、ブーツ、バックプロテクター、長袖ジャケット、ロングパンツからなります。

- ヘルメットは「ライダーの義務」に記載されている要件を満たしていなければなりません。シールドが付いていないモデルの場合は、適切なゴーグルを着用してください。
- グローブは革製もしくは摩擦に強い素材を用いたもので、5 本指のもの、また指にはナックルプロテクターと補強を備えた規格適合品を着用してください。
- 運転する際のブーツやシューズは、アンチスリップソールとアンクルプロテクターを装備しているものを着用してください。
- バックプロテクターは、メーカーの仕様に応じて、ライダーの体格に合ったサイズの規格適合品を着用してください。
- ジャケットとパンツ、もしくはプロテクトスーツについては、革製のものか摩擦に強い素材を用いたもので、視認性を高めるカラーインサートが付いている規格適合品を着用してください。規格適合プロテクターを備えた製品を選ぶようにしてください。

重要
車両の部品に巻き込まれるおそれがあるような、ゆったりとした衣類やアクセサリーの着用は避けてください。

重要
安全のために夏冬季節に関係なく適切な装備を着用してください。

重要
パッセンジャーも安全のため、適切な服を着用してください。

"安全のための""ベストプラクティス"""

モーターサイクルの使用前後および使用中には、人の安全を確保し、モーターサイクルを最善の状態に維持するために大切な、簡単にできる作業は必ず実行してください。

重要

慣らし運転期間中は、本冊子の "使用規定" の章に記載されている指示に従ってください。
この条件が遵守されなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮については、Ducati モーターホールディング社はいかなる責任も負うものではありません。

警告

運転する上で必要なコマンド類について十分な知識がない状態で運転を行わないでください。

エンジンを始動する前に、本冊子が定める点検を必ず実施してください (ページ 88 を参照)。

警告

これらの点検を怠ると、車両に損傷を与え、ライダーやパッセンジャーに重大な傷害を招くおそれがあります。

警告

エンジンの始動は必ず換気の良い適切な場所で行ってください。閉めきった場所では絶対にエンジンを始動しないでください。
排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さらには死に至る危険性があります。
走行中は適切な姿勢を保ち、パッセンジャーも同様に正しい姿勢で乗車していることを確認してください。

重要

ライダーはハンドルから絶対に手を離さないでください。

重要

走行中、ライダーおよびパッセンジャーは必ず足をペダルに乗せてください。

重要

パッセンジャーはシート下のフレームの所定のハンドルバーを常に両手で握ってください。

重要

私有地や駐車場からの出口、または高速道路の入口などでの交差点では十分に注意してください。

重要
相手から良く見えるように心がけ、前方車両の死角に入って走行することは避けてください。

重要
右左折や走行車線を変更する際は、常に十分な余裕を持ってターンインジケーターで意思表示を行ってください。

重要
モーターサイクルはサイドスタンドを使用して、他の邪魔にならないように駐車してください。路面の悪い場所や柔らかい場所には駐車しないでください。モーターサイクルが転倒する危険があります。

重要
タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかチェックしてください。損傷が著しい場合はタイヤを交換してください。
トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いてください。

警告
エンジン停止後でもエンジン、エキゾーストパイプ、サイレンサーは高温な状態が続きます。身体が触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにしてください。
エンジンとエキゾーストシステムが高温の間は、カバーシートが破損するおそれがありますので、バイクをカバーしないでください。

燃料の補給

燃料の補給は屋外で、エンジンが停止している状態で行います。
給油中は絶対に喫煙せず、火気を近付けないでください。
エンジンおよびエキゾーストパイプに燃料がかからないように注意してください。
給油の際は燃料タンクを完全に満タンにしないでください。燃料レベルは燃料タンクの給油口より低くなければなりません。
給油中は燃料の蒸気をできるだけ吸いこまないようにし、目、皮膚、服に触れないようにしてください。

警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。
エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

警告

燃料の蒸気を長時間吸い込み気分が悪くなった場合には、屋外にとどまり、医師に相談してください。目に入った場合は大量の水で洗い流し、皮膚に触れた場合は速やかに水と石鹸で洗ってください。

警告

燃料は非常に引火しやすいため、間違って衣服に付着した場合には着替えてください。

最大積載時の運転

このバイクは最大積載時でも長距離を安全に走行できるように設計されています。
車両の重量配分は、安全基準を維持するため、また悪路走行や急な進路変更時のトラブルを避けるためにとても重要です。

警告
最大許容重量を超えないようにしてください。
また以下に記載されている車両への積載に関する注意事項をよくお読みください。

車両への積載に関する注意

重要
積み荷は車両の中心に近く、できる限り低い位置に配置してください。

重要
車両が不安定になりますので、ステアリングヘッドやフロントマッドガード部に体積や重量のかさむものを固定しないでください。

重要
バッグなどの荷物は車体にしっかり固定してください。確実に固定されていないと、運転が不安定になる危険があります。

重要
車両の可動部分の妨げになるおそれがありますので、フレームのすき間に絶対に物を挟まないでください。

警告
タイヤの空気圧が適正であり、コンディションが良好であることを確認してください。

ページ 305 の"タイヤ"の段落を参照してください。

危険物 - 警告

使用済みエンジンオイル

警告
使用済みエンジンオイルが長期間わたり繰り返し表皮に触れると、上皮がんの原因になる場合があります。日常的に使用済みエンジンオイルを使用する場合、作業後すぐに水と石鹸で手を十分に洗ってください。お子様の手の届かないところに保管してください。

ブレーキダスト

ブレーキシステムの清掃に圧縮空気を噴射したり、乾いたブラシは絶対に使用しないでください。

ブレーキフルード

警告
車両のプラスチック、ゴム製部品、塗装された部品にブレーキフルードがかかると、部品が破損する原因になる場合があります。作業をおこなう場合は、毎回システムのメンテナンスを実施する前にきれいな布をこれらの部品の上にかけてください。お子様の手の届かないところに保管してください。

警告
ブレーキフルードは腐食性があります。万一目に入ったり肌に触れたりした場合は、流水でしっかりと洗い流してください。

クーラント

エンジンクーラントに含まれるエチレングリコールは特定の条件下において可燃性があり、その炎は肉眼では見えません。エチレングリコールが発火した場合、その炎が肉眼では見えないため重大な火傷につながるおそれがあります。

警告
エンジンクーラントがエキゾーストシステムやエンジン部品にかからないようにしてください。

これらの部品はクーラントが発火するのに十分な熱を持っている場合があります。そのため、見えない炎で火傷を負うおそれがあります。クーラント (エチレングリコール) は皮膚刺激を起こすことがあります。また飲み込むと有害です。お子様の手の届かないところに保管してください。エンジンが熱いときは、ラジエーターキャップを外さないでください。クーラントは加圧された状態にあり、火傷を引き起こす原因となることがあります。
クーリングファンは自動的に起動しますので、手や衣類を近づけないでください。

バッテリー

警告
バッテリーは爆発性のガスを放出します。火花や炎、タバコを近づけないでください。バッテリー充電中、作業エリアが適切に換気されていることを確認してください。

車両識別番号

参考
これらの番号は車両モデルを識別するもので、部品を注文する際にも必要です。

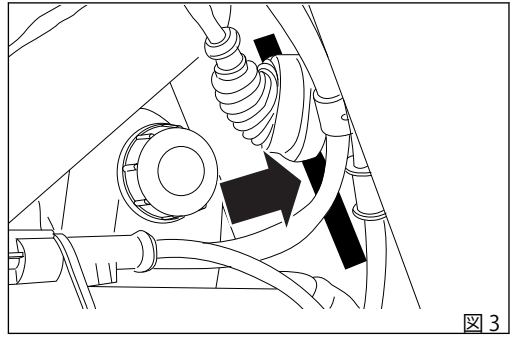


図 3

エンジン識別番号

参考
これらの番号は車両モデルを識別するもので、部品を注文する際にも必要です。

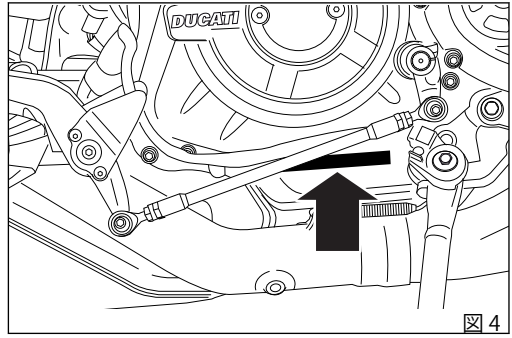


図 4

主要構成部品 / 装備

車両上の配置

1) フィラープラグ
2) シートロック
3) サイドスタンド
4) リアビューミラー
5) フロントフォークアジャスター
6) リアショックアブソーバーアジャスター
7) 触媒
8) エキゾーストサイレンサー

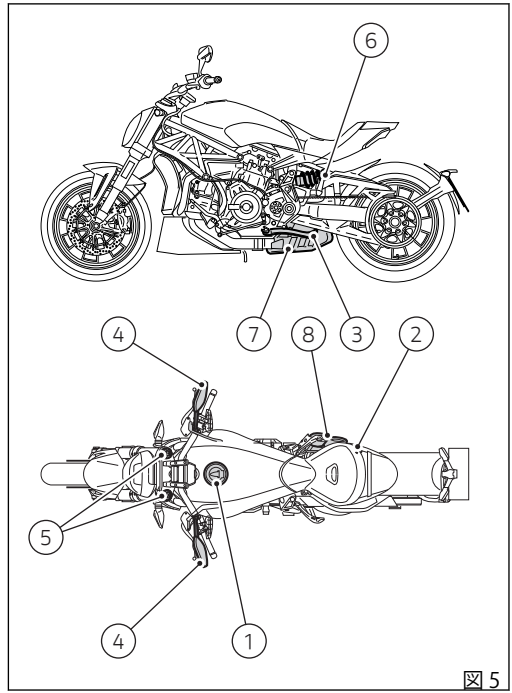


図 5

燃料フィラープラグ

開け方

保護カバー (1) を起こし、アクティブキーまたはパッシブキーをロックに差し込みます。キーを時計回りに 1/4 回転させ、ロックを解除します。
プラグ (2) を起こします。

閉じ方

差し込んだキーでプラグ (2) を閉じ、プラグを押します。キーを抜き取り、保護カバー (1) を閉じます。

参考
キーが挿入された状態でのみキャップを閉めることが可能です。

警告
燃料補給後は、必ずキャップが確実に閉じていることを確認してください。

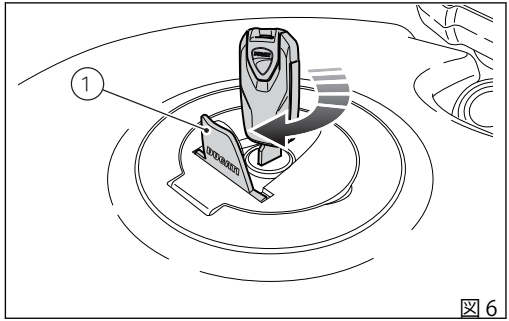


図 6

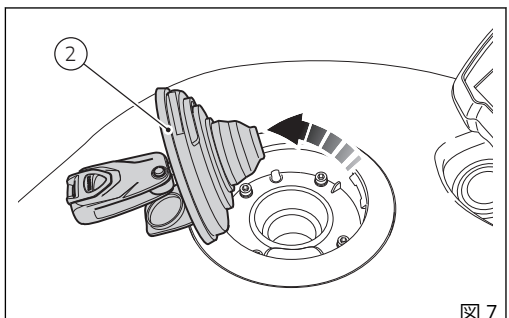


図 7

電子式オープニング燃料フィラープラグ (アクセサリー)

以下の説明は、電子式オープニング燃料フィラープラグが車両に装備されている場合にのみ有効です。

開け方

フィラープラグ (4) を開くには、モーターサイクルの電源を切って (キーオフ) から 50 秒以内に専用レバー (3) を持ち上げる必要があります。50 秒間に、フィラープラグを最大 5 回開くことができます。
もう一度開く場合は、イグニッションをオン/オフします (key-on >> key-off)。

警告
オープニングレバー (3) は丁寧に操作してください。
レバーを異常に速く動かすとフィラープラグが正常に開かないことがありますが、その場合も、プラグを開くことができる 5 回のうちの 1 回とカウントされてします。

インストルメントパネル情報

電子式オープニング燃料フィラープラグが車両に装備されている場合、インストルメントパネル内には電子

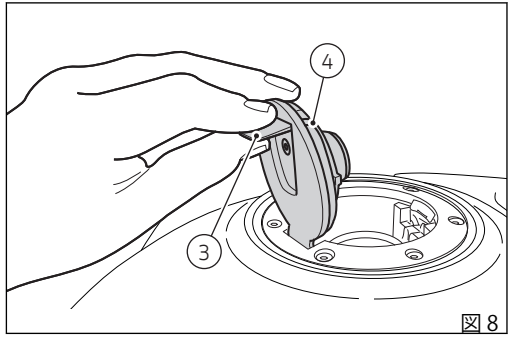


図 8

プラグが開いていることを示す黄色の情報アイコンがあります。

- 起動時には、最初の 5 秒間大きく表示されます。
- その後、小さく表示されます。

プラグが開いているときにインストルメントパネルがオンになると (キーオン)、アイコンがアクティブになります。

閉じ方

電子プラグを閉じるには、止まるまで指でプラグを押し上げます。

警告

燃料補給後は、毎回必ずプラグが確実に閉じていることを確認し、そしてインストルメントパネルの該当するアイコンが消えていることを常に確認してください。

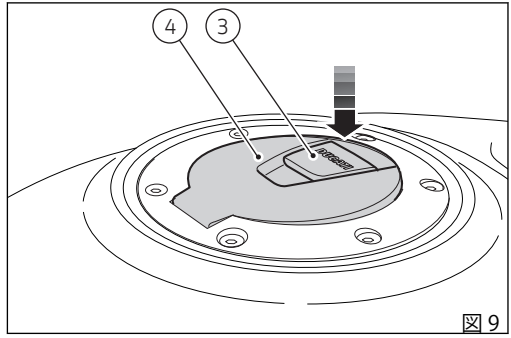


図 9

シートロック

ライダーシートおよびパッセンジャーシートの下に設置されている装置の作業を行うには、ロック (1) を操作してライダーシートを取り外します。

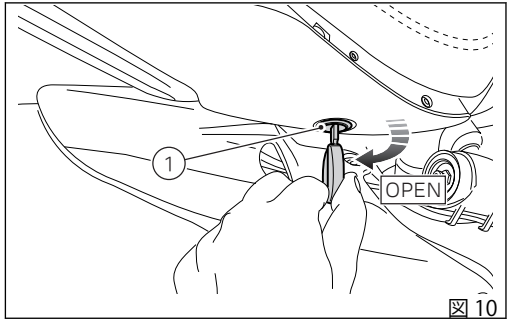


図 10

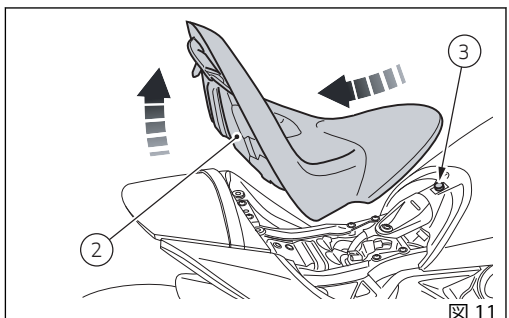


図 11

警告

パッセンジャーシート (図 12) は中程度の速度で走行する近距離の移動においてのみご使用ください。パッセンジャーを乗せた状態で長く走行する場合は、必ず付属のパッセンジャーバックレストキットのコンフォートシート (図 13) を使用してください。
バックレスト ページ 106 の使用にはご注意ください。

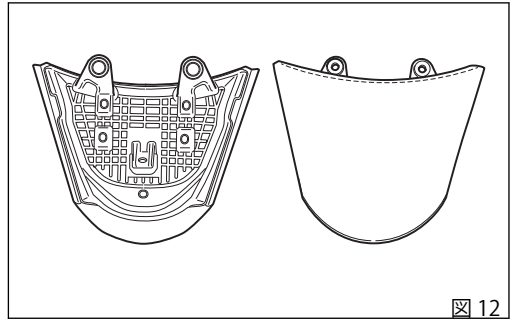


図 12

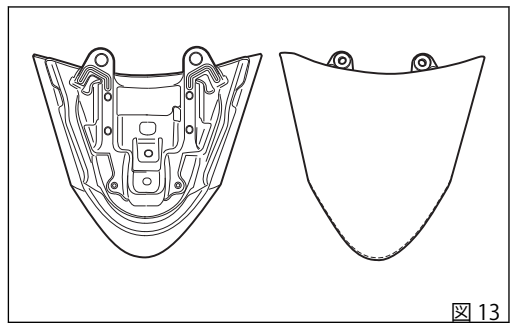


図 13

シートの取り外し

鍵穴(1、図10)にアクティブキーもしくはパッシブキーを差し込み、カチッと音が鳴りライダーシートのロックが外れるまで時計方向(OPEN)に回します。
ライダーシート(2、図11)の前部を持ち上げ、フューエルタンクのピン(3、図11)から引き抜いてライダーシートを取り外します。

パッセンジャーシート(4)を車両の前方に引き抜いて取り外します。

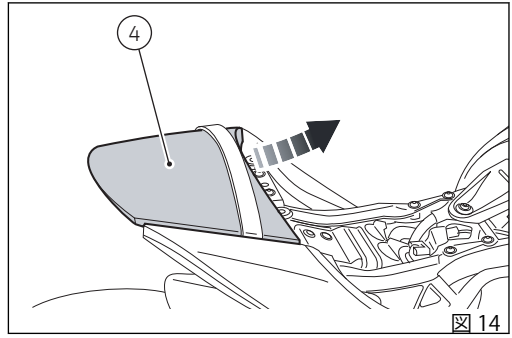


図 14

シートを取り外すと、バッテリーメンテナー接続用のコネクター (5) にアクセスできるようになります。使い方は「バッテリー充電の維持」の記載に従い、コネクターをマウント (C) から抜いてバッテリーメンテナー (6) に接続してください。

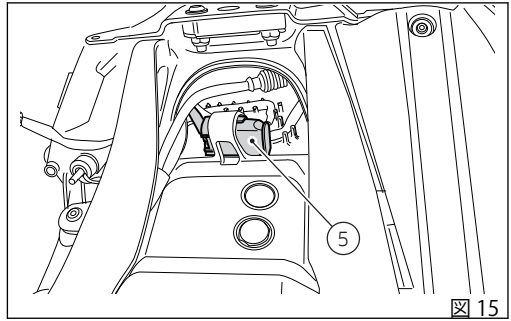


図 15

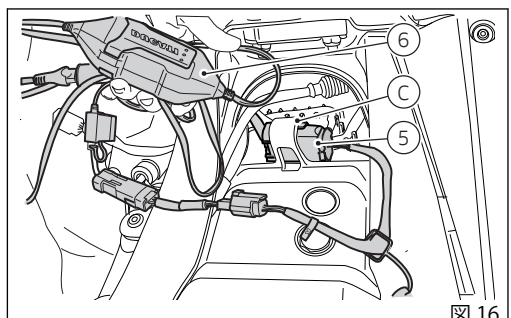


図 16

シートの取り付け

パッセンジャーシート (4) をベルト (D) の下に車両後方に向かってスライドさせて配置し、タブ (E) を所定の位置 (7) に挿入して取り付けます。

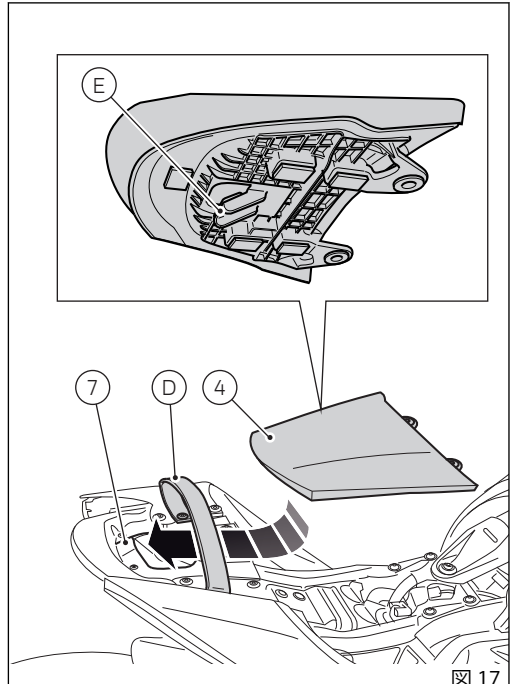


図 17

ライダーシート (2) を車両前方に向かってスライドさせて配置します。フューエルタンクのピン (3) がシートの溝 (10) に入っていることを確認してください。シートを前方に奥までスライドさせます。後部のピン (13) を穴 (14) に、サイドピン (11) を耐震ラバー (12) に挿入し、カチッと音がしてロックがかかるまで下に押し付けます。ライダーシートを少し上に引き正しくロックがかかったことを確認します。ロックからキーを抜き取ります。

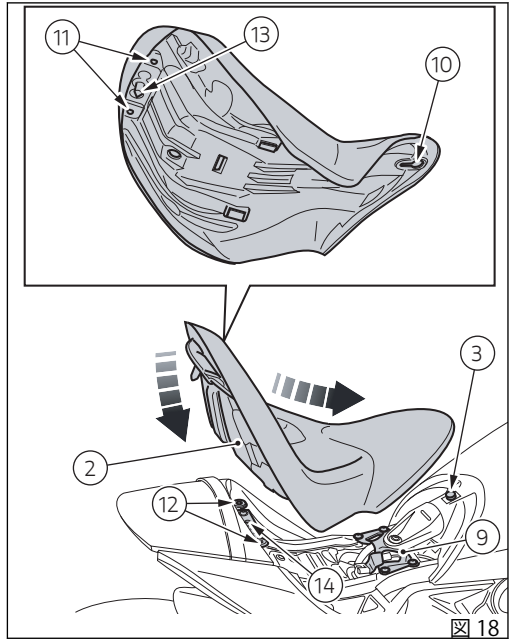


図 18

バッテリー充電の維持

車両には所定の充電器 (2) (バッテリーメンテナーキット、部品番号：69924601A - 多くの国、バッテリーメンテナーキット、部品番号：69924601AX - 日本、中国、オーストラリアのみ) を接続することができるコネクター (1) が装備されています。充電器は当社の販売店でお求めいただけます。

参考

本モデルのエレクトリカルシステムはエンジン停止状態での消費電力を非常に低く抑えるよう設計されています。ただし、バッテリーは自然に放電しており、放電量は使用していない期間や環境条件によって変化します。

重要

所定のメンテナーを介してバッテリー電力の最低値が維持されないと、修理が不可能なバッテリーの劣化を招くサルフェーション現象が生じます。

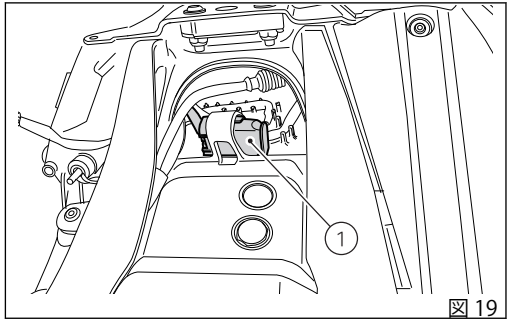


図 19

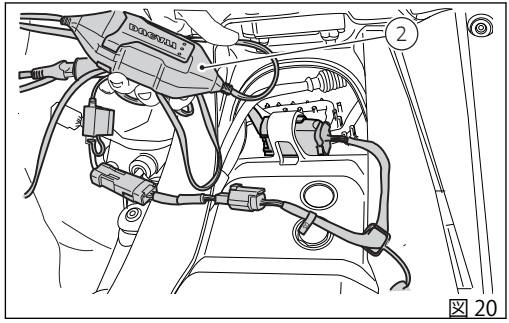


図 20

参考

車両を長期間使用しない場合は (およそ 30 日以上)、ドゥカティ純正バッテリーメンテナー (バッテリーメンテナーキット 部品番号：69924601A (各国) またはバッテリーメンテナーキット 部品番号：69924601AX (日本、中国、オーストラリアのみ) をご使用いただくことをお勧めします。ドゥカティ純正バッテリーメンテナーは内蔵エレクトロニクスが電圧をモニターし、最大 1.5A/h の充電が可能です。メンテナーを車両後部に設けられた診断ソケットに接続します。

参考

Ducati が認可していないバッテリーメンテナーを使用すると、車両のエレクトリカルシステムに損傷を与えるおそれがあります。上記の理由でバッテリーが損傷した場合には、不適切なメンテナンスとみなし保証の対象にはなりません。

警告

バッテリーのショートやオーバーヒートの原因となりますので、絶対に他の車両のバッテリーと並列に接続しないでください。

サイドスタンド

重要

短時間停車する場合に限り、サイドスタンドを使用して車両を支えます。サイドスタンドを使用する前に、地面に十分な固さがあり平らであるかを確かめてください。

柔らかい地面、砂利、日光で柔らかくなったアスファルト等に駐車すると、車両転倒の原因となります。傾斜面に停車する場合は、必ずリアホイールを斜面下側にして駐車してください。
サイドスタンドを使用するには、ハンドルバーを両手で掴み、車体を支えながら、スタンドのフック (1) を足でいっぱいに押します。次に、スタンドがしっかりと地面に着くまで、車体を徐々に傾けます。
サイドスタンドを元の位置 (水平位置) に戻すには、車両を右側に傾けながら、足でスタンドのアーム (1) を持ち上げます。
サイドスタンドのジョイント部の円滑な動作を維持するには、汚れをきれいに取り除いた後、摩擦が起きる部分すべてにグリース SHELL Alvania R3 を塗布します。

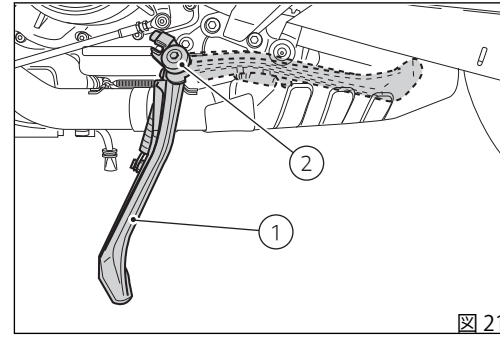


図 21

警告
サイドスタンド使用時には、車両にまたがらないでください。

参考
定期的にスタンド (内側と外側 2 つのスプリングの状態) と安全センサー (2) の作動を点検することをお勧めします。

参考
サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動することができます。ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いた状態で行ってください (この時サイドスタンドは上がっていなければなりません)。

Bluetooth コントロールユニット

車両にはBluetooth コントロールユニットが装備されています。これにより Bluetooth に対応する電子機器間での通信が可能になります。

警告

Bluetooth スマートフォンおよびヘッドセットの製造メーカーは、デバイスの寿命期間中に標準プロトコルに変更を加えることがあります (スマートフォン、ヘッドセット)。

警告

ドゥカティ社はこれらの変更に関与していませんので、こうした変更が Bluetooth ヘッドセット (音楽共有、マルチメディア再生など) の各種機能やいくつかのタイプのスマートフォン (Bluetooth 対応プロファイルによる) に影響を与える可能性があります。このためドゥカティ社は、以下についてのマルチメディア再生を保証していません。

- "Kit Ducati キット (部品番号： 981029498)" に付属しないヘッドセット。
- 必要な Bluetooth プロファイルに対応していないスマートフォン ("Ducati キット　部品番号： 981029498" に付属するヘッドセットとペアリングできる場合でも)

警告

外的環境の特殊な状況に起因する干渉が起こった場合には、Ducati キット (部品番号：981029498) ではライダーヘルメットからパッセンジャーヘルメットへの再生音楽の共有機能を使用することができます (詳しくは Ducati キット (部品番号：981029498) に付属のヘッドセット取扱説明書を参照)。

参考

Ducati キット (部品番号： 981029498) は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにてお求めいただけます。

スマートフォン本体が以下のプロフィールをサポートしていることを確認します。

- MAP プロフィール：SMS および MMS 受信通知を正しく表示する。
- PBAP プロフィール：スマートフォンの電話帳データを正しく表示する。

警告

以下のキットに付属しない Bluetooth 対応のナビゲーターは、ドゥカティマルチメディアシステムに正しく接続できない場合があります。

- Ducati Zumo 350 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 390 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 395 衛星ナビゲーターキット

参考

上記Ducatiキットは、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターにてお求めいただけます。

フロントフォークアジャスター

車両のフォークは、リバウンドダンピング(リターン)、コンプレッションダンピング、およびスプリングプリロードの調整が可能です。
スプリングプリロードとコンプレッションダンピングは左レッグ、リバウンドダンピングは右レッグの調整が可能です。
調整はアジャスターを使用して行います。

1) リバウンドダンピングの変更
2) スプリングプリロードの変更
3) コンプレッションダンピングの変更。

車両をサイドスタンドで支え、安定した場所に駐車します。マイナスドライバーで右フォークレッグの先端にあるアジャスター (1) を回転させ、リバウンドダンピングを調整します。マイナスドライバーで左フォークレッグの先端にあるアジャスター (3) を回転させ、コンプレッションダンピングを調整します。アジャスター (1) および (3) を回すと、カチッと音がします。それぞれがダンピングの 1 クリックに相当します。

アジャスターをいっぱいに締め込むと "0" 位置になり、ダンピングが最強にセットされます。この位置から反時計回りに回すとカチッと音がします。それぞれが "1"、"2"、・・・の位置に相当します。

標準設定は以下の通りです。

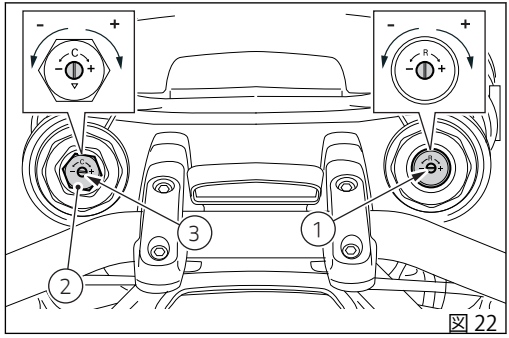


図 22

- コンプレッション：最大 (すべて閉じた位置) から -2 回転
- リバウンド：最大 (すべて閉じた位置) から -2 回転
- スプリングプリロード：最小 (すべて緩めた位置) から +5 回転

重要

パッセンジャーと荷物の最大積載時の調整：
フォークを次のように設定してください。

- コンプレッション：最大 (すべて閉じた位置)：
- リバウンド：最大 (すべて閉じた位置)：
- スプリングプリロード：最小 (すべて緩めた位置) から +5 回転

リアショックアブソーバーアジャスター

リアショックアブソーバーは荷重に合わせてバランスを調整できるようアジャスターを装備しています。スイングアーム上のアジャスター (1) はリバウンド (リターン) ダンピングを調整します。アジャスター (1) を時計回りに回すとダンピングが強くなり、反時計回りに回すと弱くなります。ショックアブソーバー上部の 2 個のリングナット (2) はスプリングプリロードを調整します。スプリングプリロードを変更するには、上部固定リングナットを緩めます。下部リングナットを締める、または緩めることでプリロードの強弱を調整します。

すべて閉じた位置からの標準設定は以下の通りです (時計回り)。

- リバウンド：アジャスター (1) をすべて締めた位置から -1.5 回転緩めます。
- スプリングプリロード：31 mm (1.22 in)

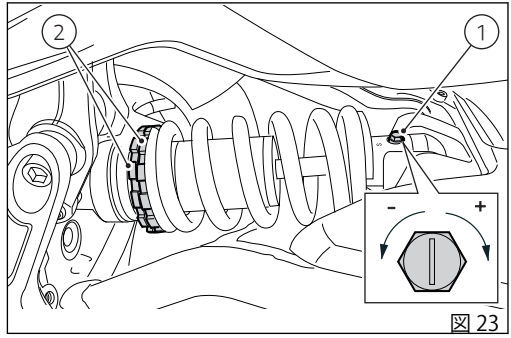


図 23

重要

パッセンジャーと荷物の最大積載時の調整：リアショックアブソーバーを次のように設定してください。

- リバウンド：アジャスター (1) をすべて締めた位置から -0.5 回転緩めます。
- スプリングプリロード：最大 (リングナットをすべて締めた位置)。

警告

プリロードアジャスターを回すにはピンレンチを使用します。作動中にリングナットのすき間にレンチのソケット部分が急に落ちた場合に車両の他の部品に手を強くぶつけてケガをしないよう十分注意してください。

警告

ショックアブソーバーには高圧のガスが充填されています。未経験者による分解作業は重大な損傷の原因となる恐れがあります。

パッセンジャーと荷物を載せる場合は、リアショックアブソーバーのスプリングプリロードを調整してください。これによりハンドリングを向上させ、車両が地面に接触するのを防ぎます。この場合、リバウンドダンピングの再調整が必要になることがあります。

運転時に必要なコマンド

コマンド類の配置

警告
この章では車両を運転する上で必要なすべてのコマンド機能と配置を詳しく説明しています。コマンドを使用する前によくお読みください。

1) ハンドルバーのインストルメントパネル
2) Hands free システム
3) 左側スイッチ
4) クラッチレバー
5) リアブレーキペダル
6) 右側スイッチ
7) スロットルグリップ
8) フロントブレーキレバー
9) ギアチェンジペダル

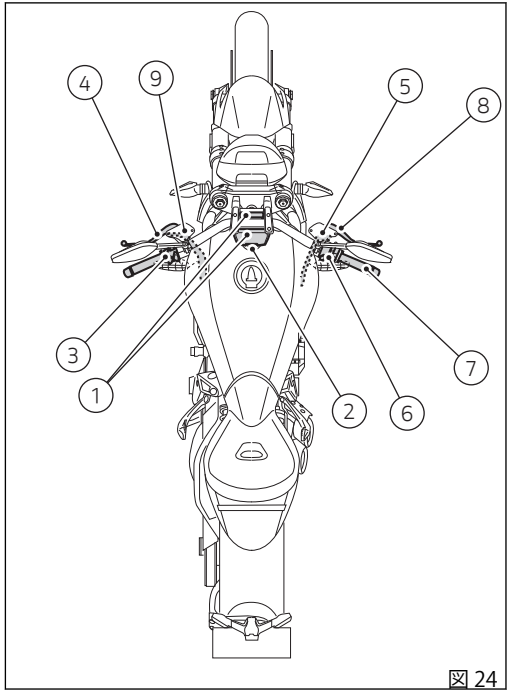


図 24

スイッチ類

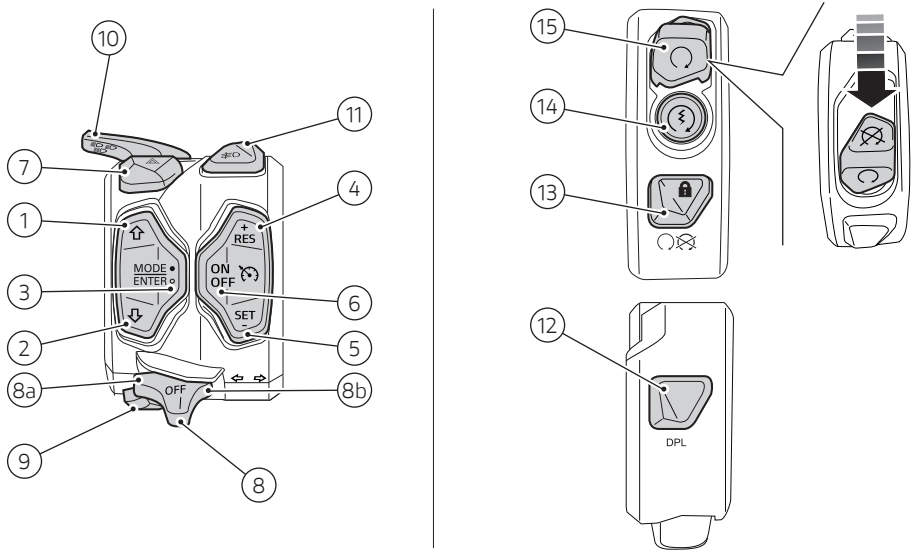

10
11
7
4
1
RES
MODE
ENTER
ON
OFF
3
6
SET
2
5
8a
OFF
8b
9
8
15
14
13
12
DPL

図 25

1	⇧	コントロールボタン UP
2	⇩	コントロールボタン DOWN
3	MODE ● ENTER ○	ライディングモード変更と「ENTER」機能ボタン
4	+ RES	クルーズコントロール RES/+
5	SET -	クルーズコントロール SET/-
6	ON OFF	クルーズコントロール ON/OFF
7	⚠	ハザードランプ (赤色)
8	⇦⇨ OFF	3 ポジション、ターンインジケーター： ● ポジション (8a)、左ターンインジケーター ● 中央、OFF ● ポジション (8b)、右ターンインジケーター
9		警告ホーン
10		ライトセレクター： ● ハイビーム、上に押す ● ロービーム、中央位置 ● フラッシュライトと「ラップ Start/Stop」機能、下に押す
11		DRL (装備している場合)
12	DPL	ドゥカティパワーローンチ (DPL - Ducati Power Launch)

13		電子式ステアリングロック
14		エンジンの始動
15		エンジンの停止、下に押す (赤色)

ライトコントロール

ロービーム / ハイビームランプ (DRL 非搭載バージョン)

Key-ON 時、ロービームランプおよびハイビームランプは消灯 (OFF) したままパーキングランプのみが点灯します。
エンジンを始動するとロービームランプが自動的に点灯します。ボタン (3) のポジション (A) と (B) でロービームとハイビームの切り替えを行います。Key-ON した後にエンジンを始動しない場合でも、左側スイッチのボタン (3) をポジション (C) に押してロービーム/ハイビームランプを起動することができます。
ロービーム / ハイビームランプを手動で起動してから 60 秒以内にエンジンを始動しないと、ランプは再び消灯 (OFF) します。

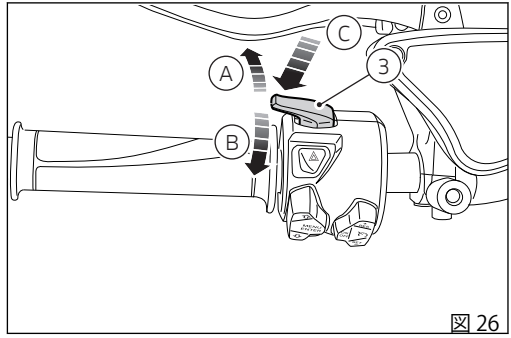


図 26

ロービーム / ハイビームランプ (DRL 搭載バージョン)

Key-ON 時、ロービームランプおよびハイビームランプは消灯 (OFF) したままパーキングランプおよび DRL のみが点灯します。
エンジンを始動した時、AUTO モードに設定されておりインストルメントパネルが外光の弱い状況 (NIGHT) を検出した場合はロービームランプが自動的に点灯します。一方、外光の強い状況 (DAY) を検出した場合には DRL が点灯を続け、ロービームランプは消灯したままになります。ボタン (9) を使用して、DRL とロービームランプの切り替えが可能です。
ロービームランプが点灯した場合、ボタン (3) のポジション (A) でハイビームランプも点灯することができます。Key-ON した後にエンジンを始動しない場合でも、左側スイッチのボタン (3) をポジション (C) に押してロービーム/ハイビームランプを起動することができます。
ロービーム / ハイビームランプを手動で起動してから 60 秒以内にエンジンを始動しないと、ランプは再び消灯 (OFF) します。

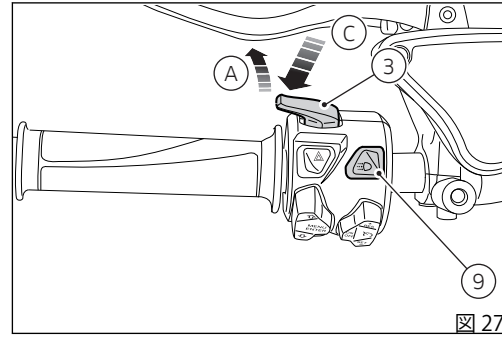


図 27

エンジン始動時のロービーム / ハイビームランプ消灯 (DRL 非搭載バージョン)

車両のバッテリー充電状態を維持するため、ハイビームランプ、ロービームランプが点灯 (ON) している場合にはエンジン始動時にヘッドライトは自動的に消灯します。エンジンが完全に始動した時点で再び点灯します。

エンジン始動時のロービーム / ハイビームランプ消灯 (DRL 搭載バージョン)

車両のバッテリー充電状態を維持するため、ハイビームランプ、ロービームランプ、DRL のいずれかが点灯 (ON) している場合にはエンジン始動時にヘッドライトは自動的に消灯します。エンジンが完全に始動した時点で再び点灯します。

DRL (デイタイムランニングライト) — DRL 搭載バージョンのみ

Key-On のたびに DRL が点灯します。左側スイッチにあるボタン (9) を使用して、DRL を消灯することができます。ボタン (9) をもう一度押すと、DRL は再び点灯します。

参考

ボタン (9) が押されると、DRL は自動的に MANUAL モードに設定されます。AUTO モードに戻すには Key-OFF / Key-ON を実行するか、設定メニューの "DRL CONTROL" 機能から AUTO モードに設定します。

ボタン (3) を押すと、ハイビームランプとロービームランプが点灯し、DRL が消灯します。ランプボタン (3) を離すと、DRL が再び自動的に点灯します。

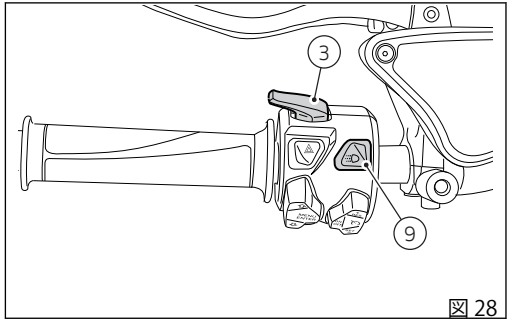


図 28

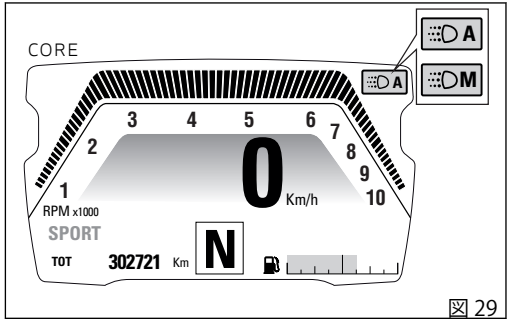


図 29

DRL AUTO モード
DRL がこのモードにある時、エンジン始動時にインストルメントパネルが外光が弱い状況 (NIGHT) を検出した場合は DRL が自動的に消灯し、ロービームランプが点灯します。一方、インストルメントパネルが外光の強い状況 (DAY) を検出した場合は、DRL が点灯し続け、ロービームランプが消灯したままになります。このモードでは、インストルメントパネルが検出した外光の明るさに応じて、DRL とロービームを自動的に切り替えます。ディスプレイには緑色のロゴと "A" の文字が表示されます。

警告
外光の弱い状況下、特に霧や曇りの時に DRL を AUTO (自動) モードで使用すると、非常に危険な場合があります。このような場合には、ロービームランプを自動で点灯するようにしてください。

DRL MANUAL モード
DRL がこのモードにある時は、エンジンを始動しても DRL ステータスは変更されません。DRL を停止 / 点灯するにはボタン (9) を押してください。ディスプレイには黄色のロゴと "M" の文字が表示されます。

警告
外光の特に弱い状況下 (暗闇) で DRL を使用すると、運転中の視界を損なう危険だけでなく、対向車のドライバーの目をくらませるおそれがあります。

参考
日中であれば対向車のドライバーはロービームランプに比べて DRL の方が知覚しやすいため、DRL の日中の使用は視認性を高めます。

ターンインジケーター

左ターンインジケーターを起動するにはボタン (10) をポジション (I) に押します。右ターンインジケーターを起動するにはボタン (10) をポジション (L) に押します。左側スイッチのボタン (10) を押してターンインジケーターを解除することができます。

自動解除

車両速度、リーンアングル、車両の動的制御の分析から右左折の動作の終了を感知して、ターンインジケーターが自動的に消灯します。
自動解除機能は、インジケーターボタンを操作することにより、車両速度が 20 km/h (12.4 mph) を超えると作動します。

ターンインジケーターは、車両がかなりの長距離を走行している間機能したままになっている場合にも、自動的に消灯します (200～2000 メートル (656～6562 フィート)。ターンインジケーターボタンが操作された時の車両速度による)。
ターンインジケーターの作動中、ターンインジケーターを作動させようとしてターンインジケーターボタンを再び押すと、自動解除機能は再度初期化されます。

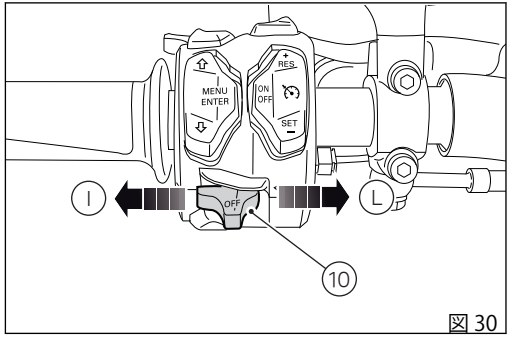


図 30

警告
自動解除システムは、ライダーがターンインジケーターをより快適に操作できるように助ける、ライダー支援システムです。こうしたシステムは、ほとんどの運転において動作するように開発されていますが、ライダー自身がターンインジケーターの動作に注意を払わなくてよくなる機能ではありません (必要に応じて手動で作動/停止)。

ハザード機能 (ターンインジケーターすべて点滅)

"ハザード" 機能は、非常事態を知らせるために 4 つのターンインジケーターすべてを同時に起動します。ボタン (11) を押して "ハザード" 機能を作動することができます。この機能は車両が起動している場合 (Key-ON) に限り起動することができます。"ハザード" 機能の作動中は、4 つのターンインジケーターおよびインストルメントパネルのランプが同時に点滅します。"ハザード" 機能は、車両が起動している状態 (Key-ON) でのみボタン (11) を押して手動で解除することができます。

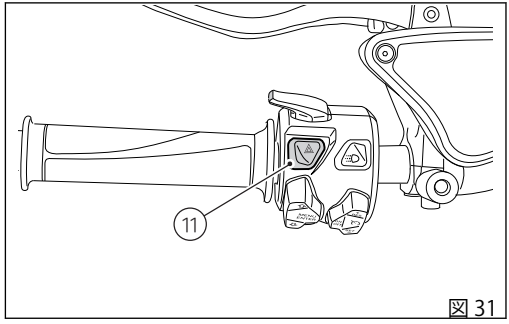


図 31

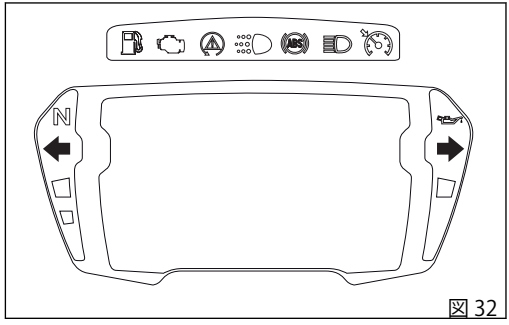


図 32

"ハザード" 機能を起動してから車両を停止した場合は(キーを "OFF" 位置に回す)、 ハザード機能はその後 2 時間作動を続けます。バッテリーを保護するため、2 時間後ターンインジケーターは自動的に消灯します。

参考

"ハザード" 機能が作動している状態で Key-ON を行うと、ハザード機能は作動したままになります。

参考

パーキング機能作動中に突然バッテリーからの電源が遮断された場合、電源回復時にインストルメントパネルは機能を停止します。

参考

"ハザード" 機能は、ターンインジケーターの通常機能より優先されます。そのため、"ハザード" 機能が作動している場合は左右インジケーターを個別に起動することはできません。

表示"ステアリングをロックするには起動ボタンを押してください" (Key-OFF 時)

この機能は、ステアリングロックを起動させるにはボタンを押す必要があることを示します。
車両を停止してから 60 秒以内に起動ボタンを押すと、ステアリングロック状態に入ります。
"KEEP PRESSED TO LOCK" の表示は、起動ボタンが少なくとも 1 秒押されると表れます。

図 33

ステアリングロック起動表示 (Key-OFF 時)

この機能はKey-OFF時にステアリングロック状態に入ったことを示します。
正常にステアリングロック状態に入れば、ディスプレイ上に "STEERING LOCKED" が 5 秒間表示されます。

図 34

検出キーなしの表示 (Key-OFF 時)

この機能は、キーを検出できなかったためにステアリングロックを作動することができないことを通知します。
ディスプレイには “NO KEY DETECTED” が表示されます。

図 35

Hands Free システム

Hands Free システムは、以下で構成されています。

1) Hands Free ブロック
2) アンテナ
3) アクティブキー
4) パッシブキー
5) 電動フィラープラグ (オプション)

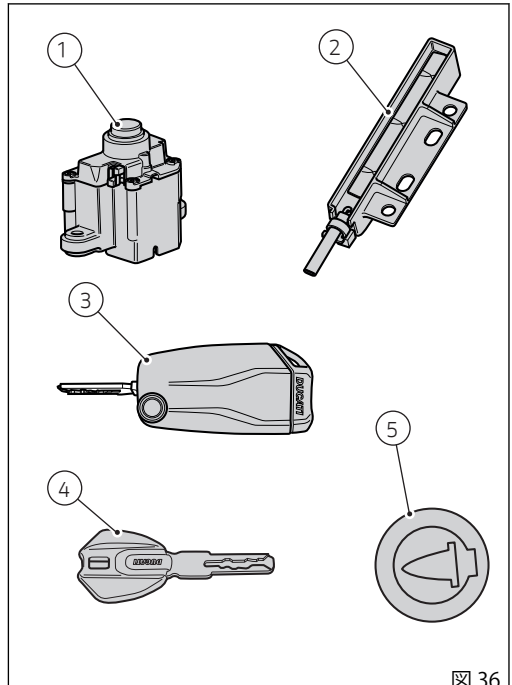


図 36

重要

Hands Free システムの正常な機能に影響を与える状況。

以下に記載する状況においては、リモコンが適切に機能しない場合があります。

- テレビ塔、ラジオ局、発電所、ガソリンスタンドなど強い電波を発する場所が近くにある時。
- 携帯ラジオや携帯電話などワイヤレス通信機器を持ち運んでいる時。
- 複数のワイヤレスキーが近くにある時。
- ワイヤレスキーに触れるか金属製の物におおわれた時。
- 電波を発するワイヤレスキーが近くで使用された時。
- パソコンなどの電気機器の近くにワイヤレスキーが置かれている時。

(図 37) は Hands Free ブロック (1) の位置を示し、(図 38) は左側テールガード (9) 下のアンテナ (2) の位置を示します。

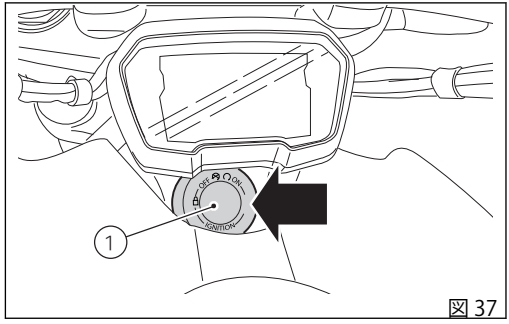


図 37

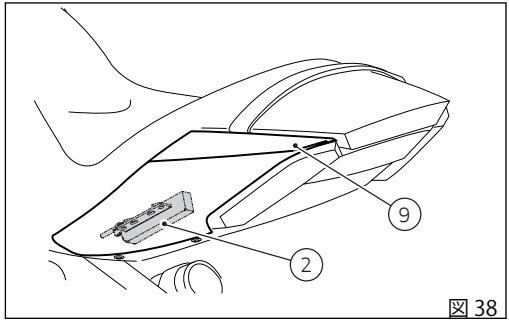


図 38

Hands Free システムの起動 "Key-ON"と停止 "Key-OFF"

Key-ON は Hands Free と全てのエレクトリックデバイスを起動します。
Key-ON するにはハンドルバー右側スイッチのボタン (6)、もしくは Hands Free ブロック (1) の緊急ボタンを使用します。

Key-OFF は Hands Free と全てのエレクトリックデバイスを停止し、エンジンを確実に停止します。
Key-OFF するにはハンドルバー右側スイッチのボタン (6)、もしくは Hands Free ブロックのボタン (1) を使用します。

参考
ハンドルバーのボタン (6) または Hands Free ブロックのボタン (1) は ON/OFF どちらにでも使用することができます。例えば、どちらかで ON にしてもう片方で OFF にすることができ、その反対も可能です。

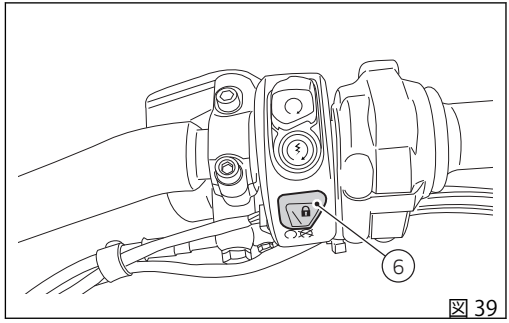


図 39

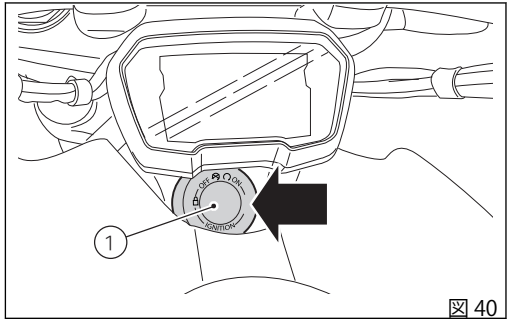


図 40

2 本のキー (3) もしくは (4) のいずれかがあるとき、または PIN CODE を入力して Key-ON することができます。
Key-OFF はキー (3) または (4) がなくても可能です。
Key-OFF するには、走行速度がゼロのときにハンドルバーのボタン (6、図 39) か Hands Free ブロックのボタン (1) を押します。走行速度がゼロでないときの Key-OFF は、Hands Free ブロックのボタン (1) でのみ可能です。

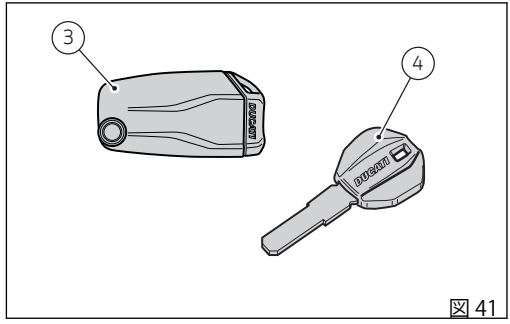


図 41

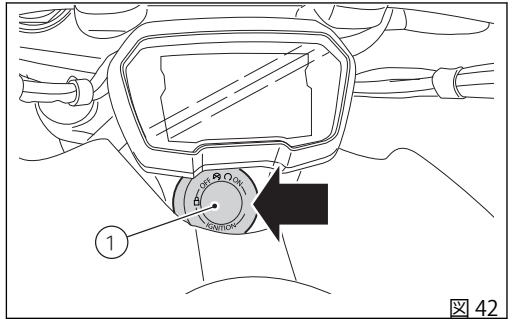


図 42

警告

パッシブキー (4) の作動範囲は半径数センチ (インチ) です。キー (4) を左側テールガード (9) の図に示すアンテナ (2) の近くに置いてください。

重要

アクティブキーは電池が切れるとパッシブキーのように作動します。作動範囲がアンテナ (2) から半径数センチ (インチ) と短くなります。インストルメントパネルはバッテリーの消耗状態を通知します。アクティブキーの電池が切れた場合でも、パッシブキーモードで使用することが可能です。

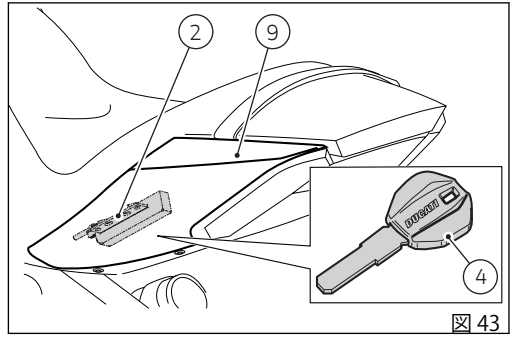


図 43

キー (3) の金属部分 (A) は、フィラープラグを開けるときと、シートおよびバッグのロックに使用します。キー (3) の金属部分 (A) は、ボタン (B) を押すと柄の内側に隠れます。

参考

車両がKey-ON状態にありエンジンが停止しているときにアクティブキー (3) の存在を 15 秒間検知できないと、車両はユーザーが何もしなくても自動的に停止します。

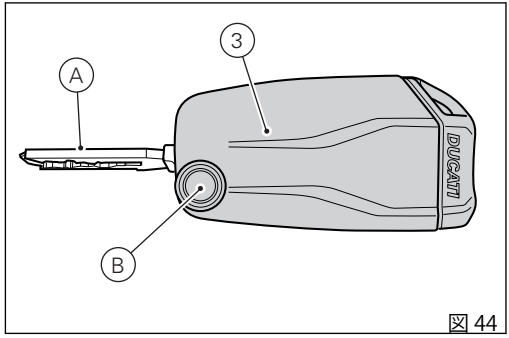


図 44

アクティブキーとハンドルバーのボタンによる Key-ON/Key-OFF

Key-ON するには、アクティブキー (3、図 44) があるときにハンドルバーのボタン (6) を押します。

参考
アクティブキー (3) の作動範囲は半径約 1.5 m です。キーをその圏内に置いてください。

Key-OFF するには、ハンドルバーのボタン (6) を押します。走行速度がゼロであればキー (3、図 44) がなくても Key-OFF が可能です。

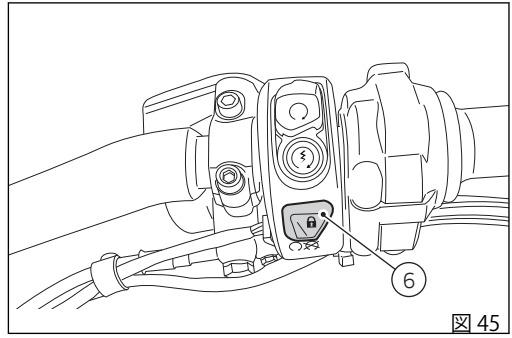


図 45

アクティブキーと Hands Free ブロックのボタンによる Key-ON/Key-OFF

Key-ON するには、アクティブキー (3、図 44) があるときに Hands Free ブロック (1、図 37) のボタン (7) を押します。

参考

アクティブキー (3) の作動範囲は半径約 1.5 m (4.92 ft) です。キーをその圏内に置いてください。

Key-OFF するには Hands Free ブロック (1、 図 37) のボタン (7) を押します。キー (4、 図 41) がなくても Key-OFF が可能です。

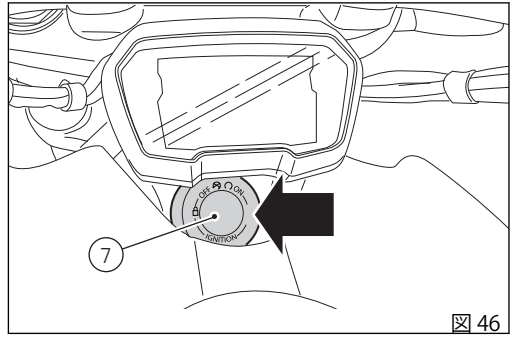


図 46

パッシブキーとハンドルバーのボタンによる Key-ON/Key-OFF

Key-ON するには、パッシブキー (4) があるときにハンドルバーのボタン (6) を押します。

参考

パッシブキー (4) の作動範囲は半径数 cm です。キー (4) をアンテナ (2) の近くに置いてください。

Key-OFF するには、ハンドルバーのボタン (6) を押します。走行速度がゼロであればパッシブキー (4) がなくても Key-OFF が可能です。

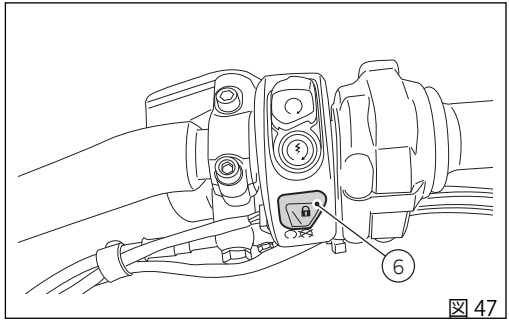


図 47

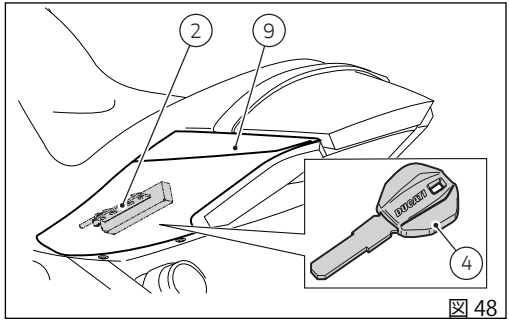


図 48

パッシブキーと Hands Free ブロックのボタンによる Key-ON/Key-OFF

Key-ON するには、パッシブキー (4、 図 52) があるときに Hands Free ブロックのボタン (7) を押します。

警告

パッシブキー (4) の作動範囲は半径数センチ (インチ) です。キー (4) を左側テールガード (9) の図に示すアンテナ (2) の近くに置いてください。

Key-OFF するには Hands Free ブロック (1、 図 40) のボタン (7) を押します。キー (4、 図 52) がなくても Key-OFF が可能です。

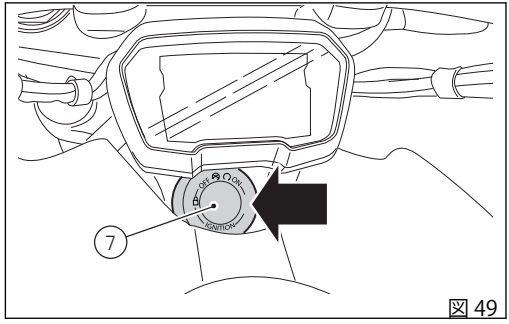


図 49

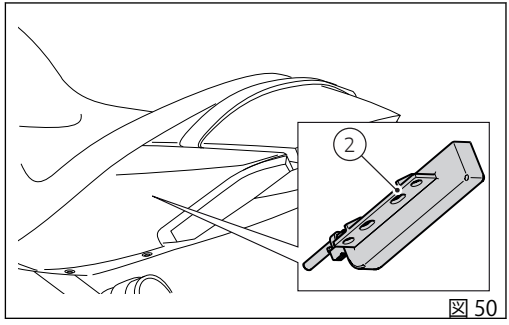


図 50

PIN CODE (イモビライザー解除) による Key-ON/ Key-OFF

キー (3) とキー (4) がないときに Key-ON するには、Hands Free ブロック (1、図 37) のボタン (7) を押し、ダッシュボードで PIN CODE を入力します。
Key-OFF するにはハンドルバーのボタン (6) を押します。
Key-OFF した後、次の Key-ON 時にキーがない場合は PIN CODE を入力します。PIN CODE は車両受取り後にユーザーが入力します。PIN CODE を入力しないとこの機能は有効になりません。Hands Free ボタン (7) を押すと、インストルメントパネルから 4 桁の PIN CODE を入力できるようになります。120 秒以内に PIN CODE を入力してください。この時間が過ぎると、自動的に Key-OFF します。

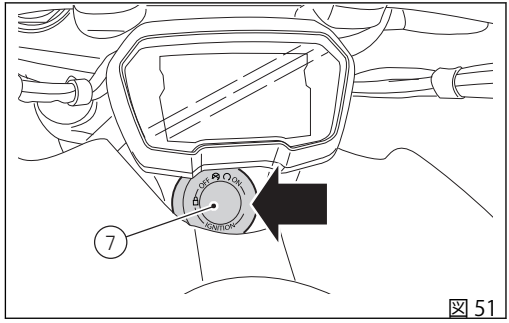


図 51

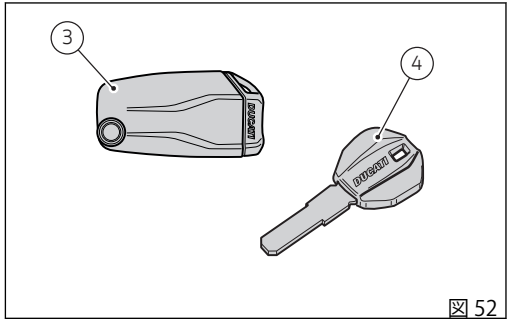


図 52

車両解除のための PIN CODE 入力機能

HF (Hands Free) システムに不具合が生じた場合、この機能を使用して車両を一時的に起動します。
通常の始動ボタンで車両を起動できない場合は、"緊急"Hands Free ボタン (7) を押してこの機能を作動させます。
ボタンを押すと、インストルメントパネルはロック解除コードの入力ページを表示します。
"PIN CODE による車両の解除" 手順を参照してください。

キー

車両には、以下のキーが付属します。

- アクティブキー 1 本 (1)
- パッシブキー 1 本 (2)

これらのキーは、Hands Free システムにおいて複数の方法で Key-ON するためのコードを備えています。

アクティブキー (1) は通常時に使用します。キーについているボタン (A) を押すとキーの金属部分 (B) が外に出ます。
金属部分をボディ内部に押し入れて戻します。

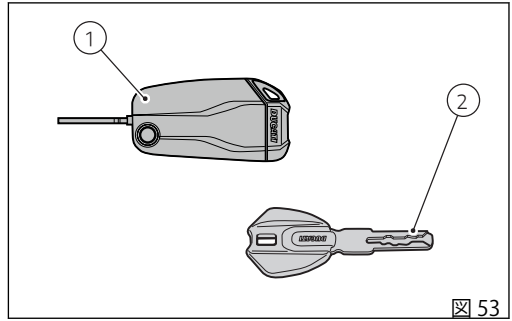


図 53

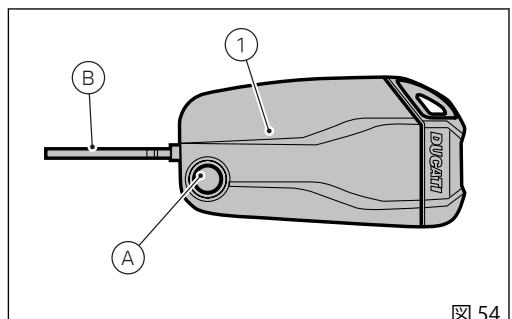


図 54

アクティブキー内部には、バッテリー (3) が内蔵されています。インストルメントパネル起動時に、キーとバッテリーマークの下に "low level" のメッセージが表示される場合はバッテリーを交換する必要があります。

参考

この場合はできるだけ早くバッテリーを交換してください。

バッテリー残量がある程度の限度を下回ると、このキーはパッシブキーモードでのみ作動します。この場合、インストルメントパネルには一切のメッセージが表示されません。

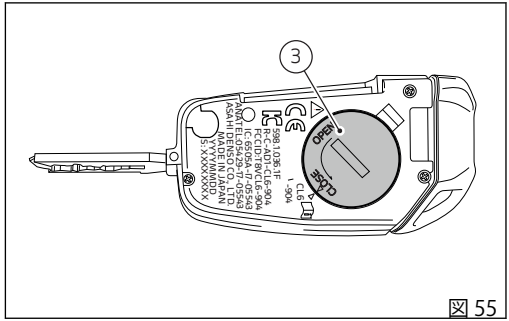


図 55

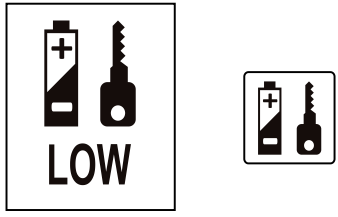


図 56

警告

キー (アクティブキーまたはパッシブキー) をフィラープラグのロックやシートロックに差したまま走行しないでください。途中でキーが抜けて思わぬ事故につながるおそれがあります。また、強い衝撃はキーの機械部分や内部回路に損傷を与える可能性があります。

過酷な気象条件下でキーを挿入したまま走行することも、キー内部の回路に損傷を与える可能性があります。

洗車中にキーを車両の上に放置しないでください。防水対応はしておりませんので、損傷するおそれがあります。

バッテリーの交換

警告
マーク (A) は、キーの電池を取り外す際は充分に注意することを示しています。

警告
電池の誤った取り外しを行うと爆発の危険があります。交換用の電池には、必ず同じ種類の電池もしくは同等品を使用してください。

警告
インストルメントパネル上や直射日光の下など、高温になる場所にキーを置かないでください。

警告
このマーク (B) は、装置に付属する取扱説明書内に使用・メンテナンスに関する重要な指示があることを示します。

参考
交換後のキーの再設定は必要ありません。

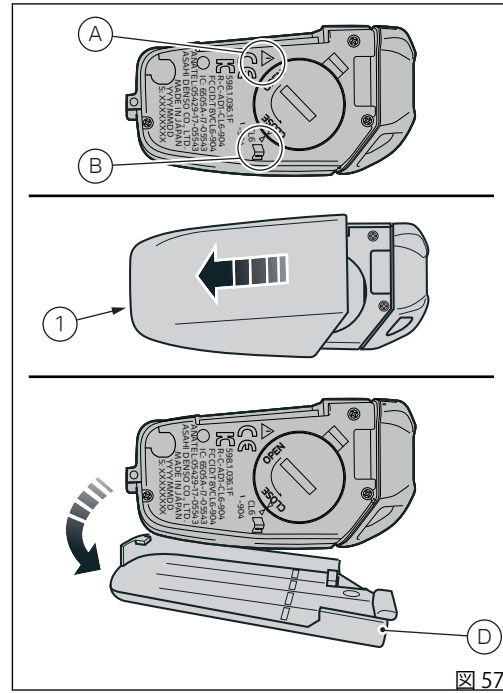


図 57

図に示すように、ボディ裏側のプラスチックカバー (1) を前方に押し、上に持ち上げて取り外します。

プラスチックカバーを外し、バッテリー (3) の溝 (2) のサイズに合った適切なコインを使用して、バッテリーを時計回りに回転させて取り外します (バッテリー上に「OPEN」で示されているように)。
電池 (3) を取り出して、新しい電池と交換します。

警告

電池を飲み込まないでください。化学熱傷のおそれがあります。
この製品にはボタン型電池が含まれています。ボタン型電池を飲み込むと、内臓に重い熱傷を引き起こし、2 時間で死に至るおそれがあります。
万が一ボタン型電池を誤飲したと思われる時や体内に入ったと思われる時は、直ちに医師の診断を受けてください。

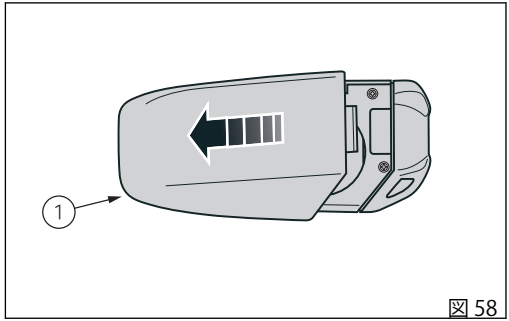


図 58

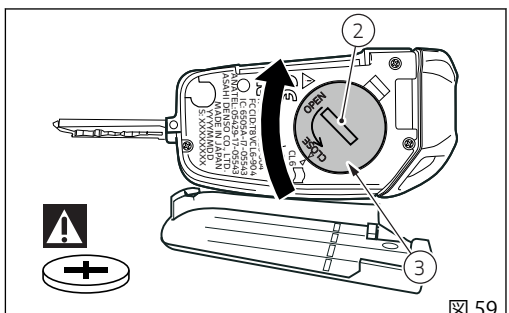


図 59

新しいバッテリー(3)を溝(2)を上に向けて所定の位置に挿入します。
溝(2)のサイズに合った適切なコインを使用して、バッテリー(3)を反時計回りに回転させて固定します(バッテリー上に「CLOSE」で示されているように)。

重要
指定バッテリーのみ、使用してください。

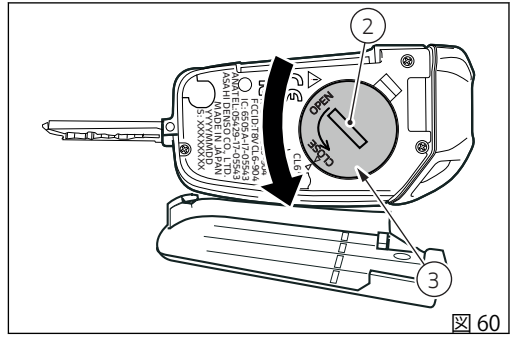


図 60

裏側のプラスチックカバー (1) を図のように軽く押しながら取り付けます。
タブ (D) を取り付け位置に収めます。
カバーがしっかりと閉じられ、キーが確実に閉じていることを確認します。

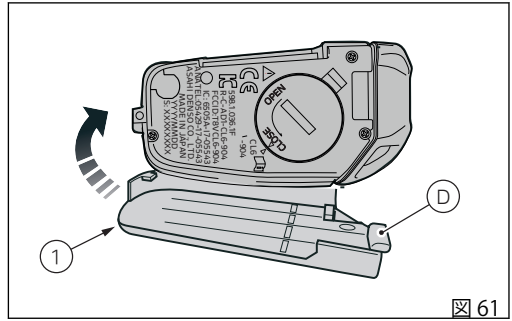


図 61

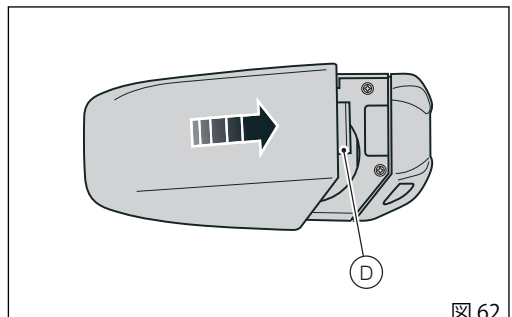


図 62

イモビライザーシステム

盗難防止機能を高めるため、車両にはエンジンをブロックする電子システム (イモビライザー) が装備されており、インストルメントパネルを消す度に自動的に起動します。
各キーボディには電子装置が内蔵されています。この電子装置は車両の起動時にヘッドライトフェアリングに組み込まれた特殊アンテナから送られる信号を変調します。この信号はパスワードの役割を果たし、起動のたびに変更されます。CPU がその "パスワード" によってキーを認識した時にのみエンジンが始動します。

キーの複製

追加のキーが必要な場合は、Ducati アシスタンスネットワークにご連絡ください。その際、お手持ちのすべてのキーをお持ちいただく必要があります。
Ducati アシスタンスネットワークでは新しいキーとお手持ちのキーすべての登録を行います。
Ducati アシスタンスネットワークではお客様に車両の所有者確認をさせていただく場合があります。
登録作業中に提示されなかったキーの暗号はメモリーから削除されます。これは、紛失したキーでエンジンを始動できなくするためです。

PIN Code による車両の解除

キー認識システムの不具合、またはキーの不具合の場合、車両ブロックの一時解除のため PIN CODE の入力ができるようになります。
PIN CODE 機能が起動している場合、インストルメントパネルは枠内に “INSER PIN” の文字と PIN CODE 入力用の 4 つの "0" を表示します。

コードの入力：

1) ボタン (4) を押すと、"0" で表示される 1 桁のみが強調表示されます。
2) ボタン (2) を押す度に数字が "9" までひとつずつ大きくなり (+ 1) 、その後 "0" に戻ります。
3) ボタン (1) を押す度に数字が "1" までひとつずつ小さくなり (- 1) 、その後 "0" に戻ります。
4) ボタン (4) を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 桁すべての数字を決定します。

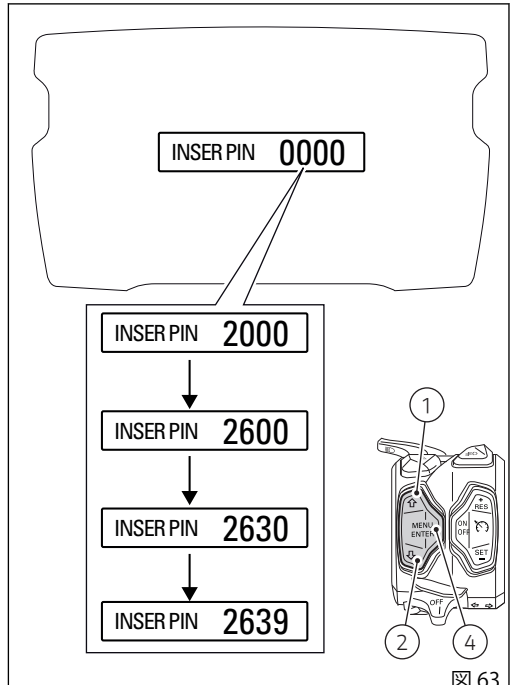


図 63

ボタン (4) を押して 4 桁すべての数字を決定した後、

- PIN CODE が正しくない場合、インストルメントパネルは "PIN CODE WRONG" を 3 秒間表示し、その後再び 4 つの "0" を強調表示します。もう一度 PIN CODE を入力してください。入力可能時間は 2 分間に設定されています。
- PIN CODE が正しい場合は、インストルメントパネルは "PIN CODE CORRECT" を 3 秒間表示し、その後画面はスタンダードスクリーンに戻ります。

重要

車両を起動するために上記のプロセスを踏まなければならない時は、早めに Ducati 正規サービスセンターにご連絡ください。

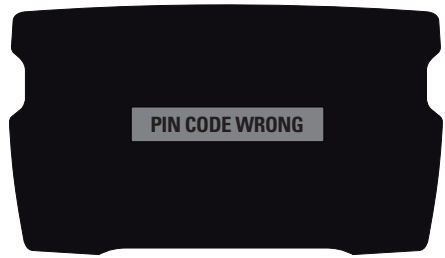


図 64

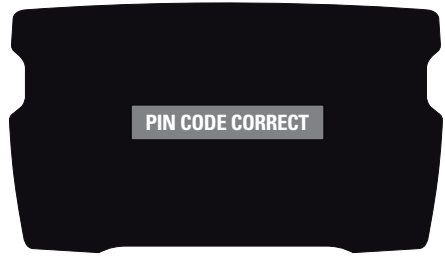


図 65

クラッチレバー

レバー (1) でクラッチの接続を操作します。この機種にはアジャスター (2) がついており、レバーとグリップとの間隔の調整が可能です。レバーの間隔はアジャスター (2) の 10 クリックで調整できます。時計回りに回すとレバーはスロットルグリップから離れます。アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。レバー (1) を操作すると、エンジンの回転がトランスミッションおよび駆動輪に伝わらなくなります。クラッチの適切な操作は、スムーズなライディング、特に発進時に重要です。

警告

クラッチおよびブレーキレバーの調整は停車時に行ってください。

重要

クラッチレバーを正しく操作することで、トランスミッションの損傷を避け、エンジンの寿命を延ばすことができます。

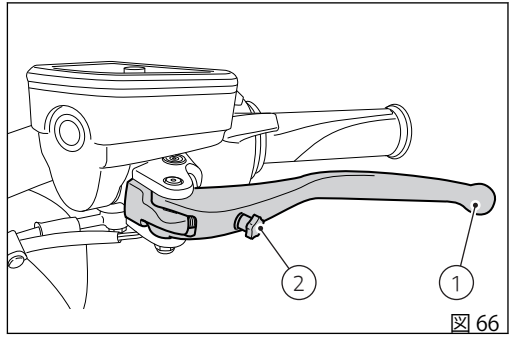


図 66

参考

サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動することができます。ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いた状態で行ってください (この場合は、ギアを入れる前にサイドスタンドを上げてください)。

スロットルグリップ

ハンドルバー右側のスロットルグリップ (1) は、スロットルボディのバルブ開閉を制御します。グリップを離すと、自動的に元の位置 (アイドリング状態) に戻ります。

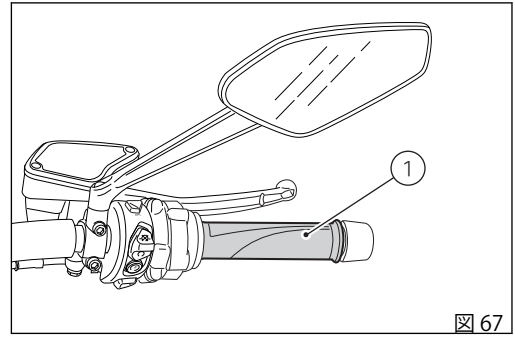


図 67

フロントブレーキレバー

レバー (1) をスロットルグリップの方向へ引くと、フロントブレーキがかかります。このレバーは油圧で作動するため、軽く握るだけで作動します。
コントロールレバー (1) には調整用つまみ (2) が付いており、レバーとグリップとの間隔を調整できます。レバーの間隔はアジャスター (2) の 10 クリックで調整できます。
時計回りに回すとレバーはスロットルグリップから離れます。アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。

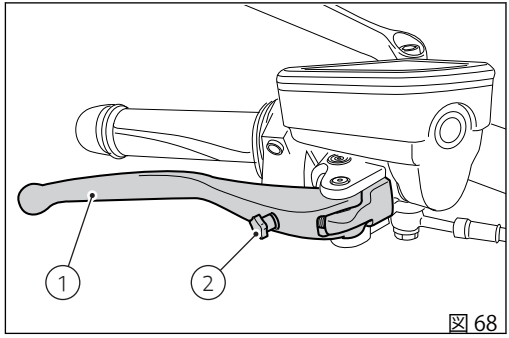


図 68

リアブレーキペダル

リアブレーキをかけるには、ペダル (1) を足で下に押してください。
制御システムは油圧式です。

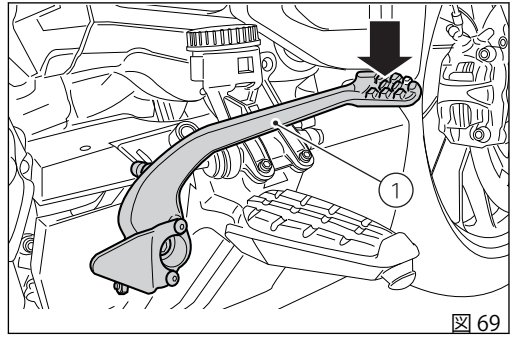


図 69

ギアチェンジペダル

ギアチェンジペダルは中央のニュートラルポジションNに自動的に戻ります。ニュートラルポジションであることはインストルメントパネルのランプNで表示されます。

ペダルは次のように動かせます。

- 下へ＝シフトダウンおよび1速へのチェンジは、ペダルを下に押します。この時、インストルメントパネルのランプNが消えます。
- 上へ＝ペダルを上へ上げることで、2速から順次3、4、5、6速へとチェンジします。

一回の操作が一速分のチェンジに相当します。

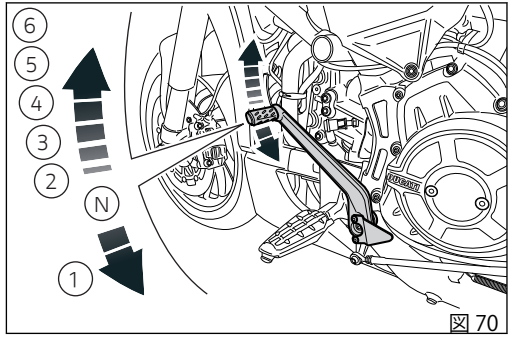


図 70

ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの調整

参考

車両に対するギアチェンジペダルの位置を変更することができます。この調整を行う場合は、ディーラーまたはドゥカティ正規サービスセンターにお問い合わせください。

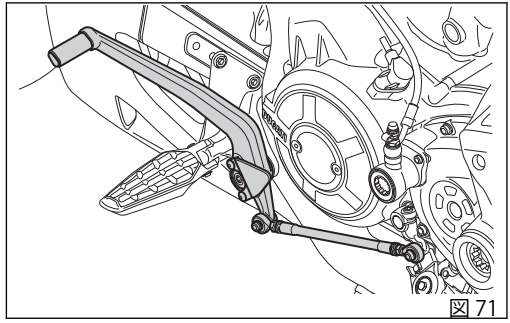


図 71

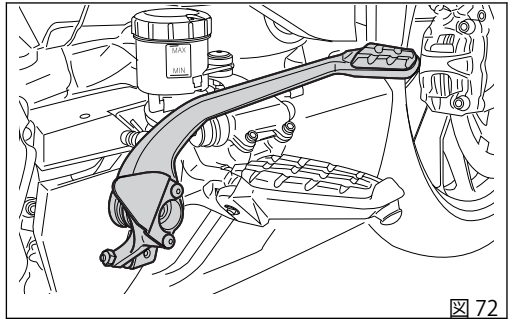


図 72

運転の方法

慣らし運転の方法

エンジン最高許容回転数

慣らし運転期間中および通常使用においてのエンジン最高許容回転数：
1) 1,000 km (621 mi) まで
2) 1,000 km (621 mi) ～ 2,500 km (1,553 mi)

1,000 km (621 mi) まで

最初の 1,000 km (621 mi) まではタコメーターに注意し、5,500～6,000 rpm を決して超えないようにしてください。
最初の数時間は、規定回転数の範囲内でエンジン負荷と回転数を色々変えて走行することをお勧めします。
エンジン、ブレーキ、サスペンションのより効果的な慣らしには、カーブが多く起伏に富んだ場所を走行することが理想的です。
最初の 100 km (61 mi) は、ブレーキディスクにパッドをよく慣らすために、優しくブレーキをかけ、急なブレーキングや長いブレーキングは避けてください。
すべての機械部分を互いに馴染ませるため、またエンジンの主要部分の寿命に悪影響を及ぼさないために、急な加速や、特に上り坂での長時間にわたるエンジン高回転は避けてください。
ドライブベルトは頻繁に点検を行ってください。

走行前の点検事項

警告

走行前にこれらの点検を怠ると、車両に損傷を与え、ライダーやパッセンジャーを危険に晒すおそれがあります。

走行前に以下の点検を実施してください。

- タンク内の燃料量
  タンク内の燃料の残量を確認します。必要であれば給油してください (「燃料の補給」を参照してください)。
- エンジンオイル量
  点検窓からオイルパン内のレベルを点検します。必要であれば補充してください (「エンジンオイルレベルの点検」を参照してください)。
- ブレーキおよびクラッチフルード量
  各フルードタンクのフルードレベルを点検してください (「ブレーキ/クラッチフルードレベルの点検」を参照してください)。
- クーラント量
  リザーバータンク内のクーラントレベルを点検します。必要であれば補充してください (「クーラントレベルの点検および補充」を参照してください)。
- タイヤコンディション
  タイヤ空気圧と摩耗度を点検します (「チューブレスタイヤ」をご覧ください)。
- コマンド機能
  ブレーキ、クラッチ、スロットルグリップ、ギアチェンジレバーまたはペダルを作動させて機能を確認します。
- ランプ類、インジケーター
  ランプ、インジケーター、警告ホーンが正しく機能するかを確認します。電球が切れている場合には交換してください (「ヘッドライト電球の交換」を参照してください)。
- ロック類
  フィラープラグのロックを点検します (「燃料フィラープラグ」を参照してください)。
- サイドスタンド
  サイドスタンドがスムーズに作動し、適切な位置にあるかを確認します (「サイドスタンド」を参照してください)。

ABS ランプ

key-on 後、ABS ランプ(10、「インストルメントパネル」参照)は点灯し続けます。
走行速度が 5 km/h (3.12 mph) を越えた時点でランプが消灯し、ABS システムが正常に作動していることを示します。

警告
異常が見つかった場合は車両の使用を中止し、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

ABS 装置

フロントフォニックホイール (1) とリアフォニックホイール (2) が汚れていないことを確認します。

警告
汚れなどが付着して読み取り窓が詰まっていると、システムが正常に機能しないおそれがあります。泥道を走行する時には ABS システムがうまく機能しない場合があります。システムを OFF にしておくことをお勧めします。

警告
ウィリー走行を長く続けると、ABS システムが停止してしまうおそれがあります。

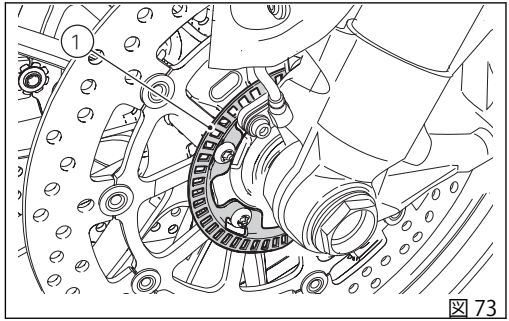


図 73

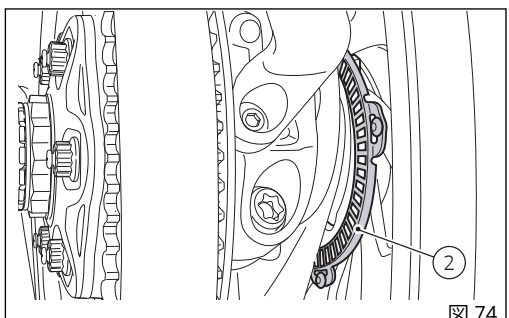


図 74

エンジンの 始動 / 停止

警告
エンジンを始動する前に、運転に必要なコマンド類の取り扱いに十分慣れておいてください。

警告
屋内では絶対にエンジンをかけないでください。排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さらには死に至る危険性があります。

アクティブキーまたはパッシブキーがあることを確認します。ハンドル右側の赤色スイッチ (1) を上に動かして 車両を "Key-ON" (Hands Free システムとすべての電子デバイスの起動) し、ボタン (2) を押します。インストルメントパネルは初期化と車載システムの点検を開始し、下から上の順に全ての警告ランプを数秒間点灯します。この点検の後、緑色のランプ (3) と赤色のランプ (4) のみが点灯します。

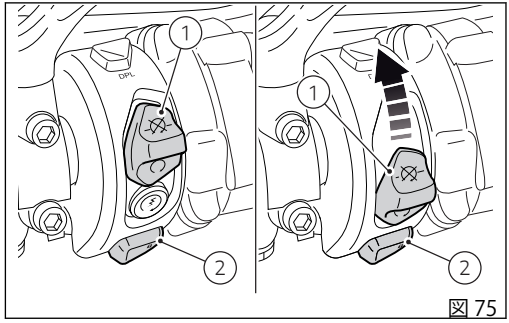


図 75

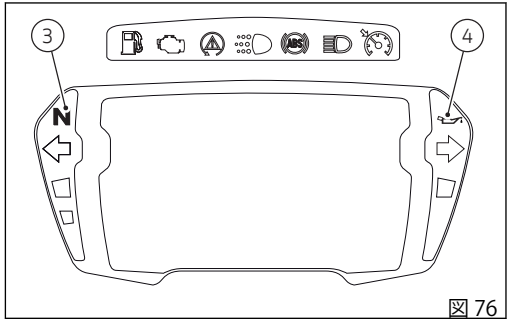


図 76

警告

サイドスタンドが完全に上げられて(水平)いない場合は、安全センサーが作動してエンジンを始動することはできません。

Key-ON してもエンジンを始動していない状態で 10 秒間アクティブキーが感知できないと、システムは自動的に Key-OFF します。

参考

サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動させることができます。または、ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いたままの状態で始動させてください(この時サイドスタンドは上がっていなければなりません)。

ボタン (5) が見えるように、赤色スイッチ (1) を上に動かします。ボタン (5) を押してエンジンを始動します。

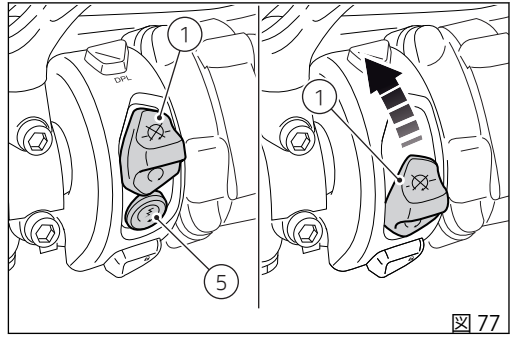


図 77

重要

エンジン冷間時は回転数を上げすぎないでください。潤滑が必要なすべての部分にオイルを行き渡らせるために、エンジンが温まるまで待ってください。

警告

停車して長時間エンジンをかけたままにしていると、冷却が十分に行えないためにオーバーヒートによる損傷につながるおそれがあります。停車した状態で、不必要にエンジンをかけ続けないでください。エンジンの始動後は、速やかに発進してください。

オイル圧警告灯の赤色ランプ (4、 図 76) はエンジン始動後数秒で消灯します。
ハンドルの赤色スイッチ (1) を RUN OFF に合わせてエンジンを停止します。Hands Free システムとすべての電子デバイスの起動に関しては、ページ 58 の "Hands Free システム" も参照してください。

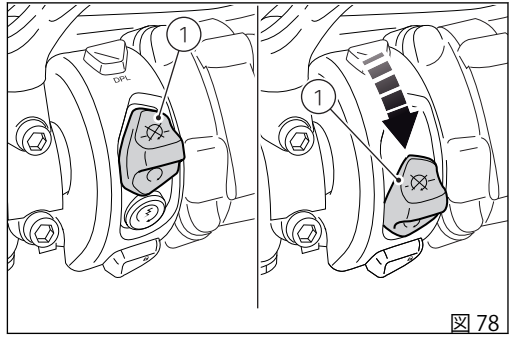


図 78

重要

Hands Free システムの正常な機能に影響を与える状況。

以下に記載する状況においては、リモコンが適切に機能しない場合があります。

- テレビ塔、ラジオ局、発電所、ガソリンスタンドなど強い電波を発する場所が近くにある時。
- 携帯ラジオや携帯電話などワイヤレス通信機器を持ち運んでいる時。
- 複数のワイヤレスキーが近くにある時。
- ワイヤレスキーに触れるか金属製の物におおわれた時。
- 電波を発するワイヤレスキーが近くで使用された時。
- パソコンなどの電気機器の近くにワイヤレスキーが置かれている時。

(図 79) は Hands Free ブロック (7) の位置を示し、(図 80) はアンテナ (6) の位置を示します。

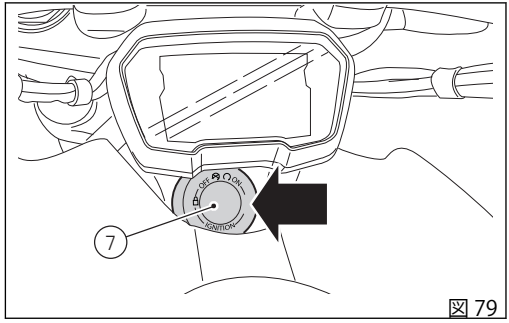


図 79

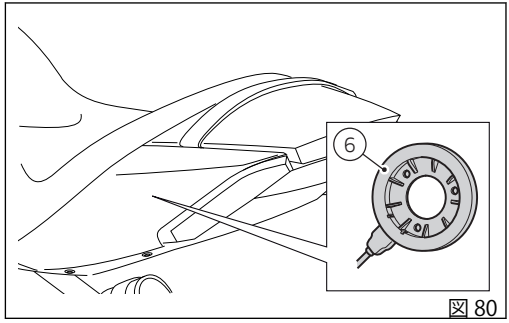


図 80

車両の発進

1) サイドスタンドを水平位置まで上げます。
2) クラッチレバーを引いてクラッチを切ります。
3) ギアチェンジペダルをつま先でしっかりと押し下げてギアを 1 速に入れます。
4) スロットルグリップを回してエンジンの回転数を上げ、同時にクラッチレバーを徐々につなぐと車両は発進し始めます。
5) クラッチレバーを完全に放し、エンジンの回転数を上げます。
6) シフトアップするには、スロットルを戻してエンジン回転を落とします。クラッチを切り、ギアチェンジペダルを上げ、クラッチをつなぎます。シフトダウンは次のように行います。スロットルグリップを放し、クラッチレバーを引いてから、ギアを同調させやすくするためにエンジンを軽くふかしてシフトダウンし、クラッチレバーを放します。

これらの操作は適切に素早く行ってください。上り坂を走行する際には、車速が落ちてきたら直ちにシフトダウンし、車両への異常なストレスやエンジンのノッキングを避けてください。

警告

急な加速操作は、オーバーフローやトランスミッション機構のスナッチングを招くおそれがありますので避けてください。走行中にクラッチレバーを引いた状態が続くと、摩擦機構の過熱や異常な摩耗を引き起こすおそれがありますので避けてください。

警告

ウィリー走行を長く続けると、ABS システムが停止してしまうおそれがあります。

ブレーキ操作

時間に余裕を持って減速し、シフトダウンしてエンジンブレーキを使用し、両方のブレーキを操作してブレーキをかけます。車両が停止する前にクラッチを握り、エンジンが急に切れないようにします。

ABS システム

困難な条件下でのブレーキ操作は、非常に慎重に行わなければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだり事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっています。フロントホイールがロックされると、グリップによるバランス力を失うため車両のコントロールを失います。

アンチロックブレーキシステム (ABS) は、緊急時や悪路、悪天候下での走行時にブレーキ性能を最も効果的に発揮させるために開発されたものです。

ABS は電子制御油圧システムです。ホイール上のセンサーから送られた信号をコントロールユニットが分析し、いずれかのホイールがロックしそうであることを検知すると、ブレーキ回路内の油圧を制御します。この場合には、ブレーキ回路内の油圧を低下させることでホイールを回転させ続け、路面とのグリップを最適に維持します。

続いて、コントロールユニットはブレーキ回路内の油圧を戻してブレーキをかけます。問題が完全に解消されるまで、このサイクルを繰り返します。

ブレーキング時 ABS が作動状態に入ると、ブレーキレバーとブレーキペダルに軽く振動する抵抗が感じられます。フロントブレーキシステムとリアブレーキシステムの制御は別々に行われます。

XDiavel S が搭載する ABS システムは、車両を倒した状態においても ABS 機能が作動する「コーナリング」機能も備えます。この機能は、車両の傾斜角度に応じてフロントブレーキとリアブレーキに作用します。車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で、車輪のロックおよびスリップを防止することを目的としています。

インストルメントパネルを操作し、システムを解除したいライディングモード内でレベル OFF を選択すれば、システムの解除が可能です。

警告

2 つあるブレーキコマンドの片方だけを使用すると、車両のブレーキ性能が低下します。
急激に過度の力を掛けてフロントブレーキコマンドを操作しないでください。後輪が浮き上がり (リフトアップ)、車両のコントロールを失うおそれがあります (ABS 搭載の場合でも)。
雨天時や滑りやすい路面の走行時はブレーキ力が著しく低下します。このようなコンディションでは慎重に優しくブレーキ操作をしてください。急ブレーキを掛けると車両のコントロールを失う危険があります。
長く急な下り坂を走行する際にはシフトダウンしてエンジンブレーキを使用し、ブレーキは短く断続的に使用するようにしてください。ブレーキを長時間連続して使用すると、ブレーキパッドの過熱やベーパーロック (ブレーキフルードの過熱) を招き、ブレーキ性能の著しい低下の原因となります。
規定空気圧に満たないタイヤ、もしくは規定空気圧を超えるタイヤでの走行はブレーキ性能を低下させるだけでなく、正確な運転とカーブでの安定性を損ないます。

車両の停止

スロットルグリップを緩めると、車両は徐々にスピードを落とし始めます。シフトダウンしながら 1 速まで落とし、最後にニュートラルに入れます。
ブレーキをかけると、車両を完全に停止することができます。
赤色スイッチ (1) を下に動かし、エンジンを停止します。
ボタン (2) を押して車両を Key-OFF します。

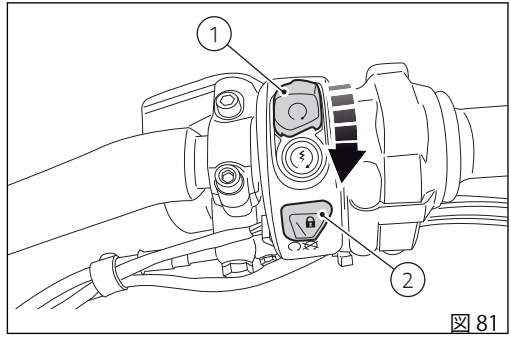


図 81

パーキング

停止車両をサイドスタンドで支えて駐車します。ハンドルを左か右にいっぱいに切ります。エンジンを切ってから 60 秒以内にこの動作を行うと、ステアリングロックを起動することができます。
ステアリングロックを起動させたい場合は、ステアリングを左か右にいっぱいに切った状態でボタン (1) を 3 秒間押し続けます。1 秒後、インストルメントパネルには "KEEP PRESSED TO LOCK" のメッセージが 2 秒間表示され、その後ステアリングロックがかかります。

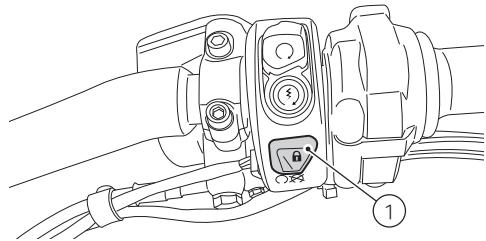


図 82

図 83

3 秒後にステアリングロックが正常にかかると、インストルメントパネルには "STEERING LOCKED" のメッセージが表示されます。
ロックがかからない場合は、ドゥカティ正規サービスセンターにご連絡ください。

警告
エンジン停止後でもエキゾーストユニットは高温の場合があります。身体が触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにしてください。

警告
発進を妨げるタイプの盗難防止用ロック (ディスクロック、リアスプロケットロック等) は大変危険です。車両の機能だけでなく、ライダーとパッセンジャーの安全をも損なうおそれがあります。

警告
エンジン停止後でもエンジン、エキゾーストパイプ、サイレンサーは高温な状態が続きます。身体が触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにしてください。エンジンとエキゾーストシステムが高温の間は、カバーシートが破損するおそれがありますので、バイクをカバーしないでください。

図 84

検出キーなしの表示 (Key-OFF 時)

この機能は、キーを検出できなかったためにステアリングロックを作動することができないことを通知します。
ディスプレイには “NO KEY DETECTED” が表示されます。

図 85

燃料の補給

給油の際、燃料の入れすぎに注意してください。燃料レベルはフィラープラグが収まる給油口より低くなければなりません。

警告

極端な場合には、キャップを開ける時にタンク内の圧力によって燃料が噴き出る可能性があります。
キャップを開ける時は十分注意して、ゆっくりと開けるようにしてください。
キャップを開けている時にシューという音が聞こえたら、音が聞こえなくなるのを待ってからキャップを完全に開けてください。
このノイズは燃料タンク内の圧力が外に逃げている時に鳴る音です。音がしなくなったということは、残っていた圧力が完全に外へ逃げたことを意味します。
上記のような状況は、特に暑い気候の時に起こりやすくなります。

警告

オクタン価が 95 以上の鉛含有量の低い燃料を使用してください。

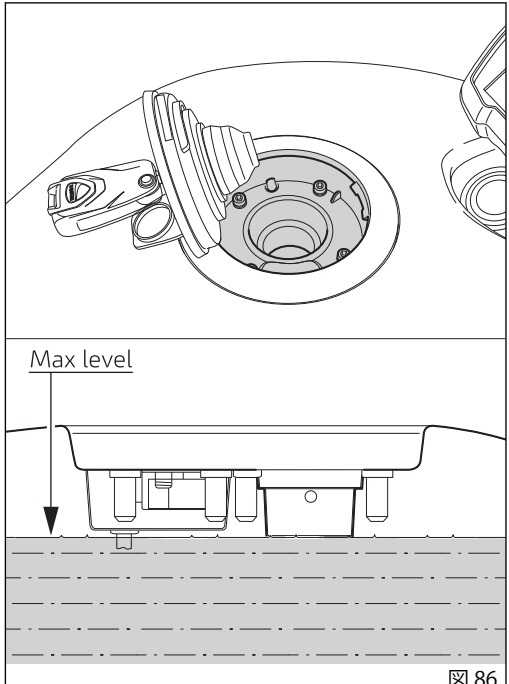


図 86

警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。
エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

付属アクセサリー

パッセンジャーシート下のボックス (1) には、オーナーズマニュアル、ツールキット (2) が収納されています。ツールキットには次のものが含まれています。

- ヒューズ用ピンセット
- ヘルメット盗難防止ケーブル
- ドライバー
- ドライバーのハンドル
- パイプレンチ 14/16 mm (0.55/0.63 in)
- スパナ 8/10 mm (0.31/0.39 in)
- 六角レンチ 3 mm (0.12 in)
- 六角レンチ 5 mm (0.20 in)
- 六角レンチ 6 mm (0.24 in)

ツールキットを取り出すには、シートを取り外します 。

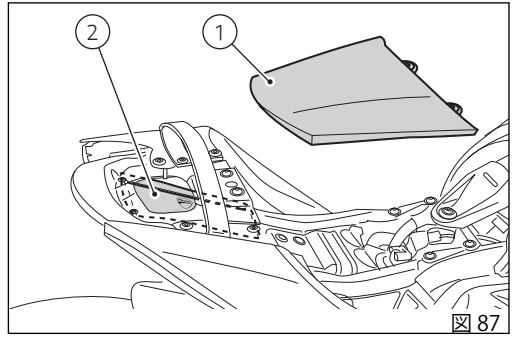


図 87

以下の付属部品の取り付けは、必ず Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

- パッセンジャーバックレストキット

警告

車両のバックレスト (B、図 88)には絶対に座らないでください。これは単なるサポートであってシートの延長ではないため、パッセンジャーの体重を支える機能はありません。
同乗する人の体重が常にパッセンジャーシート (A、図 88) に留まり、車両のバックレスト (B、図 88) の中心からずれないようにすることが重要です。

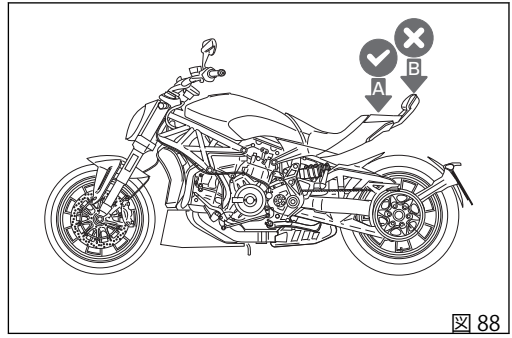


図 88

インストルメントパネル (ダッシュボード)

インストルメントパネル

1) ディスプレイ
2) ニュートラルランプ N (緑)
ギアポジションがニュートラルの時に点灯します。
3) クルーズコントロールランプ (緑)
クルーズコントロールシステムの作動時に点灯します。
4) ハイビーム表示灯 (青)
ハイビーム点灯時およびフラッシュ起動時に点灯します。
5) リザーブ燃料警告灯 (琥珀色)
燃料レベルがリザーブ状態になると点灯します (「補給」をご覧ください)。
6) ターンインジケーター表示灯 (緑)
ターンインジケーターを ON にすると点滅します。
7) エンジンオイル圧警告灯 (赤)
エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。
"KEY-ON" 時に点灯しますが、エンジンを始動してから数秒後に消灯します。エンジン温度が高い時に、場合によって数秒間点灯することがありますが、回転数が上がると消灯します。

重要
エンジンオイルランプが点灯し続ける場合は、エンジンが破損するおそれがありますので車両を使用しないでください。

8) DTC ランプ (琥珀色)
DTC システムの起動または解除を表示します。

走行速度 5 km/h (3 mph) 以下		
ランプ OFF	点滅	点灯
DTS 機能作動中	初期化中または性能制限中により、DTC は起動しているがまだ作動していない	BBS コントロールユニット不具合のため、DTC は解除されているか作動していない
走行速度 5 km/h (3 mph) 以上		
ランプ OFF	点滅	点灯
DTS 機能作動中	DTC は起動しているが、システムの異常により性能が制限されている	BBS コントロールユニット不具合のため、DTC は解除されているか作動していない

9) "エンジン/車両診断 - MIL" ランプ (琥珀色)

- エンジンマネジメントエラーが発生すると警告灯が点灯します。急な加速や追い越し運転は避け、Ducati 正規サービスセンターまでゆっくりと走行し、故障の修理をご依頼ください。
- 警告灯が点滅するときは、排出ガスに重大なエラーが発生しているため、触媒コンバーターを損傷するおそれがあることを通知しています。可能であれば Ducati 正規サービスセンターまで車両の運搬を依頼し、サービスセンターに故障の修理をご依頼ください。いずれの場合も、急な加速や追い越し運転は避けてゆっくりと走行してください。

10) ABS ランプ (琥珀色)
ABS 機能の状態を示します。

走行速度 5 km/h (3 mph) 以下		
ランプ OFF	点滅	点灯
-	初期化中であるか IMU コントロールユニットに異常が発生したため、ABS は起動しているがまだ作動していない	ABS コントロールユニット不具合のため、ABS は解除され作動していない
走行速度 5 km/h (3 mph) 以上		
ランプ OFF	点滅	点灯
ABS 機能作動中	ABS は起動しているが、IMU コントロールユニットが異常を検知	ABS コントロールユニット不具合のため、ABS は解除され作動していない

11) 一般的エラー警告灯 (琥珀色)
車両に関連するエラーがあると点灯、エンジンコントロールユニットとは異なるコントロールユニットに起因するエラーに対して点灯します。

12) OVER REV / DTC 介入 / イモビライザー停止 (赤)

	DTC
介入なし	ランプ OFF
点火の進角カット	ランプ ON
燃料噴射カット	ランプ ON

	Over rev
介入なし	ランプ OFF
第一起点値 (リミッターに到達前 N RPM)	ランプ ON
リミッター	ランプ ON 点滅

参考
エンジンコントロールユニットの各キャリブレーションで起点値とリミッター値の設定が異なる場合があります。

	イモビライザー
車両 KEY-ON	ランプ OFF
車両 KEY-OFF	ランプ ON 点滅
1 時間以上車両 KEY-OFF	ランプ OFF

13) DRL ランプ (緑)
DRL の状態を示します (中国、カナダバージョンには装備されません)。

	DRL
機能していない	ランプ OFF
機能している	ランプ ON
機能しているがエラーが存在する	ランプ ON 点滅

重要
ディスプレイに "TRANSPORT MODE" の文字が表示されている場合は、直ちにドゥカティ正規ディーラーにご連絡ください。正規ディーラーにてこの項目を削除し、バイクの完全な機能の保証を受けてください。

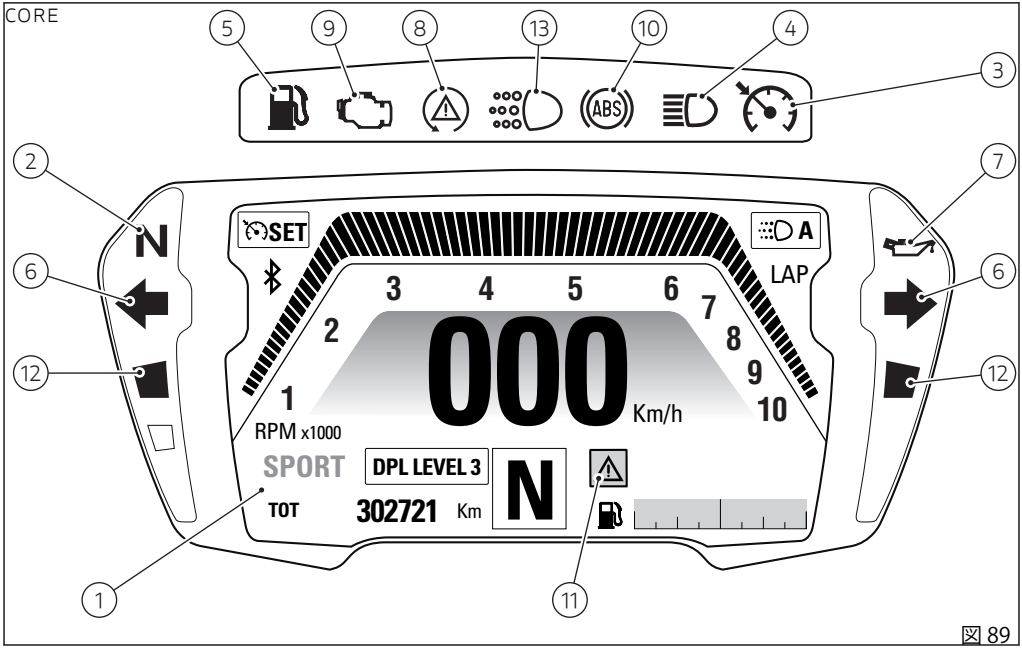

CORE
5
9
8
13
10
4
3
2
7
6
6
12
12
1
11
SET
A
LAP
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
000
Km/h
RPM x1000
SPORT
DPL LEVEL 3
N
TOT
302721
Km

図 89

パラメーターの設定 / 表示

起動時、インストルメントパネルに DUCATI のロゴが表示され、LED ランプが 2 ステップで点灯します ("初期点検")。
点検が終了すると、インストルメントパネルはすべてのライディングモードにおいてデフォルト設定である CORE モードでメイン画面を表示します。
表示モードは設定メニューの INFO MODE 機能から変更することができます。

点検中に車両速度が 10 km/h (6 mph) (実速度) を超えると、インストルメントパネルは以下の点検を中断します。

- ディスプレイの点検。更新情報をスタンダードスクリーンに表示します。
- 警告灯の点検。その時点で実際に起動しているもののみ点灯します。

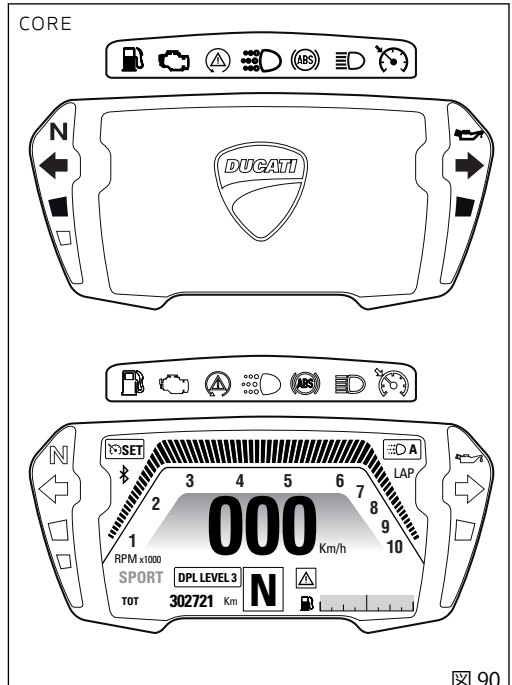


図 90

メインスクリーンのレイアウトには次の４種類があります。CORE、TRACK、FULL、CITY。

CORE 表示モードのメインスクリーンには以下の情報が表示されます。

1) タコメーター (RPM)
2) 車両スピード
3) ギア表示
4) 設定ライディングモード (Riding Mode)
5) 燃料レベル
6) メニュー１：オドメーター、クーラント温度、トリップメーター1、トリップメーター2、航続可能距離、平均燃費、瞬間燃費、平均速度、トリップタイム、外気温
7) Bluetooth 表示
8) DRL ステータス (オート / マニュアル)
9) DPL (ローンチコントロール) レベル表示：ローンチコントロール時のみ。
10) クルーズコントロール表示
11) LAP

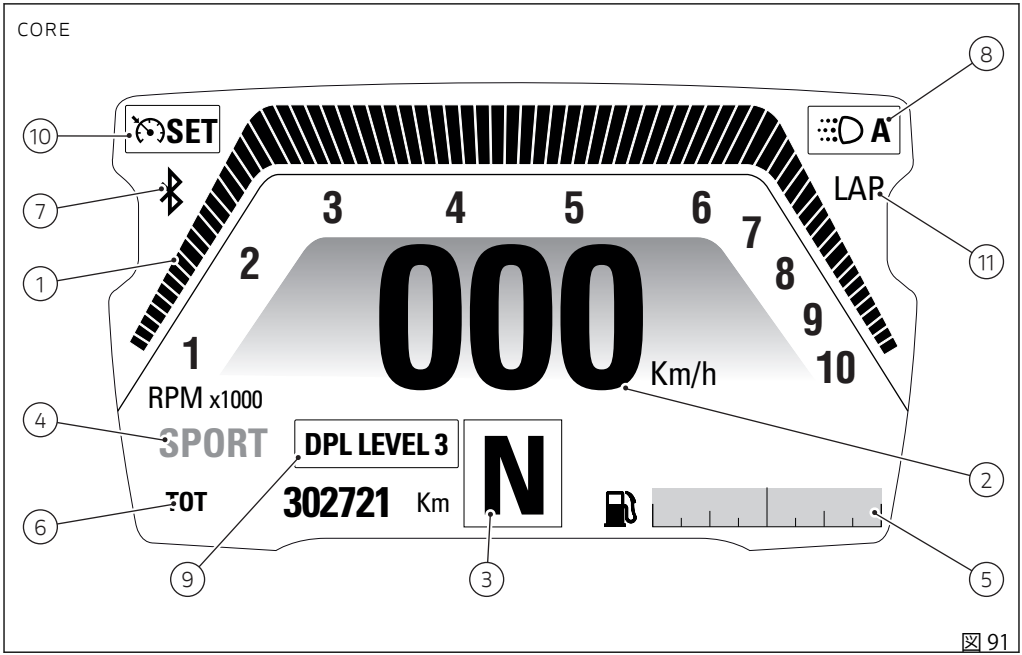

CORE
SET
A
LAP
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
000
Km/h
RPM x1000
SPORT
DPL LEVEL 3
N
TOT
302721
Km
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

図 91

TRACK 表示モードのメインスクリーンには以下の情報が表示されます。

1) タコメーター (RPM)
2) 車両スピード
3) ギア表示
4) 設定ライディングモード (Riding Mode)
5) DTC レベル
6) ABS レベル
7) メニュー 1：オドメーター、LAP (起動している場合のみ)、クーラント温度、トリップメーター 1、トリップメーター 2、航続可能距離、平均燃費、瞬間燃費、平均速度、トリップタイム、外気温
8) クルーズコントロール表示
9) Bluetooth 表示
10) DRL ステータス (オート / マニュアル)
11) DPL (ローンチコントロール) レベル表示：ローンチコントロール時のみ。
12) LAP

TRACK

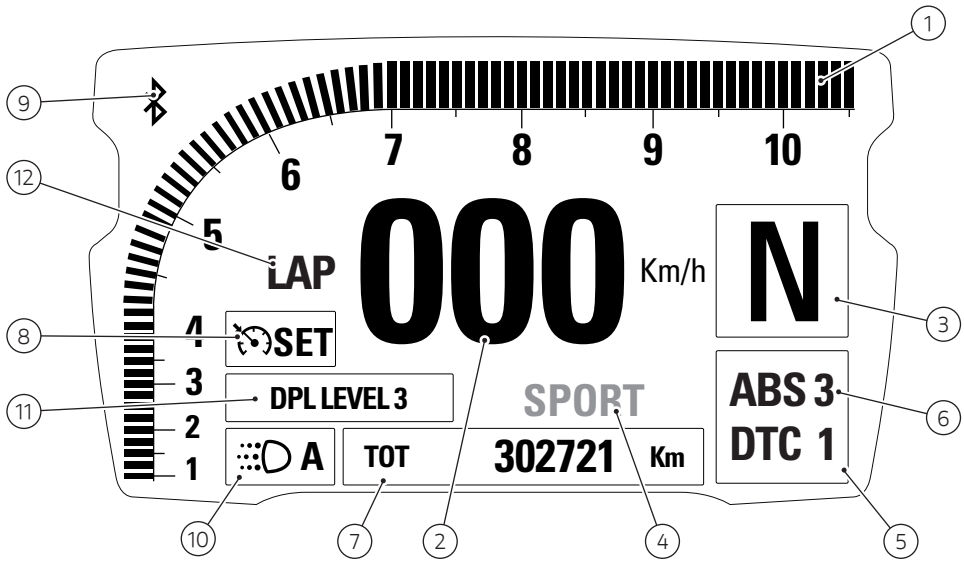

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
6
7
8
9
10
5
4
3
2
1
LAP
000
Km/h
N
SET
DPL LEVEL 3
SPORT
ABS 3
DTC 1
A
TOT
302721
Km

図 92

FULL 表示モードのメインスクリーンには以下の情報が表示されます。

1) タコメーター (RPM)
2) 車両スピード
3) ギア表示
4) 設定ライディングモード (Riding Mode)
5) 燃料レベル
6) 時計
7) メニュー 1：オドメーター、クーラント温度、プレーヤー On / Off (Bluetooth モジュールが搭載されており、最低 1 台のスマートフォンが接続されている場合のみ)、航続可能距離、トリップメーター 1、トリップメーター 2
8) メニュー 2：平均燃費、瞬間燃費、平均速度、トリップタイム、外気温
9) クルーズコントロール表示
10) Bluetooth 表示
11) インフォテインメント：スマートフォン接続、ヘルメット 01 接続、ヘルメット 02 接続、ナビゲーター接続
12) DRL ステータス (オート / マニュアル)
13) DPL (ローンチコントロール) レベル表示：ローンチコントロール時のみ。
14) インフォテインメント：メッセージ受信、不在着信
15) LAP

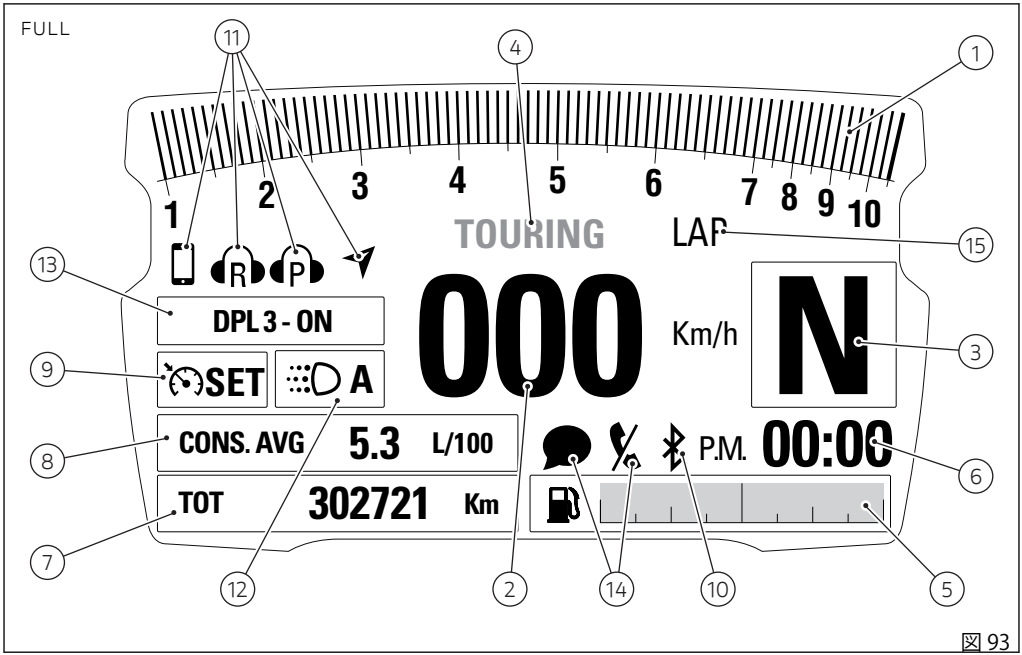

FULL
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
TOURING
LAP
R
P
DPL 3 - ON
SET
A
000
Km/h
N
CONS. AVG
5.3
L/100
P.M.
00:00
TOT
302721
Km
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15

図 93

CITY 表示モードのメインスクリーンには以下の情報が表示されます。

1) 車両スピード
2) ギア表示
3) 設定ライディングモード (Riding Mode)
4) 燃料レベル
5) 時計
6) メニュー 1：オドメーター、クーラント温度、プレーヤー ON / OFF (Bluetooth モジュールが搭載されており、少なくとも 1 台のスマートフォンが接続されている場合のみ)、トリップメーター 1、トリップメーター 2、航続可能距離、平均燃費、瞬間燃費、平均速度、トリップタイム、外気温
7) Bluetooth 表示
8) インフォテインメント：スマートフォン接続、ヘルメット 01 接続、ヘルメット 02 接続、ナビゲーター接続、メッセージ受信、不在着信、プレーヤー + ボリューム、着信コール、トラック名
9) DRL ステータス (オート / マニュアル)
10) クルーズコントロール表示

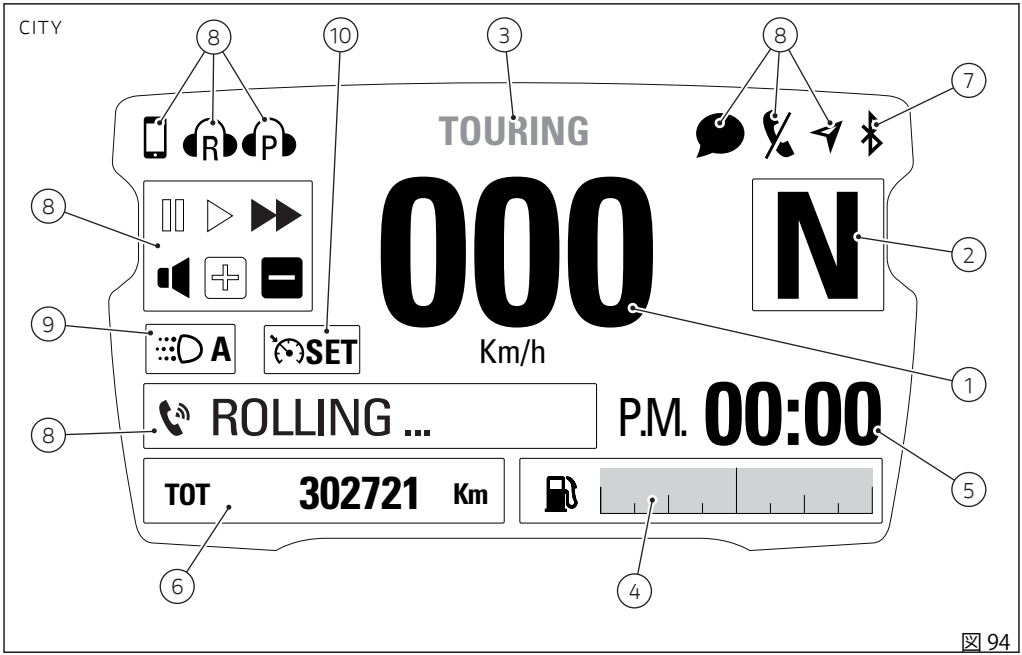

CITY
TOURING
000
Km/h
N
A
SET
ROLLING ...
P.M. 00:00
TOT
302721
Km
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

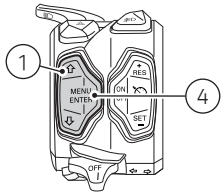
図 94

左側スイッチのボタン (1) を押すと、CORE モードのメインスクリーンにメニュー 1 の情報を表示することができます。

- オドメーター
- エンジンクーラント温度
- TRIP 1
- TRIP 2
- RANGE
- 平均燃費 (CONS AVG)
- 瞬間燃費 (CONS)
- 平均スピード (SPEED AVG)
- トリップタイム (TRIP TIME)
- 外気温 (T-AIR)

CORE

SET
A
LAP
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
000
Km/h
RPM x1000
SPORT
DPL LEVEL 3
N
TOT
302721
Km


1
4
RES
MENU
ENTER
ON
SET
OFF

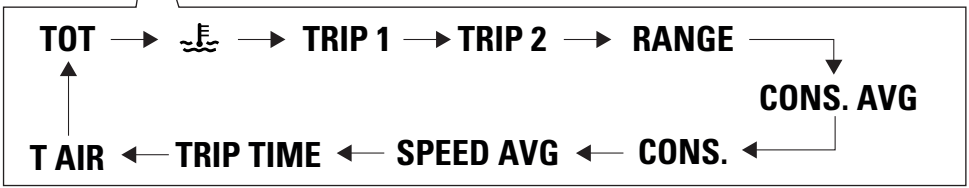

TOT
TRIP 1
TRIP 2
RANGE
CONS. AVG
CONS.
SPEED AVG
TRIP TIME
T AIR

図 95

左側スイッチのボタン (1) を押すと、TRACK モードのメインスクリーンにメニュー 1 の情報を表示することができます。

- オドメーター
- ラップタイム (起動時のみ)
- エンジンクーラント温度
- TRIP 1
- TRIP 2
- RANGE
- 平均燃費 (CONS AVG)
- 瞬間燃費 (CONS)
- 平均スピード (SPEED AVG)
- トリップタイム (TRIP TIME)
- 外気温 (T-AIR)

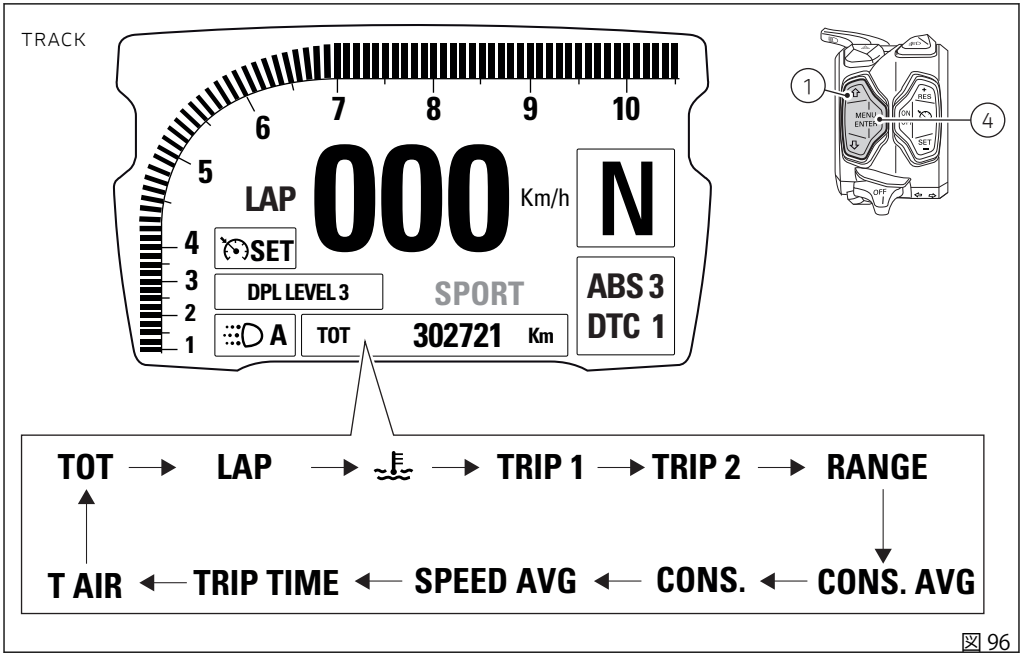

TRACK
6
7
8
9
10
5
4
3
2
1
LAP
000
Km/h
N
SET
DPL LEVEL 3
SPORT
ABS 3
DTC 1
A
TOT
302721
Km
1
4
RES
MENU
ENTER
ON
SET
OFF
TOT
LAP
TRIP 1
TRIP 2
RANGE
CONS. AVG
CONS.
SPEED AVG
TRIP TIME
T AIR

図 96

左側スイッチのボタン(1)を押すと、FULLモードのメインスクリーンにメニュー1の情報を表示することができます。

- オドメーター
- エンジンクーラント温度
- PLAYER ON/OFF (スマートフォン接続時のみ)
- RANGE
- TRIP 1
- TRIP 2

左側スイッチのボタン(2)を押すと、メニュー2の情報を表示することができます。

- 平均燃費 (CONS. AVG)
- 瞬間燃費 (CONS.)
- 平均スピード (SPEED AVG)
- トリップタイム
- 外気温 (T-AIR)

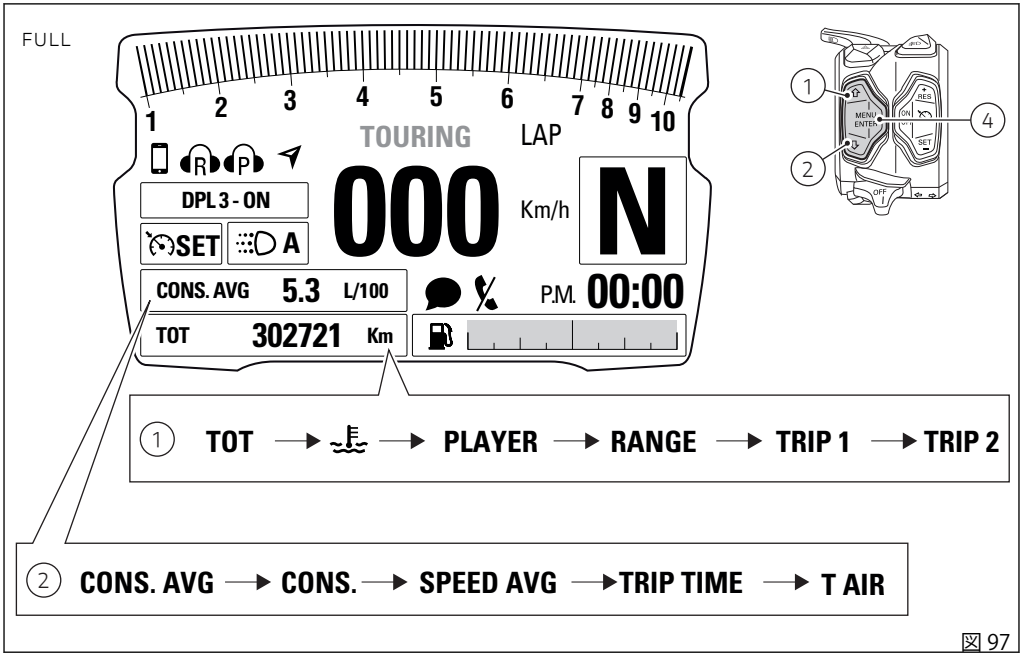

FULL
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
TOURING
LAP
R P
DPL 3 - ON
SET
A
000
Km/h
N
CONS. AVG 5.3 L/100
P.M. 00:00
TOT 302721 Km
1 TOT → → PLAYER → RANGE → TRIP 1 → TRIP 2
2 CONS. AVG → CONS. → SPEED AVG → TRIP TIME → T AIR
1
2
4
MENU ENTER
RES
ON
SET
OFF

図 97

左側スイッチのボタン (1) を押すと、CITY モードのメインスクリーンにメニュー 1 の情報を表示することができます。

- オドメーター
- エンジンクーラント温度
- プレーヤー ON / OFF (Bluetooth モジュールが搭載されており、少なくとも 1 台のスマートフォンが接続されている場合のみ)
- TRIP 1
- TRIP 2
- RANGE
- 平均燃費 (CONS AVG)
- 瞬間燃費 (CONS)
- 平均スピード (SPEED AVG)
- トリップタイム (TRIP TIME)
- 外気温 (T-AIR)

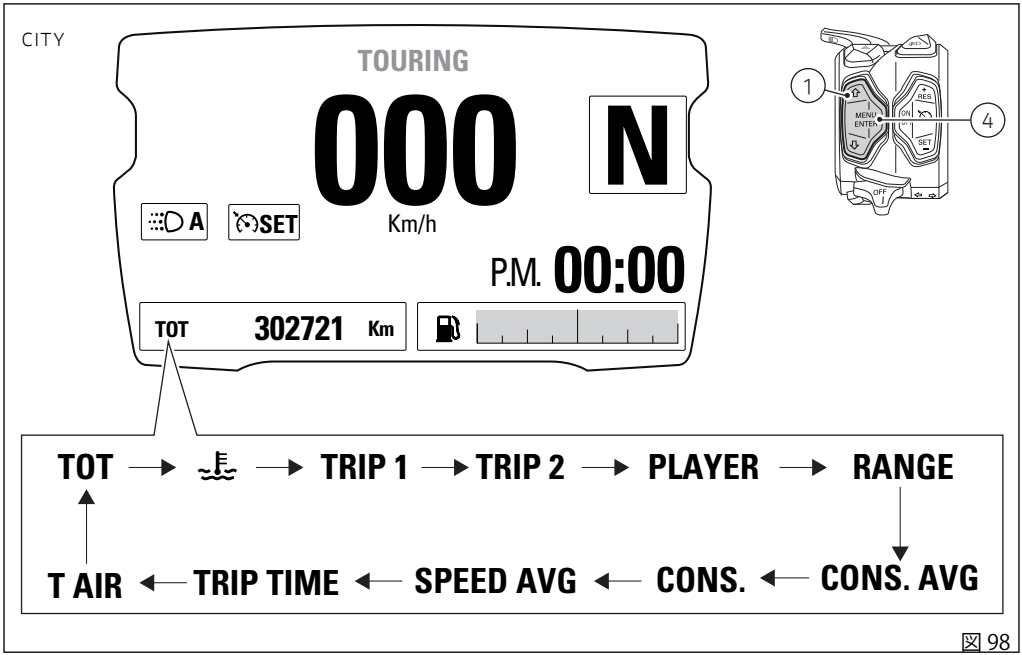

CITY
TOURING
000
N
A
SET
Km/h
P.M. 00:00
TOT
302721
Km
1
4
MENU
ENTER
RES
ON
SET
OFF
TOT
TRIP 1
TRIP 2
PLAYER
RANGE
CONS. AVG
CONS.
SPEED AVG
TRIP TIME
T AIR

図 98

表示モード FULL では、インストルメントパネルに KEY-OFF 時に使用していたメニュー 1 とメニュー 2 の設定が記憶されます。次の KEY-ON 時、前回記憶したメニュー 1 およびメニュー 2 のページが表示されます。
急な KEY-OFF (電源供給が突然途絶えた) の場合は、次の KEY-ON 時にインストルメントパネルには次のメニュー 1 とメニュー 2 のデフォルト設定が表示されます。

- メニュー 1 デフォルトページ = TOT (オドメーター)
- メニュー 2 デフォルトページ = RANGE (航続可能距離)

表示モード CORE、TRACK、CITY では、インストルメントパネルに KEY-OFF 時に使用していたメニュー 1 の設定が記憶されます。次の KEY-ON 時、前回記憶したメニュー 1 のページが表示されます。
急な KEY-OFF (電源供給が突然途絶えた) の場合、次の KEY-ON 時にインストルメントパネルには次のメニュー 1 のデフォルト設定が表示されます。

- メニュー 1 デフォルトページ = TOT (オドメーター)。

設定モードのスタンダードスクリーンが表示されている時にボタン (4) を 2 秒間押すと、機能設定を行うことができる設定メニューに入ります。

参考

車両の実速度が 5 km/h (3.1 mph) 以下の場合に限り、設定メニューに入ることができます。設定メニューが表示されているときに車両の実速度が 5 km/h (3.1 mph) を超えると、インストルメントパネルは自動的に設定メニューを終了し、スタンダードスクリーンを表示します。

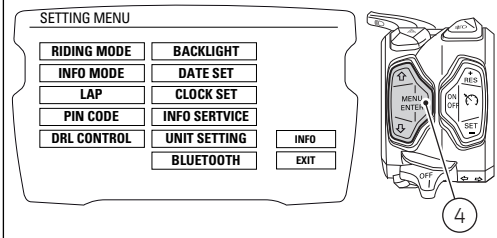


図 99

点検終了時に KEY-ON した時キーが認識されなかった場合、PIN CODE が有効になっていればロック解除コード PIN CODE を入力する画面が表示されます。ボタン (1) およびボタン (2) を使用してコードの各桁を入力し、 (4) を押して決定します。

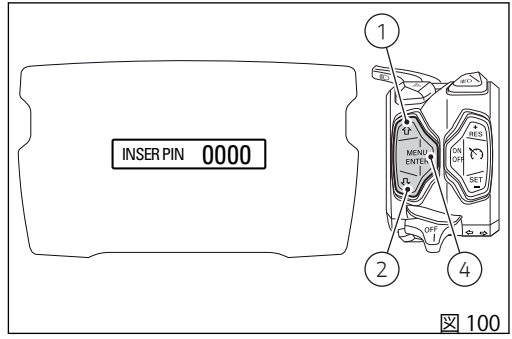


図 100

主な機能

選択した表示モード (CORE、TRACK、FULL、CITY) のスタンダードスクリーンに表示される機能は以下の通りです。

メイン機能

- エンジン回転数表示 RPM
- 車両スピード
- 燃料レベル
- ライディングモード (Riding Mode)
- ABS
- DTC
- ギア
- 時計
- メニューには以下の機能が表示されます。
  - オドメーター (TOT)
  - エンジンクーラント温度
  - 航続可能距離 (RANGE)
  - トリップメーター 1 (TRIP1)
  - トリップメーター 2 (TRIP2)
  - トリップタイム (TRIP TIME)
  瞬間燃費 (CONS)
  - 平均燃費 (CONS.AVG)
  - 平均スピード (SPEED AVG)
  - 外気温
  - ラップタイム (LAP time)
  ラップタイム (起動時のみ)
  プレーヤー ON / OFF (Bluetooth モジュールが搭載されており、少なくとも 1 台のスマートフォンが接続されている場合のみ)

サブ機能

- DRL ステータス
- DPL レベル
- インフォテインメント — Bluetooth
- クルーズコントロール
- メンテナンス表示 (SERVICE)
- 注意 / 警告表示 (Warning)

エンジン回転数表示 RPM

インストルメントパネルがエンジン回転数情報を受信すると、そのデータをディスプレイに棒グラフで表示します (表示モードが TRACK、FULL、CORE の場合のみ)。データはエンジン回転数に相当する左から右へ点灯する棒グラフの目盛りと、千単位の数字 (例えば RPM の値が "8000" 以上の場合、数字 "8" が大きい文字で表示) で表示されます。

回転数が 9000 から 10000 の場合 (予告ゾーン)、棒グラフの目盛りと数字 "9" がディスプレイにオレンジ色で表示されます (オレンジゾーン)。

回転数が 10000 から 10500 の場合 (警告ゾーン)、棒グラフの目盛りと数字 "10" がディスプレイに赤色で表示されます (レッドゾーン)。

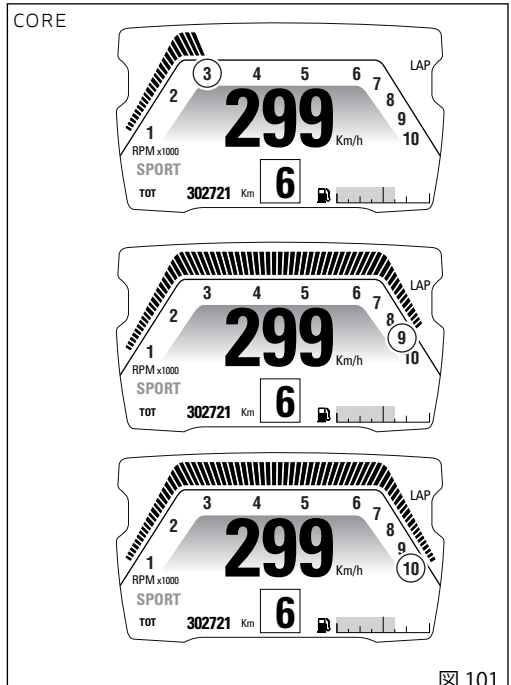


図 101

CORE 表示モードのエンジン回転数表示は TRACK および FULL 表示モードのエンジン回転数表示とは異なります。
CITY 表示モードにはエンジン回転数表示はありません。

FULL

TRACK

図 102

リミッター手前の起点値に達すると、該当する警告灯が点灯します。

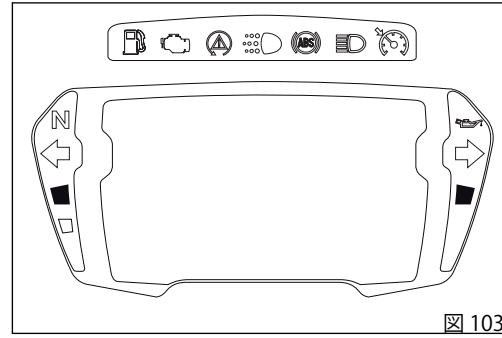


図 103

車両スピード

インストルメントパネルは車両の実速度 (km/h で算出) 情報を受信し、それに 5% 上乗せしたデータを設定した単位 (km/h または mph) で表示します。

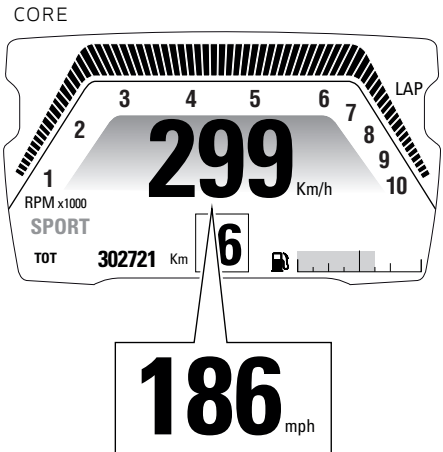
以下の場合には "- - -" と単位が表示されます。

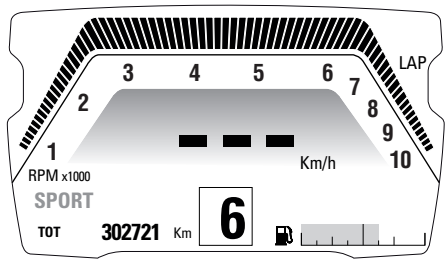
- スピード = 299 km/h か 186 mph の場合、またはインストルメントパネルがスピード情報を受信しない場合 ("- - -" 点灯)
- リアスピードセンサーに異常がある場合 ("- - -" 点滅)

この機能の表示については CORE 表示モードを例にあげています。TRACK、FULL、CITY 表示モードでも CORE 表示モードと類似した表示になります。

参考

インストルメントパネルが単位情報を受信できない場合は、最後に設定した単位を点滅表示します。


CORE
LAP
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
RPM x1000
299
Km/h
SPORT
TOT
302721
Km
6
186
mph


CORE
LAP
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
RPM x1000
Km/h
SPORT
TOT
302721
Km
6

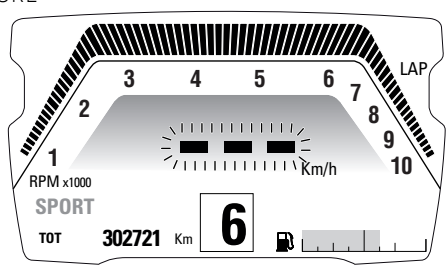

CORE
LAP
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
RPM x1000
Km/h
SPORT
TOT
302721
Km
6

図 104

ライディングモード (RIDING MODE)

インストルメントパネルから好みのライディングモードを選択することが可能です。あらかじめ設定された次の 3 通りのライディングモード SPORT、TOURING、URBAN。
現在設定されているライディングモードはディスプレイに表示されます。この表示は 4 通りの表示モードすべてに共通します。
それぞれのライディングモードには以下のドゥカティが設定したパラメーター、またはユーザーが設定機能ページから変更したパラメーターが連動しています。

- DTC ドゥカティトラクションコントロールの介入レベル (1、2、3、4、5、6、7、8、OFF)
- ABS システムの許容値 (1、2、3、OFF)
- スロットル作動を変更するエンジン出力 (HIGH、MED、LOW)

各ライディングモードには情報を表示する 4 通りの表示モード (TRACK、FULL、CORE、CITY) が用意されています。これらの表示モードは設定機能ページから変更することができます。ドゥカティ社の初期設定モードは CORE 表示モードです。

警告

ライディングモードの変更は車両停止時に行うことをお勧めします。運転中にライディングモードの変更を行なう場合は十分にご注意ください (低速での変更をお勧めします)。

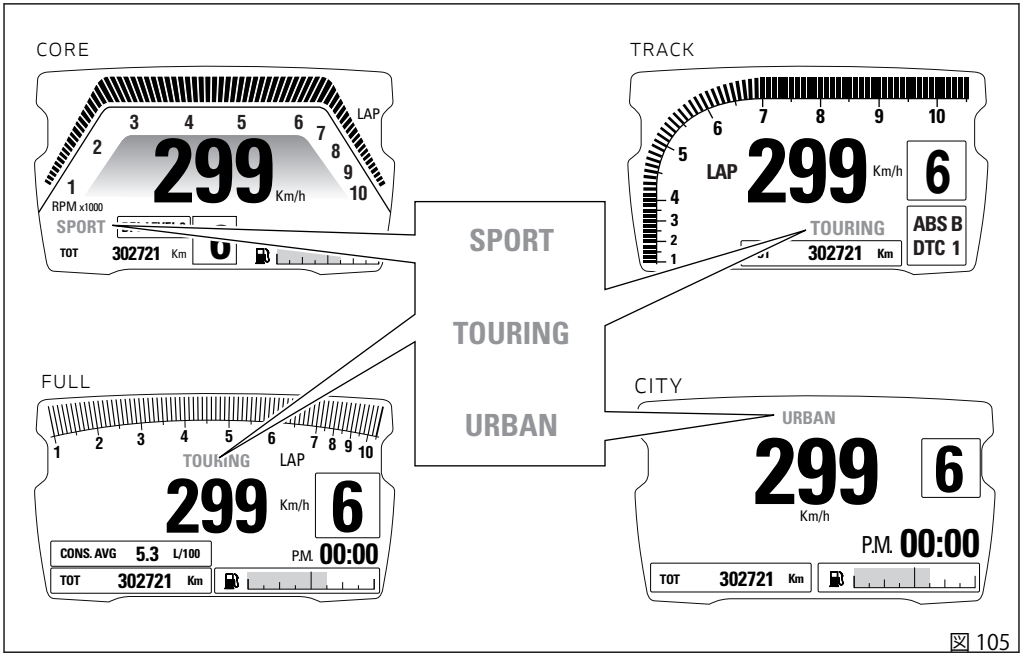

CORE
LAP
299
Km/h
RPM x1000
SPORT
TOT
302721
Km
TRACK
LAP
299
Km/h
6
ABS B
DTC 1
TOURING
302721
Km
SPORT
TOURING
URBAN
FULL
TOURING
LAP
299
Km/h
6
CONS. AVG
5.3
L/100
P.M.
00:00
TOT
302721
Km
CITY
URBAN
299
Km/h
6
P.M.
00:00
TOT
302721
Km

図 105

ライディングモードの選択

メニュー決定ボタン (4) を押し、ライディングモード選択メニューを表示します (A)。インストルメントパネルには速度が表示 (ディスプレイの右側) されたまま、ライディングモード名 (ディスプレイの左側) が表示されます。

- SPORT
- TOURING
- URBAN

最後に保存した現在使用中のライディングモード名が強調表示されます。

強調表示されたライディングモードには、それに連動したいくつかの以下のパラメーターに関連する情報が必ず表示されます。

- エンジン出力 (ENGINE)："ENGINE" の文字に続いて設定エンジン出力 (HIGH、MED、LOW)。
- ABS システム：ABS システムが ON の場合は "ABS" の文字に続いて設定レベル (1、2、3)、ABS システムが OFF の場合は "ABS" の文字に続いて "OFF" の文字。
- DTC システム：DTC システムが ON の場合は "DTC" の文字に続いて設定介入レベル (1、2、3、4、5、6、7、8)、DTC システムが OFF の場合は "DTC" の文字に続いて "OFF" の文字。

メニュー決定ボタン (4) を押す度に、表示可能な関連するパラメーター (A、 図 106) と一緒にライディングモードが強調表示されます。

選択したいライディングモードが強調されたら (A、 図 106)、メニュー決定ボタン (4) を 2 秒間押し続け、希望のライディングモードを決定します。ライディングモードの変更が保存され、選択したライディングモードの標準画面 (C、 図 106) に戻ります。
選択したいライディングモードが強調されても 5 秒以内にメニュー決定ボタン (4) を押さなかった場合は、ライディングモードは変更されず、スタンダードスクリーンの画面に戻ります。

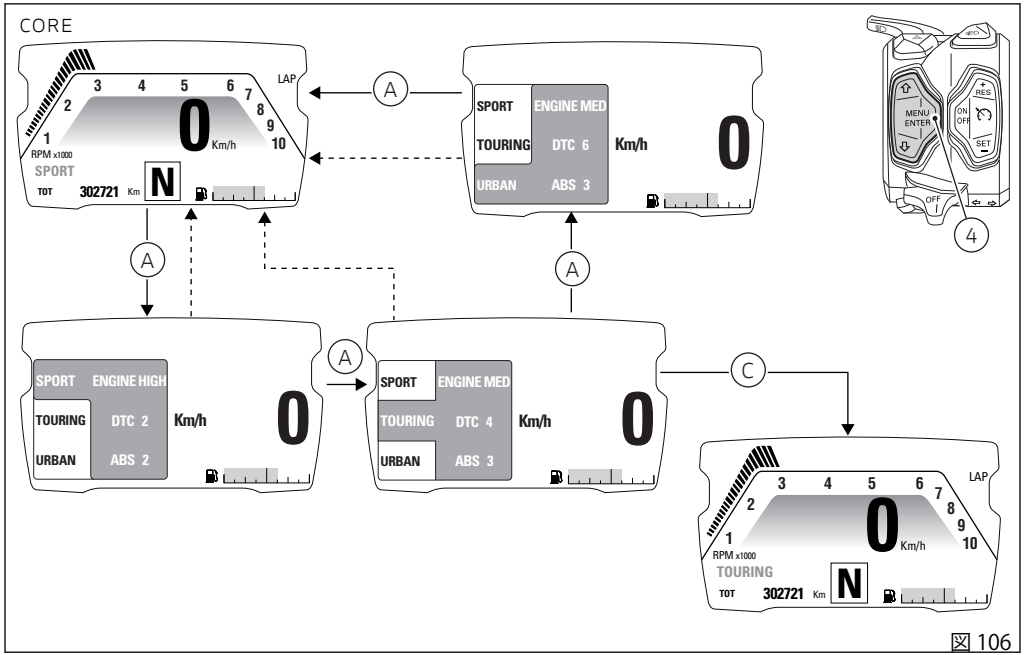

CORE
LAP
RPM x1000
SPORT
TOT
302721 Km
N
Km/h
SPORT
TOURING
URBAN
ENGINE MED
DTC 6
ABS 3
ENGINE HIGH
DTC 2
ABS 2
DTC 4
ABS 3
TOURING
A
C
MENU
ENTER
ON
OFF
RES
SET
4

図 106

表示される情報は、各ライディングモード毎に記憶されている値です。保存されている値はドゥカティが設定した値、またはユーザーがパーソナライズした値です。

ライディングモードの変更画面には、各ライディングモードに関連する情報 (ENGINE、DTC、ABS) に加え、設定されている表示モードでは表示されない起動している他の機能も表示されます。例えば、燃料レベルは TRACK 表示モードでは表示されませんが、ライディングモード変更画面では表示されます。
次の情報を見ることができます。

- 燃料レベル (L)
- DRL ステータス (D)：DRL が起動している場合にのみ表示されます (中国、カナダバージョンには装備されません)。
- クルーズコントロールのステータス (E)：クルーズコントロール機能が起動している場合にのみ表示
- サービス表示 (F)：サービス機能 (OIL SERVICE、ANNUAL SERVICE、DESMO SERVICE) のいずれかが起動している場合にのみ表示
- インフォテインメント表示 (通話 / トラック) (G)：Bluetooth 機能が搭載されており、起動している場合にのみ表示
- インフォテインメント表示 (ペアリングデバイス) (H)：Bluetooth 機能が搭載されており、起動している場合にのみ表示

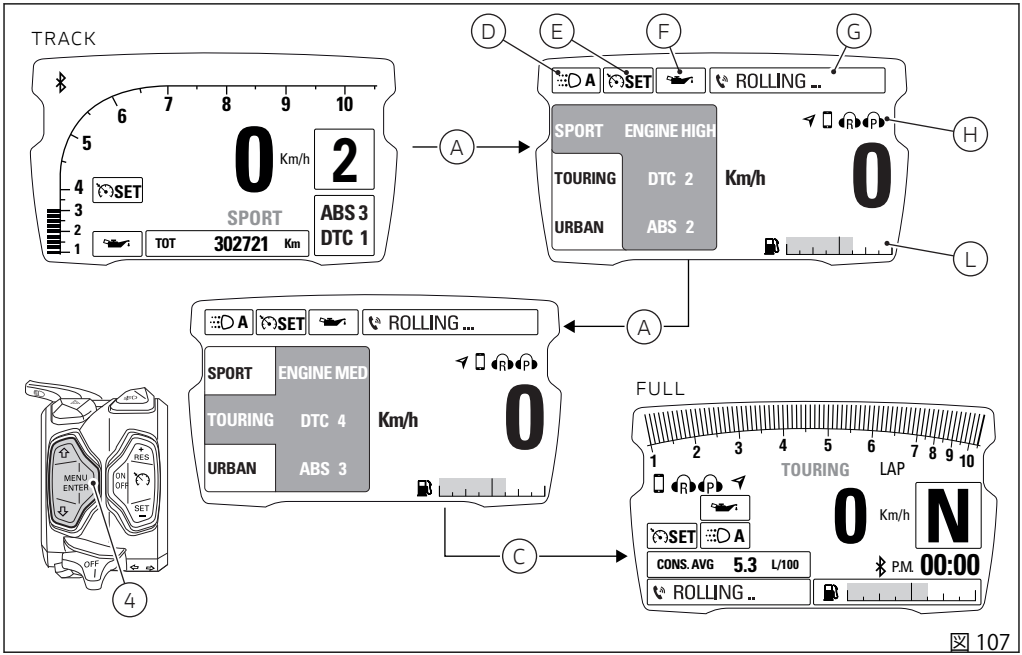

TRACK
SET
0
Km/h
2
SPORT
ABS 3
DTC 1
TOT
302721
Km
A
D
E
F
G
H
L
A
SET
ROLLING ...
SPORT
ENGINE HIGH
TOURING
DTC 2
URBAN
ABS 2
Km/h
0
A
SET
ROLLING ...
SPORT
ENGINE MED
TOURING
DTC 4
URBAN
ABS 3
Km/h
0
C
FULL
TOURING
LAP
0
Km/h
N
SET
A
CONS. AVG
5.3
L/100
P.M.
00:00
ROLLING ..
MENU
ENTER
ON
OFF
RES
SET
OFF
4

図 107

以下の場合は、ライディングモードの変更を決定してもエラーになります。

- 停車している場合、インストルメントパネルはスロットルコントロールが閉じているか開いているかどうかのみを確認し、必要に応じて "CLOSE THROTTLE" (スロットルを閉じてください) と表示します。
- 車両が動いている場合、インストルメントパネルはスロットルコントロールが開いているか閉じているかどうか、またはブレーキが踏み込まれているかどうかを確認します。この場合は、"CLOSE THROTTLE AND RELEASE BRAKES" (スロットルを閉じてブレーキを放してください)、"CLOSE THROTTLE" (スロットルを閉じてください)、あるいは "RELEASE BRAKES" (ブレーキを放してください) のいずれかのメッセージが表示されます。

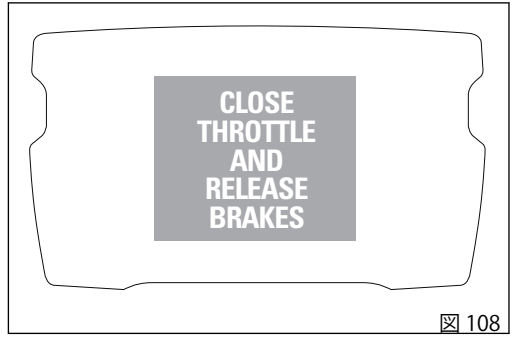


図 108

DTC

インストルメントパネルはディスプレイにDTC機能の状態を以下のように表示します。

- DTCがONの場合、DTCの文字とトラクションコントロール介入レベル1から8までの数値
- DTCがONの時に異常が発生したためシステムが機能制限モードである場合は、"DTC"の文字とトラクションコントロール介入レベル1から8までの数値(点滅)、さらにDTCランプが点滅します。
- DTCがOFFの場合、DTC OFFの文字
- システムに異常が発生した場合は、"DTC"の文字と介入レベル1から8までの数値(オレンジ色)

DTC機能の状態はTRACK表示モードでのみ表示されます。

DTCのエラーもしくはBlack Boxエラーの場合は、インストルメントパネルは"DTC Err"の文字を表示し、DTCランプを点灯します。

警告

システム異常の場合には、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

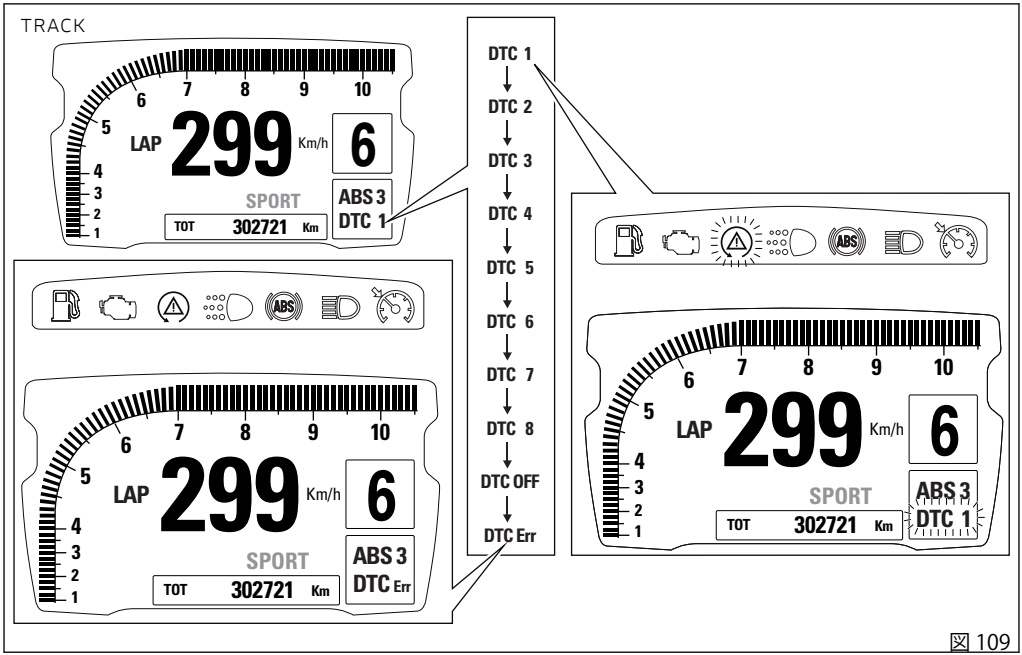

TRACK
LAP
299
Km/h
6
SPORT
ABS 3
DTC 1
TOT
302721
Km
DTC 1
DTC 2
DTC 3
DTC 4
DTC 5
DTC 6
DTC 7
DTC 8
DTC OFF
DTC Err
ABS 3
DTC Err

図 109

警告

DTCはライダーをアシストするシステムです。一般道走行時、サーキット走行時、オフロード走行時のすべてにおいて使用できます。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を可能にすることを目指したメカニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるものではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可能にする慎重な運転を心がけてください。

この安全システムは事故予防のためのシステムです。これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で確実なものにします。車両が走行している路面状況や道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理的に許容されるスピードを超えたりするような運転に寄与するシステムではありません。

下記の表は、各ライディングタイプに適したDTC介入レベルと、ユーザーが選択可能な "ライディングモード" のどれにデフォルト設定されているかを示します。

DTC	ライディングタイプ	用途	DEFAULT
1	SPORT	非常に熟練したライダー向けスポーツ走行。スキッドします。	NO
2	SPORT	熟練したライダー向けスポーツ走行。スキッドします。	ライディングモード「SPORT」のデフォルトレベル
3	SPORT	中程度に熟練したライダー向けスポーツ走行。スキッドします。	NO
4	TOURING	高速ツーリングドライブ用。	ライディングモード「TOURING」のデフォルトレベル
5	TOURING	ツーリングドライブ用。	NO
6	URBAN	あらゆる種類の行程での "セーフティドライブ" 用。	ライディングモード「URBAN」のデフォルトレベル
7	RAIN	若干濡れた路面または湿った路面でのドライブ用。ENGINE LOW の使用を推奨。	NO
8	HEAVY RAIN	濡れた路面でのドライブ用。ENGINE LOW の使用を推奨。	NO

レベルの選択に際しての注意事項

警告

本車両に搭載されているDTCシステムの全レベルの調整は、車両の標準装備タイヤ(Pirelli TL Diablo Rosso II：フロント120/70 - 17、リア：Pirelli TL Diablo Rosso II 240/45 - 17)を使用して決定されています。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を及ぼす可能性があります。

標準装備のタイヤとモデルやメーカーは異なるものの、サイズクラスが同じ(フロント＝120/70 - 17 - リア＝240/45 - 17)など違いが僅かなタイヤを使用する場合、システムの機能を最適化するには選択可能なレベルから適切なレベルを選択することでカバーできるでしょう。サイズクラスの異なるタイヤやサイズが大きく異なるタイヤを使用する場合、システムの機能が影響を受けるため、設定可能な8レベルのどれも納得のいくものでなくなる可能性があります。この場合、システムを解除することをお勧めします。

レベル8を選択すると、DTCシステムはリアタイヤのわずかなスピンにも介入します。レベル8とレベル1の間には、その他に中間の介入レベルが存在します。DTCの介入度はレベル8から1に向かい減少します。レベル1、2、3ではリアタイヤをスピンやスキッドさせることができます。これらのレベルは熟練ライダーにのみ推奨されます。

主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

1) タイヤ/アスファルトのグリップ(タイヤタイプ、磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)。
2) レイアウト/行程(類似カーブのみ、またはカーブが全く異なる)
3) ライディングスタイル(より "スムーズ" に、またはより "シャープ" に)

グリップ状態からのレベル選択

正しいレベルの選択はレイアウト/行程中のグリップ状況と密接に関係しています(後述の一般道での使用時のアドバイスを参照)。

レイアウトタイプからのレベル選択

レイアウト/行程に同じスピードで走行できるカーブがいくつもある場合、それぞれのカーブで満足できる介入レベルを簡単に見つけることができるでしょう。一方様々なカーブがレイアウト/行程にある場合は、妥当なDTC介入レベルが必要になります。

ライディングスタイルからのレベル選択

カーブ出口で早めに車体を起こし「シャープ」に操縦する場合よりも、バイクを深く倒して「スムーズ」に操縦する場合に DTC はより介入を行う傾向があります。

乾いた一般道での使用時のアドバイス

DTC を起動した後、レベル 6 を選択し、好みのスタイルで運転します。DTC が介入しすぎると感じる場合は、レベルを 5、4 と順番に落とし、快適なレベルに達するまで調整してください。
グリップ状況や行程の種類、ライディングスタイルを変更してもまだ設定レベルでは満足できない場合は次のレベルに変更します。この方法で最も快適なレベルに調整します (例：レベル 5 では DTC が介入しすぎると感じる場合はレベル 4 に、レベル 5 では DTC の介入が全くないと感じる場合はレベル 6 に変更します)。

濡れた一般道での使用時のアドバイス

若干濡れた一般道または湿った一般道ではレベル 7、濡れた一般道ではレベル 8 の使用が推奨されます。同時に ENGINE LOW レベルを選択してください。

ABS

車両にはABSシステムが搭載されています。インストルメントパネルはABSランプを消灯、点滅、点灯させてABS機能のステータス(ONまたはOFF)を表示します。

インストルメントパネルの表示：

- ABSがONの場合、"ABS"の文字と設定介入レベル1から3までの数値(固定表示)
- ABSがONの時に異常が発生したため(「コーナリング」機能がない)システムが機能制限モードである場合は、"ABS"の文字とABS介入レベル1から8までの数値(点滅)、さらにABSランプ点滅
- システムに異常が発生した場合は、"ABS"の文字と介入レベルの数値(オレンジ色)

ABS機能の状態はTRACK表示モードでのみ表示されます。

ABSエラーの場合は、インストルメントパネルは"ABS Err"の文字を表示し、ABSランプを点灯します。

警告

システム異常の場合には、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

ABSがOFFの場合、インストルメントパネルは"ABS OFF"の文字を表示し、ABSランプを点灯します。

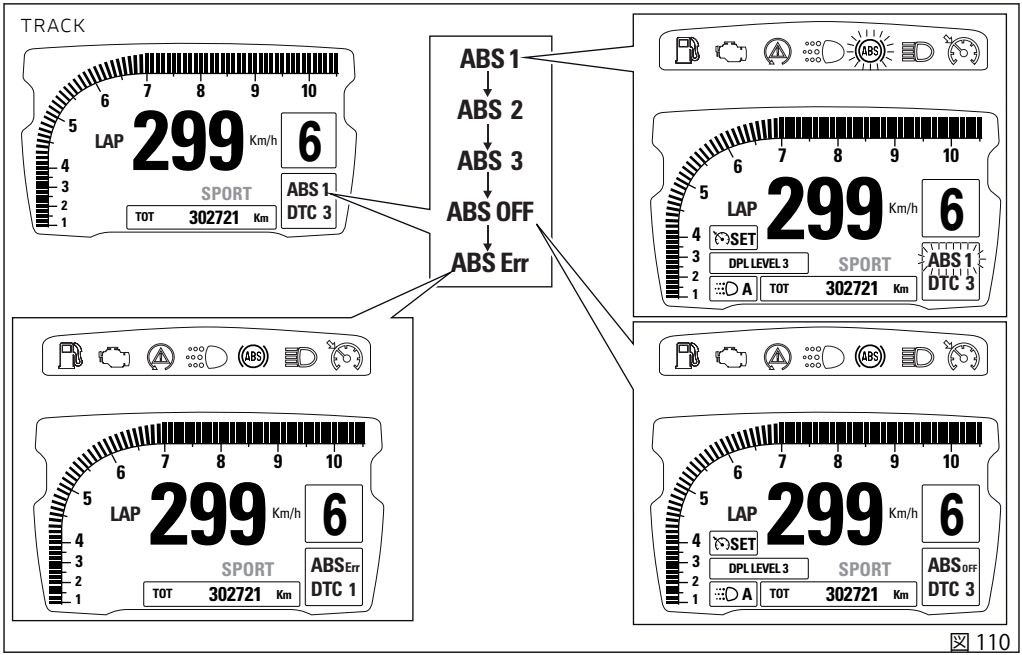

TRACK
ABS 1
ABS 2
ABS 3
ABS OFF
ABS Err
LAP
299
Km/h
6
SPORT
ABS 1
DTC 3
TOT
302721
Km
ABS
SET
DPL LEVEL 3
A
ABS Err
DTC 1
ABS OFF

図 110

困難な条件下でのブレーキ操作は、非常に慎重に行わなければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだり事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっています。フロントホイールがロックされると、グリップによるバランス力を失うため車両のコントロールを失います。
アンチロックブレーキシステム (ABS) は、緊急時や悪路、悪天候下での走行時にブレーキ性能を最も効果的に発揮させるために開発されたものです。ABS は電子制御油圧システムです。ホイール上のセンサーから送られた信号をコントロールユニットが分析し、いずれかのホイールがロックしそうであることを検知すると、ブレーキ回路内の油圧を制御します。この場合には、ブレーキ回路内の油圧を低下させることでホイールを回転させ続け、路面とのグリップを最適に維持します。続いて、コントロールユニットはブレーキ回路内の油圧を戻してブレーキをかけます。問題が完全に解消されるまで、このサイクルを繰り返します。ブレーキング時 ABS が作動状態に入ると、ブレーキレバーとブレーキペダルに軽く振動する抵抗が感じられます。フロントブレーキシステムとリアブレーキシステムの制御は別々に行われます。
XDiavel S が搭載する ABS システムは、車両を倒した状態においても ABS 機能が作動する「コーナリング」機能も備えます。この機能は、車両の傾斜角度に応じてフロントブレーキとリアブレーキに作用します。車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で、車輪のロックおよびスリップを防止することを目的としています。
インストルメントパネルを操作し、システムを解除したいライディングモード内でレベル OFF を選択すれば、システムの解除が可能です。

警告

2 つあるブレーキコマンドの片方だけを使用すると、車両のブレーキ性能が低下します。

急激に過度の力を掛けてフロントブレーキコマンドを操作しないでください。後輪が浮き上がり (リフトアップ)、車両のコントロールを失うおそれがあります (ABS 搭載の場合でも)。
雨天時や滑りやすい路面の走行時はブレーキ力が著しく低下します。このようなコンディションでは慎重に優しくブレーキ操作をしてください。急ブレーキを掛けると車両のコントロールを失う危険があります。
長く急な下り坂を走行する際にはシフトダウンしてエンジンブレーキを使用し、ブレーキは短く断続的に使用するようにしてください。ブレーキを長時間連続して使用すると、ブレーキパッドの過熱やベーパーロック (ブレーキフルードの過熱) を招き、ブレーキ性能の著しい低下の原因となります。

規定空気圧に満たないタイヤ、もしくは規定空気圧を超えるタイヤでの走行はブレーキ性能を低下させるだけでなく、正確な運転とカーブでの安定性を損ないます。

下記の表は、各ライディングタイプに適した ABS レベルと、ユーザーが選択可能な「ライディングモード」のどれにデフォルト設定されているかを示します。

ABS	ライディングタイプ	特徴	DEFAULT
OFF		ABS システム解除	NO
1	EXPERT	このレベルは特に熟練したライダー向けに設計されています。このレベルでは、ABS はフロントホイールにのみ作用し、リアホイールのロックは許容されます。 このレベルでは、システムはリフトアップ制御は行わず、コーナリング機能は作動しません。	
2	SPORT	このレベルはグリップの良い路面での走行用に設計されています。このレベルでは、ABS は両方のホイールに作用し、コーナリング機能が作動します。 このレベルでは、システムはリフトアップ制御は行いません。ブレーキングが優先されます。	ライディングモード「SPORT」のデフォルトレベル

ABS	ライディングタイプ	特徴	DEFAULT
3	SAFE & STABLE	このレベルはあらゆる状況下での使用に適し、安全かつ安定したブレーキングを可能にするよう設定されています。このレベルでは、ABS は両方のホイールに作用し、コーナリング機能およびリフトアップ制御機能が作動します。	ライディングモード "TOURING" および "URBAN" のデフォルトレベル

レベルの選択に際しての注意事項

警告

選択可能な全レベルにおいて、標準装備のブレーキシステムおよび標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着している場合においてのみ、ABS システムの最適な動作が保証されるものです。特にタイヤは標準装備タイヤ、TL PIRELLI Diablo Rosso II D のサイズ：フロント 120/70 ZR17 M/C (58W)、リア 240/45 ZR17 M/C (82W) になります。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の安全性が低くなることがあります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

レベル 3 を選択すると、ABS システムは非常に安定したブレーキングとリフトアップ制御を行い、全てのブレーキングにおいて高い車体安定性を維持します。レベル 3 において、ABS システムのコーナリング機能が作動します。この機能により、バイクを倒している時に、車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを防止します。
レベル 2 を選択すると、ABS システムはリフトアップ制御よりブレーキ力を優先します。リフトアップ制御はレベル 2 では作動しません。レベル 2 において、ABS システムのコーナリング機能が作動します。この機能により、バイクを倒している時に、車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを防止します。
ABS システムのレベル 1 の使用は極めて熟練したライダー向けになります。パフォーマンスを重視して ABS はフロントホイールにのみ作用します。このレベルではリフトアップ制御およびコーナリング機能は作動しません。
主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

1) タイヤ/路面のグリップ (タイヤタイプ、タイヤの磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)。
2) ライダーの経験と感覚：熟練ライダーは制動距離を最小限に抑えるためリフトアップを制御することができますが、経験の少ないライダーには、急なブレーキングでも車体の安定性が維持できるようレベル 3 の使用が推奨されます。

ギア

インストルメントパネルは車両のギアに関する情報を受信し、ディスプレイにその値を表示します。
ギアが挿入されている時は 1 から 6 の値が表示され、ニュートラルの時は N の文字が表示されます。
ギアの学習が実施されていない場合やインストルメントパネルがギアデータを受信できない場合は、"--" が点滅表示されます。
ギアセンサーエラーの場合は、"--" が固定表示されます。

この機能の表示については CORE 表示モードを例にあげています。TRACK、FULL、CITY 表示モードでも CORE 表示モードと類似した表示になります。

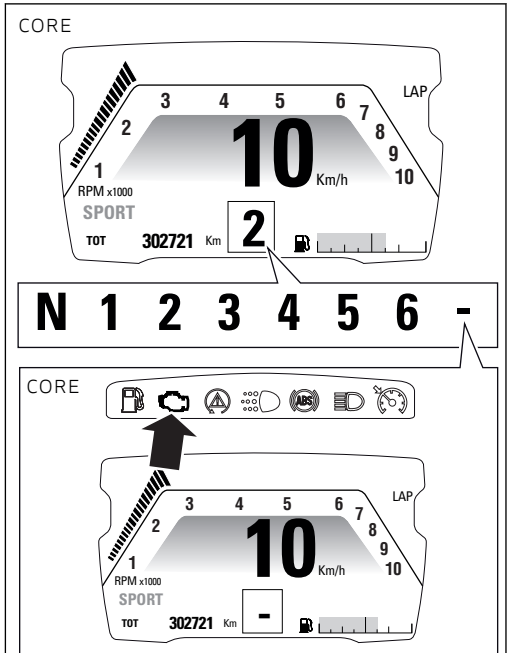


図 111

燃料レベル

この機能は燃料残量を表示します。
燃料レベルが 2 目盛りまで下がるとリザーブランプが点灯します。また目盛りがオレンジ色に変わり、燃料ポンプマークがオレンジ色に点灯します。
レベルがさらに下がると、最後の目盛りが赤色に点滅し、燃料ポンプマークが赤色に点灯します。

この機能の表示については CORE 表示モードを例にあげています。FULL、CITY 表示モードでも CORE 表示モードと類似した表示になります。TRACK 表示モードではこの機能は表示されません。

参考

レベルセンサーにエラーや異常が発生した場合、目盛りは表示されません。燃料ポンプマークが赤色に点滅し、燃料リザーブランプが点滅します。

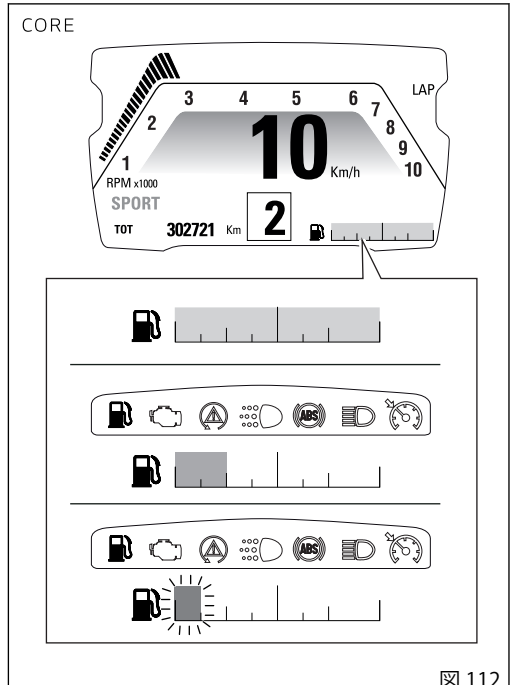


図 112

時計

インストルメントパネルは時間に関する情報を表示します。
インストルメントパネルは時間を次のように表示します。

- hh (時間) : mm (分)
- "a.m."(12:00 から 11:59)、または "p.m."(12:00 から 11:59)。

電源供給が中断された場合 (Battery OFF) は、次回の Key-ON 時に 4 本の点線 " - - :- - " が表示され、設定メニューから時計が設定されるまで中央のコロンが点滅します。

この機能の表示については FULL 表示モードを例にあげています。CITY 表示モードでも FULL 表示モードと類似した表示になります。CORE 表示モードおよび TRACK 表示モードではこの機能は表示されません。

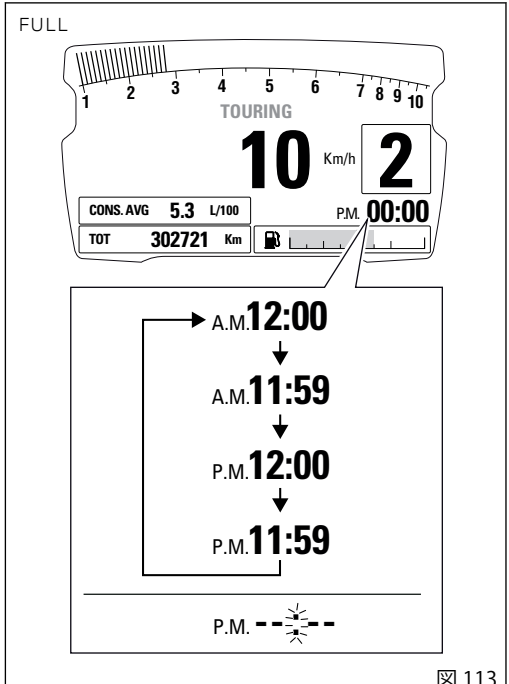


図 113

メニュー機能

3 種類のライディングモード設定 (SPORT、TOURING、URBAN) のそれぞれについて、メニュー機能が以下の 4 種類の表示モードのいずれかで表示されます。

- CORE
- TRACK
- FULL
- CITY

機能は以下の通りです。

- オドメーター (TOT)
- エンジンクーラント温度
- 航続可能距離 (RANGE)
- トリップメーター 1 (TRIP1)
- トリップメーター 2 (TRIP2)
- トリップタイム (TRIP TIME)
- 瞬間燃費 (CONS)
- 平均燃費 (CONS AVG)
- 平均スピード (SPEED AVG)
- 外気温
- ラップタイム (LAP time) (起動時のみ)
- ラップタイム (起動時のみ)
- プレーヤー ON / OFF (Bluetooth モジュールが搭載されており、少なくとも 1 台のスマートフォンが接続されている場合のみ)

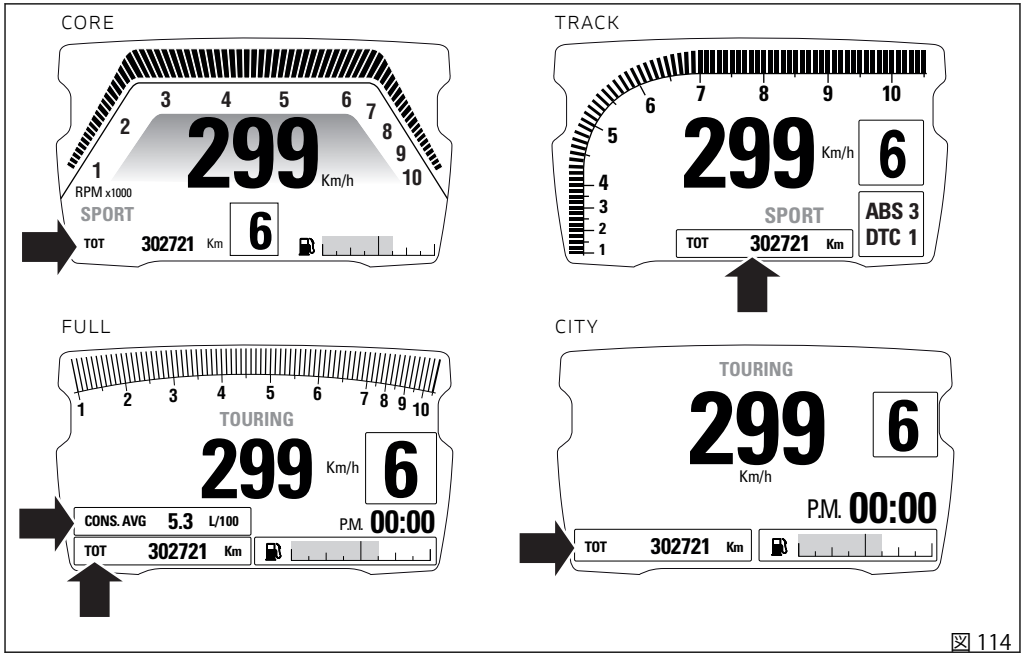

CORE
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
RPM x1000
299
Km/h
SPORT
TOT
302721
Km
6
TRACK
5
6
7
8
9
10
4
3
2
1
299
Km/h
6
SPORT
ABS 3
DTC 1
TOT
302721
Km
FULL
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
TOURING
299
Km/h
6
CONS. AVG
5.3
L/100
P.M.
00:00
TOT
302721
Km
CITY
TOURING
299
Km/h
6
P.M.
00:00
TOT
302721
Km

図 114

オドメーター (TOT)

オドメーターは車両の総走行距離を設定単位 (キロまたはマイル) でカウント、表示します。
オドメーターに対応する数値 (キロ またはマイル) は、"TOT" の文字と単位で表示されます。最大値 (199999 km または 199999 mi) に達するとインストルメントパネルにその値が表示されたままになります。
オドメーターの値は常に保存され、いかなる理由でもリセットすることはできません。
この機能の表示については CORE 表示モードを例にあげています。TRACK、FULL、CITY 表示モードでも CORE 表示モードと類似した表示になります。

電源の供給が中断 (バッテリー OFF) してもデータは消去されません。

参考
オドメーター機能で点線 " ----- " が点滅表示される場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

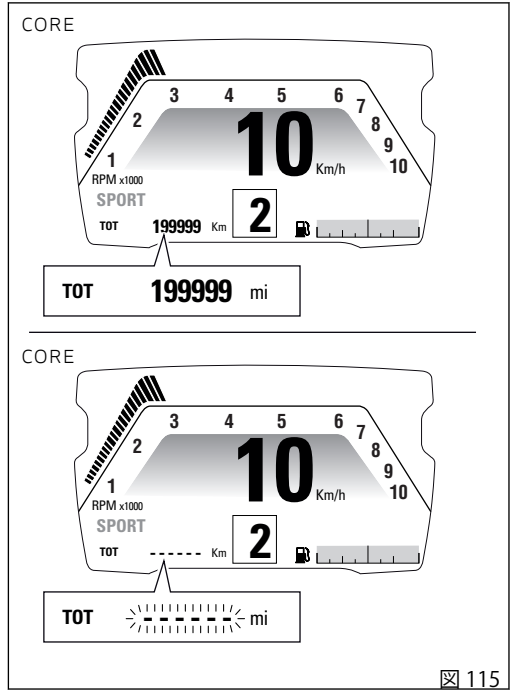


図 115

エンジンクーラント温度

インストルメントパネルはエンジン温度の情報 (° C) を受信し、設定単位 (° C または ° F) に変換したデータ、単位、エンジン温度のシンボルを表示します。
エンジン温度の表示範囲は 40 ° C ～ +120 ° C (+104 ° F ～ +248 ° F) です。
データが以下の場合：

- -40 ° C (-40 ° F) 以下の場合、"- - - " が点滅表示されます。
- -39 ° C (-38 ° F) ～ +39 ° C (+102 ° F) の場合、" LOW" が点灯します。
- +40 ° C (+104 ° F) ～ +120 ° C (+248 ° F) の場合、データが固定表示されます。
- +121 ° C (+250 ° F) 以上の場合、"HIGH" が赤色で点滅します。また、クーラント温度マークが赤色に点灯します。

クーラント温度センサーエラーの場合、設定単位と共に "- - -" が点滅表示されます。さらに MIL ランプが点灯します。
インストルメントパネルがクーラント温度のデータを受信しない場合、単位と共に "- - -" が固定表示されます。

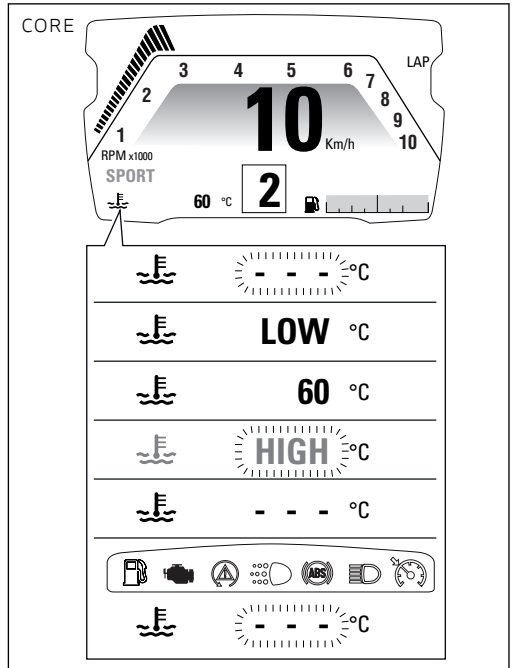


図 116

参考

インストルメントパネルが単位情報を受信できない場合は、最後に設定した単位を点滅表示します。

トリップメーター 1 (TRIP 1)

トリップメーターは車両の部分走行距離を設定単位 (キロまたはマイル) でカウント、表示し、平均燃費、平均スピード、トリップタイムの算出に使用されます。TRIP1 に対応する数値 (キロ またはマイル) は、TRIP1 の文字と単位で表示されます。
データが最大値 9999.9 km または 9999.9 mi を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再びゼロからカウントを始めます。
トリップメーターの表示中にボタン (1) を 2 秒間押すと、TRIP 1 のデータがリセットされます。TRIP1 がリセットされると、平均燃費、平均スピード、トリップタイムのデータもリセットされます。
この機能の表示については CORE 表示モードを例にあげています。TRACK、FULL、CITY 表示モードでも CORE 表示モードと類似した表示になります。

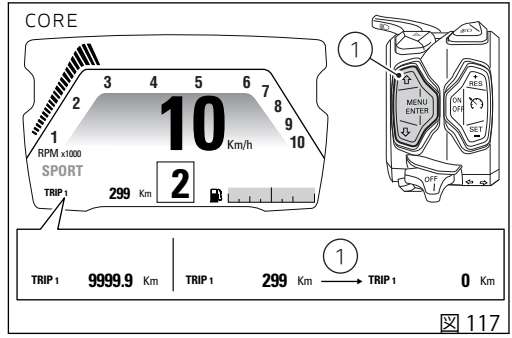


図 117

TRIP1 のカウントは、システムの単位を手動で変更した場合とバッテリー OFF の後にも自動的にリセットされ、新しく設定した単位でゼロから再びカウントを始めます。

トリップメーター 2 (TRIP 2)

トリップメーターは車両の部分走行距離を設定単位(キロまたはマイル) でカウント、表示します。
TRIP2 に対応する数値 (キロ またはマイル) は、TRIP2 の文字と単位で表示されます。
データが最大値 9999.9 km または 9999.9 mi を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再びゼロからカウントを始めます。
トリップメーターの表示中にボタン (1) を 2 秒間押すと、TRIP 2 のデータがリセットされます。
TRIP2 のカウントは、システムの単位を手動で変更した場合とバッテリー OFF の後にも自動的にリセットされ、新しく設定した単位でゼロから再びカウントを始めます。

この機能の表示については CORE 表示モードを例にあげています。TRACK、FULL、CITY 表示モードでも CORE 表示モードと類似した表示になります。

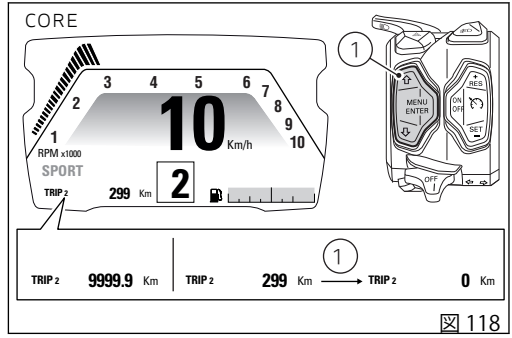


図 118

航続可能距離 (RANGE)

この機能はフューエルタンク内の燃料で走行できる航続可能距離を表示します。
データは "RANGE" の文字と設定単位で表示されます。
この機能にエラーが検知されると、インストルメントパネルは "- - -" を点滅させます。
インストルメントパネルが RANGE データを受信できない場合は、単位と共に "- - -" が固定表示されます。

参考

インストルメントパネルが単位情報を受信できない場合は、最後に設定した単位を点滅表示します。

この機能の表示については CORE 表示モードを例にあげています。TRACK、FULL、CITY 表示モードでも CORE 表示モードと類似した表示になります。

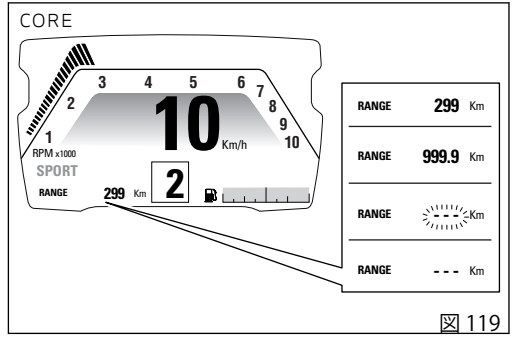


図 119

平均燃費

インストルメントパネルは車両の平均燃費、設定単位、"CONS.AVG" の文字を表示します。
TRIP1 が最後にリセットされてからの消費燃料および走行距離から計算されます。

参考

設定メニューの UNITS SETTING 機能から、燃費の単位を L/100 から km/L、mpg UK、mpg US のいずれかに変更することができます (平均燃費、瞬間燃費を同時に変更)。

TRIP1 がリセットされると、データがリセットされ、次のデータはリセットから 10 秒後に表示されます。数値が表示されない最初の 10 秒間は "- -.-" が平均燃費として固定表示されます。データは設定された単位 (リットル /100 km、mpg UK、mpg US) で表示されます。
停車中であってもエンジンが作動している場合は時間が計算されます(車両停車中でエンジンが停止している時間は考慮されません)。

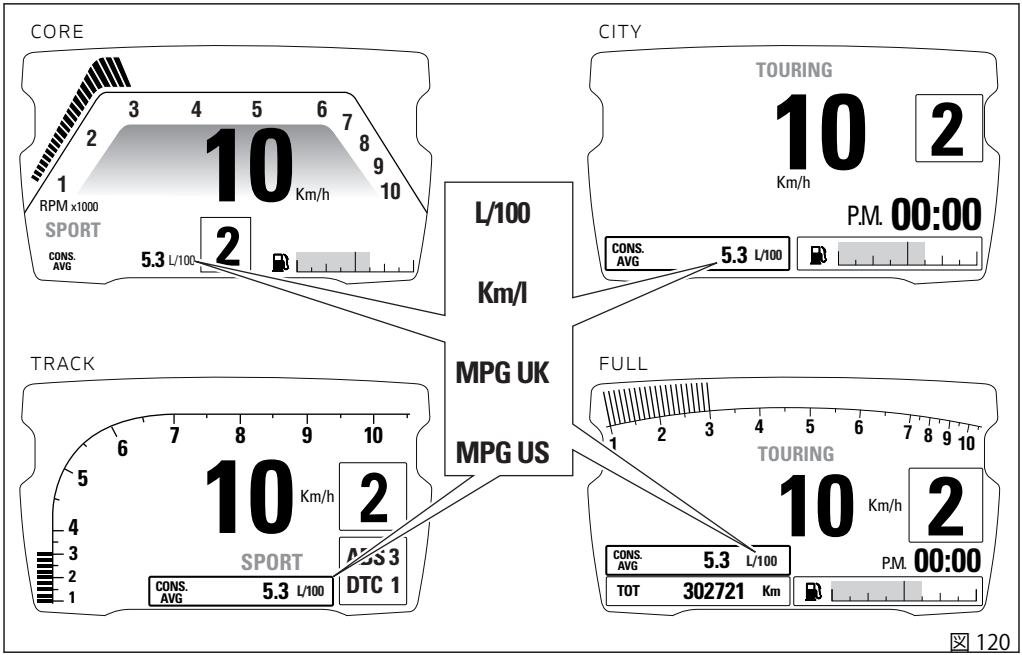

CORE
3 4 5 6 7 8 9 10
2
1
10
Km/h
RPM x1000
SPORT
CONS. AVG
5.3 L/100
2
CITY
TOURING
10
Km/h
2
P.M. 00:00
CONS. AVG
5.3 L/100
L/100
Km/l
MPG UK
MPG US
TRACK
6 7 8 9 10
5
4
3
2
1
10
Km/h
2
SPORT
ABS 3
DTC 1
CONS. AVG
5.3 L/100
FULL
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
TOURING
10
Km/h
2
CONS. AVG
5.3 L/100
P.M. 00:00
TOT
302721 Km

図 120

瞬間燃費

インストルメントパネルは車両の瞬間燃費、設定単位、CONS の文字を表示します。
数値は直前の 1 秒間の燃料消費量と走行距離から算出されます。データは設定された単位 (リットル /100 km、mpg UK、mpg US) で表示されます。
数値はエンジンが作動しており車両が動いている場合にのみ算出されます (車両速度がゼロ、あるいはエンジン停止状態で車両が停車している間は算出されません)。算出されない場合は、ディスプレイ上に "- - .-" が瞬間燃費として固定表示されます。

参考

設定メニューの UNITS SETTING 機能から、燃費の単位を L/100 から km/L、mpg UK、mpg US のいずれかに変更することができます (平均燃費、瞬間燃費を同時に変更)。

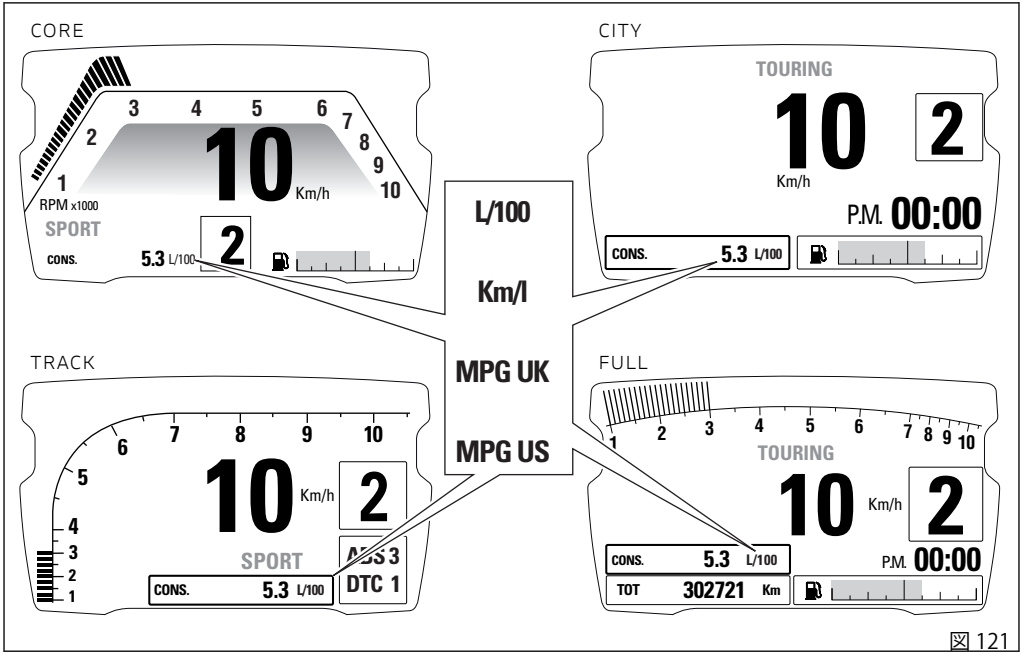

CORE
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
RPM x1000
10
Km/h
SPORT
CONS.
5.3 L/100
2
CITY
TOURING
10
Km/h
2
P.M. 00:00
CONS.
5.3 L/100
L/100
Km/l
MPG UK
MPG US
TRACK
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
10
Km/h
2
SPORT
ABS 3
DTC 1
CONS.
5.3 L/100
FULL
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
TOURING
10
Km/h
2
CONS.
5.3 L/100
P.M. 00:00
TOT
302721
Km

図 121

平均スピード

インストルメントパネルは車両の平均スピード、設定単位、"SPEED AVG" の文字を表示します。
TRIP1 が最後にリセットされてからの走行距離と時間から計算されます。
平均スピードは車両スピードの表示と同様に、実速度に 5 %上乗せした値が表示されます。

参考

設定メニューの UNITS SETTING 機能から、スピードの単位を km/h (km) から mph (mi) に変更することができます (走行距離を同時に変更)。

TRIP1 がリセットされると、データがリセットされ、次のデータはリセットから 10 秒後に表示されます。数値が表示されない最初の 10 秒間は "- -.-" が平均スピードとして固定表示されます。
停車中であってもエンジンが作動している場合は時間が計算されます (車両停車中でエンジンが停止している時間は考慮されません)。

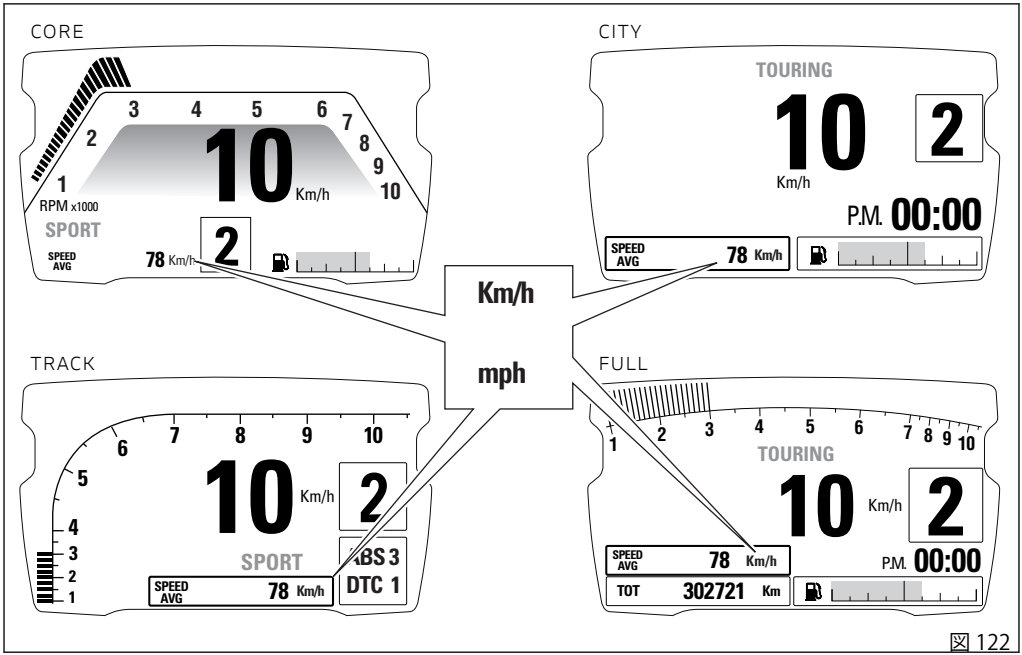

CORE
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
RPM x1000
10
Km/h
SPORT
SPEED AVG
78 Km/h
2
CITY
TOURING
10
Km/h
2
P.M. 00:00
SPEED AVG
78 Km/h
Km/h
mph
TRACK
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
10
Km/h
2
SPORT
ABS 3
DTC 1
SPEED AVG
78 Km/h
FULL
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
TOURING
10
Km/h
2
SPEED AVG
78 Km/h
P.M. 00:00
TOT
302721 Km

図 122

トリップタイム (TRIP TIME)

インストルメントパネルは走行時間を "hhh:mm" 形式で算出し、"TRIP TIME" の文字と共に表示します。
TRIP1 が最後にリセットされて以降の走行時間から計算されます。TRIP1 がリセットされると、データもリセットされます。車両が停止していてもエンジンが作動中であれば計算されます (車両停止中でエンジンが停止している時間は自動的に止まり、エンジンが作動すると自動的に時間測定を再開します)。
表示時間が "511:00" (511 時間 00 分) を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再びゼロからカウントを始めます。

スピード (および距離)、または燃費に関する値の単位が変更された場合とバッテリー OFF の後に、走行時間のデータは自動的にリセットされます。

参考

スピード (および距離)、または燃費に関する値の単位が変更された場合とバッテリー OFF の後に、走行時間のデータは自動的にリセットされます。

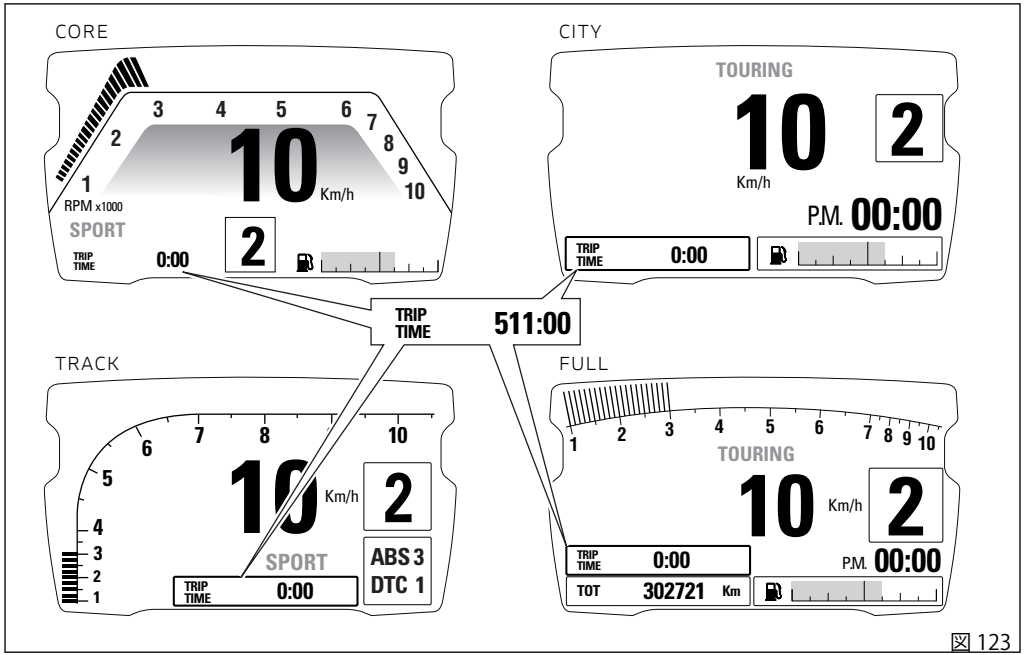

CORE
3 4 5 6 7 8 9 10
2
1
10
Km/h
RPM x1000
SPORT
TRIP TIME
0:00
2
CITY
TOURING
10
Km/h
2
P.M. 00:00
TRIP TIME
0:00
TRIP TIME
511:00
TRACK
6 7 8 10
5
4
3
2
1
10
Km/h
2
SPORT
ABS 3
DTC 1
TRIP TIME
0:00
FULL
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
TOURING
10
Km/h
2
TRIP TIME
0:00
P.M. 00:00
TOT
302721
Km

図 123

外気温

インストルメントパネルは設定された単位(°Cまたは°F)に換算された外気温、設定単位、"T AIR"の文字、温度計記号を表示します。温度データは -39°C～+125°C(-38°F～+257°F)の場合に表示されます。それ以外の温度(-39°C(-38°F)未満 か +125°C(+257°F)を超える場合)では"- - -"と単位が表示されます。
気温センサーエラーの場合、インストルメントパネルには単位と共に"- - -"が点滅します。さらに一般的エラー警告灯が点灯します。

参考

エンジンの熱が停車中の車両の温度表示に影響を与える場合があります。

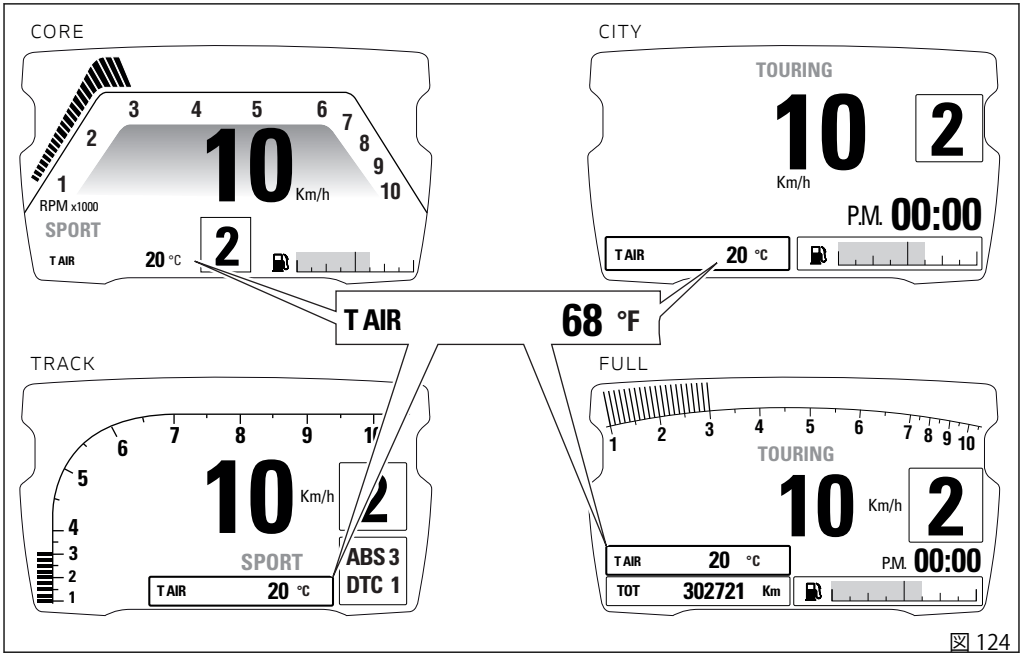

CORE
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
RPM x1000
10
Km/h
SPORT
T AIR
20 °C
2
CITY
TOURING
10
Km/h
2
P.M. 00:00
T AIR
20 °C
T AIR
68 °F
TRACK
6
7
8
9
5
4
3
2
1
10
Km/h
2
SPORT
ABS 3
DTC 1
T AIR
20 °C
FULL
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
TOURING
10
Km/h
2
P.M. 00:00
T AIR
20 °C
TOT
302721 Km

図 124

ラップタイム (LAP TIME)

LAP 機能は TRACK 表示モードにおいてのみメニュー 1 に表示されます。
LAP 機能に関する情報は機能が起動している場合に表示されます。
LAP 機能が起動しているときに FLASH ボタン (3) を最初に押すと、メイン画面の左上に "LAP" の文字が点滅します。また、メニュー 1 に "LAP 01" の文字が表示され、"START" の文字がメニュー 1 に 4 秒間点滅します。その後 FLASH ボタン (3) を押す度に、直前周回のラップタイムが 100 分の 1 秒単位 ("0'00''00") で 6 秒間一時的に表示されます。続いてストップウォッチ、進行中の新しい周回のラップ数が改めて表示されます (LAP 機能がメニュー 1 で選択された場合)。

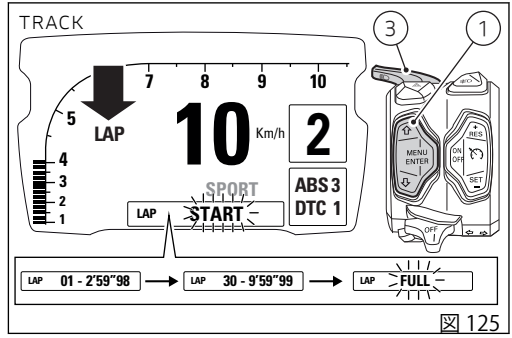


図 125

LAP 機能がメニューで選択したものと異なる場合、表示完了時インストルメントパネルは FLASH ボタン (3) を押す前の機能を表示します。
メニューのその他の機能はいつでもスクロールすることができます。
LAP のメモリー数が 15 に達すると LAP 機能は停止し、FLASH ボタン (3) を押す度にインストルメントパネルに "FULL" の文字が 4 秒間点滅します。これは、測定したラップの保存領域がなくなったことを表します。

参考
LAP 機能が起動しているとき、FLASH ボタンはハイビームの点滅機能との両方に使用します。

LAP の記録

LAP 機能が起動している場合、連続して 15 周回までラップタイプを記録することができます。
操作

ラップタイムが最大 8 分 59 秒 99 以内に停止されない場合、ストップウォッチは再度ゼロからカウントを開始し、ラップが停止されるか記録機能が解除されるまでカウントを続けます。
それぞれの LAP で以下の情報が記録されます。

- 15 周分のラップタイム (連続したスタートとストップ間のタイム)
- 15 周分の最大 RPM 値 (各ラップの最大 RPM 値)
- 15 周分の最高スピード (各ラップの最高スピード)

サブ機能

LAP

インストルメントパネルはLAP機能の状態を表示します (LAPの記録ONまたはOFF)。
LAP機能が起動しているときは、画面左上に"LAP"の文字が表示され、解除されると表示が消えます。記録中は文字が点滅します。
この機能の表示についてはTRACK表示モードを例にあげています。FULL、CORE、CITY表示モードでもTRACK表示モードと類似した表示になります。

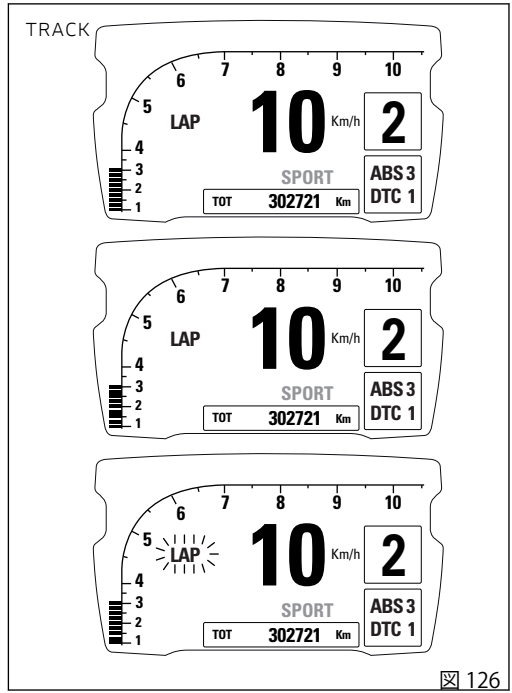


図 126

インフォテインメント

本車両はドゥカティマルチメディアシステム (DMS) を標準装備しています。このシステムは Bluetooth テクノロジー対応ヘッドフォンを用いて着信通話のほか、音楽を聴いたり SMS 受信通知を受け取ったりすることが可能です。
インストルメントパネルにはインフォテインメント機能の状態、すなわち Bluetooth の起動および接続デバイス (スマートフォン、ヘッドセット、ナビゲーター) を表示します。

Bluetooth が起動しているときは、メインスクリーンに Bluetooth アイコン (A) が表示されます。
FULL および CITY 表示モードでは、すべてのインフォテインメント情報が表示されます。CORE および TRACK 表示モードではこれらの情報は表示されませんが、各機能ボタンを使用して通話の応答 / 拒否 / 通話終了は可能です。

警告

インフォテインメントに関連するすべての情報 (プレーヤー、電話帳へのアクセス、デバイス名など) は英文字で表示されます。

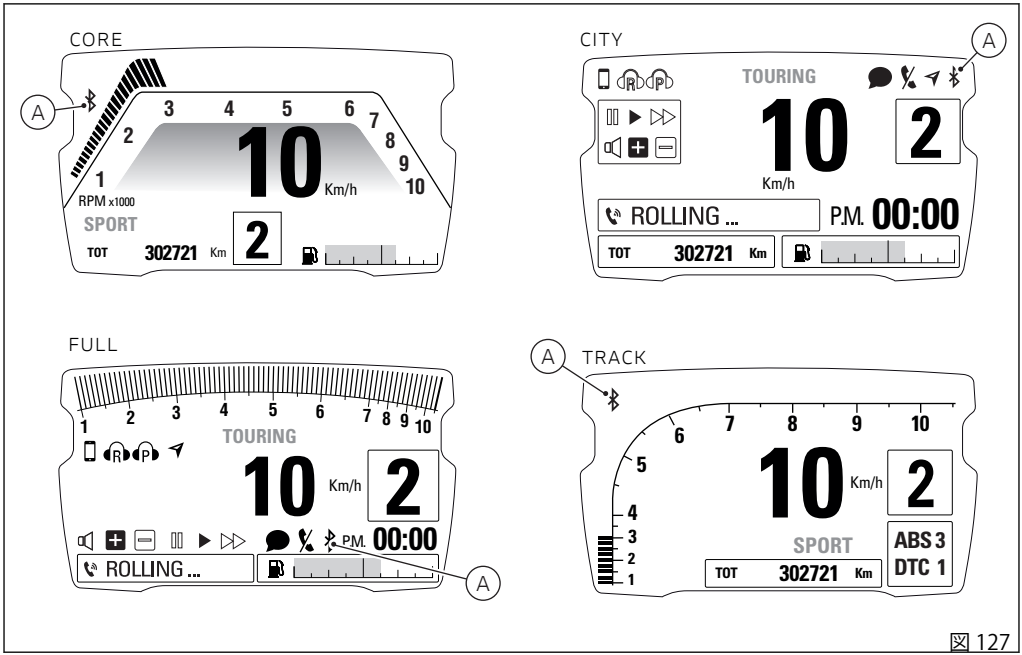

CORE
A
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
RPM x1000
10
Km/h
SPORT
TOT
302721
Km
2
CITY
A
TOURING
10
Km/h
2
ROLLING ...
P.M. 00:00
TOT
302721
Km
FULL
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
TOURING
10
Km/h
2
P.M. 00:00
ROLLING ...
A
A
TRACK
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
10
Km/h
2
SPORT
ABS 3
DTC 1
TOT
302721
Km

図 127

Bluetooth が起動している場合は、Bluetooth アイコンのほかにスマートフォン、ライダーヘルメットヘッドセット、パッセンジャーヘルメットヘッドセット、Ducati ナビゲーターの接続デバイスについても表示されます。
デバイスは最大 4 台まで接続が可能です。

Phone

電話機能を用いて以下の操作が可能です。

- ボタン (1) およびボタン (2) を押して、着信を管理します。
- 通話の中断後 5 秒以内に、最後に通話していた番号へかけ直すことができます (リコール機能)。

参考
機能ボタンで電話帳に登録されている氏名 / 電話番号を選択して電話をかけることはできません。

着信があると (B)、枠内の青色が点滅します。着信を受けると枠内の青色の点滅が止まります。
TRACK および CORE 表示モードでは、着信中も発信者名や電話番号は表示されません。ライダーには Bluetooth ヘッドセットから着信音が聞こえます。
着信時にプレーヤー (E) が作動している場合は、通話中はプレーヤーが一時停止になり、通話が終わると再開します。
ボタン (2) を押して着信を受けます。

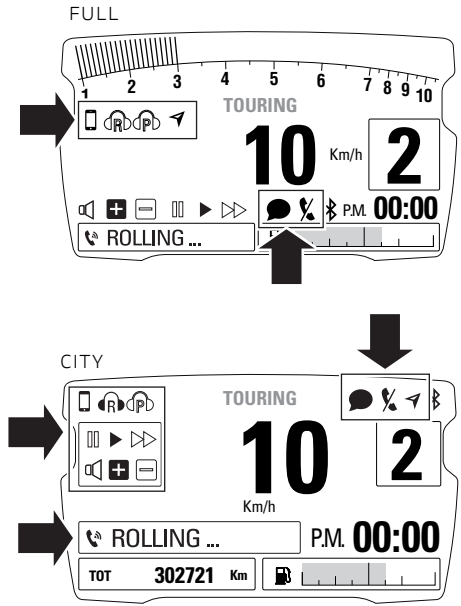


図 128

通話を終了するには、ボタン (1) を 2 秒間押し続けます。
メインスクリーン設定が FULL または CITY モードの場合には、電話をかけ直すことができるリコール機能を表す枠が通話終了後 5 秒間表示されます。
5 秒が過ぎると、リコール機能枠は解除されます。
リコール機能を使うには 5 秒以内にボタン (2) を押します。
TRACK および CORE 表示モードにはリコール機能はありません。

スマートフォンが車両に接続された瞬間から接続を切断する瞬間までに応答しなかった着信がある場合は、不在着信マーク (C) が表示されます (一定時間)。不在着信の相手番号は表示されません。
スマートフォンが車両に接続された瞬間から接続を切断する瞬間までに未読の SMS/MMS/EMAIL がある場合は、未読メッセージのマーク (D) が表示されます (一定時間)。未読メッセージ数は表示されません。

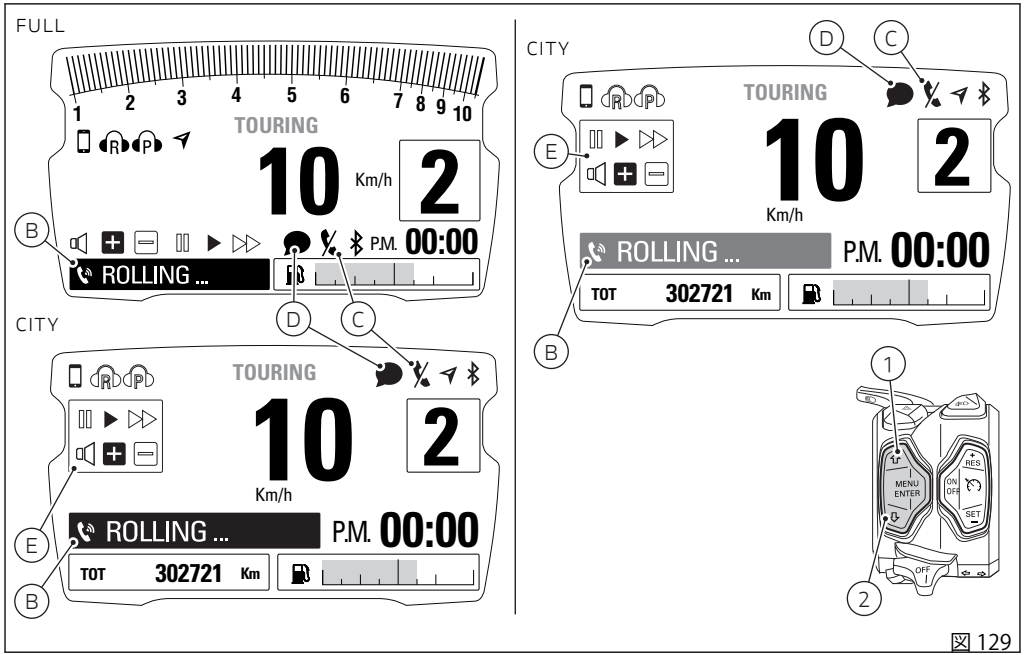

FULL
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
TOURING
10
Km/h
2
P.M. 00:00
ROLLING ...
B
D
C
CITY
TOURING
10
Km/h
2
ROLLING ...
P.M. 00:00
TOT 302721 Km
E
B
CITY
TOURING
10
Km/h
2
ROLLING ...
P.M. 00:00
TOT 302721 Km
D
C
E
B
1
2
MENU
ENTER
RES
ON
OFF
SET
OFF

図 129

プレーヤー

プレーヤーはFULLおよびCITY表示モードで起動することができます。少なくとも1台のスマートフォンが接続されていると(メインスクリーンの青色アイコン)、メニュー1内にPLAYER OFF機能(F)が表示されます。CITY表示モードにおいては、ボタン(1)を2秒間押して"PLAYER OFF"を起動させるとプレーヤーが起動します。
インストルメントパネルはメニュー1に"PLAYER ON"を表示します。FULLおよびCITY表示モードではいずれもプレーヤーのグラフィック：専用キーパッドとトラック名(E)が起動します。プレーヤーが起動すると、ボタン(1)、ボタン(2)、ボタン(4)はプレーヤー操作専用ボタンになります。
プレーヤーがONの時にインストルメントパネルがトラック名を受信しない場合、曲再生が一時停止になり、曲名が表示される枠内に"NOT AVAILABLE"の文字が表示されます。

重要
着信中、通話中、およびリコール中はメニュー1からプレーヤー機能を起動することはできません。

音量調節は以下の方法で行います。
- 音量を上げる：ボタン(1)を押します。
- 音量を下げる：ボタン(2)を押します。

プレーヤーを一時停止/連続再生するにはボタン(4)を2秒間押します。
次の曲にスキップするにはボタン(4)を押します。ボタンを押すたびに一曲ずつスキップします。
プレーヤーをONの状態にしたまま、プレーヤー操作から出るにはボタン(2)を2秒間押します。
プレーヤー操作を出てから3秒以内に"PLAYER ON"の対応するボタン(1)を2秒間押すと、プレーヤーをOFFにすることができます。メニュー1には"PLAYER OFF"の文字が表示されます。

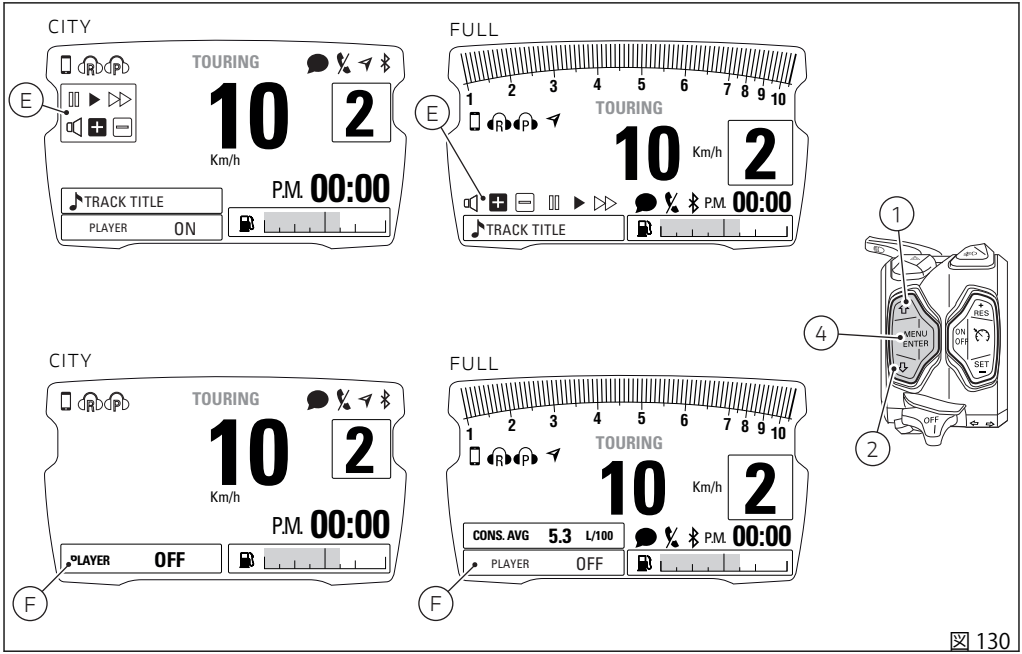

CITY
TOURING
10
2
Km/h
P.M. 00:00
TRACK TITLE
PLAYER ON
E
FULL
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
TOURING
10
Km/h
2
P.M. 00:00
TRACK TITLE
E
CITY
TOURING
10
2
Km/h
P.M. 00:00
PLAYER OFF
F
FULL
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
TOURING
10
Km/h
2
CONS. AVG 5.3 L/100
P.M. 00:00
PLAYER OFF
F
1
2
4
MENU
ENTER
RES
ON
OFF
SET
OFF

図 130

よくある質問と回答 (FAQ)

1) E メール受信通知を受け取れません。
メール受信の通知は、携帯電話のネイティブアプリケーションに設定されている場合にのみ受け取ることができます。また、携帯電話が MAP プロフィールに対応していることを確認してください。
対応している場合には、ドゥカティマルチメディアシステムは接続時にプロフィールへのアクセスリクエストを送信します。このリクエストは、メッセージ通知へのアクセス許可をリクエストするかたちで、ユーザーに明確に通知される場合があります (端末の OS により異なる)。

2) SMS 受信通知を受け取れません。
携帯電話が MAP プロフィールに対応していることを確認してください。
対応している場合には、ドゥカティマルチメディアシステムは接続時にプロフィールへのアクセスリクエストを送信します。このリクエストは、メッセージ通知へのアクセス許可をリクエストするかたちで、ユーザーに明確に通知される場合があります (端末の OS により異なる)。

3) ヘッドセットを接続できません。どうしてですか？
一回ペアリングを行っている場合は、ヘッドセットを一度リセットして再び車両とのペアリングを実施してください (ヘッドセットの取扱説明書参照)。

4) 着信時、インストルメントパネルには発信者の番号は表示されますが、発信者名は表示されません (電話帳に保存している場合も含む)。
携帯電話が PBAP プロフィールに対応していることを確認してください。
対応している場合には、ドゥカティマルチメディアシステムは接続時にプロフィールへのアクセスリクエストを送信します。このリクエストは、携帯電話の電話帳へのアクセス許可をリクエストするかたちで、ユーザーに明確に通知される場合があります (端末の OS により異なる)。

5) インストルメントパネルからプレーヤーを起動しても、音楽がスタートしません。
プレーヤーの起動は携帯電話の設定に依存します。この場合は、インストルメントパネルからプレーヤーを起動したのち、スマートフォンから音楽再生アプリを起動してください。

6) 音楽の音が飛ぶことがあります。
デバイスの接続が悪いと、Bluetooth コントロールユニットがまだデバイスとの接続を完了しようとしているままになる場合があります。また、PBAP プロフィ

ールおよび MAP プロフィールが有効でなければなりません。iOS の場合は、項目 7) を参照してください。Android の場合は、項目 2)、4) を参照してください。

7) iPhone ではメッセージ受信通知を受け取れません。どうしてですか？

「設定」メニューの「Bluetooth」を選択してください。「デバイス」リスト内から「Ducati Media System」の横にある「i」を選択してください。通知の表示を有効にします。

クルーズコントロール

本車両は走行速度を一定に維持するシステム、ドゥカティクルーズコントロールを搭載しています。

この機能はクルーズコントロールの状態と設定速度を表示します。
ON/OFF ボタン (5) を押して、クルーズコントロールを起動 / 解除することができます。システムが起動すると、インストルメントパネルにクルーズコントロールランプ (A) が点灯します。
最初に起動した時点で、ドゥカティクルーズコントロールはスタンバイモードにあります。このモードでは、すべての動作条件が満たされていれば、自動的に一定に保つ設定速度を受信することができる状態にあります (下記参照)。
この機能の表示については CORE 表示モードを例にあげています。TRACK、FULL、CITY 表示モードでも CORE 表示モードと類似した表示になります。

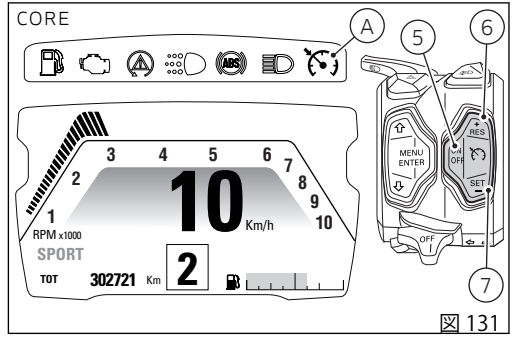


図 131

一旦システムを起動すると、SET ボタン (7) を押して現在の走行速度を設定速度として設定することができます。以前に一度も設定速度を設定していない場合、SET ボタン (7) の代わりに RES ボタン (6) を押しても現在の走行速度を設定速度に設定することができます。この場合、システムは現在の走行速度を記録すると、スロットルを操作することなく記録した速度が維持されます。
クルーズコントロール速度が正しく設定されるとインストルメントパネルに設定速度が 5 秒間表示され、その後 SET アイコンが点灯します。
前回に速度を設定しており、機能条件を満たしている場合にスタンバイモードから RES ボタン (6) を押すと、システムはユーザーが最後に設定した速度を呼び出してクルーズコントロール機能を作動します。この場合にも、インストルメントパネルに設定速度が 5 秒間表示されます。

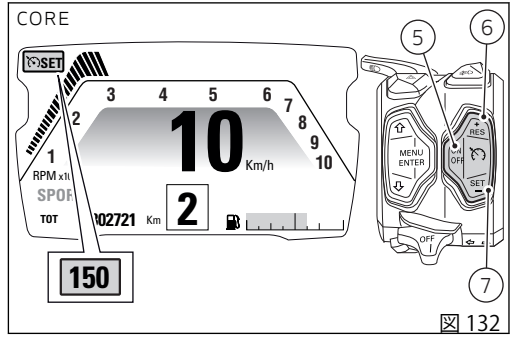


図 132

設定速度の増速および減速は、それぞれボタン (6) および (7) を押して行います。
ワン«クリック» が 1 km/h (0.62 mph) の増速または減速に相当します。
RES ボタン (6) を押し続けると、設定速度が徐々に増加します。
SET ボタン (7) を押し続けると、設定速度が徐々に増加します。
設定速度が変更される度に、設定速度が SET アイコンの代わりに 5 秒間表示されます。

重要

DTC (トラクションコントロール) が長時間にわたって介入すると、クルーズコントロール機能は自動的に一時停止します。

以下のすべての条件が確認された場合に限り、ドゥカティクルーズコントロールシステムを起動することができます。

- ギアが 2 速以上に入っている。
- 走行速度 50 Km/h (30 mph) 以上もしくは 200 Km/h (125 mph) 以下。

以下の方法でドゥカティクルーズコントロールシステムを解除することができます。

1) ボタン (5) を押す。
2) フロントブレーキレバーを引く。
3) リアブレーキペダルを踏み込む。
4) クラッチレバーを引く。

「2-3-4」の操作を行うと、システムはスタンバイモードに入ります。クルーズコントロールランプは点灯し続けます。
「1」の操作を行うと、システムは OFF になります。クルーズコントロールランプが消灯します。
ドゥカティクルーズコントロールシステムは 50 Km/h (30 mph) ～ 200 Km/h (125 mph) の範囲で車両速度を制御します。

ローンチコントロール (DPL) ボタン

この機能は、ドゥカティパワーローンチ (DPL - Ducati Power Launch) 機能を起動します。

ボタン (12) を押してローンチコントロールメニューに入ります。この操作は走行速度が 5 km/h (3.1 mph) 以下の場合にのみ有効です。

ローンチコントロールメニュー内では、ボタン (1) および (2) を使用して好みの DPL レベル (1、2、3) を選択することができます。一方、ボタン (4) を 2 秒間押して、選択したレベルを設定します。

参考

このメニュー内で 10 秒間変更が行われなければ、インストルメントパネルは DPL を OFF に設定し、前の画面に戻ります。

DPL レベルが設定されると、待機画面が 2 秒間表示されます。待機画面の表示中にボタン (4) を押すと待機フェーズが中断され、インストルメントパネルはメインスクリーンに戻ります。この場合、DPL は OFF に設定されます。

待機画面の 2 秒が経過すると、インストルメントパネルは “ローンチコントロール” の画面を表示します。

ローンチコントロールが終了するとインストルメントパネルは DPL を OFF に設定し、“メインスクリーン” に戻ります。
ドゥカティ社の DPL 初期設定は OFF に設定されています。

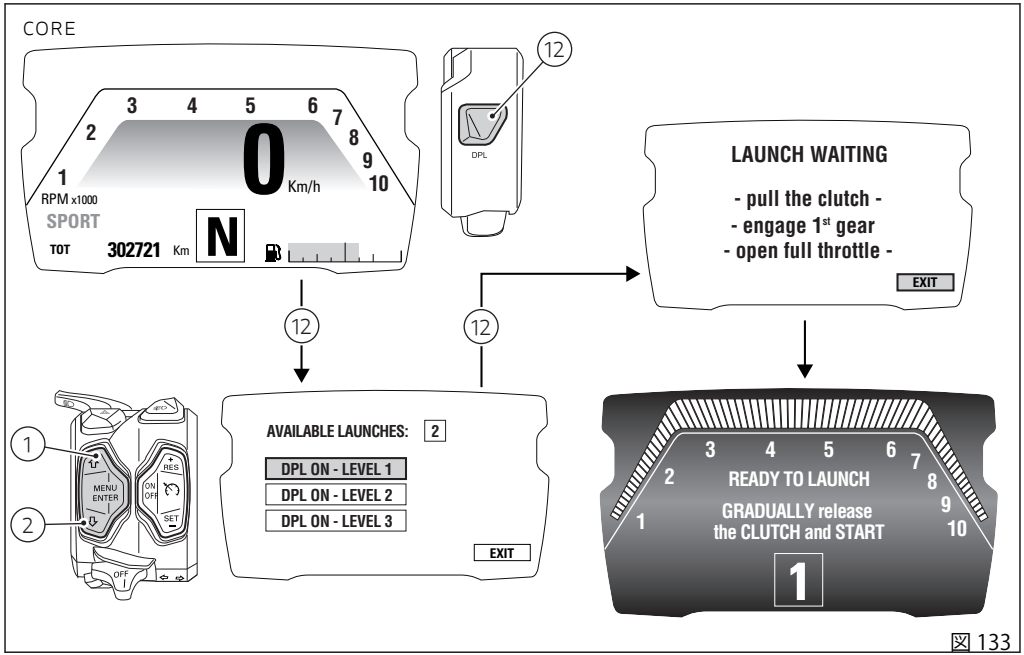

CORE
3 4 5 6 7
2 8
1 9
10
0
Km/h
RPM x1000
SPORT
TOT
302721
Km
N
12
DPL
LAUNCH WAITING
- pull the clutch -
- engage 1st gear
- open full throttle -
EXIT
12
12
1
2
MENU
ENTER
RES
ON
OFF
SET
OFF
AVAILABLE LAUNCHES: 2
DPL ON - LEVEL 1
DPL ON - LEVEL 2
DPL ON - LEVEL 3
EXIT
3 4 5 6 7
2 8
1 9
10
READY TO LAUNCH
GRADUALLY release
the CLUTCH and START
1

図 133

参考
DTC が “OFF” に設定されている場合、DPL 機能を起動することはできません。

DTC が OFF に設定されている場合にボタン (12) を押すと、インストルメントパネルには "DTC OFF – DPL NOT AVAILABLE" が 5 秒間表示されます。5 秒が経過すると、メインスクリーンに戻ります。

参考
DPL メニューに入った時にインストルメントパネルがコントロールユニットのエラーを検出した場合、その時点で起動している表示に関係なく "LAUNCH CONTROL ERROR" の文字が 3 秒間点滅し、その後メインスクリーンに戻ります。

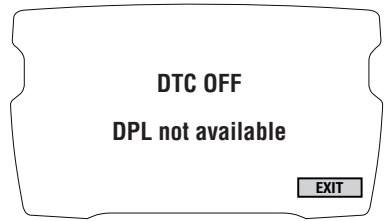


図 134

図 135

参考
利用可能なローンチがない場合、"NO LAUNCHES AVAILABLE" が画面に表示されます。

図 136

ドゥカティパワーローンチ (DPL) システムは、車両の出力を制御することを目的として、停止状態からの急発進時にライダーの微妙な操縦を可能にしてくれます。
DPL システムは 3 つの介入レベルを基に機能します。各レベルでスタート時のアシストに対して異なる値が設定されています。
下表は、発進時の運転タイプに適した DPL 介入レベルを示します。すべてのレベルは標準装備の OEM タイヤに合わせて最適化されています。

DPL レベル	パフォーマンス	用途
1	High	非常に熟練したライダー向けに最大のパフォーマンスを発揮。 システムはウィリーおよびリアホイールのスリップを可能にしますが、これらの現象発生時の速度を抑えます。
2	Medium	熟練ライダー向け。 システムはウィリーおよびリアホイールのスリップ傾向を軽減するだけでなく、これらの現象が発生した場合には大幅な介入を行います。
3	Medium	すべてのライダー向け。 システムはウィリーおよびリアホイールのスリップ傾向を最小限に抑えるだけでなく、これらの現象が発生した場合には継続的に介入を行います。

警告
DPL システムは、路面のグリップが良好な状態の直線および平坦なルートでのみ使用してください。DPL システムは整備された環境またはクローズドサーキット内での使用を考慮しています。このため、安全上の理由から不適切な場所での使用はしないでください。

発進方法

発進操作は、主に次の二段階に分けられます。

- 第一段階は、クラッチを完全に放していない状態。この状態におて地面に伝達されるトルクは、クラッチの位置および滑りに依存します。
- 第二段階は、クラッチを完全に放した状態。この状態において地面に伝達されるトルクは、エンジンが出力するトルクに依存します。

DPL システムは停止状態からの発進時の第一段階にエンジンから出力されるトルクを自動的に調整してライダーをサポートする補助システムです。発進時の理想のエンジン回転数を維持することで、ライダーは急激なクラッチ操作ではなく、均一でソフトなクラッチ操作が可能になります。エンジントルクは第二段階においても調整されます。これにより、最大の出力を確保しながらウィリーおよびリアホイールのスリップを制限します。

クラッチの損傷を避けるため、DPL システムは連続して実行可能な発進回数をリアルタイムで算定し、インストルメントパネルの専用メニューに表示します。発進完了ごとにカウントが 1 減少します。DPL システムでは、車両の走行距離およびエンジン稼動 / 停止状態で経過した時間に応じてカウントが 1 増加します。発進可能回数がゼロでない限り、ローンチコントロールの使用が可能です。

警告
DPL システムの使用により、エンジンおよびトランスミッションの機械部品の寿命が短くなる場合があります。
DPL システムは、エンジンが動作温度に達した時にのみ使用してください。

DPL のローンチコントロールを実行するには、車両が以下の条件を満たしていなければなりません。

- 走行速度 0 km/h
- 垂直姿勢
- エンジン作動
- DTC ステータス ON

ローンチコントロールのカウントがゼロでない限り、ライダーはボタン (12) で DPL レベルメニューにアクセスし、インストルメントパネルで希望の DPL レベルを選択することが可能です。

レベルを選択したら、ライダーはまずクラッチを引きます。1 速ギアに入れ、スロットルグリップを最大位置まで完全に開きます。

上記の一連の操作が実行されると、DPL システムはシステムのスタート準備が整ったことを知らせる確認画面をダッシュボードに表示します。
その後、スロットルグリップを完全に開いた状態でクラッチを徐々に離します。
走行速度が 20 km/h (12.4 mph) を超えた時、インストルメントパネルの表示は通常機能の画面に戻ります。ただし、発進の間は選択されている DPL レベルが常に表示されます。

クラッチが完全に解放された後で以下の条件のいずれかが検知されると、DPL システムは OFF になります。

- 走行速度が 120 km/h (74.6 mph) を超えた
- 3 速ギアが入れられた

クラッチが完全に解放された後、ライダーが発進操作の中止した場合、すなわちスロットルを閉じて走行速度を 5 km/h (3.1 mph) 未満に減速した場合にも、DPL システムは OFF になります。

警告
システムはエンジンからの出力を管理しますが、クラッチを放す操作は管理しません。クラッチ操作はユーザーが制御します。
発進段階でクラッチを急激に放すと、車両の最適な動作を維持できません。また、クラッチ操作に長時間かけすぎると、クラッチが過熱し、クラッチの損傷につながるおそれがあります。

警告
ユーザーの車両上でのポジションがシステムの動作に影響を与える場合があります。

レベルの選択に際しての注意事項

レベル 3 を選択すると、DPL システムは発進時のウィリーおよびリアホイールのスリップ傾向を最小限に抑えるように加入します。レベル 2 および 1 ではシステムの介入は少なくなります。

各自の運転に最も適した DPL レベルを見つけるには、システムを起動してまずレベル 3 を選択し、システムの特性を理解するために実際に発進します。その後、最善の介入レベルになるまでレベル 2 、1 の順に試してください。

標準装備の OEM タイヤ以外のもので、標準装備のタイヤとはサイズクラスの異なるタイヤやサイズが大き

く異なるタイヤを使用する場合は、システムの機能が影響を受ける可能性があります。

警告

DPLはライダーをアシストするシステムです。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を可能にすることを目指したメカニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるものではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可能にする慎重な運転を心がけてください。
この安全システムは事故予防のためのシステムです。これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で確実なものにします。車両が走行している路面状況や道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理的に許容されるスピードを超えたりするような運転に寄与するシステムではありません。

メンテナンス表示 (SERVICE)

この表示は、Ducati 正規サービスセンターで車両のメンテナンス (定期点検) を実施する必要があることをユーザーに通知します。
メンテナンス表示のリセットは、メンテナンスを行う Ducati 正規サービスセンターでのみ行うことができます。
定期点検には 3 つの種類があります。

- OIL SERVICE ZERO：最初の 1000 km (600 mi) 点検
- OIL SERVICE および ANNUAL SERVICE：オイル点検もしくは一年点検 (どちらも同様の点検作業を実施します)
- DESMO SERVICE

警告

ANNUAL SERVICE 機能は日付が設定されている場合にのみ利用が可能です (作動します) 。

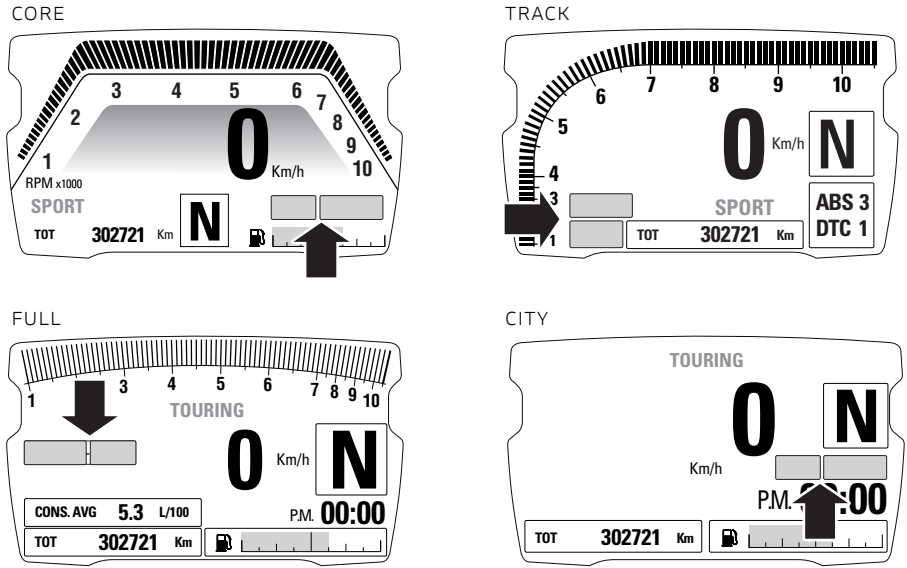

CORE
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
RPM x1000
0
Km/h
SPORT
TOT
302721
Km
N
TRACK
6
7
8
9
10
5
4
3
1
0
Km/h
N
SPORT
ABS 3
DTC 1
TOT
302721
Km
FULL
1
3
4
5
6
7
8
9
10
TOURING
0
Km/h
N
CONS. AVG
5.3
L/100
P.M.
00:00
TOT
302721
Km
CITY
TOURING
0
N
Km/h
P.M.
TOT
302721
Km

図 137

OIL SERVICE ゼロの表示

最初のメンテナンス表示は、Oil Service (OIL) ゼロを通知します。オドメーターが最初の 1000 km (600 mi) に達すると表示され、Ducati 正規サービスセンターでのメンテナンスにおいて "リセット" されるまで常時表示されます。

図 138

OIL SERVICE、ANNUAL SERVICE、DESMO SERVICE カウントダウン表示

Oil Service ゼロ (1000 km - 600 mi) 表示の最初のリセットが行われた後、インストルメントパネルは Key-ON ごとに以下の表示を黄色で 5 秒間表示します。

- 次回の定期点検 OIL SERVICE (A) までの走行距離が 1000 km (600 mi) を切るまで、定期点検までの残りのキロ数 (マイル数) をカウントします。
- 次回の定期点検 ANNUAL SERVICE (B) までの日数が 30 日を切るまで、残りの日数をカウントします。
- 次回の定期点検 DESMO SERVICE (C) までの走行距離が 1000 km (600 mi) を切るまで、残りのキロ数 (マイル数) をカウントします。

点検までの正確な残りの走行距離、またはメンテナンス予定日を知るには、設定メニューに入り “INFO SERVICE” を選択します ページ 271。

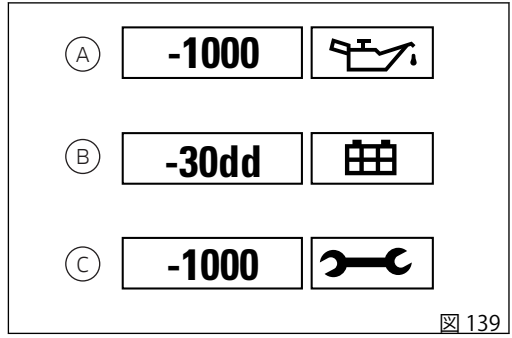


図 139

OIL SERVICE、ANNUAL SERVICE、DESMO SERVICE 表示

メンテナンスを必要とする走行距離に達すると、次のうち必要なメンテナンスが表示されます。

- Oil Service (A)
- Annual Service (B)
- Desmo Service (C)

点検までの残りの走行距離、またはメンテナンス予定日を知るには、設定メニューに入り “INFO SERVICE” を選択します ページ 271。
実施するメンテナンスの種類が赤色で表示されます。その後 Ducati 正規サービスセンターでのメンテナンスにおいて "リセット" されるまで常時表示されます。

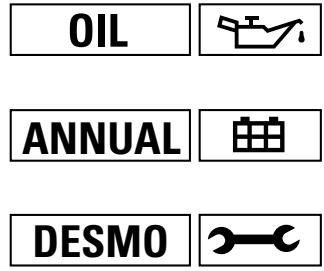


図 140

注意 / 警告 (WARNING)

車両使用中にユーザーに有用な情報を提供するため、インストルメントパネルは一連の注意/警告 (warnings) を管理します。
KEY-ON 時に警告が検知されると、インストルメントパネルのディスプレイに警告が表示されます。
車両の通常作動時に警告が検知されると、インストルメントパネルのディスプレイに警告が自動的に表示されます。警告が検知されると最初の 10 秒間はっきりと表示され (大きいアイコン)、その後小さく表示されます (小さいアイコン)。
複数の警告が検知された場合、各警告アイコンが 3 秒ずつ順番に表示されます。

警告

ひとつ以上の警告灯が点灯すると同時に一般的エラー警告灯が点灯する場合、一般的エラー警告灯が点灯している間は小さい警告アイコンは表示されません。警告アイコンは最初の 10 秒間のみ大きく表示されます。

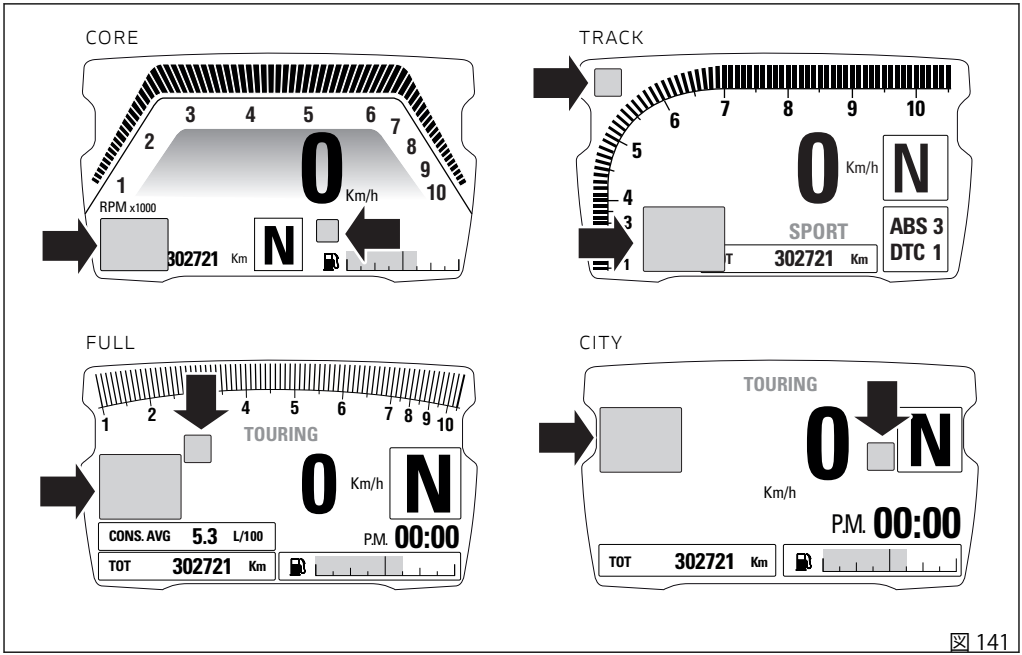

CORE
RPM x1000
0
Km/h
N
302721 Km
TRACK
0
Km/h
N
SPORT
ABS 3
DTC 1
302721 Km
FULL
TOURING
0
Km/h
N
CONS. AVG 5.3 L/100
P.M. 00:00
TOT 302721 Km
CITY
TOURING
0
N
Km/h
P.M. 00:00
TOT 302721 Km

図 141

凍結

この機能では、外気温が低いため路面凍結の危険があることを表示します。
温度が 4°C (39°F) に下がると表示され、6°C (43°F) に上がると表示が消えます。

警告
気温が 4°C (39°F) 以上でも道路が氷結している可能性があります。外気温が "低い" 時、特に日陰や橋の上では細心の注意を払って運転してください。

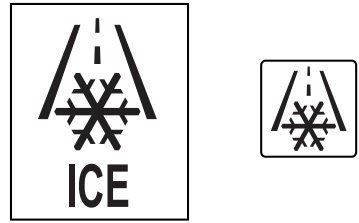


図 142

バッテリーレベル LOW (LOW BATTERY) インジケーター

この機能は車両のバッテリー充電レベルが低下していることを通知します。
バッテリー電圧が約 11.0 V 以下になると表示されます。

参考
この場合、車両を始動できなるおそれがありますので、正規チャージャーで速やかにバッテリーを充電してください。

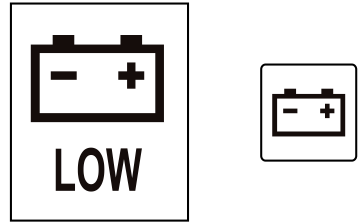


図 143

Hands Free (HF) キー無感知

Hands Free システムが車両付近に "アクティブキー" を感知できないとき、この警告が表示されます。

参考

この場合、アクティブキーが実際に車両付近に存在するか (キーを紛失していないか)、あるいはアクティブキーが正しく作動しているかを確認してください。

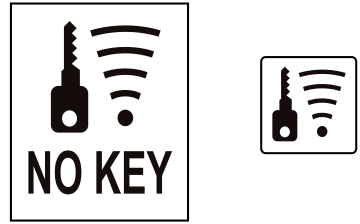


図 144

Hands Free (HF) キーバッテリーレベル "LOW"

情報のやりとり、車両の起動を行うアクティブキーの電池が切れかかっていることをHands Freeシステムが検知すると、この警告が表示されます。

参考

この場合、早急に電池を交換してください。

電池の交換については「キー」の章を参照してください。

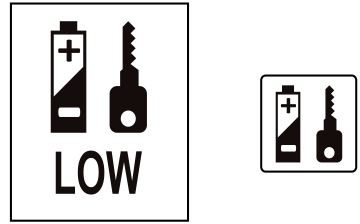


図 145

日付の入力

この機能は設定メニューから日付を入力する必要があることを通知します。

参考
この場合は一旦停車し、"日付の設定 (DATESET)" 機能から日付を入力してください。

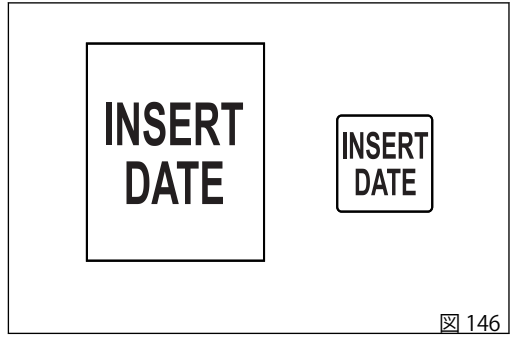


図 146

ステアリングロック解除エラー - ステアリングロック状態

この警告は、Hands Free システムがステアリングロックを解除できなかったことを示します。

警告

この場合は、ハンドルレバーを下まで押し下げた状態で車両の停止と再起動 (Key-OFF/Key-ON) を行ってください。もしマークが消えない (つまりステアリングがロック状態のまま) 場合は、Ducati 正規サービスセンターにご連絡ください。

電子式オープニング燃料フィラープラグ表示 – アクセサリー

電子式オープニング燃料フィラープラグが車両に装備されている場合、インストルメントパネル内には電子プラグが開いていることを示す黄色の情報アイコンがあります。

- 起動時には、最初の 5 秒間大きく表示されます。
- その後、小さく表示されます。

プラグが開いているときにインストルメントパネルがオンになると (キーオン)、アイコンがアクティブになります。

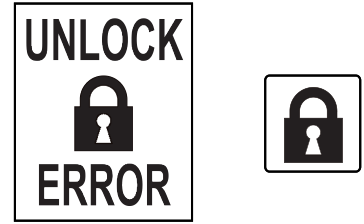


図 147

エラー表示

インストルメントパネルは車両の不具合をリアルタイムに識別するためにエラー信号を管理します。
車両 Key-ON 時にエラーが検知された場合、インストルメントパネルのディスプレイに MIL ランプ (B) (エンジンコントロールユニットに直接関連するエラー) もしくは一般的エラー警告灯 (A) (その他エラー全般) が点灯します。
車両の通常作動時にエラーが検知されると、インストルメントパネルには MIL (B) ランプもしくは一般的エラー警告灯 (A) が点灯します。

警告

ひとつ以上のエラーが表示される場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

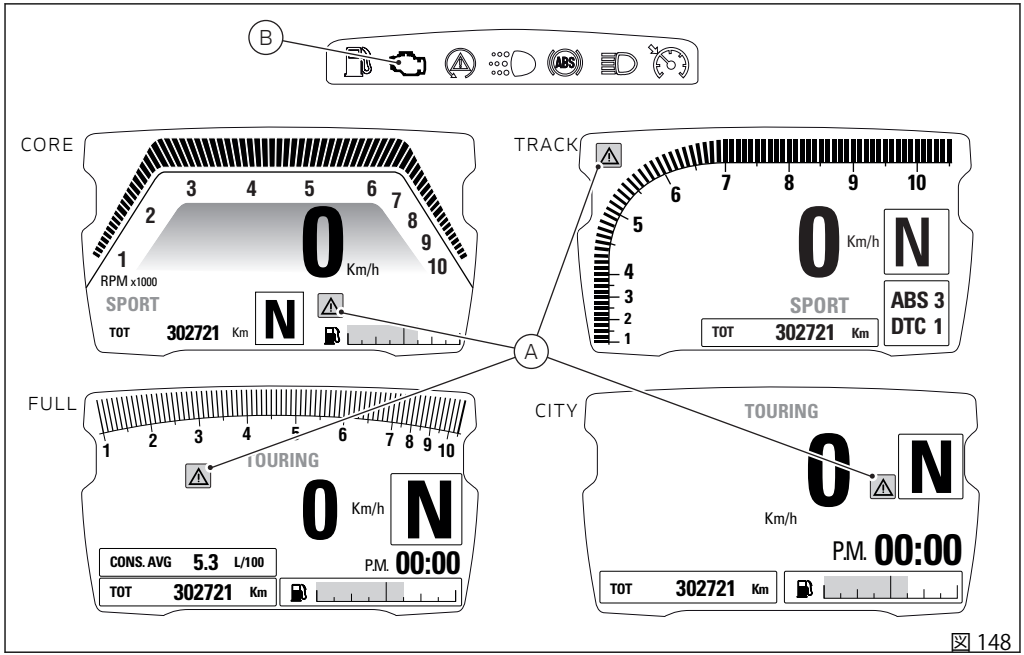

B
CORE
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
0
Km/h
RPM x1000
SPORT
TOT
302721
Km
N
A
TRACK
5
6
7
8
9
10
4
3
2
1
0
Km/h
N
SPORT
ABS 3
DTC 1
TOT
302721
Km
FULL
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
TOURING
0
Km/h
N
CONS. AVG
5.3
L/100
P.M.
00:00
TOT
302721
Km
CITY
TOURING
0
N
Km/h
P.M.
00:00
TOT
302721
Km

図 148

サイドスタンドの状態の表示

インストルメントパネルはスタンドの状態を表示します。サイドスタンドが下りている/開いている場合には、赤色の背景に "SIDE STAND" アイコンがディスプレイに表示されます。
サイドスタンドセンサーエラーが検知されると、インストルメントパネルはサイドスタンドエクステンド/オープンを表示し、MIL ランプを点灯します。
インストルメントパネルがサイドスタンドの状態に関するデータを受信しない場合、スタンドが下りている/開いている場合の "SIDE STAND" の表示が点滅し、不明の状態を表します。

参考

サイドスタンドが下りていてギアが入った状態では車両を始動することはできません。ギアがニュートラルの状態で車両を始動し、次にサイドスタンドが下りている状態でギアを入れると、車両は停止します。

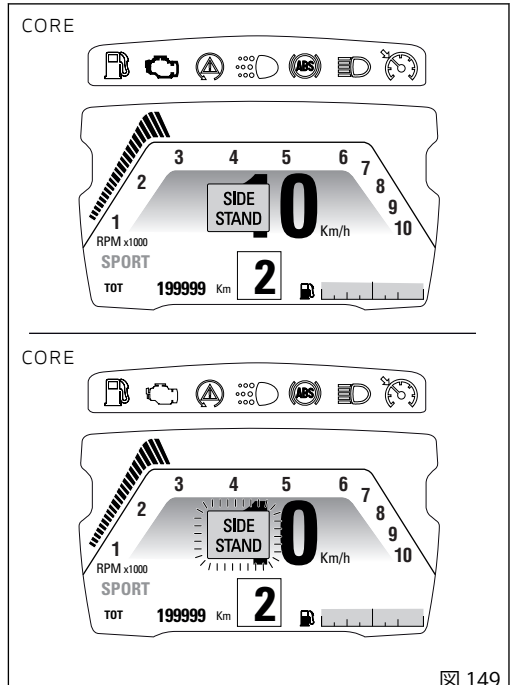


図 149

ライトモード表示 (DRL)

インストルメントパネルは、DRL コントロールが AUTO モードか MANUAL モードのいずれに設定されているかを該当するアイコンで表示します。
DRL が AUTO モードに設定されている時は、インストルメントパネルに緑色アイコンと “A” の文字が表示されます。
DRL が MANUAL モードに設定されている時は、インストルメントパネルにオレンジ色アイコンと “M” の文字が表示されます。

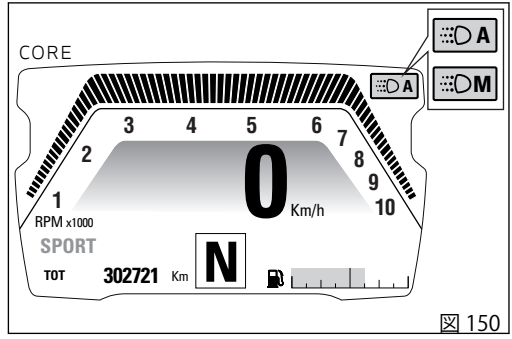


図 150

設定メニュー

このメニューではいくつかの車両機能の ON/OFF および設定を行います。
設定メニューに入るには、KEY-ON の状態で車両実速度が 5 km/h (3.1 mph) 以下の時にボタン (4) を 2 秒間押します。設定メニューの表示中は他の機能を表示することはできません。
設定メニューには以下の機能が表示されます。

- RIDING MODE (ライディングモード)
- INFO MODE
- LAP
- PIN CODE (PIN コード)
- DRL CONTROL (DRL 機能を搭載している場合のみ)
- BACK LIGHT
- DATE SET
- CLOCK SET
- INFO SERVICE
- UNIT SETTING
- BLUETOOTH (Bluetooth モジュールを搭載している場合のみ)
- INFO
  - BATTERY
  - RPM
  - BLUETOOTH バージョン

重要

安全のために、このメニューは車両が停止している状態で使用してください。

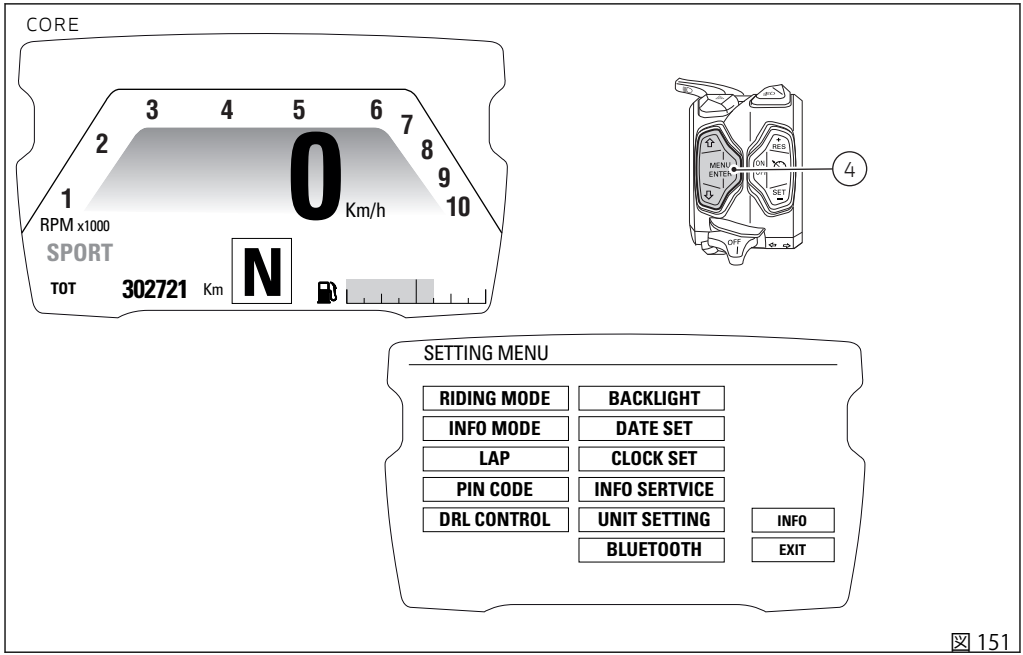

CORE
3
4
5
6
7
2
8
9
1
10
0
Km/h
RPM x1000
SPORT
TOT
302721
Km
N
INFO
RES
MENU
ENTER
ON
SET
OFF
4
SETTING MENU
RIDING MODE
BACKLIGHT
INFO MODE
DATE SET
LAP
CLOCK SET
PIN CODE
INFO SERTVICE
DRL CONTROL
UNIT SETTING
INFO
BLUETOOTH
EXIT

図 151

ボタン (1) および (2) を押すとパーソナライズ可能なパラメーターを一つずつ強調表示することができます。ボタン (2) を押すと次のパラメーターが、ボタン (1) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。
希望のパラメーターを強調表示した後、ボタン (4) を押すと、選択したパラメーターに対応するメニューページが開きます。
ディスプレイ上部には、機能設定中のメニューおよびサブメニューのルートが表示されます。
設定メニューを終了するには、"EXIT" を強調表示してボタン (4) を押します。

以下の機能についてはユーザーによる変更が可能です。

- ライディングモード (RIDING MODE) のパーソナライズ：パーソナライズメニューから以下の設定が可能です。
  - エンジン調整 (ENGINE)
  - DTC レベルの設定 (DTC)
  - ABS 調整 (ABS)
  - デフォルト設定の回復 (DEFAULT)
- 表示モード設定 (INFO MODE)
- LAP (LAP の起動 / 表示 / 削除)
- PIN CODE (入力/変更)
- DRL CONTROL (AUTO / MANUAL 設定) (DRL が搭載されている場合のみ)
- ディスプレイの背景の設定 (BACK LIGHT)
- 日付の調整 (DATE SET)
- 時計の調整 (CLOCK SET)
- サービス情報表示 (INFO SERVICE)：Oil Service、Desmo Service、Annual Service の期限
- 単位の設定 (スピード - 温度 - 燃費) (UNITS SETTING)
- Bluetooth 設定 (ペアリング / ペアリングデバイスの削除) (Bluetooth が搭載されている場合のみ)

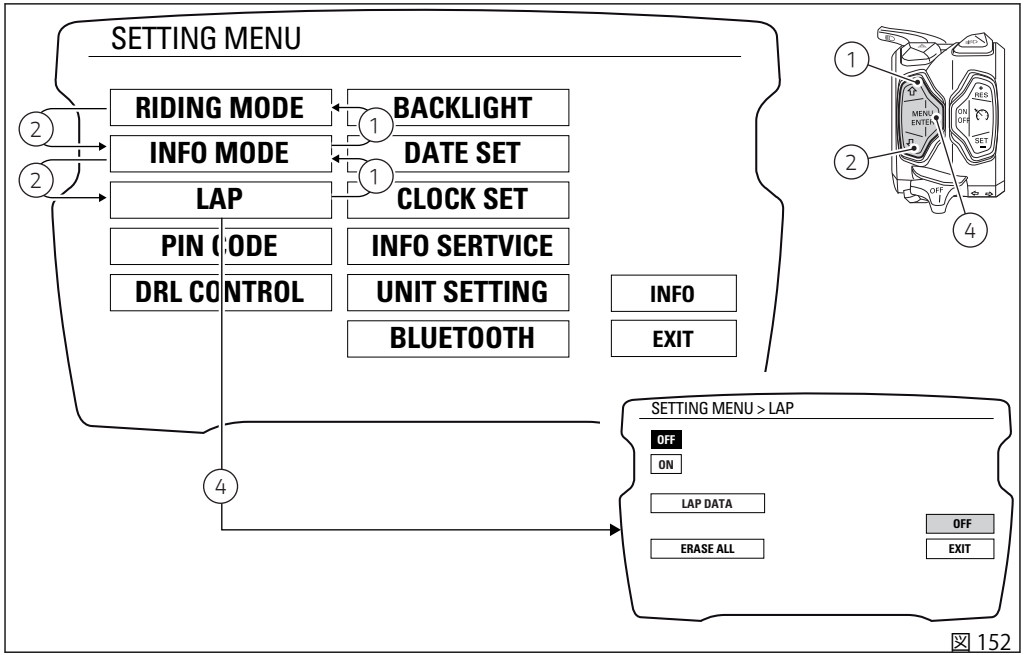

SETTING MENU
RIDING MODE
INFO MODE
LAP
PIN CODE
DRL CONTROL
BACKLIGHT
DATE SET
CLOCK SET
INFO SERTVICE
UNIT SETTING
BLUETOOTH
INFO
EXIT
1
2
4
MENU
ENTER
RES
ON
OFF
SET
SETTING MENU > LAP
OFF
ON
LAP DATA
ERASE ALL
OFF
EXIT

図 152

ライディングモードのパーソナライズ (RIDING MODE)

各ライディングモードのそれぞれの設定をパーソナライズすることができます。
設定メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して "RIDING MODE" を選択します。機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
"RIDING MODE" メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (SPORT、TOURING、URBAN) を選択します。希望のモードが強調表示されたら、ボタン (4) を押します。選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。
"EXIT" の文字が強調表示された状態でボタン (4) を押すと、サブメニューを終了し前の画面に戻ります。

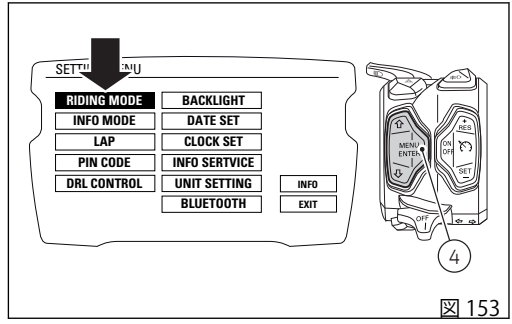


図 153

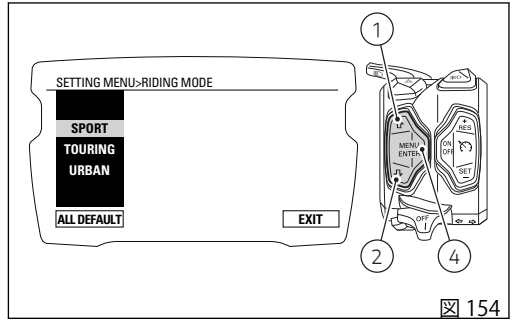


図 154

各ライディングモードについて以下のパラメーターをパーソナライズすることができます。

- ENGINE
- DTC
- ABS

ボタン (1) および (2) を押すとパーソナライズ可能なパラメーターを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のパラメーターが、ボタン (2) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。
希望のパラメーターを強調表示した後、ボタン (4) を押すと、選択したパラメーターに対応するメニューページが開きます。
変更したパラメーターはバッテリーを切り離してもリセットされません。
それぞれのライディングモードを Ducati 初期設定に戻すには、"DEFAULT" 機能を使用します。
"EXIT" の文字が強調表示され、ボタン (4) を押すと、サブメニューを終了して前の画面に戻ります。

警告

パラメーター変更は、車両のセットアップに充分慣れている方のみにお勧めします。意図せず変更してしまった場合は、"DEFAULT" または "ALL DEFAULT" 機能を使用してパラメーターを修復してください。

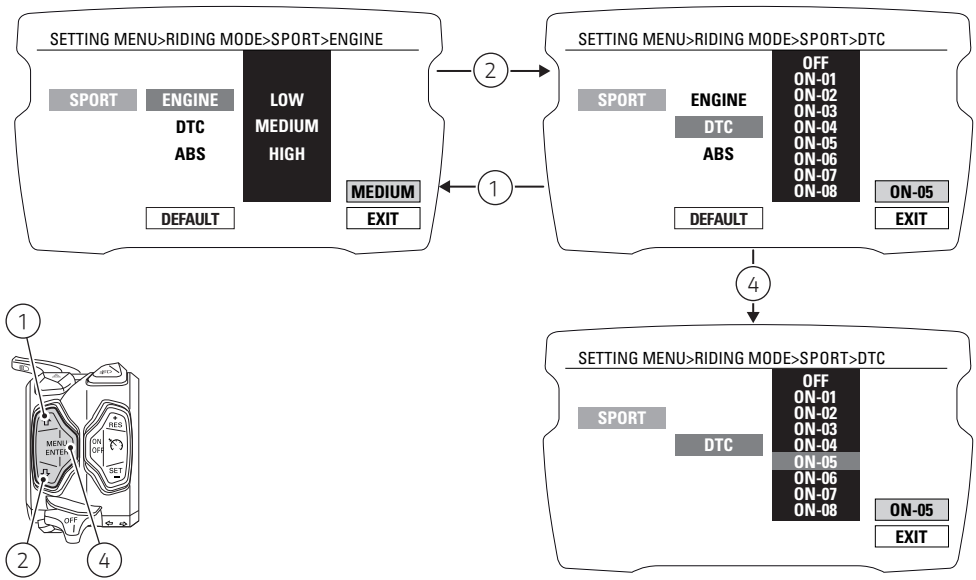

SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>ENGINE
SPORT
ENGINE
DTC
ABS
LOW
MEDIUM
HIGH
MEDIUM
DEFAULT
EXIT
SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>DTC
SPORT
ENGINE
DTC
ABS
OFF
ON-01
ON-02
ON-03
ON-04
ON-05
ON-06
ON-07
ON-08
ON-05
DEFAULT
EXIT
SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>DTC
SPORT
DTC
OFF
ON-01
ON-02
ON-03
ON-04
ON-05
ON-06
ON-07
ON-08
ON-05
EXIT
1
2
4
MENU
ENTER
ON
OFF
RES
SET
OFF

図 155

ライディングモードのパーソナライズ：エンジンの調整

ここでは各ライディングモードに連動したエンジン出力を設定することができます。
設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して "RIDING MODE" を選択します。
機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
"RIDING MODE" メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して、プルダウンメニューから希望のライディングモード (SPORT、TOURING、URBAN) を選択します。希望のモードが強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して、プルダウンメニューからパーソナライズするパラメーター (ENGINE) を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、ボタン (4) を押します。

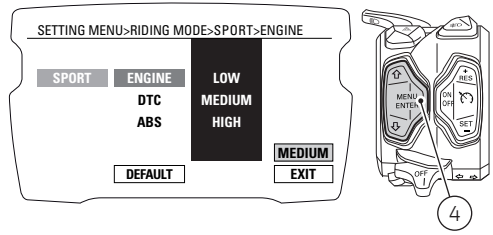


図 156

この機能に入ると、右側 ("EXIT" の上) に現在設定されているエンジン出力が表示されます (例：MEDIUM)。中央のプルダウンメニューにはパーソナライズ可能な一覧が表示されます。

- LOW
- MEDIUM
- HIGH

ボタン (1) および (2) を押すと希望のエンジン出力を一つずつ強調表示することができます。ボタン (2) を押すと次のパラメーターが、ボタン (1) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。
希望のエンジン出力を選択したら、ボタン (4) を押して "MEMORY" の文字をオレンジ色に強調表示します。
新しい設定を保存するには、"MEMORY" の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン (4) を 2 秒間押します。
保存が正しく完了すると、"MEMORIZED" の文字が 2 秒間緑色に強調され、新しいエンジン出力値に更新されます。その後 "EXIT" の文字が緑色で強調表示されます。
メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

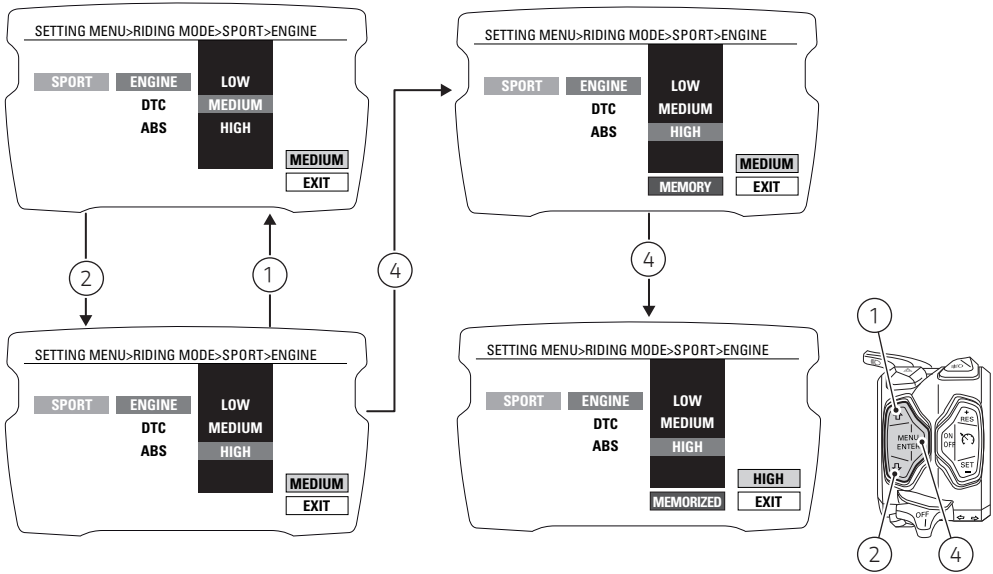

SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>ENGINE
SPORT
ENGINE
DTC
ABS
LOW
MEDIUM
HIGH
MEDIUM
EXIT
SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>ENGINE
SPORT
ENGINE
DTC
ABS
LOW
MEDIUM
HIGH
MEDIUM
MEMORY
EXIT
SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>ENGINE
SPORT
ENGINE
DTC
ABS
LOW
MEDIUM
HIGH
MEDIUM
EXIT
SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>ENGINE
SPORT
ENGINE
DTC
ABS
LOW
MEDIUM
HIGH
HIGH
MEMORIZED
EXIT
1
2
4
4
1
2
4
RES
ON
OFF
MENU
ENTER
SET
OFF

図 157

ライディングモードのパーソナライズ：DTC レベルの設定

ここでは各ライディングモードに連動したDTC介入レベルの設定または解除を行うことができます。
設定メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して "RIDING MODE" を選択します。
機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
"RIDING MODE" メニューに入ります。ボタン(1)または(2)を押して、プルダウンメニューから希望のライディングモード (SPORT、TOURING、URBAN) を選択します。
希望のモードが強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。
ボタン(1)または(2)を押して、プルダウンメニューからパーソナライズするパラメーター (DTC) を選択します。
希望のパラメーターが強調表示されたら、ボタン (4) を押します。

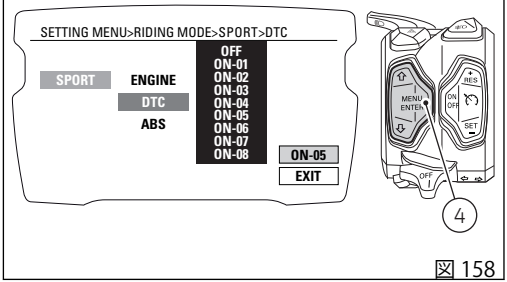


図 158

この機能に入ると、右側 ("EXIT" の上) に現在設定されている DTC レベル、または状態が表示されます (例：ON - 05、すなわちレベル 05)。
中央のプルダウンメニューには、レベル 1 から 8、および OFF のパーソナライズ可能な一覧が表示されます。
新しい設定を選択し、ボタン (4) を押して "MEMORY" の文字をオレンジ色に強調表示します。
新しい設定を保存するには、"MEMORY" の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン (4) を 2 秒間押します。
保存が正しく完了すると、"MEMORIZED" の文字が 2 秒間緑色に強調され、新しいレベルまたは状態に設定が更新されます。その後 "EXIT" の文字が緑色で強調表示されます。
メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

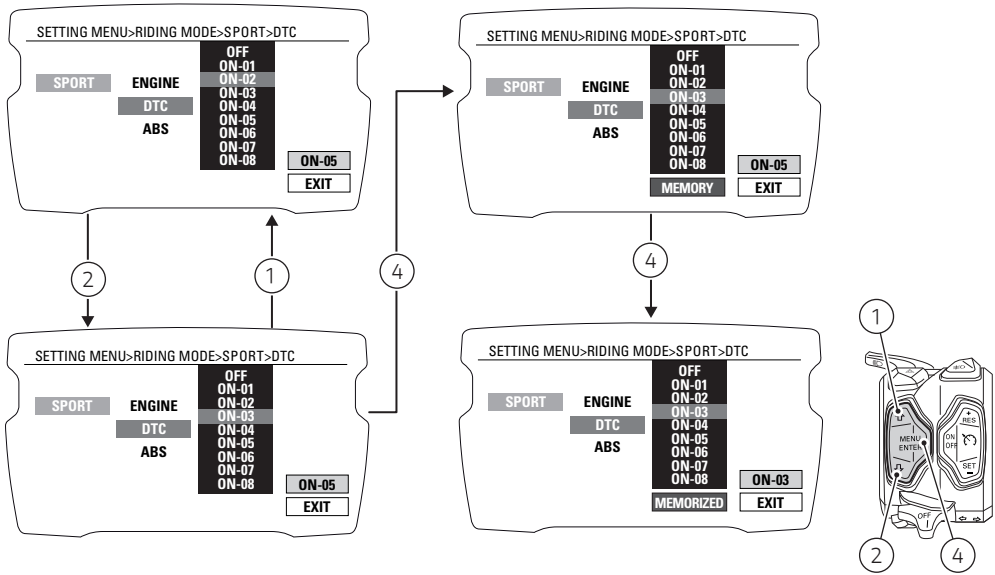

SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>DTC
SPORT
ENGINE
DTC
ABS
OFF
ON-01
ON-02
ON-03
ON-04
ON-05
ON-06
ON-07
ON-08
ON-05
EXIT
SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>DTC
SPORT
ENGINE
DTC
ABS
OFF
ON-01
ON-02
ON-03
ON-04
ON-05
ON-06
ON-07
ON-08
ON-05
MEMORY
EXIT
SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>DTC
SPORT
ENGINE
DTC
ABS
OFF
ON-01
ON-02
ON-03
ON-04
ON-05
ON-06
ON-07
ON-08
ON-05
EXIT
SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>DTC
SPORT
ENGINE
DTC
ABS
OFF
ON-01
ON-02
ON-03
ON-04
ON-05
ON-06
ON-07
ON-08
ON-03
MEMORIZED
EXIT
1
2
4
4
1
2
4
MENU
ENTER
RES
ON
OFF
SET
OFF

図 159

ライディングモードのパーソナライズ ： ABS の調整

この機能では一つのライディングモードの ABS システム介入レベルの設定、または ABS システムの解除を行うことができます。設定メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して "RIDING MODE" を選択します。
機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
"RIDING MODE" メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、プルダウンメニューから希望のライディングモード (SPORT、TOURING、URBAN) を選択します。
希望のモードが強調表示されたら、ボタン (4) を押します。選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、プルダウンメニューからパーソナライズするパラメーター (ABS) を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、ボタン (4) を押します。

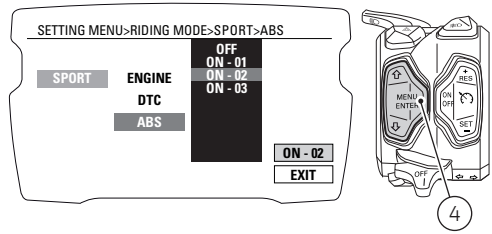


図 160

この機能に入ると、右側 ("EXIT" の上) に現在設定されている ABS レベル、または状態が表示されます (例：ON - 03、すなわちレベル 03)。
中央のプルダウンメニューには、レベル 1 から 3、および OFF のパーソナライズ可能な一覧が表示されます。
ボタン (1) および (2) を押すと希望の介入レベルを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のレベルが、ボタン (2) を押すと前のレベルが強調表示されます。
希望のレベルを選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して "MEMORY" の文字を強調表示します。
新しい設定を選択し、ボタン (4) を押して "MEMORY" の文字をオレンジ色に強調表示します。
新しい設定を保存するには、"MEMORY" の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン (4) を 2 秒間押します。
保存が正しく完了すると、"MEMORIZED" の文字が 2 秒間緑色に強調され、新しいレベルまたは状態に設定が更新されます。その後 "EXIT" の文字が緑色で強調表示されます。
メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

参考

この機能を使用して ABS システムを起動または解除する場合、すなわちシステムのステータスを解除から起動、起動から解除へ変更する場合、ABS システムの起動・解除プロセスが実施されます。ABS コントロールユニットのステータス変更には約 6 秒かかります。

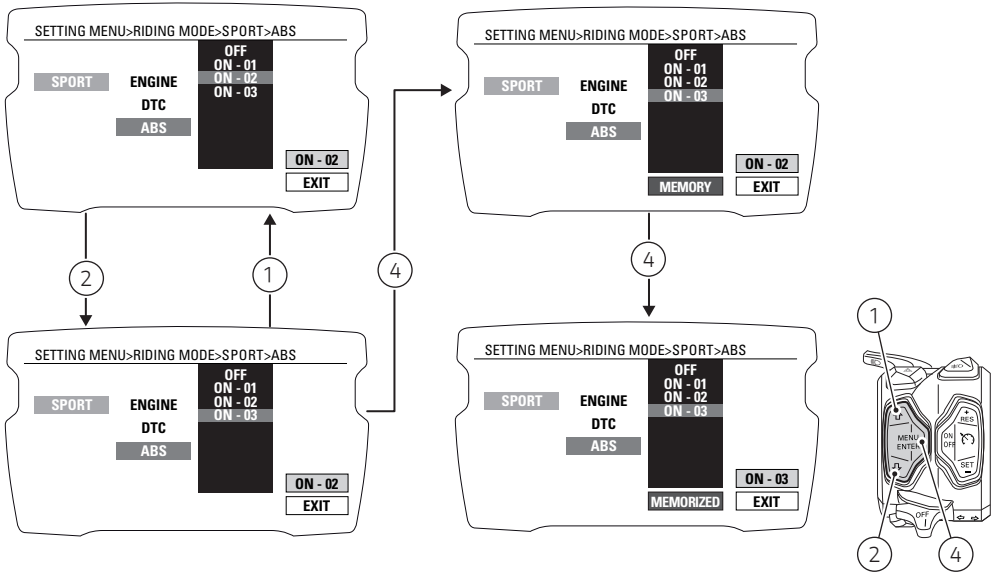

SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>ABS
SPORT
ENGINE
DTC
ABS
OFF
ON - 01
ON - 02
ON - 03
ON - 02
EXIT
SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>ABS
SPORT
ENGINE
DTC
ABS
OFF
ON - 01
ON - 02
ON - 03
MEMORY
ON - 02
EXIT
SETTING MENU>RIDING MODE>SPORT>ABS
SPORT
ENGINE
DTC
ABS
OFF
ON - 01
ON - 02
ON - 03
MEMORIZED
ON - 03
EXIT
1
2
4
4
MENU
ENTER
RES
ON
OFF
SET
OFF

図 161

ライディングモードのパーソナライズ：デフォルト設定の回復 (DEFAULT)

ここでは個別のライディングモードに連動するパラメーターをドゥカティが設定したデフォルト値に回復させることができます。
設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して "RIDING MODE" を選択します。
機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
"RIDING MODE" メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して、プルダウンメニューから希望のライディングモード (SPORT、TOURING、URBAN) を選択します。希望のモードが強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して、"DEFAULT" を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、ボタン (4) を 2 秒間押します。

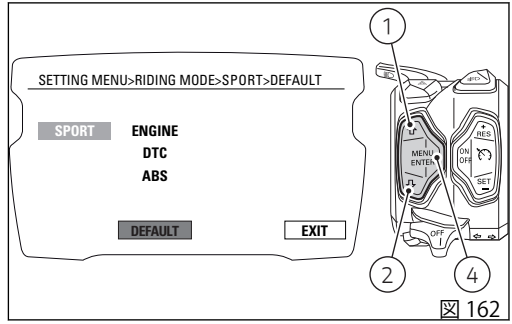


図 162

パラメーターの回復には 3 秒を要し、この間 "WAIT...." の文字がディスプレイに表示されます。
手順が終了すると、ディスプレイに 2 秒間 "OK" の文字が表示され、パラメーターが回復されたことを示します。"EXIT" の文字が強調表示されます。
メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT" の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

参考

"DEFAULT" の表示が選択できない場合は、選択したライディングモードの全パラメーターがすでに "デフォルト" 値であることを示します。

ライディングモードのパーソナライズ：デフォルト設定の回復 (ALL DEFAULT)

ここではすべてのライディングモードに連動する全パラメーターをドゥカティが設定したデフォルト値に回復させることができます。
この機能に入るには、まず設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) で "RIDING MODE" を選択し、ボタン (4) を押します。ボタン (1) または (2) を押して "ALL DEFAULT" を選択し、ボタン (4) を 2 秒間押します。

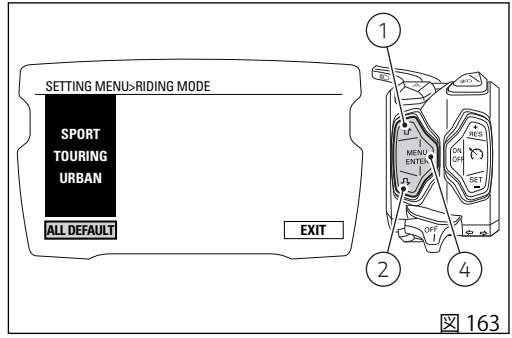


図 163

参考

"ALL DEFAULT" の表示が選択できない場合は、すべてのライディングモードの全パラメーターがすでに "デフォルト" 値であることを示します。

表示モードの設定

表示モードをパーソナライズすることができます。
TRACK、FULL、CITY、COREの４種類の表示モードがあります。
ドゥカティ社の初期設定モードはCORE表示モードです。

設定されている表示モードと異なる表示モードを選択することができます。
希望のモードを選択するには、設定メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して "INFO MODE" を選択します。機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。

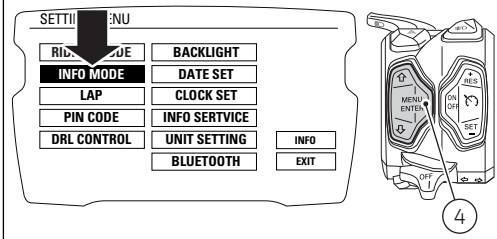


図 164

"INFO MODE" メニューに入ります。
ひとつの表示モードを選択するには、ボタン (1) または (2) を押します。希望のモードが強調表示されたら、ボタン (4) を押します。選択内容が保存され、現在の表示モードが更新されます。自動的に "EXIT" ボタンが強調表示されます。
ボタン (4) を押すと前の表示に戻ります。

"DEFAULT" 設定を選択すると、すべてのライディングモードにおいて表示モードが CORE 表示モードに設定されます。
"RIDING MODE" 設定を選択すると、表示モードは次のようになります。

- ライディングモード SPORT では TRACK 表示モード
- ライディングモード TOURING では FULL 表示モード
- ライディングモード URBAN では CITY 表示モード

"TRACK" 設定を選択すると、すべてのライディングモードにおいて表示モードが TRACK 表示モードに設定されます。
"FULL" 設定を選択すると、すべてのライディングモードにおいて表示モードが FULL 表示モードに設定されます。

"CITY" 設定を選択すると、すべてのライディングモードにおいて表示モードが CITY 表示モードに設定されます。

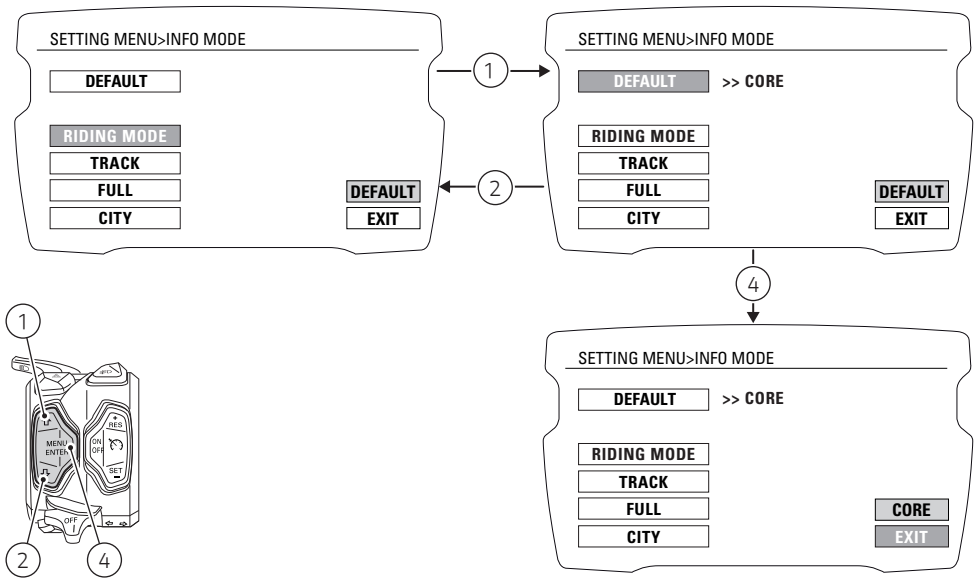

SETTING MENU>INFO MODE
DEFAULT
RIDING MODE
TRACK
FULL
CITY
DEFAULT
EXIT
1
2
SETTING MENU>INFO MODE
DEFAULT
>> CORE
RIDING MODE
TRACK
FULL
CITY
DEFAULT
EXIT
4
SETTING MENU>INFO MODE
DEFAULT
>> CORE
RIDING MODE
TRACK
FULL
CITY
CORE
EXIT
1
2
4
MENU
ENTER
RES
ON
OFF
SET
OFF

図 165

ライトモード設定 (DRL)

この機能では DRL ステータス：AUTO または MANUAL を選択します。DRL が搭載されている場合にのみ有効です。
設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して "DRL CONTROL" を選択します。機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
"DRL CONTROL" メニューに入ります。

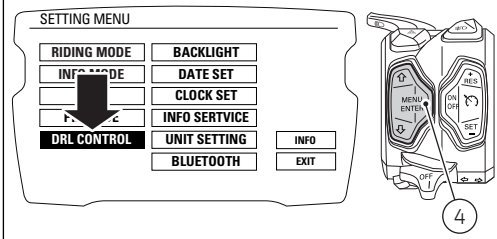


図 166

この機能に入ると、左側に DRL の設定： AUTO、MANUAL が表示されます。一方、右側 ("EXIT" の上) には現在設定されているモードが表示されています。ボタン (1) および (2) を押すと希望の DRL ステータスタイプを一つずつ強調表示することができます。ボタン (2) を押すと次のパラメーターが、ボタン (1) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。希望のタイプを選択したら、ボタン (4) を押して決定します。インストルメントパネルはユーザーが選択したモードを ON にし、該当する文字が強調表示されます。
AUTO タイプを選択すると、DRL、ハイビームライト、ロービームライトは外光の明るさに応じて昼間モードと夜間モードの間で自動的に切り替わります。
メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

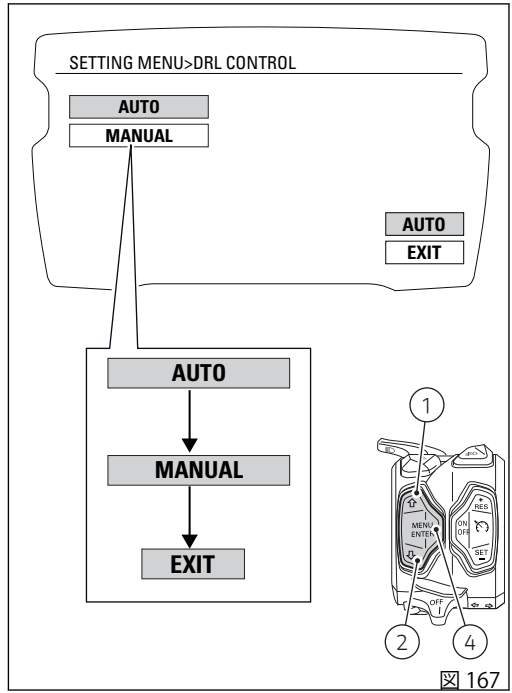


図 167

LAP

LAP 機能メニューに入るには、設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して "LAP" を選択します。機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。"LAP" メニューに入ります。

メニューでは以下の操作が可能です。

- OFF：LAP 機能を解除します。
- ON：LAP 機能を起動します。
- LAP DATA："LAP の記録" 機能を使って記録した LAP 情報を表示します。
- ERASE ALL：LAP 記録を削除します。

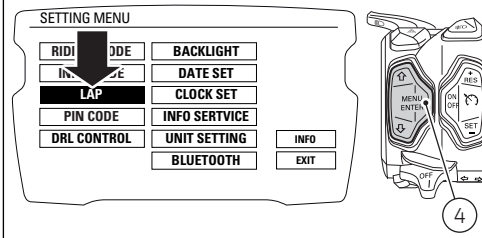


図 168

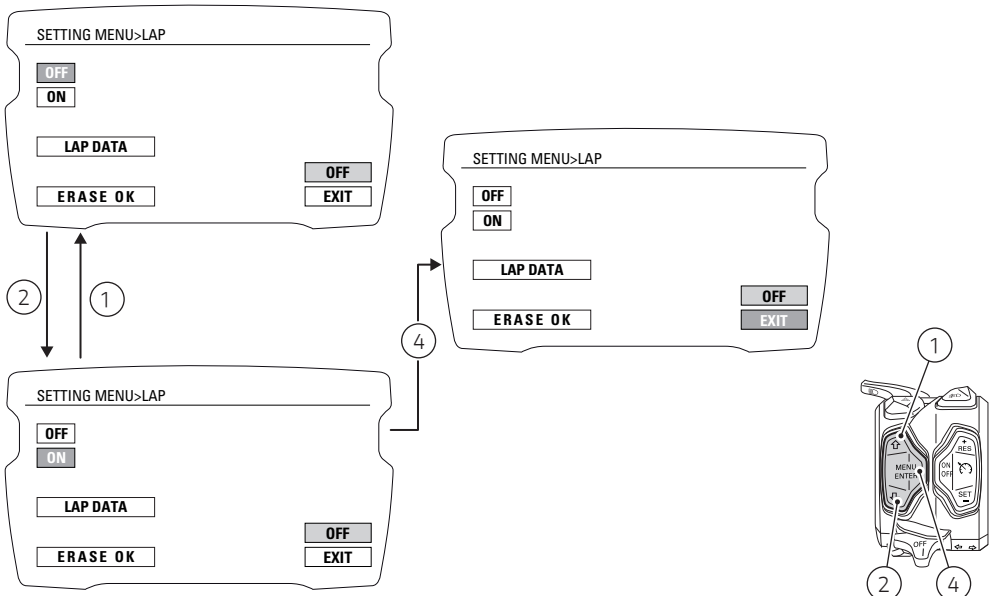

SETTING MENU>LAP
OFF
ON
LAP DATA
ERASE OK
OFF
EXIT
2
1
SETTING MENU>LAP
OFF
ON
LAP DATA
ERASE OK
OFF
EXIT
4
SETTING MENU>LAP
OFF
ON
LAP DATA
ERASE OK
OFF
EXIT
1
MENU
ENTER
RES
ON
OFF
SET
OFF
2
4

図 169

記録済み LAP の表示

記録済み LAP を表示するには、"LAP" メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して "LAP DATA" を選択します。機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。機能に入ると以下の内容が表示されます。

- "TIME" の文字の後、記録済みラップタイム
- "SPEEDMAX" の文字の後、ラップ中に記録された最高速度
- "RPMMAX" の文字の後、ラップ中に記録された RPM 値
- "LAP" の文字の後、LAP 数 (例：LAP 01)。

ボタン (1) および (2) を押すとメモリーされた LAP をひとつずつ表示することができます。特に以下のように表示されます。ボタン (2) を押すと、次のラップが表示されます (LAP 01 ...LAP 02 ...LAP 03 ...LAP 15 のようにラップを昇順で表示)、その後 "EXIT" の文字が表示されます。ボタン (1) を押すと前のラップが表示され (LAP 15 ...LAP 14 ...LAP 13 ...LAP 01)、その後 "EXIT" の文字が表示されます。
メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

参考
記録最高スピードはラップ中に到達した速度です (5 % 増大させたもの)。

参考
メモリーにデータが記録されていない場合、ストップウォッチ "-.--.--"、最大回転数 MAX = ------、最高スピード MAX = ----- が表示されます。

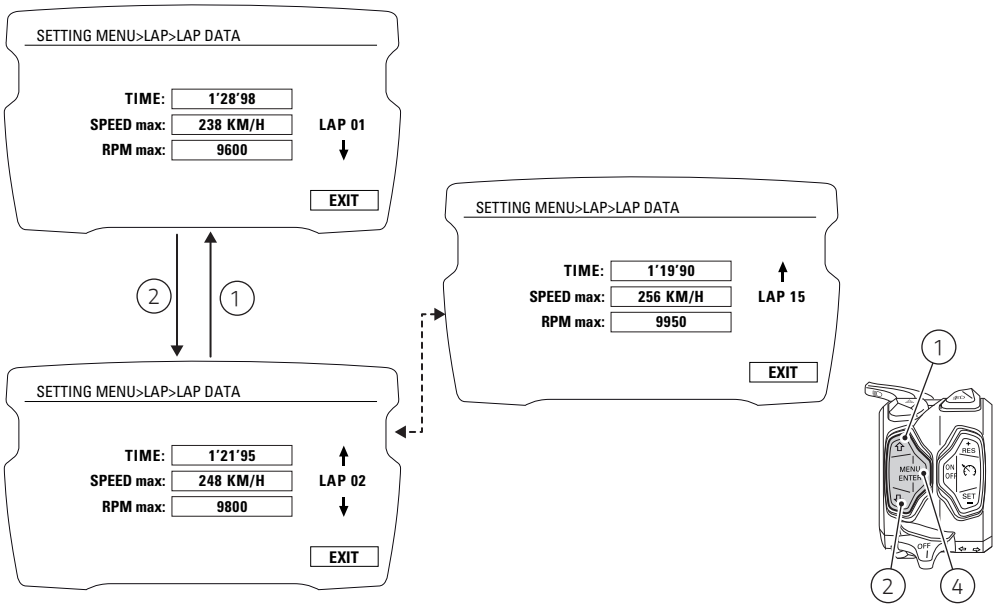

SETTING MENU>LAP>LAP DATA
TIME: 1'28'98
SPEED max: 238 KM/H
RPM max: 9600
LAP 01
EXIT
2
1
SETTING MENU>LAP>LAP DATA
TIME: 1'21'95
SPEED max: 248 KM/H
RPM max: 9800
LAP 02
EXIT
SETTING MENU>LAP>LAP DATA
TIME: 1'19'90
SPEED max: 256 KM/H
RPM max: 9950
LAP 15
EXIT
1
MENU
ENTER
RES
ON
OFF
SET
OFF
2
4

図 170

LAP 記録の削除

記録済み LAP を削除するには、"LAP" メニューに入ります。
LAP メニューまたは LAP 表示ページ (LAP DATA) に入ることで LAP を削除することができます。
ボタン (1) または (2) を押して "ERASE ALL" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。
ボタン (4) を 2 秒間押して削除を決定します。
2 秒後、インストルメントパネルのディスプレイには次のように表示されます。

- "WAIT..." (2 秒間)
- 続いて "ERASE OK" の文字が 2 秒間表示され、削除されたことを示します。

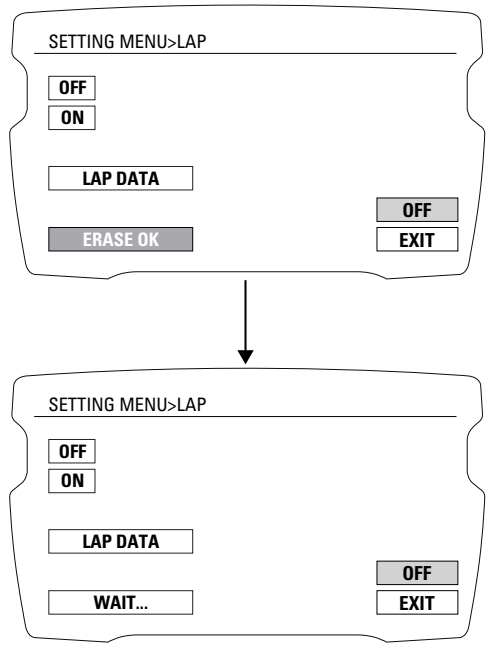


図 171

メモリーされているすべてのラップが一度に削除されます。
削除終了後、ラップ 01 から 15 のパラメーターはすべて空白表示 "–" されます (ラップタイム = -’ - -’’ - -、回転数 = - - - - -、スピード = - - -)。

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

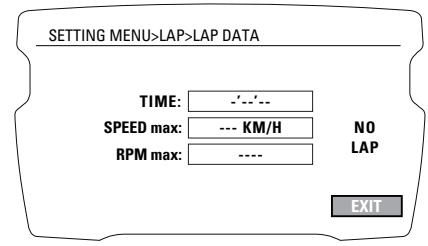


図 172

PIN CODE

この機能でPIN CODEの有効化または変更を行います。PIN CODEは最初車両に登録されていませんので、ユーザーが4桁のPINをインストルパネルに入力して有効にします。これを行わないと、不具合が生じた場合に一時起動することができません。
起動するには "PIN CODEの入力" の手順に従います。
PINを変更するには "PIN CODEの変更" の手順に従います。
不具合が生じた際に車両を一時的に起動するには、"車両のロック解除" の手順に従います ページ 78。

警告

PIN CODEは車両の所有者が設定 (登録) しなければなりません。PINがすでに設定されている場合には、Ducati正規ディーラーに本機能の "リセット" を依頼してください。その際Ducati正規ディーラーは、車両の所有者確認をさせていただくことがあります。

PIN CODE の登録

PIN CODE 機能を有効にし、PIN CODE を入力するには、設定メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して "PIN CODE" を選択します。
機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
"PIN CODE" メニューに入ります。

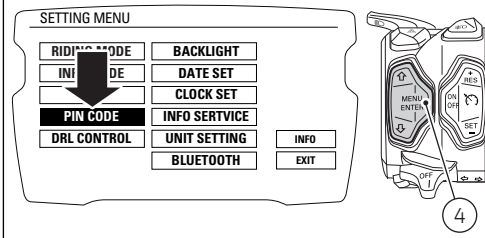


図 173

この機能に入ると、ディスプレイに "INSERT NEW PIN CODE" の文字、その下に一桁目が緑色に強調された点線 "0 - - - " が表示されます。
コードの入力：

1) ボタン (4) を押すと、"0" で表示される 1 桁のみが緑色で強調表示されます。
2) ボタン (2) を押す度に数字が 9 までひとつずつ大きくなり (+ 1) 、その後 "0" に戻ります。
3) ボタン (1) を押す度に数字が 1 までひとつずつ小さくなり (- 1) 、その後 "0" に戻ります。
4) ボタン (4) を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 桁すべての数字を決定します。

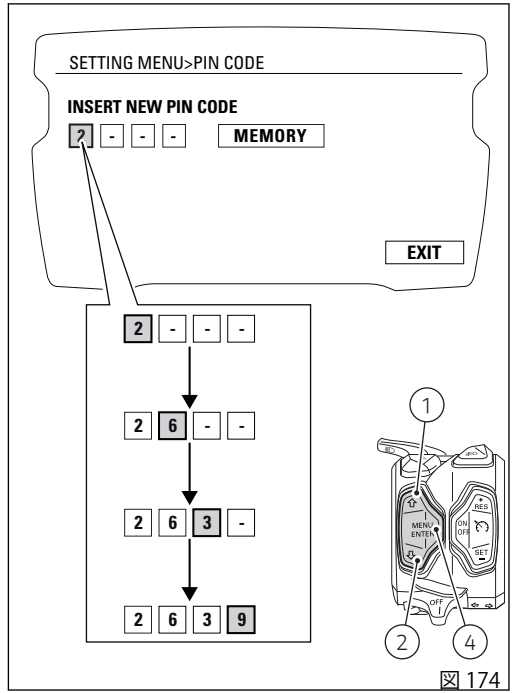


図 174

ボタン (4) を押して最後の桁を決定すると、"MEMORY" の文字が強調表示されます。
新しい設定を保存するには、"MEMORY" の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン (4) を 2 秒間押します。
保存が正しく完了すると、"MEMORIZED" の文字が 1 秒間緑色に強調され、その後 "EXIT" の文字が緑色で強調表示されます。
最初の PIN CODE を設定して以降は、メニューから PIN CODE 登録ページに入ることができなくなり、代わりに PIN CODE の変更のページになります。PIN CODE 機能がリセットされた場合に限り、最初の PIN CODE の登録ページが有効になり、メニューから入ることができるようになります。リセットは Ducati 正規サービスセンターでのみ実施が可能です。

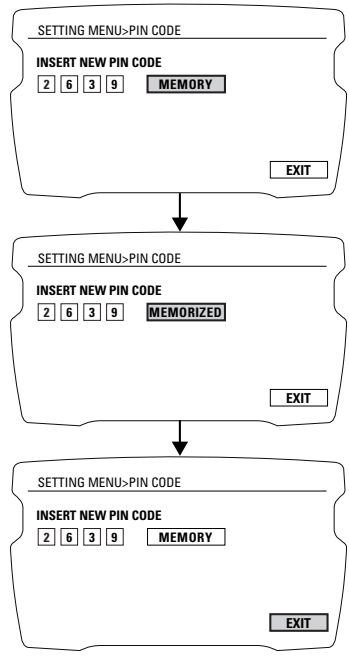


図 175

PIN CODE の変更

すでに登録されている PIN を変更し、新しい PIN を有効にするには、設定メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して "PIN CODE" を選択します。機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。"PIN CODE" メニューに入ります。機能に入ると、ディスプレイに "INSERT OLD PIN CODE" と点線 "0 - - -" ("0" は緑色で強調表示) が表示されます。
旧コードの入力：

1) ボタン (4) を押すと、"0" で表示される 1 桁のみが緑色で強調表示されます。
2) ボタン (2) を押す度に数字が 9 までひとつずつ大きくなり (+ 1) 、その後 "0" に戻ります。
3) ボタン (1) を押す度に数字が 1 までひとつずつ小さくなり (- 1) 、その後 "0" に戻ります。
4) ボタン (4) を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 桁すべての数字を決定します。
ボタン (4) を押して 4 桁すべての数字を決定した際、

- PIN CODE が正しくない場合、インストルメントパネルは "WORNG" を 3 秒間表示し、その後 OLD PIN を入力する点線 "- - - -" を強調表示します。もう一度 PIN CODE を入力してください。
- PIN CODE が正しい場合は、インストルメントパネルは "CORRECT" を 3 秒間表示します。その後

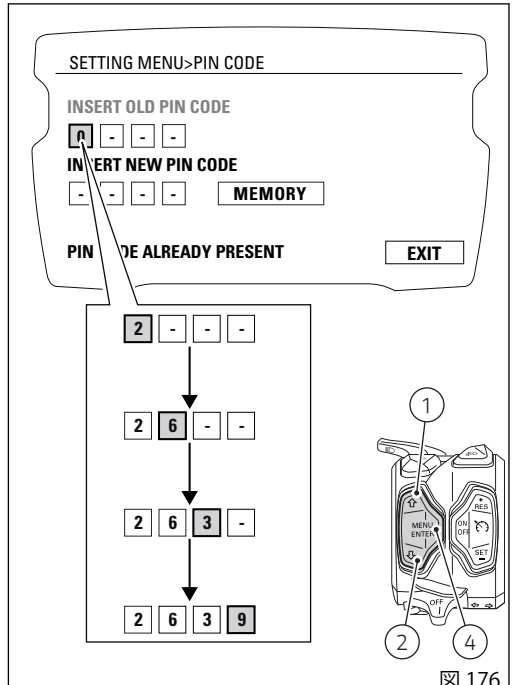
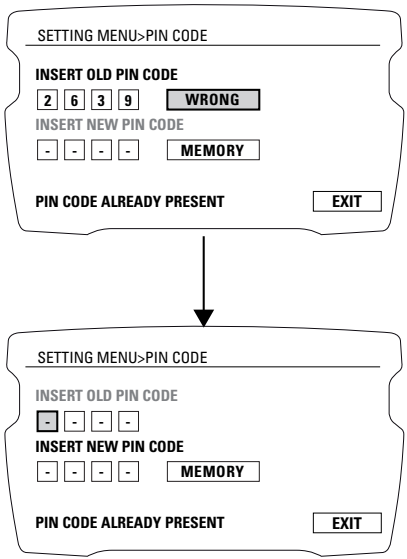


図 176

"INSERT NEW PIN CODE" と一桁目が緑色に強調された点線 "- - - -" が表示されます。新しい PIN CODE を入力してください。


SETTING MENU>PIN CODE
INSERT OLD PIN CODE
2 6 3 9
WRONG
INSERT NEW PIN CODE
- - - -
MEMORY
PIN CODE ALREADY PRESENT
EXIT
SETTING MENU>PIN CODE
INSERT OLD PIN CODE
- - - -
INSERT NEW PIN CODE
- - - -
MEMORY
PIN CODE ALREADY PRESENT
EXIT

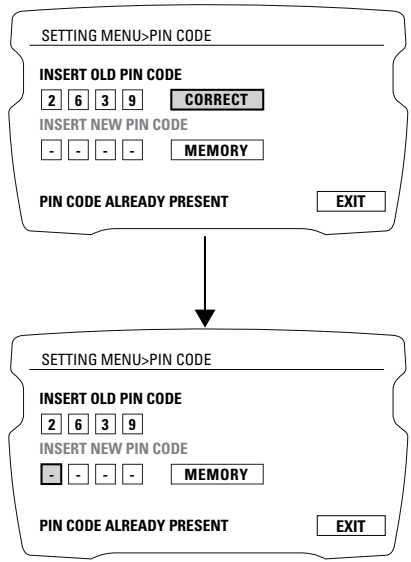

SETTING MENU>PIN CODE
INSERT OLD PIN CODE
2 6 3 9
CORRECT
INSERT NEW PIN CODE
- - - -
MEMORY
PIN CODE ALREADY PRESENT
EXIT
SETTING MENU>PIN CODE
INSERT OLD PIN CODE
2 6 3 9
INSERT NEW PIN CODE
- - - -
MEMORY
PIN CODE ALREADY PRESENT
EXIT

図 177

新しいコードの入力：

1) ボタン (4) を押すと、"0" で表示される 1 桁のみが緑色で強調表示されます。
2) ボタン (2) を押す度に数字が 9 までひとつずつ大きくなり (+ 1) 、その後 "0" に戻ります。
3) ボタン (1) を押す度に数字が 1 までひとつずつ小さくなり (- 1) 、その後 "0" に戻ります。
4) ボタン (4) を押して数字を決定します。

この手順を繰り返し、PIN CODE の 4 桁すべての数字を決定します。

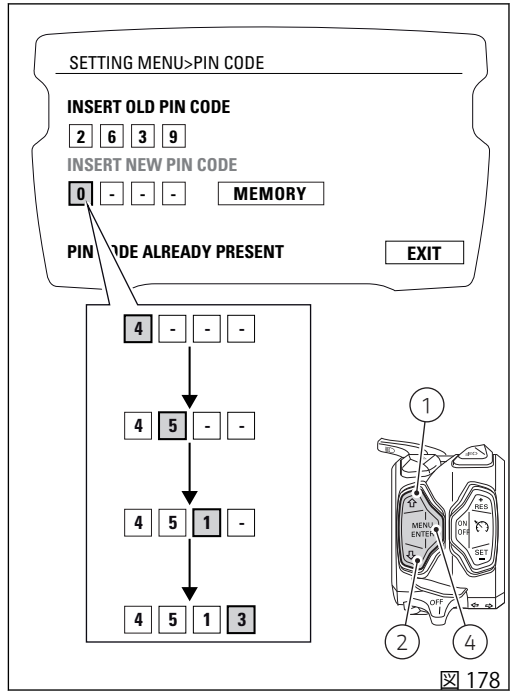


図 178

ボタン (4) を押して最後の桁を決定すると、"MEMORY" の文字が強調表示されます。
新しい設定を保存するには、"MEMORY" の文字がオレンジ色に強調表示された状態でボタン (4) を 2 秒間押します。
保存が正しく完了すると、"MEMORIZED" の文字が 2 秒間緑色に強調され、その後 "EXIT" の文字が緑色で強調表示されます。
保存に失敗した場合、インストルメントパネルは NEW PIN を入力する点線 "- - - -" を強調表示します。もう一度新しい PIN CODE を入力してください。

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT" の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

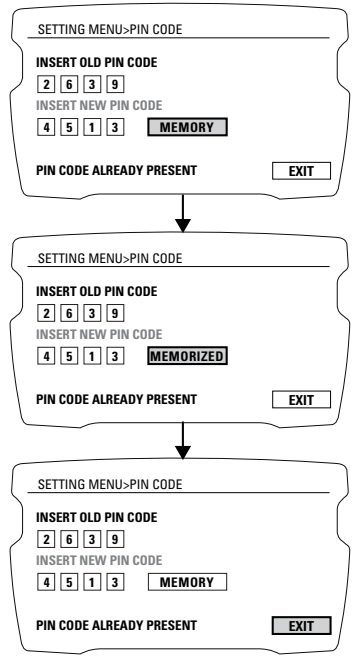


図 179

ディスプレイ背景の設定

この機能では、インストルメントパネルの背景を選択することができます。
設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して "BACKLIGHT" を選択します。機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
"BACKLIGHT" メニューに入ります。

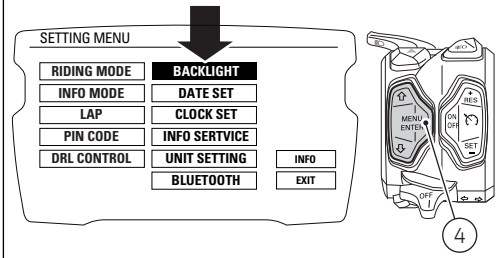


図 180

機能に入ると、左側に設定可能な背景 DAY、NIGHT、AUTO が表示されます。一方、右側 ("EXIT" の上) には現在設定されているモードが表示されています。
ボタン (1) および (2) を押すとインストルメントパネルの背景の種類を一つずつ強調表示することができます。ボタン (2) を押すと次のパラメーターが、ボタン (1) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。希望の背景を選択したら、ボタン (4) を押して決定します。インストルメントパネルは直ちにユーザーが選択した表示モードを ON にし、該当する文字が自動的に強調表示されます。
メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

DAY 設定 (昼間モード) を選択すると、ディスプレイの背景が読み取りやすい "白" に常時設定されます。強い外光下での使用に適します。
NIGHT 設定 (夜間モード) を選択すると、ディスプレイの背景がソフトなコントラストの "黒" に常時設定されます。弱い外光下または暗い環境での使用に適します。
AUTO 設定 (自動モード) を選択すると、ディスプレイの背景が外光の強さ (センサーが感知) に応じて自動的に調整されます。
外光が強い場合ディスプレイの背景は白になり、外光が弱い場合はディスプレイの背景が黒になります。

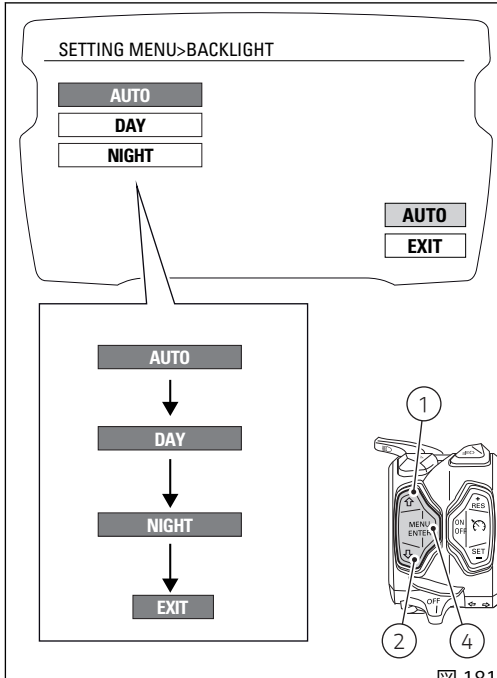


図 181

日付の設定

この機能は日付の表示、設定/変更を行います。
設定メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して "DATE SET" を選択します。
機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。

重要

バッテリーが切り離されるたびに日付はリセットされますので、その都度設定する必要があります。

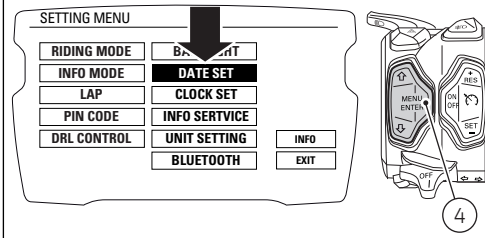


図 182

メニューに入ると、左側に調整が可能な内容、YEAR、MONTH、DAY が表示され、右側には設定された日付が表示されます (例：2014/08/02)。

年の調整

ボタン (1) または (2) を押して "YEAR" を選択します。強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。
年のデータが点滅し始めます。
ボタン (1) を押すと、年の値が以下のように 1 ずつ小さくなります。2099, 2098, ...2000, 2099。
ボタン (2) を押すと、年の値が以下のように 1 ずつ大きくなります。2000, 2001, ...2099, 2000。
希望の値に達したら、ボタン (4) を押します。設定された年の値が固定表示に変わります。

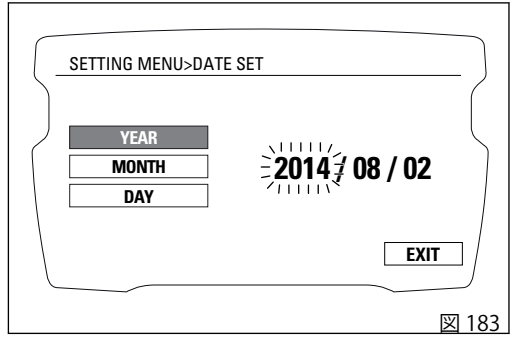


図 183

月の調整

ボタン (1) または (2) を押して "MONTH" を選択します。
強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
月のデータが点滅し始めます。
ボタン (1) を押すと、月の値が以下のように 1 ずつ小さくなります。12, 11, ...01, 12。
ボタン (2) を押すと、月の値が以下のように 1 ずつ大きくなります。01, 02, ...12, 01。
希望の値に達したら、ボタン (4) を押します。設定された月の値が固定表示に変わります。

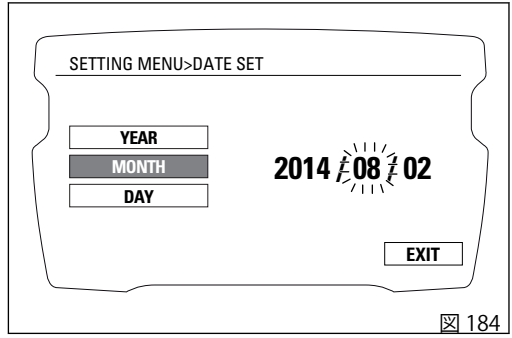


図 184

日の調整

ボタン (1) または (2) を押して "DAY" を選択します。
強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
日のデータが点滅し始めます。
ボタン (1) を押すと、日の値が以下のように 1 ずつ小さくなります。31, 30, ...01, 31。
ボタン (2) を押すと、日の値が以下のように 1 ずつ大きくなります。01, 02, ...31, 01。
希望の値に達したら、ボタン (4) を押します。設定された日の値が固定表示に変わります。

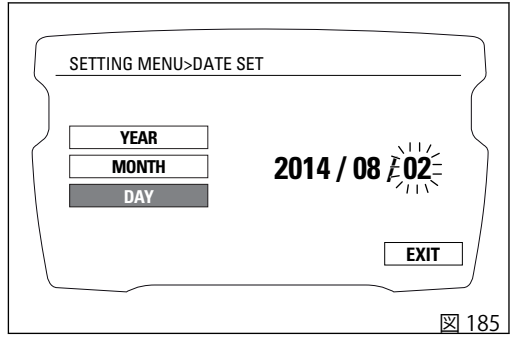


図 185

日付の保存

設定もしくは変更した日付を保存するには、ボタン(1)および(2)を押して "MEMORY" を選択し、ボタン(4)を2秒間押します。インストルメントパネルは "MEMORIZED" を2秒間表示し、自動的に "EXIT" の文字を強調表示します。

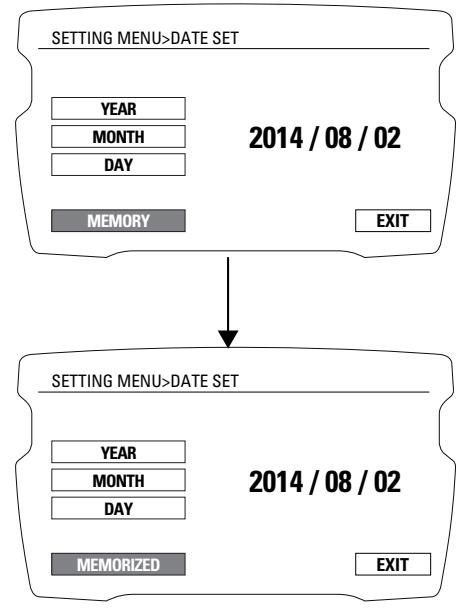


図 186

日付が正しくない場合、インストルメントパネルは "WRONG DATE" を 3 秒間点滅表示した後、日付に点線 " ---- / -- / --"　を表示して自動的に "EXIT" の文字を強調表示します。この場合も新しく別の日付を設定することができます。
前の画面 (設定メニューページ) に戻るには、"EXIT" の文字が強調表示されている状態でボタン (4) を押します。

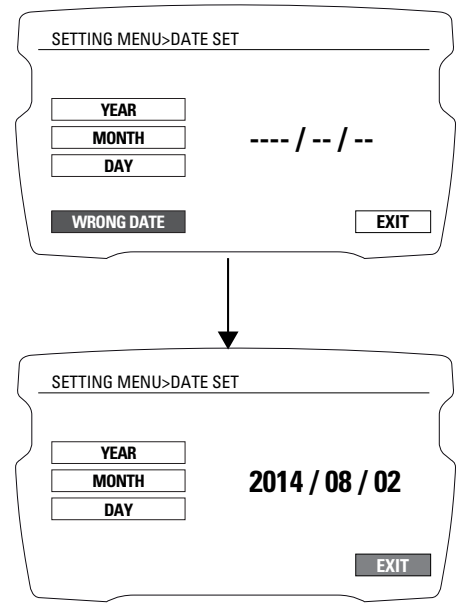


図 187

時計の調整

この機能は時計の調整/設定をします。
設定メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して "CLOCK SET" を選択します。
機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
"CLOCK SET" メニューに入ります。

参考

バッテリーが切断される度に時計の情報はリセットされますでの、ユーザーは再度設定する必要があります。

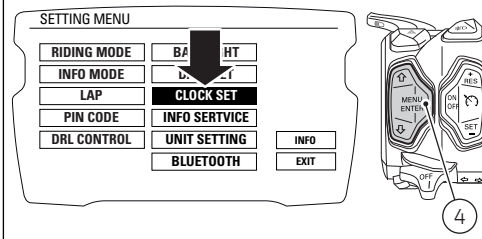


図 188

メニューに入ると、左側に調整が可能な内容、AM / PM、HOUR、MINUTES が表示され、右側には設定されている時間が表示されます (例： AM 10 : 30)。

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

AM/PM の調整

ボタン (1) または (2) を押して "AM/PM" を選択します。強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。
データが点滅し始めます。
ボタン (1) または (2) を押してそれぞれに対応する AM または PM を選択します。
希望の値に達したら、ボタン (4) を押します。設定されたデータが固定表示に変わります。

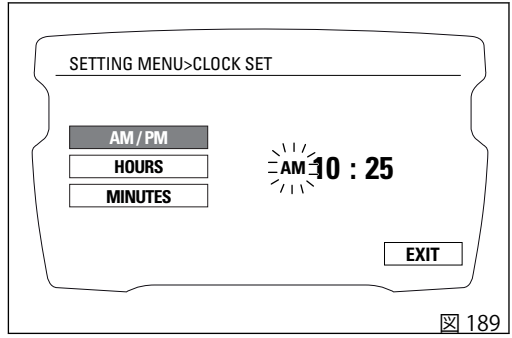


図 189

時間の調整

ボタン (1) または (2) を押して "HOURS" を選択します。強調表示されたら、ボタン (4) を押します。時間のデータが点滅し始めます。
ボタン (1) を押すと、時間の値が以下のように 1 ずつ小さくなります。12, 11, ...1, 12。
ボタン (2) を押すと、時間の値が以下のように 1 ずつ大きくなります。12, 1, ...12。
希望の値に達したら、ボタン (4) を押します。設定された時間の値が固定表示に変わります。

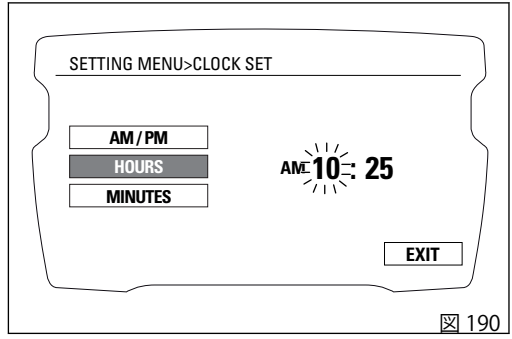


図 190

分の調整

ボタン (1) または (2) を押して "MINUTES" を選択します。
強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。
分のデータが点滅し始めます。
ボタン (1) を押すと、分の値が以下のように 1 ずつ小さくなります。59, 58, ...00, 59。
ボタン (2) を押すと、分の値が以下のように 1 ずつ大きくなります。00, 01, ...59, 00。
希望の値に達したら、メニュー決定ボタン (4) を押します。設定された分の値が固定表示に代わります。

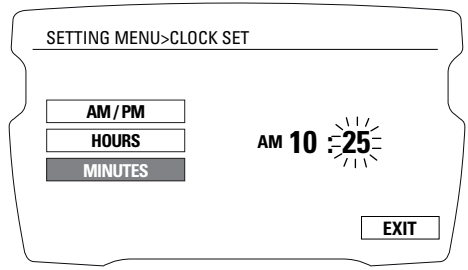


図 191

サービス情報

この機能では、定期点検 Oil Service、Desmo Service、Annual Service 期限に関する情報を表示することができます。
サービスの期限を表示するには、まず設定メニューに入ります。ボタン (1) および (2) で "INFO SERVICE" を表示してボタン (4) を押します。
次の情報を見ることができます。

- DESMO SERVICE：DESMO SERVICE 期限に到達するまでの残りの走行距離 (キロ または マイル) をカウントダウン表示します。
- OIL SERVICE：OIL SERVICE 期限に到達するまでの残りの走行距離 (キロ または マイル) をカウントダウン表示します。
- ANNUAL SERVICE：ANNUAL SERVICE 期限の日付を表示します。

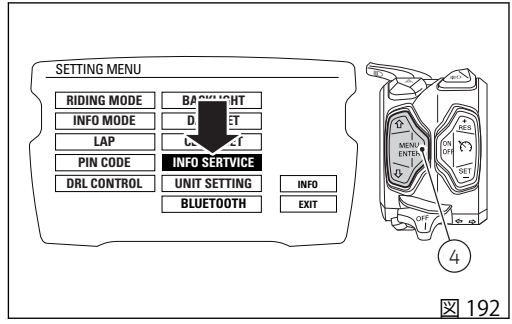


図 192

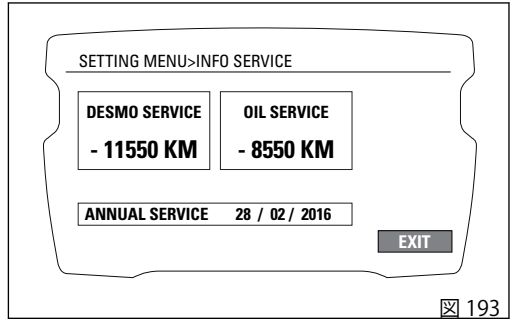


図 193

単位の設定

この機能では、使用する国に関わらず、表示される単位を変更することができます。
手動で単位の設定を行うには、設定メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して "UNIT SETTING" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。
"UNITS SETTING" メニューに入ります。

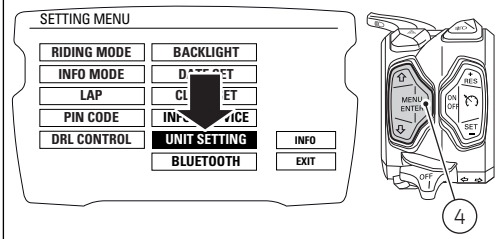


図 194

この機能に入ると、左側に単位の設定が可能な項目の一覧が表示されます。

- スピード (SPEED)
- 温度 (TEMPERATURE)
- 燃費 (CONSUMPTION)
- 自動設定回復 (DEFAULT)

メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

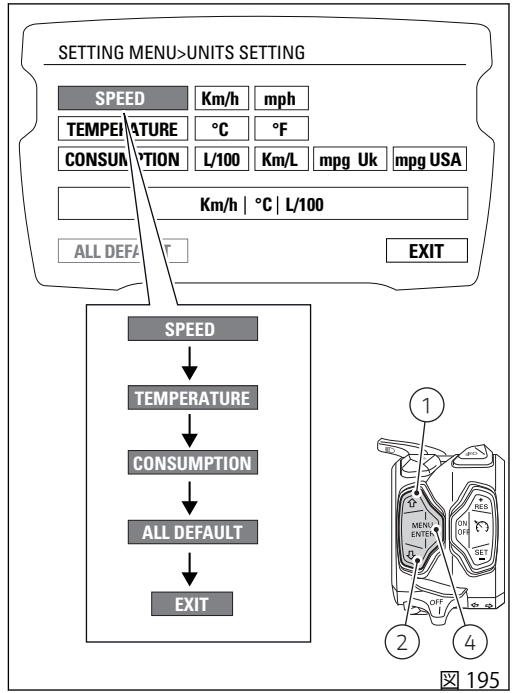


図 195

単位の設定スピード

この機能では速度の単位を変更することができます(走行距離の単位も同時に変更します)。
前のページの記載に従い、"UNITS SETTING" メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して "SPEED" を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。"SPEED" メニューに入ります。
機能に入ると現在使用している単位が表示され、その後使用可能な単位のリスト km/h、mph が表示されます。
ボタン (1) および (2) を押すと、希望の単位を強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次の単位が、ボタン (2) を押すと前の単位が強調表示されます。希望の単位を選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して決定します。選択した単位は保存され、"EXIT" の文字が自動的に強調表示されます。

選択した単位はインストルメントパネルで以下の測定に使用されます。

- 車両スピード、平均スピード (km/h または mph)
- オドメーター、TRIP1、TRIP2、RANGE (km または mi)

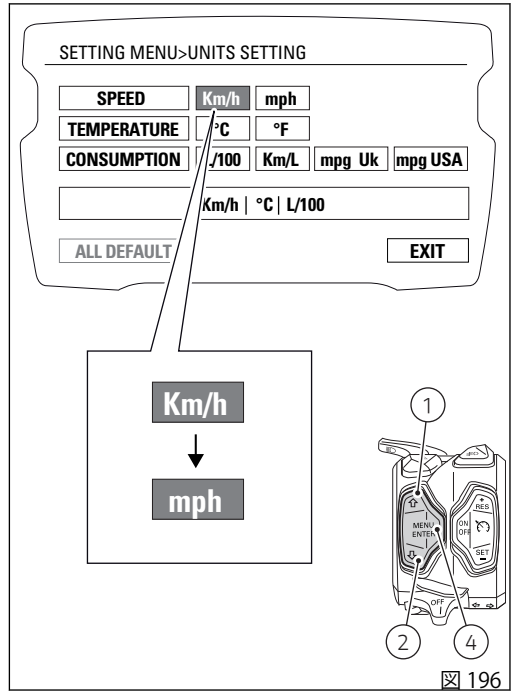


図 196

単位の設定温度

この機能では温度の単位の変更が可能です。
前のページの記載に従い、"UNITS SETTING" メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して "TEMPERATURE" を選択します。
機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。
"TEMPERATURE" メニューに入ります。機能に入ると現在使用している単位が表示され、その後使用可能な単位のリスト°C、°F が表示されます。
ボタン (1) および (2) を押すと、希望の単位を強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次の単位が、ボタン (2) を押すと前の単位が強調表示されます。希望の単位を選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して決定します。選択した単位は保存され、"EXIT" の文字が自動的に強調表示されます。

選択した単位はインストルメントパネルで以下の測定に使用されます。

- エンジンクーラント温度および外気温

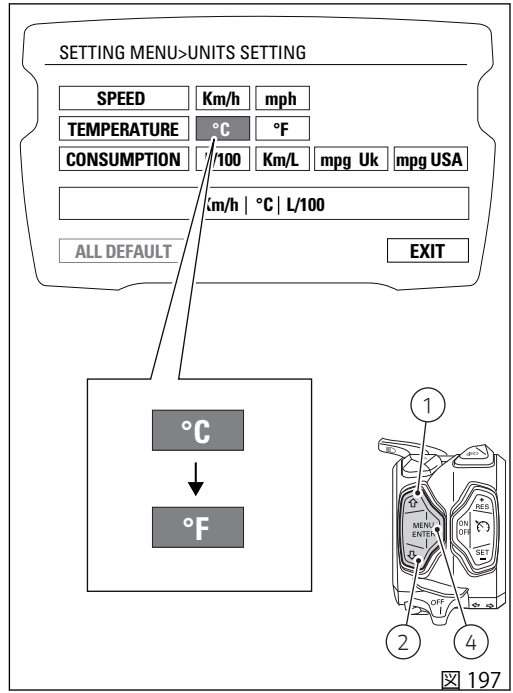


図 197

単位の設定燃費

この機能では燃費の単位を変更することができます。前のページの記載に従い、"UNITS SETTING" メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して "CONSUMPTION" を選択します。
機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。"CONSUMPTION" メニューに入ります。
機能に入ると現在使用している単位が表示され、その後使用可能な単位のリスト L / 100km, km / L, mpg (UK), mpg (USA) が表示されます。
ボタン (1) および (2) を押すと、希望の単位を強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次の単位が、ボタン (2) を押すと前の単位が強調表示されます。
希望の単位を選択したら、メニュー決定ボタン (4) を押して決定します。選択した単位は保存され、"EXIT" の文字が自動的に強調表示されます。

選択した単位はインストルメントパネルで以下の測定に使用されます。

- 瞬間燃費および平均燃費

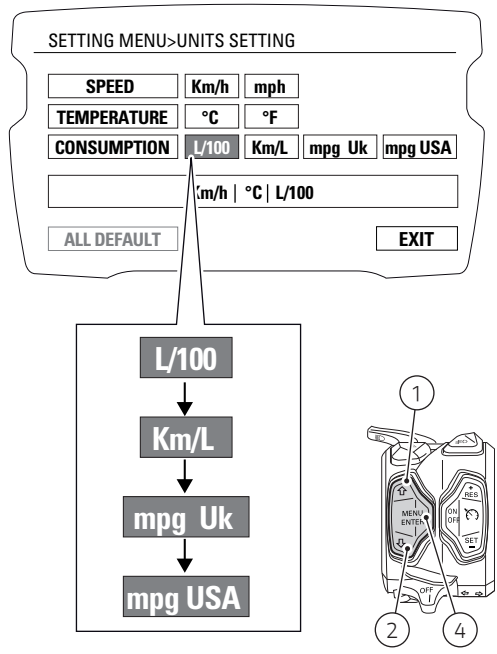


図 198

単位の設定自動設定回復

この機能では、インストルメントパネルに表示されるすべての測定単位の自動設定を回復することができます。
前のページの記載に従い、"UNITS SETTING" メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して "ALL DEFAULT" を選択します。
機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を 2 秒間押します。ディスプレイに "WAIT..." が 2 秒間表示され、その後 "UNITS SETTING" メニューページに移り、"EXIT" の文字が強調表示されます。
メニューを終了して前の画面に戻るには、"EXIT"の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

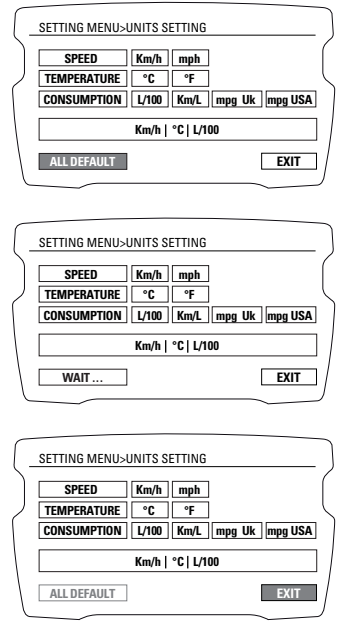


図 199

Bluetooth デバイス設定

この機能では Bluetooth デバイスのペアリング、およびその解除を行います。
これらを実行するには、設定メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して "BLUETOOTH" を選択します。機能が強調表示されたら、ボタン (4) を押します。
"BLUETOOTH" メニューには Bluetooth 機能が起動しているときのみ入ることができます。
プレーヤーの作動中や操作中、あるいは着信中、通話中、再呼び出し中には "BLUETOOTH" メニューに入ることはできません。
デバイスのペアリング方法は "新しいデバイスのペアリング" を参照してください。
デバイスのペアリング解除方法は "ペアリングデバイスの削除" を参照してください。

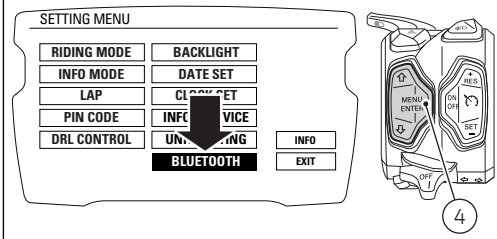


図 200

新しいデバイスのペアリング

この機能ではひとつ以上の Bluetooth デバイスを "PAIRING" コマンドを使用してペアリングすることができます。
Bluetooth デバイスをコントロールユニットが検出してアクセスできるように設定します。
検出モードにあるとき、Bluetooth デバイスはワイヤレスシグナルを送信し他のデバイスから検出されるようにします。このモードは、ペアリングモードと呼ばれることもあります。
車両には Bluetooth コントロールユニットが装備されています。これにより Bluetooth に対応する電子機器間での通信が可能になります。

警告
Bluetooth スマートフォンおよびヘッドセットの製造メーカーは、デバイスの寿命期間中に標準プロトコルに変更を加えることがあります (スマートフォン、ヘッドセット)。

警告
ドゥカティ社はこれらの変更に関与していませんので、こうした変更が Bluetooth ヘッドセット (音楽共有、マルチメディア再生など) の各種機能やいくつかのタイプのスマートフォン (Bluetooth 対応プロファイルによる) に影響を与える可能性があります。このためドゥカティ社は、以下についてのマルチメディア再生を保証していません。

- "Kit Ducati キット (部品番号： 981029498)" に付属しないヘッドセット。
- 必要な Bluetooth プロファイルに対応していないスマートフォン ("Ducati キット　部品番号：981029498" に付属するヘッドセットとペアリングできる場合でも)

警告
外的環境の特殊な状況に起因する干渉が起こった場合には、Ducati キット (部品番号：981029498) ではライダーヘルメットからパッセンジャーヘルメットへの再生音楽の共有機能を使用することができます (詳しくは Ducati キット (部品番号：981029498) に付属のヘッドセット取扱説明書を参照)。

参考

Ducati キット (部品番号： 981029498) は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにてお求めいただけます。

BLUETOOTH 設定メニューにアクセスすると、最初にデフォルトとして "PAIRING" が強調表示されます。左側にはすでにペアリングされているデバイスのリストが表示されます。
ボタン (4) を押してペアリング機能を起動すると、Bluetooth デバイスの検索を始めます。デバイス検索中のマークが点灯し、"WAIT…" の文字が表示されます。
近くにあるデバイスを検出した時点でペアリングは自動的に終了し、検出されたデバイスが右側に一覧表示されます。
ペアリングに失敗した場合は、"PAIRING LOST.PLEASE EXIT" の文字が表示されます。この場合は BLUETOOTH 設定メニューを一旦終了し、もう一度メニューに入りペアリングをやり直してください。
ペアリングが正常に終了した場合は、Bluetooth デバイスを検出した時点でデバイス名が右側のデバイス一覧に表示されます。
ペアリング中に検出されたデバイス一覧には、左側のリストに表示されているペアリング済みデバイスは表示されません。
二つ以上のデバイスが同じデバイス名を持っている場合は、検出デバイス一覧には同じ名前のラベルが二つ以上表示されます。
検出されたデバイスにデバイス名が存在しない場合は、検出デバイス一覧には表示されません。
ボタン (1) および (2) を押して、検索中に右側の検出デバイス一覧をスクロールすることができます。
ペアリングしたいデバイスに該当するラベル "CONNECT" を選択し、ボタン (4) を押してペアリングを実行します。
ペアリングを終了するには "EXIT" の文字を選択し、ボタン (4) を押します。

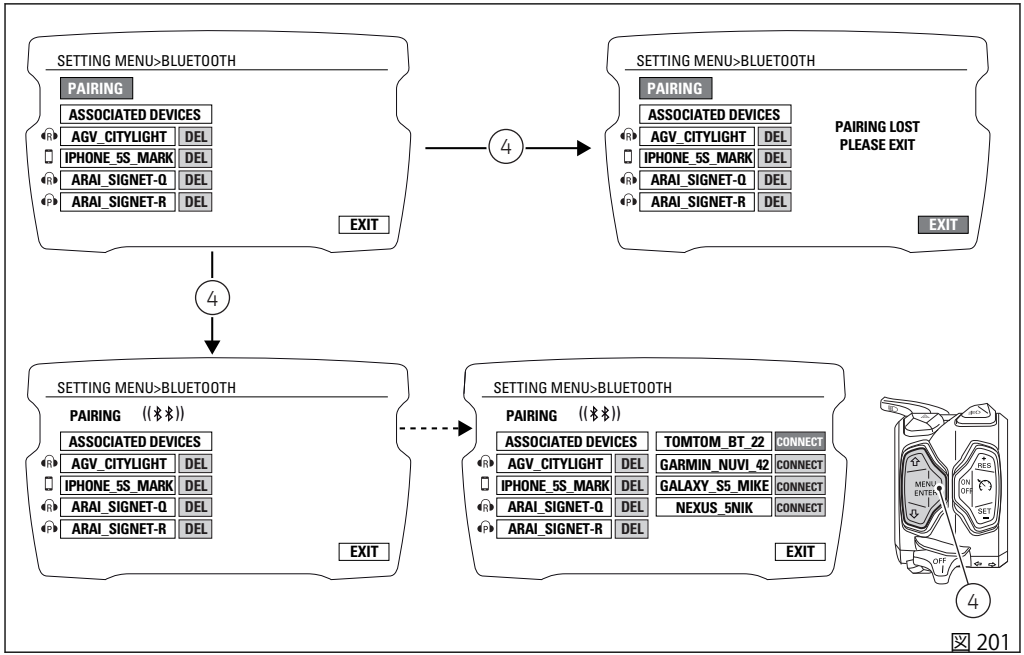

SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
AGV_CITYLIGHT DEL
IPHONE_5S_MARK DEL
ARAI_SIGNET-Q DEL
ARAI_SIGNET-R DEL
EXIT
4
SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
AGV_CITYLIGHT DEL
IPHONE_5S_MARK DEL
ARAI_SIGNET-Q DEL
ARAI_SIGNET-R DEL
PAIRING LOST
PLEASE EXIT
EXIT
4
SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
AGV_CITYLIGHT DEL
IPHONE_5S_MARK DEL
ARAI_SIGNET-Q DEL
ARAI_SIGNET-R DEL
EXIT
SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
AGV_CITYLIGHT DEL
IPHONE_5S_MARK DEL
ARAI_SIGNET-Q DEL
ARAI_SIGNET-R DEL
TOMTOM_BT_22 CONNECT
GARMIN_NUVI_42 CONNECT
GALAXY_S5_MIKE CONNECT
NEXUS_5NIK CONNECT
EXIT
MENU ENTER
ON OFF
RES
SET
OFF
4

図 201

ペアリングが可能な最大デバイス数は以下のとおりです。

- スマートフォン　2 台
- ナビゲーター　1 台
- ライダーヘルメット　1 個
- パッセンジャーヘルメット　1 個

すでに 5 つのデバイスがペアリングされている場合にユーザーが新たにペアリングしようとすると、"MAX 5 DEVICES CAN BE ASSOCIATED" と "REFER TO USER MANUAL" の文字が表示されます。
一番目のペアリングされたデバイスに該当する "DELETE" が自動的に強調表示されます。ひとつ以上のデバイスを解除するか ("ペアリングデバイスの削除" を参照)、もしくは "EXIT" から Bluetooth 設定メニューを終了することができます。

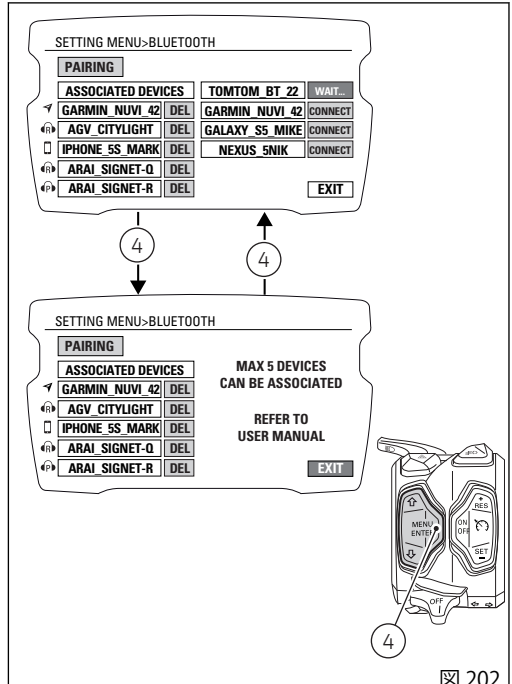


図 202

ペアリングするデバイスを選択すると、選択したデバイスに該当するラベルが "CONNECTED" から "WAIT" に代わり、ペアリングしたいデバイスのタイプを選択する必要があります。選択可能なデバイスタイプに相当する 4 つのアイコンが表示されます。
デバイスタイプは順番に次のとおりです。

- スマートフォン
- ライダーヘルメット
- パッセンジャーヘルメット
- ナビゲーター

ボタン (1) および (2) を押してデバイスタイプを選択します。ボタン (4) を押し、選択を決定します。

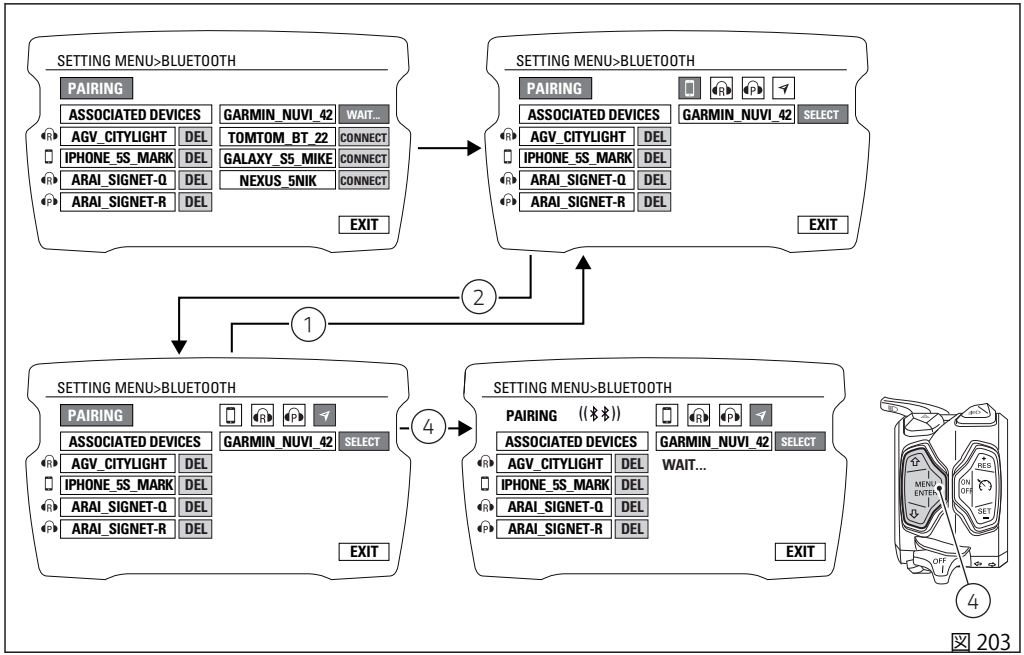

SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
AGV_CITYLIGHT
DEL
IPHONE_5S_MARK
DEL
ARAI_SIGNET-Q
DEL
ARAI_SIGNET-R
DEL
GARMIN_NUVI_42
WAIT...
TOMTOM_BT_22
CONNECT
GALAXY_S5_MIKE
CONNECT
NEXUS_5NIK
CONNECT
EXIT
SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
GARMIN_NUVI_42
SELECT
AGV_CITYLIGHT
DEL
IPHONE_5S_MARK
DEL
ARAI_SIGNET-Q
DEL
ARAI_SIGNET-R
DEL
EXIT
2
1
SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
GARMIN_NUVI_42
SELECT
AGV_CITYLIGHT
DEL
IPHONE_5S_MARK
DEL
ARAI_SIGNET-Q
DEL
ARAI_SIGNET-R
DEL
EXIT
4
SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
GARMIN_NUVI_42
SELECT
WAIT...
AGV_CITYLIGHT
DEL
IPHONE_5S_MARK
DEL
ARAI_SIGNET-Q
DEL
ARAI_SIGNET-R
DEL
EXIT
MENU/ ENTER
RES
ON/ OFF
SET
OFF
4

図 203

Smartphone

スマートフォンをペアリングする場合には、Bluetooth コントロールユニットとペアリングするためのペアリングコード (0000) の入力が必要になります。デバイスを Bluetooth コントロールユニットにペアリングする初回のみコードを入力します。
この場合、ペアリング段階で PIN 入力の指示 "INSERT PIN ON SMARTPHONE: 0000 " が表示されます。
ユーザーがスマートフォンに PIN を入力すると、デバイスがペアリングされ、左側の一覧に表示されます。

ナビゲーター

Bluetooth ナビゲーターをペアリングする場合は、ナビゲーター本体側で車両の Bluetooth コントロールユニットとの接続を選択してペアリングプロセスを完了する必要があります。
この場合、ペアリング中に "CONNECT ON NAVI" の文字が表示されます。コントロールユニットとナビゲーターとの接続に成功した時点でこの文字は消え、ナビゲーター名が左側の一覧に表示されます。

参考
万一 90 秒以内にユーザーがナビゲーター側のペアリングを完了しないときは、インストルメントパネルのペアリング画面が終了し、Bluetooth 設定メニューのメイン画面に戻ります。

ナビゲーターのペアリングが 90 秒以上作動している場合、すなわちプロセス中にエラーが発生した場合には、検出されたデバイスを選択することはできません。ペアリングを中止するのが適切だと判断された時点で "EXIT" ボタンのみの選択が可能です。

ペアリングが終了すると、ペアリングされたデバイス名が左側のデバイス一覧に表示されます。デバイス名は最初の数文字だけが表示されます。
ペアリングは Bluetooth 設定メニューを終了するか、検出された Bluetooth デバイスが他に存在しないと終了します。

警告
以下のキットに付属しない Bluetooth 対応のナビゲーターは、ドゥカティマルチメディアシステムに正しく接続できない場合があります。

- Ducati Zumo 350 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 390 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 395 衛星ナビゲーターキット

参考
上記Ducati キットは、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにてお求めいただけます。

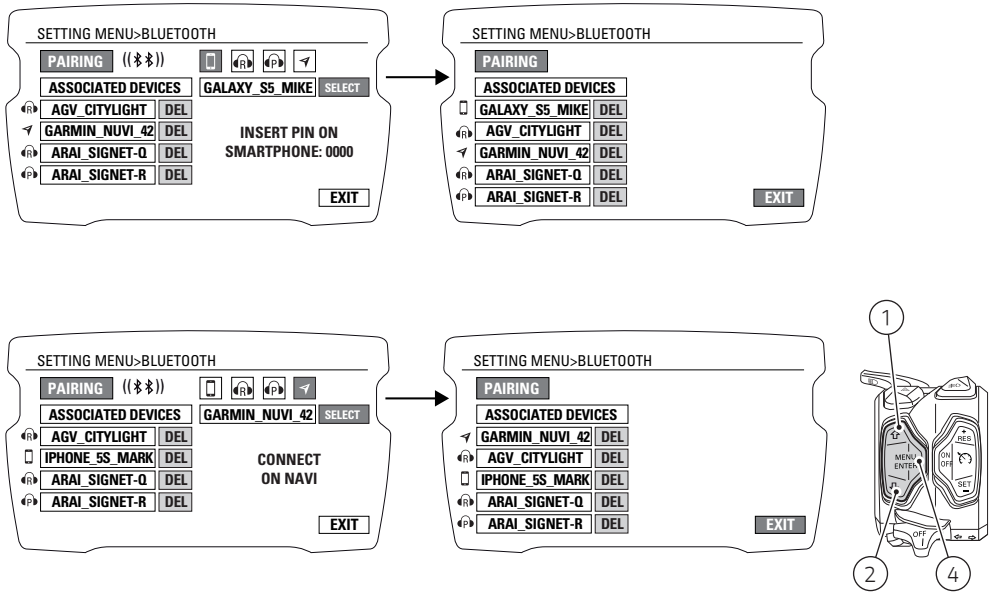

SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
GALAXY_S5_MIKE
SELECT
AGV_CITYLIGHT
DEL
GARMIN_NUVI_42
DEL
ARAI_SIGNET-Q
DEL
ARAI_SIGNET-R
DEL
INSERT PIN ON
SMARTPHONE: 0000
EXIT
SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
GALAXY_S5_MIKE
DEL
AGV_CITYLIGHT
DEL
GARMIN_NUVI_42
DEL
ARAI_SIGNET-Q
DEL
ARAI_SIGNET-R
DEL
EXIT
SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
GARMIN_NUVI_42
SELECT
AGV_CITYLIGHT
DEL
IPHONE_5S_MARK
DEL
ARAI_SIGNET-Q
DEL
ARAI_SIGNET-R
DEL
CONNECT
ON NAVI
EXIT
SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
GARMIN_NUVI_42
DEL
AGV_CITYLIGHT
DEL
IPHONE_5S_MARK
DEL
ARAI_SIGNET-Q
DEL
ARAI_SIGNET-R
DEL
EXIT
1
2
4
MENU
ENTER
RES
ON
OFF
SET
OFF

図 204

ペアリングデバイスの削除

Bluetooth 設定メニューから、左側のペアリングデバイス一覧にアクセスすることができます。
ボタン (1) またはボタン (2) を押して、ペアリングデバイス一覧から削除したいデバイスを選択することができます。デバイスに対応するラベル "DEL" を緑色に選択したら、ボタン (4) を少なくとも 2 秒間押します。デバイスがペアリングデバイス一覧から削除されます。
ボタン (1) またはボタン (2) で "EXIT" 機能を選択し、ボタン (4) を押すと、Bluetooth 設定メニューを終了して設定メニューのメイン画面に戻ります。

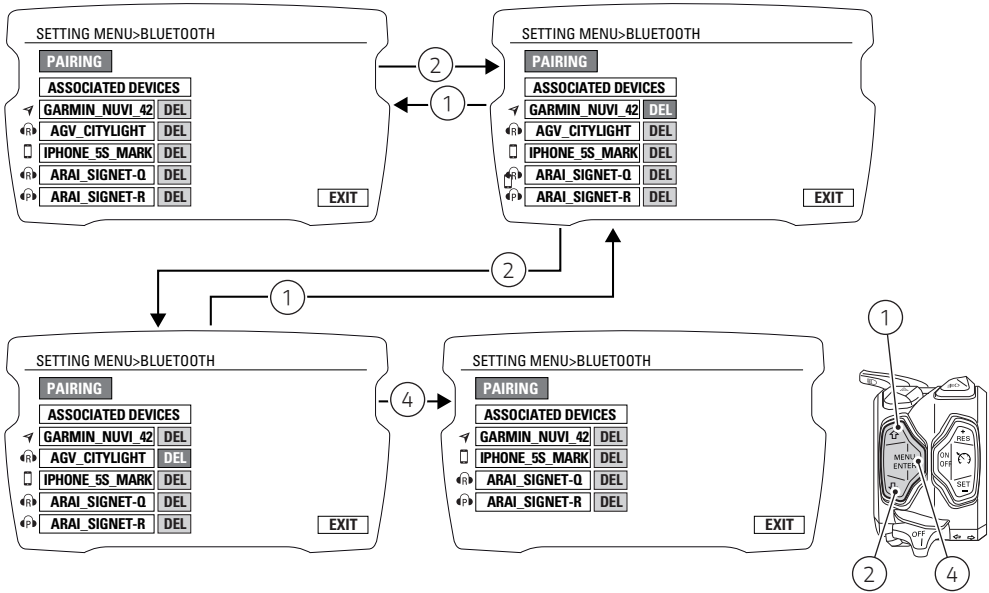

SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
GARMIN_NUVI_42 DEL
AGV_CITYLIGHT DEL
IPHONE_5S_MARK DEL
ARAI_SIGNET-Q DEL
ARAI_SIGNET-R DEL
EXIT
2
1
SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
GARMIN_NUVI_42 DEL
AGV_CITYLIGHT DEL
IPHONE_5S_MARK DEL
ARAI_SIGNET-Q DEL
ARAI_SIGNET-R DEL
EXIT
2
1
SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
GARMIN_NUVI_42 DEL
AGV_CITYLIGHT DEL
IPHONE_5S_MARK DEL
ARAI_SIGNET-Q DEL
ARAI_SIGNET-R DEL
EXIT
4
SETTING MENU>BLUETOOTH
PAIRING
ASSOCIATED DEVICES
GARMIN_NUVI_42 DEL
IPHONE_5S_MARK DEL
ARAI_SIGNET-Q DEL
ARAI_SIGNET-R DEL
EXIT
1
RES
MENU ENTER
ON OFF
SET
OFF
2
4

図 205

インフォメーション (INFO)

この機能では役に立つ各種情報を表示します。
"INFO" を表示するには、まず設定メニューに入ります。ボタン (1) および (2) で "INFO" を表示してボタン (4) を押します。
次の情報を見ることができます。

- BATTERY (バッテリー電圧)
- RPM (エンジン回転数表示)
- BLUETOOTH version (Bluetooth モジュールバージョン)

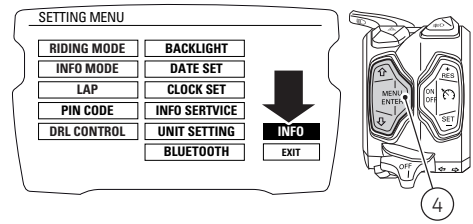


図 206

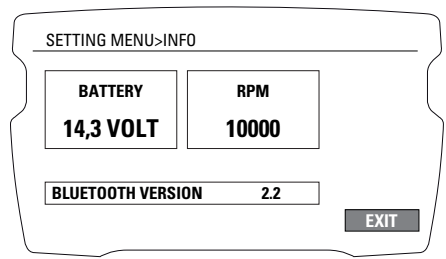


図 207

クーラントレベルの点検および補充

「メンテナンスプログラム」表で指定される間隔に従って、レベルを点検します。
クーラントレベルが車両左側のリザーバータンク横に記載されている MIN および MAX の目盛り間にあることを確認します。
クーラントレベルが MIN より下の場合は補充します。水平な場所に車両を垂直に停車させます。車両右側にあるリザーバータンクのフィラープラグ (1) を緩めて外し、不凍液 ENI Agip Permanent Spezial を薄めずに MAX のレベルになるまで補充します。プラグ (1) を閉めます。
上記の混合液を使用することで最良のコンディションを保つ事ができます (-20° C/-4° F から凍結し始めます)。

冷却回路の容量：2.5 リットル (0.66 ガロン)

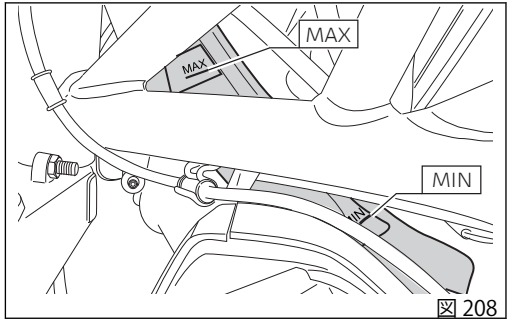


図 208

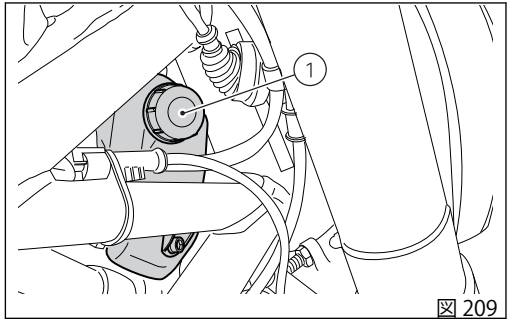


図 209

警告

この作業はエンジンが冷えた状態で実施します。エンジンが熱い状態で作業をおこなうと、クーラントや蒸気が吹き出して深刻なやけどを負うおそれがあります。

クラッチ / ブレーキフルードレベルの点検

フルードのレベルは、絶対に各リザーバータンクのMIN 目盛以下になってはいけません。
フロントブレーキフルードタンクおよびクラッチフルードタンクを (図 210)に示します。
リアブレーキフルードタンクを (図 211)に示します。
フルードレベルが下がりすぎると、回路内にエアが混入し、システムの作動に悪影響を及ぼします。
また、「メンテナンスプログラム」表に指定されているブレーキ / クラッチフルード補充および交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご依頼ください。

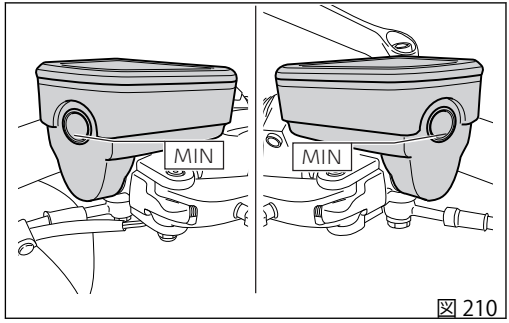


図 210

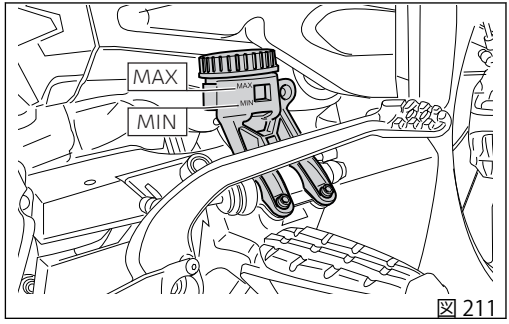


図 211

ブレーキシステム

ブレーキパッドが磨耗していないのにブレーキレバー、ブレーキペダルに過度の遊びがある場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡いただき、システムの点検とエア抜きを行ってください。

警告

ブレーキ/クラッチフルードはプラスチック製部品や塗装部分に損傷を与えますので、これらの部分にフルードが触れないよう注意してください。
これらの液体は腐食性ですの損傷やケガを引き起こすおそれがあります。異なる品質のオイルを混ぜないでください。ガスケットの状態を点検してください。

クラッチシステム

クラッチレバーに過度の遊びがあり、ギアチェンジの際にエンジンがノッキングしたり止まったりする時は、システム内にエアが混入している事があります。システムを点検とエア抜きを行う必要があるため、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

警告

クラッチフルードレベルはクラッチディスクの磨耗材が消耗すると上昇する傾向があります。規定レベルを超えないようにしてください (最低レベルの 3 mm (0.12 in) 上)。

ブレーキパッドの摩耗点検

キャリパー間の開口部からパッドの摩耗を点検します。
どちらか片方でもパッドの厚さが約 1 mm (0.04 in) になっている場合は、両方のパッドを交換します。

警告

パッドが消耗しすぎると、ブレーキディスクと金属製サポートが接触することでブレーキ性能、ディスクの正常な状態、またライダーの安全を損なうおそれがあります。

重要

ブレーキパッドの交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

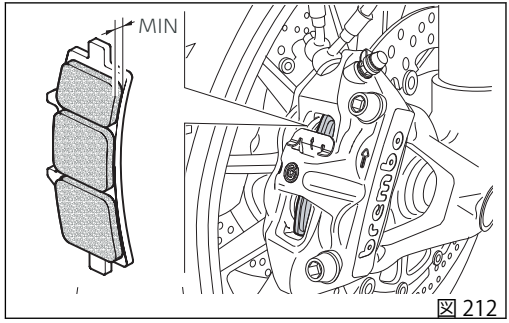


図 212

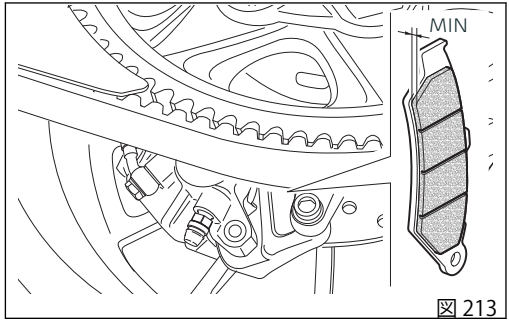


図 213

バッテリーの充電

バッテリーを充電する際は、バッテリーを車両から取り外してください。

重要

バッテリーはアンダーフェアリングに収納されています。バッテリーの取り外しについては、必ず Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

バッテリーの取り外し

以下の手順でスクリューを緩めて外し、右アンダーフェアリング (1) を取り外します。

- エレクトリカル部品ボックスにサイドを固定しているスクリュー (2)
- センターアンダーフェアリングに下部を固定している 3 本のスクリュー(3)
- センターアンダーフェアリングを右アンダーフェアリングに固定しているスクリュー (4)

クイックファスナー (12) を取り外します。

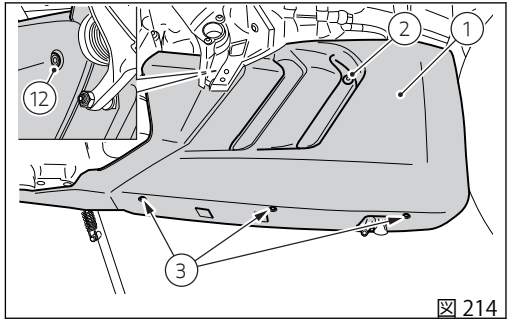


図 214

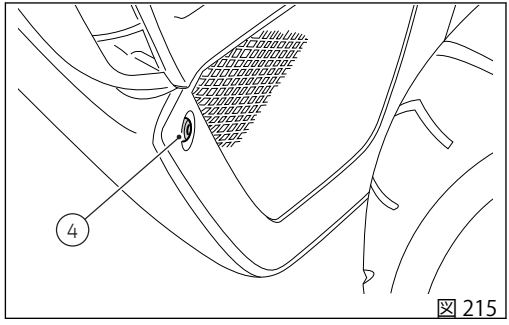


図 215

次に、2 本のスクリュー (5) を緩めて外し、バッテリーマウントブラケット (6) を取り外します。
所定の収納位置からバッテリー (7) を抜き取り、2 本のスクリュー (8) を緩めて外します。スクリューは必ずマイナス端子 (-) を先に外してください。
陽極ケーブル (9)、ABS 陽極ケーブル (10) を陽極から、陰極から陰極ケーブル (11) を外します。

警告
バッテリーは爆発性のガスを発生させます。熱源から遠ざけてください。

警告
バッテリーはお子様の手の届かないところに置いてください。

バッテリーを 0.9A で 5 〜10 時間充電します。
充電は換気の良い場所で行ってください。

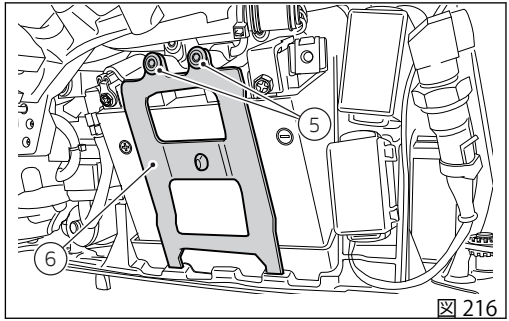


図 216

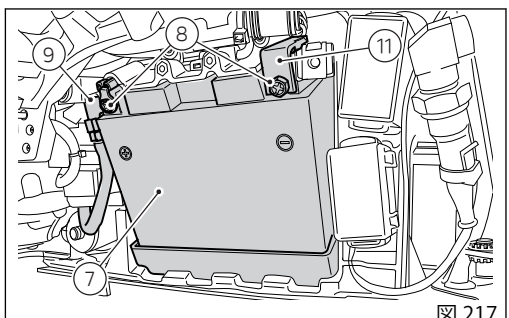


図 217

バッテリーの取り付け

端子に充電器のコンダクターを接続します。赤い端子がプラス (+)、黒い端子がマイナス (-) です。

重要

バッテリーを充電器に接続する前に充電器の電源を入れないでください。接続する際に火花が発生し、セル内の可燃性ガスに引火する恐れがあります。接続は常に赤のプラス (+) 端子から行ってください。

ABS システムのプラスケーブル (10) をプラスケーブル (9) の上に置き、スクリュー (8) をその上に差し込みます。
前もって ABS ケーブル (10) と組み立てておいた陽極ケーブル (9) をバッテリーの陽極に、陰極ケーブル (11) をバッテリーの陰極に接続し、スクリュー (8) を差し込みます。
電極の 2 本のスクリュー (8) を 4 Nm ± 10% のトルクで締め付け、酸化を防ぐためにバッテリー電極周辺にグリースを塗布します。

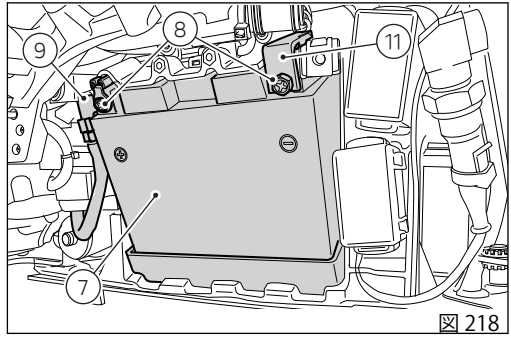


図 218

バッテリーマウントブラケット (6) の先端をエレクトリック部品マウント上の所定の位置 (A) に挿入して取り付けます。
2 本のスクリュー (5) を差し込み、5 Nm ± 10% のトルクで締め付けます。

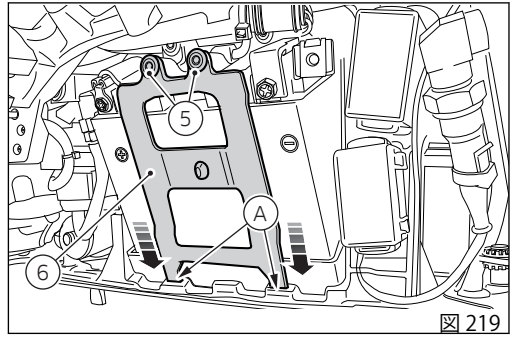


図 219

右アンダーフェアリング (1) を車両に配置し、以下の手順で固定します。

- エレクトリカル部品ボックスにサイドを固定するスクリュー (2) を差し込みます。
- センターアンダーフェアリングに下部を固定する3 本のスクリュー(3) を差し込みます。
- センターアンダーフェアリングを右アンダーフェアリングに固定するスクリュー (4) を差し込みます。

スクリュー (2) および (3) を 4 Nm ± 10% のトルクで締め付けます。
スクリュー (4) を 4 Nm ± 10% のトルクで締め付けます。
クイックファスナー (12) を配置します。

警告
バッテリーのショートやオーバーヒートの原因となりますので、絶対に他の車両のバッテリーと並列に接続しないでください。

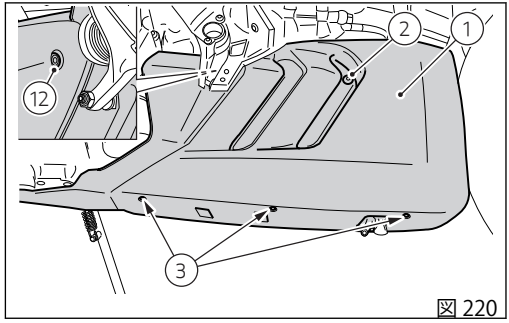


図 220

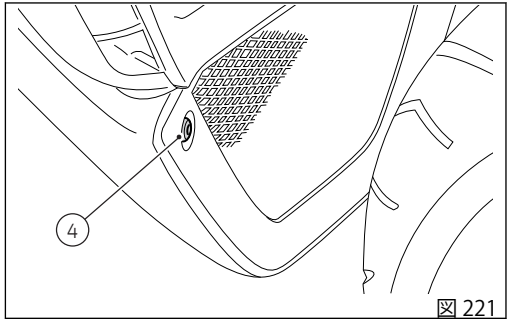


図 221

ドライブベルト張力の点検

重要

ドライブベルト張力の調整は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

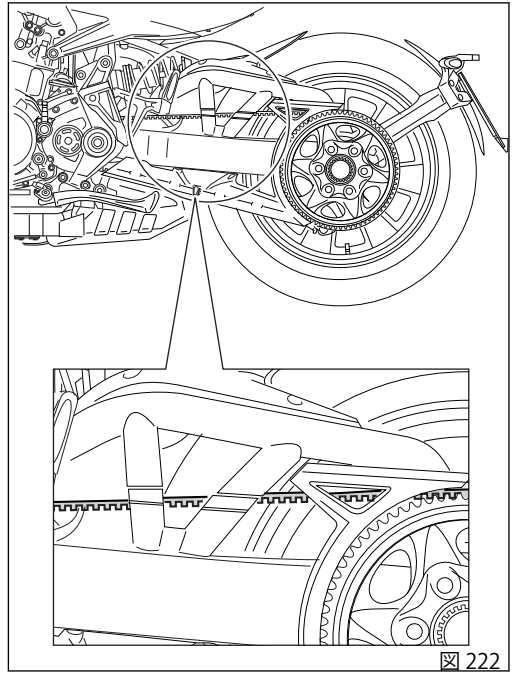


図 222

ハイビーム/ロービーム電球の交換

ヘッドランプ

ヘッドライトにはすべて LED 電球が使用されています。

図にはロービームランプ(LO)、ハイビームランプ(HI)、パーキングランプ (1) の位置を示しています。
ランプの電圧値および電力値は "エレクトリカルシステム" の項に記載されています。

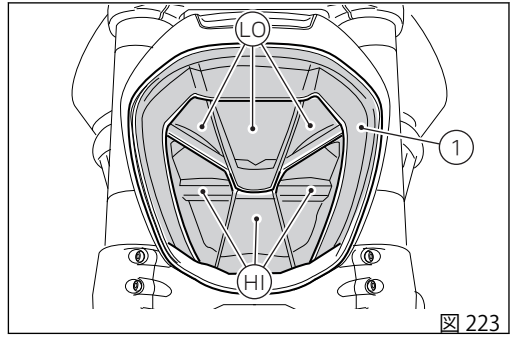


図 223

重要

ヘッドライト電球の交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

警告

雨天時または洗車後に車両を使用する際は、ランプレンズが曇っている場合があります。レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

ヘッドライトの光軸調整

正しいタイヤ空気圧に調整し、乗員1名がシートに乗った状態で、壁面またはスクリーンの前10メートル(32.8 ft)の場所で車両を縦軸に対して垂直に立て、ヘッドライトが正しい向きになっていることを確認します。壁にヘッドランプの中心と同じ高さで水平に線を引き、また車体の縦軸に一致する垂直線も引きます。この点検は薄暗い場所で行ってください。
ロービームを点灯します。
光の照射領域の高さ(暗い部分と照射部分との境界の上限)が、地上からヘッドランプの中心までの高さの9/10以下でなければなりません。

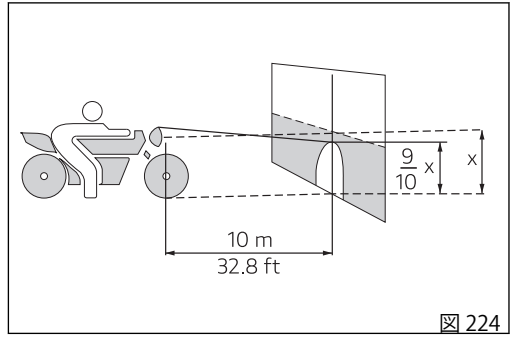


図 224

参考

この方法は、光軸の高さに関するイタリアの規則に準拠したものです。車両を使用する国、地域の法律に従い光軸調整を行ってください。

垂直方向のロービームライト光軸調整はスクリュー(1)を操作して行います。垂直方向のハイビームライト光軸調整はスクリュー (2) を操作して行います。

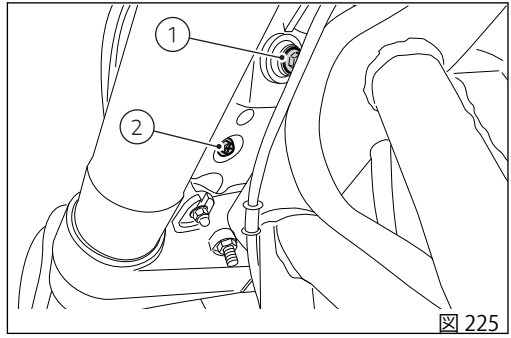


図 225

リアビューミラーの調整

ポイント (A) を押しながらミラーを手動で調整します。

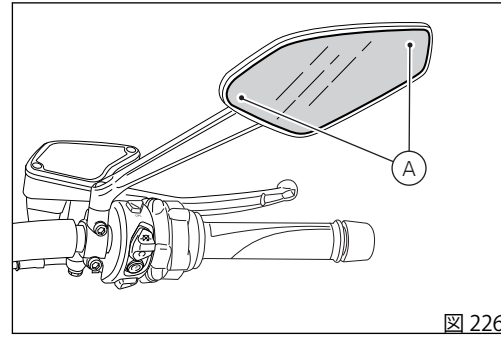


図 226

タイヤ

タイヤの種類とタイヤ空気圧については、「テクニカル仕様」セクションの「タイヤ」を参照してください。

タイヤの空気圧は外気温度や高度によっても変化します。
高度の高い場所や気温差のある場所を走行する場合は、毎回点検と調整を行ってください。

警告
タイヤの空気圧はタイヤ冷間時に測定してください。フロントリムがダメージを受けないように、悪路を走行する時はタイヤの空気圧を 0.2〜0.3 bar (2.9〜4.35 PSI) 上げてください。

タイヤの修理、交換 (チューブレス)

タイヤに穴が開いた場合、チューブレスタイヤは空気の減り方が遅いため、気付くまでに時間がかかることがあります。タイヤの空気圧が下がってきた場合は、パンクの可能性をチェックします。

警告
パンクしたタイヤは交換してください。交換する際は、標準装備タイヤと同じメーカー、タイプを指定してください。走行中のエア漏れを防ぐため、タイヤのバルブキャップがしっかり締まっていることを確認してください。チューブタイプのタイヤは絶対に装着しないでください。突然タイヤが破裂し、ライダー、パッセンジャーに重大な危険を及ぼすおそれがあります。

タイヤ交換の後には、必ずホイールバランスの点検を行ってください。

警告
ホイールのバランスウェイトを外したり、移動させたりしないでください。

参考
タイヤの交換ではホイールを正しく着脱することが重要です。タイヤ交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。ホイールにはセンサー、フォニックホイールなどの ABS システム部品が装着されており、特別の調整が必要になります。

タイヤの摩耗限度

タイヤのトレッド面が一番摩耗している箇所 (S、図 227) の溝の深さを測定します。溝の深さは 2 mm (0.08 in) 以上でなければならず、また現地法で定めれた規定値以下であってはなりません。

重要

タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかチェックしてください。損傷が著しい場合はタイヤを交換してください。
トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いてください。

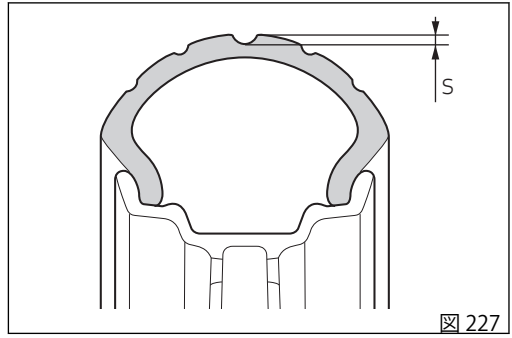


図 227

エンジンオイルレベルの点検

エンジンオイルの量は、クラッチカバーにある点検窓 (1) から見ることができます。
オイル液面は、点検窓の横に指示された目盛の間になければなりません。オイル量が不足している場合は、エンジンオイルを補充してください。
ドゥカティ社規定オイルは SAE 15W-50/JASO MA2 のみで、推奨オイルは Shell Advance 4T Ultra 15W-50 (JASO: MA2、API：SN) です。
フィラーキャップ (2) を外し、指定オイルを規定のレベルまで補充してください。プラグを取り付けます。

警告
エンジンオイルとオイルフィルターの交換は、本冊子の「メンテナンスプログラム」に記載されている定期点検表に従い、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

オイルレベルの正確な点検を実施するには、以下に記載する作業をよく読んで指示に従ってください。
1) オイルレベルの点検はエンジンを切ってから約 15 分後、エンジンが熱い状態で実施してください。
2) エンジンを停止し、オイルが完全にオイルパンに戻るまで 10〜15 分待ちます。
3) 平坦な場所に両方の車輪を地面に着け、直立に駐車します。

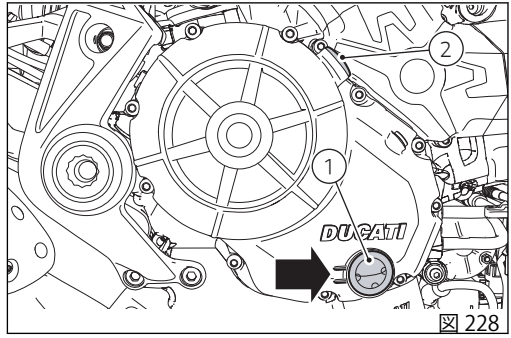


図 228

4) この時点で、エンジンオイル点検窓からオイルレベルを点検します。
5) オイルレベルが MIN と MAX 目盛りの中央より下であれば、MAX 目盛りまでオイルを補充してください。

警告
MAX 目盛りは絶対に超えないようにしてください。

警告

可変バルブ機構を備える車両では、エンジンを停止した時に一定量のエンジンオイルがヘッドに滞留することがあり、完全にオイルパンに流れるまでにある程度の時間がかかります。これによりオイルレベルを正しく測定できないことがあります。

オイルに関する推奨事項

以下を満たすオイルの仕様が推奨されます。

- 粘度分類 SAE 15W-50
- API 規格：SN
- JASO 規格：MA2。

SAE 15W-50 は英数字のコード番号で、粘度を基にオイルの分類を特定し、W で分けられた 2 つの数字であらわされます。最初の数字は低温でのオイルの粘度を表し、二番目の数字は高温での粘度を表します。API (米国での分類) および JASO (日本標準) は、オイルが有する特徴を表します。

車両の清掃

参考

塗装部分と金属部分の本来の艶を長期間保つため、使用状態や走行する道路の状態に合わせて、定期的に車両の清掃、洗車を行ってください。強力な洗剤や溶剤の使用は避け、可能であれば生分解性の専用洗剤を使用してください。
プレキシガラス部分やシートのお手入れには、水と中性洗剤を使用してください。
アルミニウム製部品は定期的に手作業で清掃してください。研磨剤や水酸化ナトリウムが含まれていないアルミニウム専用洗剤を使用してください。

参考

研磨材付きスポンジやスチールウールは使用せず、柔らかい布のみを使用してください。

十分なメンテナンスが行われていない車両は保証の対象になりません。

重要

走行直後のボディがまだ熱い状態にあるときは、水染み等を防ぐため洗車は行わないでください。
洗車には温水ジェットや高圧洗浄機を使用しないでください。
洗浄機の使用は、フォーク、ホイールハブ、電装システム、フォークガスケット、エアインテーク、エキゾーストサイレンサーの故障や不具合、ランプ内部の結露(くもり)を引き起こし、結果として車両の安全性を損ねるおそれがあります。
エンジンに著しい汚れや油脂汚れが見られる場合は、脱脂剤を使用して洗浄してください。その際、トランスミッション系統(ベルト、プーリー等)に脱脂剤が付着しないように注意してください。

車両をぬるま湯で良くすすぎ、表面全体をセーム革で拭いて乾かします。

警告

洗車後は、ブレーキ性能が低下することがあります。ブレーキディスクには絶対にグリースや潤滑剤を塗布しないでください。ブレーキ性能が失われるおそれがあります。ディスクは非油性の溶剤で清掃してください。

警告

洗浄、雨、湿気などにより、ヘッドランプレンズにくもりが生じることがあります。レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

ABS システムが効率よく作動するように、フォニックホイールを入念に清掃してください。ホイールやセンサーを傷めますので、強力な洗剤や溶剤の使用は避けてください。

警告

インストルメントパネルのクリアカバーにオイルや燃料が直接付着しないようにしてください。シミや損傷の原因となり情報を読み取りにくくなるおそれがあります。この部分の清掃にはアルコール系洗剤、溶剤や研磨剤入りの洗剤を使用しないでください。表面の硬いザラついたスポンジや布はキズが付くおそれがありますので使用しないでください。

ホイールリムにはアルミニウム加工が施されていますので、清掃には十分に注意してください。車両を使用するたびに、ホイールリムを清掃し、乾燥させてください。

警告

サイドバッグのお手入れは、中性洗剤と柔らかい布を使用し、温水で清掃してください。ファスナーなどの留め金類は石鹸と柔らかいブラシを用いて清掃し、きれいな水ですすいでください。刺激の強い洗剤や非常に硬い道具などは使用しないでください。ファスナーが開きにくい場合は、少量のタルクをはたいて、滑らせることもできます。

重要

ドライブチェーンの清掃や潤滑は、「ドライブチェーンの潤滑」を参照してください。

長期間の保管

車両を長期間使用しない場合は、保管する前に以下の作業を行うようお薦めします。

- 車両を清掃します。
- 車両をスタンドに立てかけて停車します。

1 ヶ月以上車両を使用しなかった場合には、バッテリーの点検を実施し、必要であればバッテリーの充電または交換を行ってください。
結露を防止し塗装を保護するため、車体をカバーで覆います。
車体カバーは Ducati Performance にて取り扱っております。

重要注意事項

国によっては (フランス、ドイツ、イギリス、スイス等) 排気ガス、騒音規制の基準を設けている場合があります。
法律で義務付けられている定期点検を実施し、交換が必要な部品については各国の規制に適合する Ducati 純正パーツと交換してください。

車載されている様々な電子コンポーネントには、車両の状態、イベント、故障に関する技術情報を一時的または永続的に保存するデータメモリがあります。
通常、これらの情報は、ひとつのコンポーネント、モジュール、システム、または環境の状態を記録しています。

- システムコンポーネントの動作状態 (例：排出ガス制御システム)
- 車両と個別コンポーネントの状態のメッセージ (例：車輪回転速度、エンジン回転数、挿入ギアなど)
- システムの重要コンポーネントの不具合と故障 (例：ライト、ブレーキなど)
- 特定の運転状況での車両レスポンス (例：トラクションコントロールシステムなど)
- 環境条件 (例：気温など)

これらのデータは技術的な性質のものであり、故障を特定・修正して、車両の機能を最適化するために使用されます。
修理、メンテナンス作業、保証対象作業、品質保証などのサービスを実施する際、アシスタンスネットワーク (製造メーカーを含む) のスタッフは、特別な診断ツールを使用して、イベントや故障データメモリからこれらの技術情報を読み取ることができます。故障が解消されれば、故障メモリの情報を徐々に消去または上書きすることができます。
車両データは、お客様から要請されたサービスや契約に基づいて車両に実施されるサービスの際に収集されます。
これらのサービス環境において、お客様の個人情報は、サポートの効率を高めるという Ducati の正当な利益に基づき、また最終的な法的義務 (例：修理・メンテナンスに関する情報義務) を果たすために、現行の個人データ保護規則に従って取り扱われます。必要に応じて、個人データの読み取りが行われ、車両識別番号と併せて使用されます。
当社のコントロールユニットが位置情報データを収集することはありません。

車両の運搬

別の車でモーターサイクルを運搬する前に、安全に関する以下の指示に従ってください。

1) 確実に固定されていない物やアクセサリーを車両から取り外してください。
2) 運搬に使用する車に対して真っすぐになるように前輪を進行方向に向けて配置し、前輪が動かないように適切に固定してください。
3) ギアを 1 速に入れてください。
4) 固定用ベルトを使用してください。固定用ベルトは硬い部品(フレームなど)の位置で固定するようにし、ハンドルバー(またはハーフハンドルバー、装備に応じる)や破損する危険のある部品(グリップ、リアビューミラーなど)には取り付けないでください。
5) ベルトやロープが車両の塗装部品をこすらないように取り付けてください。
6) 運搬中に路面からの振動に対する車両の動きが少なくなるように、可能であれば、サスペンションを部分的に圧縮された位置に設定してください。

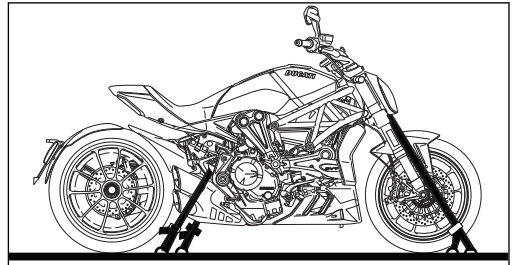


図 229

ロープをハンドルバーに固定しないでください。

メンテナンスプログラム

メンテナンスプログラム： ディーラーでおこなうメンテナンス

重要

ぬかるみや乾燥したほこりっぽい環境など過酷な状況でモーターサイクルを使用すると、トランスミッション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルターが汚れていると、エンジンが損傷するおそれがあります。そのため規定されている定期点検の間隔より早く、定期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合があります。

メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*)	Km x1000	1	15	30	45	60	期間 (月)
	マイル x1000	0.6	9	18	27	36	
DDS 2.0 による不具合メモリーの読み取り、およびコントロールユニットのソフトウェアバージョンの更新確認		●	●	●	●	●	12
テクニカルアップデートおよびリコールの有無の確認		●	●	●	●	●	12
エンジンオイルおよびフィルターの交換		●	●	●	●	●	12
エンジンオイルインテークフィルター清掃		●					-
バルブクリアランスの点検と調整				●		●	-
タイミングベルトの交換				●		●	60
ウォーターポンプベルトの交換				●		●	60

メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*)	Km x1000	1	15	30	45	60	期間 (月)
	マイル x1000	0.6	9	18	27	36	
スパークプラグの交換			●	●	●	●	-
ヘッドの金属メッシュフィルター付きキャップの清掃				●		●	-
エアフィルターの清掃			●		●		-
エアフィルターの交換				●		●	-
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検		●	●	●	●	●	12
ブレーキ/クラッチフルードの交換							36
ブレーキパッドおよびディスクの摩耗点検必要な場合は交換		●	●	●	●	●	12
ブレーキキャリパー、ブレーキディスクフランジスクリューの締め付け点検		●	●	●	●	●	12
フロント、リアホイールナットの締め付け点検		●	●	●	●	●	12
エンジンへのフレーム固定部品の締め付け点検			●	●	●	●	-
ホイールハブベアリングの点検				●		●	-
リアホイールシャフトの点検と潤滑				●		●	-
ドリブンプーリーのクッシュドライブダンパー点検				●		●	-
ドリブンプーリーおよびドライブプーリー (ファイナルドライブ) のナット締め付け点検		●	●	●	●	●	12

メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*)	Km x1000	1	15	30	45	60	期間 (月)
	マイル x1000	0.6	9	18	27	36	
ファイナルドライブの磨耗の点検 (ベルト、ドリブンプーリー、ドライブプーリー)。			●	●	●	●	12
ドライブベルト (ファイナルドライブ) 張力の点検		●	●	●	●	●	12
ステアリングベアリングの点検と潤滑				●		●	-
フロントフォークオイルの交換				●		●	-
フロントフォーク、リアショックアブソーバーのシーリング部品の目視点検		●	●	●	●	●	12
サイドスタンド、センタースタンドの動作および締め付け点検 (装備している場合)		●	●	●	●	●	12
フューエルホースの目視点検			●	●	●	●	12
フレキシブルケーブルと配線ケーブルの摩擦部分、遊びと動作、取り付け位置の目視点検		●	●	●	●	●	12
ハンドルレバー、ペダルコマンドの潤滑			●	●	●	●	12
クーラントの交換					●		48
クーラントレベルの目視点検、冷却回路の密閉状態の点検		●	●	●	●	●	12
タイヤ空気圧、磨耗点検		●	●	●	●	●	12
バッテリー充電レベルの点検		●	●	●	●	●	12

メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*)	Km x1000	1	15	30	45	60	期間 (月)
	マイル x1000	0.6	9	18	27	36	
電気安全装置の作動点検 (サンドスタンドセンサー、フロント/リアブレーキスイッチ、エンジン停止スイッチ、ギア/ニュートラルセンサー)		●	●	●	●	●	12
ランプ、インジケーター類、警告ホーン、コマンド類の点検		●	●	●	●	●	12
DDS 2.0 を介したサービスインジケーターのリセット		●	●	●	●	●	-
安全装置 (ABS、DTC など)、クルーズコントロール装置、エレクトリックファン、アイドリングの機能点検を兼ねた路上での走行テスト		●	●	●	●	●	12
車両のソフトクリーニング		●	●	●	●	●	12
定期点検実施の車載書類 (サービスブック) への記入		●	●	●	●	●	12

* 走行距離 (km、mi) または経過時間 (月) のうち、どちらか先に到達した時点で点検を実施してください。

メンテナンスプログラム： お客様がおこなうメンテナンス

重要

ぬかるみや乾燥したほこりっぽい環境など過酷な状況でモーターサイクルを使用すると、トランスミッション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルターが汚れていると、エンジンが損傷するおそれがあります。そのため規定されている定期点検の間隔より早く、定期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合があります。

メンテナンス項目/作業内容 (km/mile 毎、または経過時間 *)	Km x1000	1
	マイル x1000	0.6
	月	6
エンジンオイルレベルの点検		●
ブレーキオイルレベル点検		●
タイヤ空気圧、磨耗点検		●
ファイナルドライブベルトの磨耗の目視点検		●
ブレーキパッドの点検必要であれば、ディーラーにて交換してください。		●

* 走行距離 (km、mi) または経過時間 (月) のうち、どちらか先に到達した時点で点検を実施してください。

テクニカル仕様

重量

車両重量 (燃料 90% を含むすべての液体類を装備 - 93/93/CE ガイドラインに準拠)：247 kg (544 lb)
車両重量 (燃料を除く)：237 kg (522 lb)
車両重量 (液体類、バッテリーを含まない)：220 kg (485 lb)
車両総重量 (最大負荷重量)：440 kg (970 lb)

警告
重量制限を遵守しない場合、操縦性と性能の低下を招き、車両のコントロールを失う原因となります。

サイズ

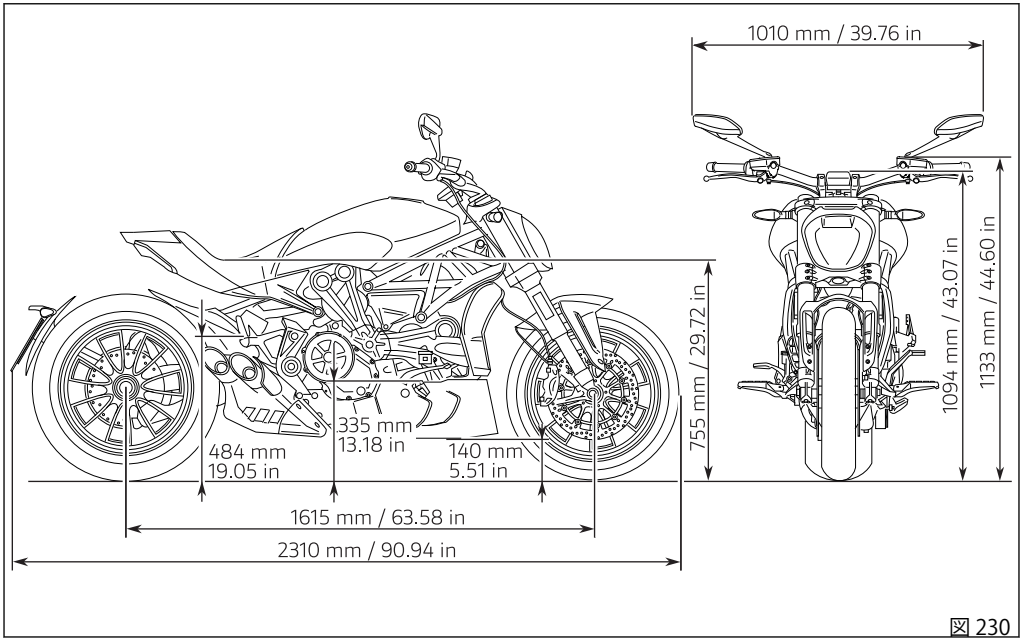

1010 mm / 39.76 in
755 mm / 29.72 in
1094 mm / 43.07 in
1133 mm / 44.60 in
335 mm
13.18 in
484 mm
19.05 in
140 mm
5.51 in
1615 mm / 63.58 in
2310 mm / 90.94 in

図 230

補給

補給	タイプ	
燃料タンク、リザーブ 4 リットル (0.88 UK ガロン) を含む	オクタン価が 95 以上の無鉛ガソリン SHELL V-Power を使用してください。	18 リットル (3.96 UK ガロン)
エンジンクランクケースおよびフィルター	ドゥカティ社規定オイルは SAE 15W-50/ JASO MA2 のみで、推奨オイルは Shell Advance 4T Ultra 15W-50 (JASO: MA2、API：SN) です。	4.2 リットル (0.92 UK ガロン)
フロント/リアブレーキシステム、クラッチ	DOT 4	-
電極保護液	配線用スプレ	-
フロントフォーク	SHELL Donax TA	835 cc (レッグごと)
冷却システム	不凍液 ENI Agip Permanent Spezial (薄めずに使用)	2.5 リットル (0.55 UK ガロン)

重要

燃料、潤滑液等には絶対に添加剤を加えないでください。このような燃料を使用すると、エンジンや車両の部品に重大な損傷をきたすおそれがあります。

警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。
エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

エンジン

DTV システム ("Desmodromic Variable Timing"：デスモドロミック可変タイミング) を備えた Ducati テスタストレッタ、"L" 型 2 気筒、シリンダーごとに 4 バルブ、デュアルスパーク、水冷式。

ボア：106 mm (4.17 in)

ストローク：71.5 mm (2.82 in)

総排気量：1,262 cm^3 (77.01 cuin)

圧縮比：13.1±0.5:1

クランクシャフト最高出力、規制 (EU) No. 134/2014 添付 X、kW /HP：
118 kW / 160 HP / 9,500 rpm

クランクシャフト最高出力、規制 (EU) No. 134/2014 添付 X、kW /HP：
73 kW / 98 HP / 6,750 rpm (フランスバージョン)
112 kW / 152 HP / 9,500 rpm (中国バージョン)

クランクシャフト最大トルク、規制 (EU) No. 134/2014 添付 X：
127 Nm / 13.0 Kgm / 5,000 rpm

クランクシャフト最大トルク、規制 (EU) No. 134/2014 添付 X：
125 Nm / 12.7 Kgm / 4,750 rpm (フランスバージョン)
126 Nm / 12.8 Kgm / 4,750 rpm (中国バージョン)

最大回転数：10,300 rpm

最大回転数、フランスバージョンのみ：10,250 rpm

重要
走行中いかなる状況においても、決して最高回転数を超えてはいけません。

参考
記載されている出力/トルクデータは、基準適合規則に従って静的テストベンチを使用して測定されたもので、認証時に測定され車両登録証に記載されているデータと同じになります。

タイミングシステム

デスモドロミックシステム：シリンダーごとに4本のバルブを、8本のロッカーアーム(4オープニングロッカーアーム、4クロージングロッカーアーム)と吸排気ともに可変タイミング機構(DVT)を搭載する2本のカムシャフトが制御。スパーギア、プーリー、コグドベルトを介してクランクシャフトで制御されます。

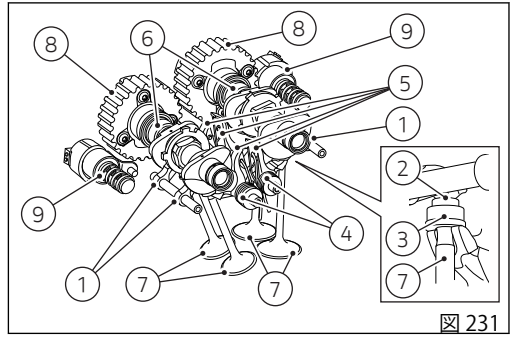


図 231

デスモドロミックタイミングシステム

1) オープニング (アッパー) ロッカーアーム
2) オープニングロッカーシム
3) クロージング (ロア) ロッカーシム
4) クロージングロッカーアームリターンスプリング
5) クロージング (ロア) ロッカーアーム
6) カムシャフト
7) バルブ
8) 可変タイミング機構
9) アクチュエーター

性能データ

各ギアにおける最高速度は、決められた慣らし期間を正しく守り、適切な定期点検整備を受けた場合にのみ出すことができるようになります。

重要

これらの条件が守られなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮について、Ducati モーターホールディング社は一切責任を負うものではありません。

スパークプラグ

メーカー：NGK
タイプ：MAR9A-J

燃料供給

BOSCH 製エレクトロニックインジェクションシステム
スロットルボディタイプ：フルライドバイワイヤシステムを備えた楕円タイプ DEQ 56
スロットルボディ直径：56 mm (2.20 in)
シリンダーごとのインジェクター数：1
インジェクター孔数：10
ガソリン燃料：95-98 RON

警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁止されています。このような燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたすおそれがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用すると保証の対象外になります。

ブレーキ

各ブレーキのアンチロックシステムは「コーナリング」機能も備え、両タイヤに装備されたホール効果センサーで制御されます。ABS の解除が可能です。

フロント

穴付きセミフローティングダブルディスク
ブレーキシュー材質：ステンレススチール
ハウジング材質：スチール
ディスク径：320 mm (12.59 in)
右側ハンドルレバーによる油圧コントロール
ブレーキキャリパーメーカー：BREMBO
フロントブレーキタイプ：M4.32B
ブレーキパッドメーカー：TOSHIBA
ブレーキパッド材質：TT 2182 FF
ブレーキポンプ：PR18/19.

リア

穴付き固定ディスク、スチール製
ディスク径：265 mm (10.43 in)
車体右側ペダルによる油圧コントロール
ブレーキキャリパーメーカー：BREMBO 4 ピストン、フローティング
リアブレーキタイプ：PF 30/32A
ブレーキパッドメーカー：TOSHIBA
ブレーキパッド材質：TT 2182 FF
直径 32 mm (1.26 in) 4 ピストン固定キャリパー

警告
ブレーキフルードは腐食性があります。
万一目に入ったり肌に触れたりした場合は、流水でしっかりと洗い流してください。

トランスミッション

湿式多板クラッチ、油圧式制御、プログレッシブセルフサーボ機構およびスリッパークラッチ機構付
エンジンとギアボックスメインシャフト間の駆動伝達。
エンジンスプロケット/クラッチスプロケット比：33/61
6 速コンスタントギア、車体左側ペダルによる操作

ドライブプーリー/ドリブンプーリー比：Z28/Z80

変速比：
1 速 15/37
2 速 17/30
3 速 20/27
4 速 22/24
5 速 24/23
6 速 25/22

ベルトによるギアボックスとリアホイール間の駆動伝達
コグドベルト：Z173 L35

重要
上記のギア比は認可時の値ですので、いかなることがあっても変更してはいけません。

本車両の競技用仕様への変更をご希望のお客様には、Ducati モーターホールディング社から特別なギア比に関する情報をご提供することが可能です。Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

警告
リアプーリーの交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。この部品の誤った交換は、ライダーおよびパッセンジャーの安全に深刻な危険をもたらし、車両に修復不能な損傷を与える恐れがあります。

フレーム
スチール製トレリスパイプフレーム
キャスター角：30°
ステアリングアングル：左側 34°　/ 右側 34°
トレール：130 mm (5.11 in)

ホイール
フロント
軽合金鋳造リム
寸法：MT3.50x17"

リア
軽合金鋳造リム
寸法：MT8.00x17"

タイヤ
フロントタイヤ空気圧
2.50 bar (250 kPa - 36.26 PSI) (ライダーのみ)。
2.6 bar (260 kPa - 37.71 PSI) (タンデムおよびバッグ、またはいずれか一方)

リアタイヤ空気圧
2.50 bar (250 kPa - 36.26 PSI) (ライダーのみ)。
2.9 bar (290 kPa - 42 PSI) (タンデムおよびバッグ、またはいずれか一方)

フロント
チューブレスラジアルタイヤ
寸法：120/70-ZR17
メーカーおよびタイプ：Pirelli Diablo Rosso III

リア
チューブレスラジアルタイヤ
寸法：240/45-ZR17
メーカーおよびタイプ：Pirelli Diablo Rosso III

サスペンション
フロント
フロント
メーカー：MARZOCCHI
ステンレス製レッグの油圧式フォーク、スプリングプリロードとコンプレッションダンピングアジャスター付き (左レッグ)、リバウンドダンピングアジャスター付き (右レッグ)。

インナーチューブ径：
50 mm (1.96 in)

リア

メーカー：SACHS
スプリングプリロード / リバウンドダンピング調整が可能なショックアブソーバー (TBC) は、上部がフレームに、下部がアルミニウム製スイングアームにピボット連結されています。スイングアームはフレームとエンジンを通過するシャフトを基点に回転します。このシステムは車両に高い安定性をもたらします。
ショックアブソーバーストローク：59.5 mm (2.34 in)
リアホイールトラベル：120 mm (4.72 in)

エキゾーストシステム

マニホールドレイアウト “2 in 1 in 2”、ラムダセンサー 2 個および触媒 2 個付き。
ストレート多重構造。
スチール製サイレンサー、楕円型ツインエンド。

カラーバリエーション

スリリングブラック：
ベース 2 K ブラック、部品番号：873.A002 (Palinal)
ブラックステルスベース (ブラック 94)、部品番号：929.R223 (Palinal)
クリア、部品番号：923M1598 (Palinal)
ミネラルグレー**フレーム**、部品番号：37321 (INVER SPA)
リンクルドミネラルグレーリア**サブフレーム**、部品番号：37418 (INVER SPA)
グロッシーブラックベース**リム**、部品番号：43NL0007 (Akzo Nobel)、Acrymine HP クリア (Peter Lacke)

エレクトリカルシステム

主要構成部品は以下の通りです。

インストルメントパネル

インストルメントパネル：3.55 inch

ヘッドライト

ロービーム LED 電球タイプ：LED　4 個
ハイビーム LED 電球タイプ：LED　5 個
パーキングランプ LED タイプ：LED　5 個

ターンインジケーター

フロントターンインジケーター：LED
リアターンインジケーター：LED
ハンドルバースイッチ

テールランプ

パーキングランプ：(13.5V - 0.3W)
LED ストップランプ：
ナンバープレートランプ：LED

ヒューズ

電装品の保護ヒューズはアッパーヒューズボックスとロアヒューズボックス内に 13 個、スターターコンタクター上に 1 個あります。各ヒューズボックス内には予備ヒューズ (S) があります。
ヒューズが保護する装置、アンペア値については表を参照してください。
アッパーヒューズボックス (A) およびロアヒューズボックス (B) はエレクトリック部品ボックスの右側、バッテリー横に設けられています。
ヒューズボックスで作業を行うには、右アンダーフェアリングを取り外します。取り外し手順は ページ 295 をご覧ください。
ヒューズを交換するには、各ヒューズの配置と定格が表記された保護カバーを外します。

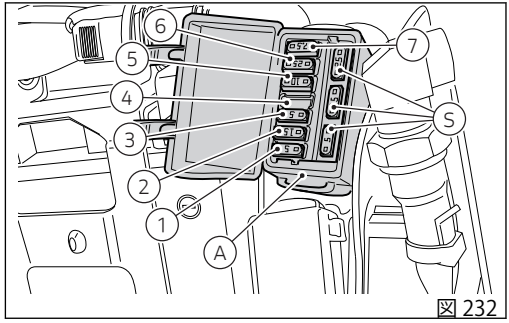


図 232

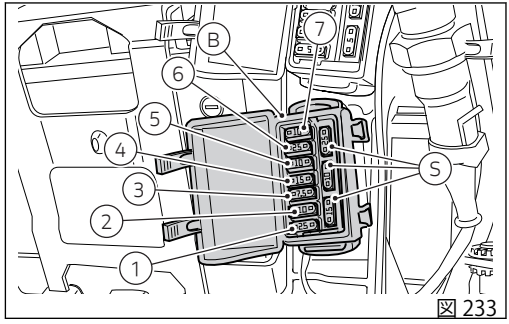


図 233

アッパーヒューズボックス凡例 (A)		
配置	保護装置	容量
1	KEY EMS / ABS / IMU	5 A
2	KEY DSB / BBS	15 A
3	KEY ランプ	5 A
4	-	-
5	KEY アクセサリー	10 A
6	+30 Hands Free	25 A
7	+30 診断 / 充電	7.5 A

ロアヒューズボックス凡例 (B)		
配置	保護装置	容量
1	+30 EMS LOAD リレー	25 A
2	+30 フューエルポンプリレー	10 A
3	+30 スターターリレー	7.5 A
4	+30 インストルメントパネル	15 A
5	+30 Black Box システム (BBS)	10 A

ロアヒューズボックス凡例 (B)		
6	+30 ABS UBMR	25 A
7	+30 ABS UBVR	10 A

メインヒューズ (C) はスターターコンタクター上に設置されています。メインヒューズを交換するには、保護キャップを取り外してください。切れたヒューズは、インナーフィラメント (F) が溶断しているかどうかで確認することができます。

重要

回路のショートを防止するために、ヒューズ交換の前にイグニッションキーを OFF にしてください。

警告

表示されている規定以外のヒューズは決して使用しないでください。上記事項を守らなかった場合、エレクトリカルシステムの損傷や火災を引き起こすおそれがあります。

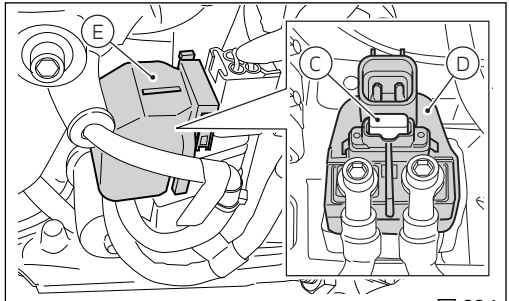


図 234

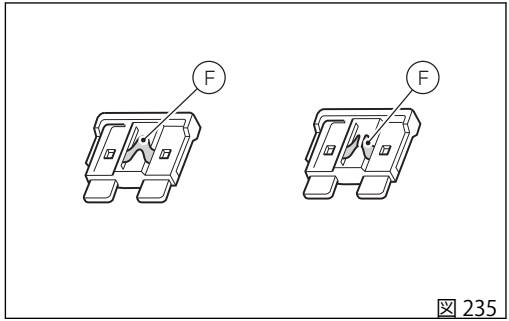


図 235

オープンソースソフトウェア

オープンソースソフトウェアに関する情報

車両のいくつかのコンポーネントは、オープンソースソフトウェアを使用しています。使用されているソースコードとオープンソースに関連する情報は、次のリンクからオンラインで入手できます。
https://www.ducati.com/ww/en/home/open-source-software

EU 適合宣言書

EU 適合宣言書

EU 指令 2014/53/EU

無線部品製造業者の住所

すべての無線部品には、欧州指令 2014/53/EU の規定に基づき、製造業者の住所が記載されていなければなりません。その性質または寸法の問題上シールを貼付できない部品については、法律に規定される通り製造業者の住所を表示 2 に記載します。

参考

本機器の取扱い、設置は経験のある人のみが行ってください。

表 1

車両に装備されている無線機器	周波数帯域	最大送信電力
Hands Free ユニット	133.8 KHz ÷ 134.6 KHz	< 73dB μV/m (10m)

Hands Free キー	433.91 MHz ÷ 433.93 MHz	-20 dB μV/m (3m)
Ducati Multimedia System (Bluetooth)	2402 ÷ 2480 MHz	4.4mW
Antitheft (盗難防止装置)	433.92MHz (±75KHz)	<0.6mA

表 2

車両に装備されている無線機器	製造業者の住所
Hands Free ユニット	ASAHI DENSO CO.,LTD. 6-2-1 Somejidai, Hamakita-ku, Hamamatsu, Shizuoka, 434-0046 Japan
Hands Free キー	ASAHI DENSO CO.,LTD. 6-2-1 Somejidai, Hamakita-ku, Hamamatsu, Shizuoka, 434-0046 Japan
Ducati Multimedia System (Bluetooth)	COBO S.p.a. Via Tito Speri, 10 25024 Leno (BS), Italy

Antitheft (盗難防止装置)	PATROLLINE Via Cesare Cantù, 15/C 22031 Albavilla (CO), Italy

簡易 EU 適合宣言書

[Austria]

Ihr Fahrzeug ist mit einer Reihe von Funkgeräten ausgestattet. Die Hersteller dieser Funkgeräte erklären, dass diese, wo gesetzlich vorgeschrieben, mit der Richtlinie 2014/53/EU übereinstimmen. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter folgender Adresse verfügbar: certifications.ducati.com

[Belgium]

Votre véhicule est équipé d'une série d'appareillages radio. Les constructeurs de ces appareillages radio déclarent que ces derniers sont conformes à la directive 2014/53/UE lorsque la loi le requiert. Le texte complet de la déclaration de conformité UE est disponible à l'adresse suivante : certifications.ducati.com

[Bulgaria]

Твоят мотоциклет е оборудван с различна по вид радиоапаратура. Производителите на тази радиоапаратура декларират, че тя съответства на Директива 2014/53/ЕС, съгласно изискванията по закон. Пълният текст на декларацията за съответствие ЕС, ще намерите на следния адрес: certifications.ducati.com

[Cyprus]

Το όχημά σας εξοπλίζεται με μια σειρά από ραδιοσυσκευές. Οι κατασκευαστές των συσκευών αυτών δηλώνουν ότι οι συσκευές συμμορφώνονται με την οδηγία 2014/53/ΕΕ, όπου απαιτείται από το νόμο. Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ είναι διαθέσιμο στη διεύθυνση: certifications.ducati.com

[Czech Republic]

Vaše vozidlo je vybaveno řadou rádiových zařízení. Výrobci těchto radio zařízení, prohlašují, že zařízení jsou v souladu se směrnicí 2014/53/EU, pokud to vyžaduje zákon. Úplné znění prohlášení o shodě EU je k dispozici na internetových stránkách: certifications.ducati.com

[Germany]

Ihr Fahrzeug ist mit einer Reihe von Funkgeräten ausgestattet. Die Hersteller dieser Funkgeräte erklären, dass diese, wo gesetzlich vorgeschrieben, mit der Richtlinie 2014/53/EU übereinstimmen. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter folgender Adresse verfügbar: certifications.ducati.com

[Denmark]

Dit køretøj er udstyret med et udvalg af radioudstyr. Producenterne af dette radioudstyr erklærer, at dette udstyr overholder direktiv 2014/53/EU, hvis det kræves i henhold til loven. Den komplette tekst af EU-overensstemmelseserklæringen findes på følgende webadresse: certifications.ducati.com

[Estonia]

Teie sõiduk on varustatud raadioseadmete seeriaga. Selle raadioseadme tootjad kinnitavad, et see seade vastab direktiivile 2014/53/EÜ, kui seadus seda nõuab. EÜ vastavusdeklaratsiooni terviktekst on saadaval järgmisel veebisaidil: certifications.ducati.com

[Spain]

Su vehículo está equipado con una serie de equipos de radio. Los fabricantes de dichos equipos de radio declaran su conformidad con la directiva 2014/53/UE, como requiere la ley. El texto completo de la declaración de conformidad UE está disponible en el siguiente sitio: certifications.ducati.com

[Finland]

Ajoneuvossasi on radiolaitteita. Näiden radiolaitteiden valmistajat vakuuttavat, että laitteet vastaavat direktiiviä 2014/53/EU lain edellyttämällä tavalla. EU-vaatimustenmukaisuusvakuutuksen täydellinen teksti on saatavilla seuraavasta osoitteesta: certifications.ducati.com

[France]

Votre véhicule est équipé d'une série d'appareillages radio. Les constructeurs de ces appareillages radio déclarent que ces derniers sont conformes à la directive 2014/53/UE lorsque la loi le requiert. Le texte complet de la déclaration de conformité UE est disponible à l'adresse suivante : certifications.ducati.com

[United Kingdom]

Your vehicle is equipped with a range of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that these equipment complies with Directive 2014/53/EU where required by law. The complete text of the EU declaration of conformity is available at the following web address: certifications.ducati.com

[Greece]

Το όχημά σας εξοπλίζεται με μια σειρά από ραδιοσυσκευές. Οι κατασκευαστές των συσκευών αυτών δηλώνουν ότι οι συσκευές συμμορφώνονται με την οδηγία 2014/53/ΕΕ, όπου απαιτείται από το νόμο. Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ είναι διαθέσιμο στη διεύθυνση: certifications.ducati.com

[Croatia]

Vaše vozilo je opremljeno nizom radio uređaja. Proizvođači ovih radio uređaja tvrde da su uređaji u skladu s Direktivom 2014/53/UE ako je propisano zakonom. Cjelokupan tekst deklaracije o sukladnosti dostupan je na: certifications.ducati.com

[Hungary]

Járműved egy sor rádió készülékkel van felszerelve. Ezeknek a rádióberendezéseknek a gyártói kijelentik, hogy a készülékek megfelelnek a 2014/53/EU irányelvnek, ahol ezt a törvény megköveteli. Az EU megfelelőségi nyilatkozat teljes szövege az alábbi címen érhető el: certifications.ducati.com

[Ireland]

Your vehicle is equipped with a range of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that these equipment complies with Directive 2014/53/EU where required by law. The complete text of the EU declaration of conformity is available at the following web address: certifications.ducati.com

[Italy]

Il tuo veicolo è dotato di una serie di apparecchiature radio. I costruttori di queste apparecchiature radio dichiarano che esse sono conformi alla direttiva 2014/53/UE laddove richiesto per legge. Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo: certifications.ducati.com

[Lithuania]

Jūsų transporto priemonėje įdiegta daug įvairios radijo įrangos. Šios radijo įrangos gamintojai patvirtina, kad ji atitinka 2014/53/ES direktyvos reikalavimus, kaip tai numato galiojantys įstatymai. Visas ES atitikties deklaracijos tekstas pateikiamas svetainėje adresu certifications.ducati.com

[Luxembourg]

Votre véhicule est équipé d'une série d'appareillages radio. Les constructeurs de ces appareillages radio déclarent que ces derniers sont conformes à la directive 2014/53/UE lorsque la loi le requiert. Le texte complet de la déclaration de conformité UE est disponible à l'adresse suivante : certifications.ducati.com

[Latvia]

Jūsu transportlīdzeklis ir aprīkots ar dažādām radioierīcēm. Šo radioierīču ražotājs apliecina, ka ierīces atbilst Direktīvas 2014/53/ES prasībām, ja to paredz attiecīgie tiesību akti. Pilnīgo ES atbilstības deklarāciju skatiet šajā tīmekļa vietnē: certifications.ducati.com

[Malta]

Il-vettura tiegħek hija mgħammra b'firxa ta' tagħmir tar-radju. Il-manufatturi ta' dan it-tagħmir tar-radju jiddikjaraw li dan it-tagħmir jikkonforma mad-Direttiva 2014/53/UE fejn meħtieġ mil-liġi. It-test kollu tad-dikjarazzjoni ta' konformità tal-UE huwa disponibbli fuq l-indirizz tal-web: certifications.ducati.com

[Netherlands]

Uw voertuig is voorzien van diverse draadloze apparatuur. De fabrikanten van deze draadloze apparatuur verklaren dat deze, daar waar dit door de wet voorschreven wordt, overeenstemmen met de richtlijn 2014/53/EU. De volledige tekst van de EU-verklaring van overeenstemming is beschikbaar op het volgende webadres: certifications.ducati.com

[Poland]

Państwa pojazd został wyposażony w szereg urządzeń radiowych. Producenci tych urządzeń radiowych oświadczają, że są one zgodne z dyrektywą 2014/53/UE, tam, gdzie wymaga tego prawo. Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod następującym adresem internetowym: certifications.ducati.com

[Portugal]

O seu veículo é dotado de uma série de equipamentos de rádio. Os construtores desses equipamentos de rádio declaram que os mesmos estão em conformidade com a diretiva 2014/53/UE sempre que a lei o determinar. O texto completo da declaração de conformidade UE está disponível no seguinte endereço: certifications.ducati.com

[Romania]

Vehiculul dvs. este dotat cu o serie de aparate radio. Producătorii acestor aparate radio declară că acestea sunt conforme cu directiva 2014/53/UE, dacă legea impune acest lucru. Textul complet al declarației de conformitate UE este disponibil la următoarea adresă: certifications.ducati.com

[Sweden]

Ditt fordon är utrustat med radioutrustning. Radioutrustningens tillverkare förklarar att denna utrustning uppfyller direktiv 2014/53/EU där så lagen kräver det. Fullständig text om EU-försäkran om överensstämmelse finns på följande adress: certifications.ducati.com

[Slovenia]

Vaše vozilo ima tudi vrsto radijske opreme. Proizvajalci eteh radijskih naprav izjavljajo, da so ti v skladu z uredbo 2014/53/UE, kjer zakon to predvideva. Celotno besedilo izjave o skladnosti EU je na voljo na spodnjem naslovu: certifications.ducati.com

[Slovakia]

Vaše vozidlo je vybavené rádiofónnymi zariadeniami. Výrobcovia týchto rádiofónnych zariadení prehlasujú, že tieto zariadenia sú v zhode so smernicou 2014/53/EÚ v rozsahu predpísanom zákonom. Úplný text ES prehlásenia o zhode je k dispozícii na nasledujúcej adrese: certifications.ducati.com

HANDS FREE KEY

電池に関する注意事項

警告
取扱説明書をよくお読みください。

本品に含まれるボタン電池には、誤飲の危険性があります。
電池はお子様の手の届かないところに保管してください。
電池を飲み込むと、化学物質による火傷や食道に穴が開くおそれがあり、わずか2時間で重体に陥ったり、死亡したりする危険があります。
電池を飲み込んだ場合や電池が体内に入った場合は、直ちに医療機関を受診してください。
製品には同一タイプの電池のみを使用してください。
電池は火気や湿気のない場所に保管してください。
低圧・高圧になる環境や、低温・高温の環境は避けて保管してください。
電池は圧縮、落とす、壊す、穴を開けるなどしないでください。
使用済みの電池は、国や地方自治体の規則に従い、安全かつ速やかに廃棄してください。
使用済みの電池でも同じく危険です。

United States (USA)

“This device complies with Part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation."
“Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user’s authority to operate the equipment.” "NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment gene rates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interfere nee to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help."

- RF exposure Information according 2.1091/2.1093 / OET bulletin 65:
Radiofrequency radiation exposure Information: This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 20 cm between the radiator and your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.
The manufacturers of these radio equipment declare that devices comply with the FCC

DUCATI MULTIMEDIA SYSTEM (Bluetooth)	FCC ID: Z64-2564N
Hands Free Unit	FCC ID: T8VCL6
Hands Free Key	FCC ID: T8VCL6-904

Canada

This device contains licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause interference.
(2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:
(1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
(2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

RF Exposure Information:
This equipment complies with Canada radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 20 cm between the radiator and your body.

Déclaration d'exposition aux radiations: Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements IC établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20 cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps.

DASHBOARD	IC: 23285-ZDM1604D00
DUCATI MULTIMEDIA SYSTEM (Bluetooth)	IC: 4511-2564N
Hands Free Unit	IC: 6505A-CL6
Hands Free Key	IC: 6505A-CL6904

Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Para consultas, visite: www.anatel.gov.br .

ANATEL

04433-18-11337

DUCATI MULTIMEDIA SYSTEM (Bluetooth)

Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Para consultas, visite: www.anatel.gov.br .

ANATEL

07755-17-10873

Japan

当該機器には電波法に基づく、技術基準適合証明等を受けた特定無線設備を装着している。
This equipment contains specified radio equipment that has been certified to the technical regulation conformity certification under the Radio Law.

本無線機器の改造を禁ずる（これに反した場合は当該認証登録番号は無効となる）
This radio device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid)

South Korea

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다

R-R-Cbo-IN2ROUTERX

HANDS FREE UNIT

Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Para consultas, visite: www.anatel.gov.br .

ANATEL

05428-17-05543

South Korea

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다

R-R-AD1-CL8

HANDS FREE KEY

Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Para consultas, visite: www.anatel.gov.br .

ANATEL

05429-17-05543

Japan

当該機器には電波法に基づく、技術基準適合証明等を受けた特定無線設備を装着している。
This equipment contains specified radio equipment that has been certified to the technical regulation conformity certification under the Radio Law.

本無線機器の改造を禁ずる（これに反した場合は当該認証登録番号は無効となる）
This radio device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid)
ID: 007-AF0150

South Korea

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다

R-R-AD1-CL6-904

91375621JA

Stampato 07/2022 ED.03

MIX
From responsible sources
FSC™ C110200
FSC
www.fsc.org

Ducati Motor Holding spa
ducati.com

Via Cavalieri Ducati, 3
40132 Bologna, Italy
Ph. +39 051 6413111
Fax +39 051 406580

A Sole Shareholder Company
A Company subject to the Management and Coordination activities of AUDI AG